



DTX Studio™ Implant

Planning for success in implant dentistry

Version 3.6 User Manual

プランニング・オーダー編



免責事項:

この製品は、包括的なコンセプトの一部であり、ノーベルバイオケアの取扱説明書に従い、適合する専用の製品との組み合わせでのみ使用できます。推奨されていない他社製品にノーベルバイオケアの製品を組み合わせで使用した場合、ノーベルバイオケアのいかなる保証も、その他のいかなる義務も、明示/黙示を問わず無効になります。

ノーベルバイオケアの製品を使用するには、いかなる製品についても、それが特定の患者様およびその状況に適合するかどうかの決定は歯科医が行わなければなりません。ノーベルバイオケアは、ノーベルバイオケア製品の使用において、歯科医師の専門的な判断または治療におけるエラーが原因となって生じるか、またはそれらに関係して生じる、直接的、間接的、懲罰的、またはその他のどのような損害の責任も明示/黙示を問わず負わないものとします。

ユーザーは、ノーベルバイオケア製品に関する最新の開発動向およびその適用について、定期的に学ぶ義務を負っています。

ユーザーは、不明な点がある場合には、ノーベルバイオケアに連絡する必要があります。

この製品の利用についてはユーザーの監督下で行われるため、いかなる製品についても、それが特定の患者様およびその状況に適合するかどうかの決定はユーザーの責任になります。ノーベルバイオケアは、製品の使用が原因で生じる損害に対して一切責任を負いません。

取扱説明書で言及している製品のうち、国や地域によっては一部の製品が未認可、未販売、または未承諾の場合があります。

ご了承ください。

歯科医に対する注意: 新しい治療法や機器を使用する際は、事前にトレーニングを受けておくことをお勧めします。

ノーベルバイオケアは、歯科医が知識や経験のレベルに合わせて選択できるように、さまざまなコースを提供しています。

詳細については、nobelbiocare.co.jpにアクセスしてください。

新しい機器や治療法を初めて使用する際は、その新しい機器の使用法や治療法に関して経験が豊富な歯科医とともに治療を行うことで、可能性のある合併症を防ぐことができます。

そのために、ノーベルバイオケアにはメンター講師のグローバル・ネットワークがあります。

全般的な注意事項と警告: インプラントが100%成功することは保証できません。

小児患者には、顎骨の成長段階が完了したことが間違いなく確認されるまで、通常のインプラントの治療は推奨できません。

施術前の硬組織や軟組織が不足している場合には、審美性が損なわれたり、好ましくない角度でインプラント埋入されたりすることがあります。

NobelGuide®サージカルテンプレートおよびデュプリケート・デンチャーは、適切なノーベルバイオケア・インプラント、外科用インストルメント、および補綴コンポーネントとのみ併用することを強く推奨します。

併用することを意図していないコンポーネントと組み合わせると、機械的故障や器具の破損を招いたり、組織を損傷させたり、満足できない審美的結果となることがあります。

ユーザーは、顎外外科術式（歯科または頬骨領域外での歯科用インプラントを使用した頭蓋顎顔面の治療）のプランニングを行う前に、インプラントが顎外での使用を意図しているかどうかを確認する必要があります。

ファイアウォールを正しく構成したうえで、DTX Studio™ Implantを使用するコンピュータに最新のウイルス対策ソフトウェアやマルウェア対策ソフトウェアをインストールすることをお勧めします。

補足情報:

NobelGuide®のコンセプトおよび外科術式の詳細については、ノーベルバイオケア社にお問い合わせください。

DTX Studio™ Implantのパフォーマンスはご使用のオペレーティング・システムによって異なります。

そのため、承認されているオペレーティング・システムでのみDTX Studio™ Implantを使用してください。

承認されているオペレーティング・システムの種類やDTX Studio™ Implantのインストール方法の詳細については、プロセラテクニカルサポートまでお問い合わせください。

注: 米国とその他の一部の国々では、歯科用骨内インプラント埋入のサージカルテンプレートは医療機器として扱われます。

これらのサージカルテンプレートの製作に関する規制状況および要件の詳細については、該当地域の規制機関にお問い合わせください。



製造者: Nobel Biocare AB
Box 5190, 402 26
Västra Hamngatan 1, 411 17
Göteborg, Sweden
電話: +46 31 81 88 00
Fax: +46 31 16 31 52
www.nobelbiocare.com



取扱説明書を参照してください



Rx Only

医師の指示に基づいた使用に限る。
注意: 米国連邦法では、歯科医師、医療専門家、または医師の発注のうえで販売されるものとして本機器を制限しています。

カナダにおけるライセンスの適用除外: 一部の製品は、カナダの法律に従ってライセンス契約されていない可能性があることに注意してください。



デバイスの説明：

DTX Studio™ Implant は、歯科、頭蓋顎顔面、および関連する治療の画像に基づく診断プロセスや治療プランニングを支援する臨床使用向けのソフトウェアです。

歯科、頭蓋顎顔面、および関連する治療の診断や治療プランニングのプロセスを支援するため、DTX Studio™ Implant には、診断や治療プランニングのプロセスを目的とした患者様の（CB）CT 画像の視覚化テクノロジーが用意されています。

また、写真画像やX線などの2D画像データや、口腔内の状態のサーフェス・スキャンを視覚化し、診断用画像データを1つにまとめることができます。

補綴インプラントのプランニングをサポートするため、補綴情報を追加して視覚化することができます。

インプラント埋入位置や補綴情報を含むサージカルプランは、DTX Studio™ Lab での歯科修復の設計用にエクスポートできます。

DTX Studio™ Implantは、歯科用インプラントに基づいたオーラルリハビリテーションのNobelGuide®の臨床 コンセプトに対応しています。

全歯欠損および部分欠損（単独歯の症例を含む）の治療におけるガイデッド外科手術システム（“NobelGuide® コンセプト”）の一部です。

DTX Studio™ Implant のユーザーは、レギュラー・トレーニングおよび教育セッションを受講することで、プランニング・ソフトウェアの使い方をマスターできるようになります。

詳細情報については、ノーベルバイオケアのWebサイト www.nobelbiocare.com からアクセスできるコースをご覧ください。

用途

DTX Studio™ Implant は、歯科領域および頭蓋顎顔面領域の診断と治療プランニングを支援するために、CTスキャナーなどの機器から2D 画像や3D 画像の情報を転送し表示するためのソフトウェア・インターフェースです。

DTX Studio™ Implant は、ガイデッド・インプラント・サージェリーに役立てたり、歯科補綴ソリューションのデザイン入力や確認に使用できます。

結果をエクスポートして製造することができます。

禁忌

DTX Studio™ Implant では確認されていません。



警告

このプランニング・プログラムによってすべての技術的制約が自動的に確認されるわけではありません。

場合によっては、ソフトウェアを通じて技術的制約が自動的に特定されない場合でも、サージカルテンプレートが製作できない可能性があります。

本書に使用されている症例データ、プランニング、およびインプラント製品は、ソフトウェアの使用方法を図解説明するための目的で記載されており、臨床における検査診断および計画を誘導すること意図するものではありません。



タイトル	詳細	ページ
DTX Studio Implantの構成		
	プラットフォーム構成	06
	モジュール・バー	10
	ビューアの実作	11
既存患者ファイルアクション		
	3Dプランニング	14
	患者情報	16
プロパティ- Property		
	プロパティ・パネル	20
	Bone	21
	Prosthetic	22
	Cross-Sectional	24
診断 / Diagnose		
	下歯槽神経	31
	歯牙の3D化	36
	歯牙の抽出	39
	注釈・測定・ワークスペース	41
計画 / Plan		
	製品選択	46
	インプラント計画	49
	アバットメント計画	62
	アンカー・ピン計画	70
	骨断面設定	80
	アドラボデザイン	86
	・デザインリクエスト	89
	・デザイン追加	94

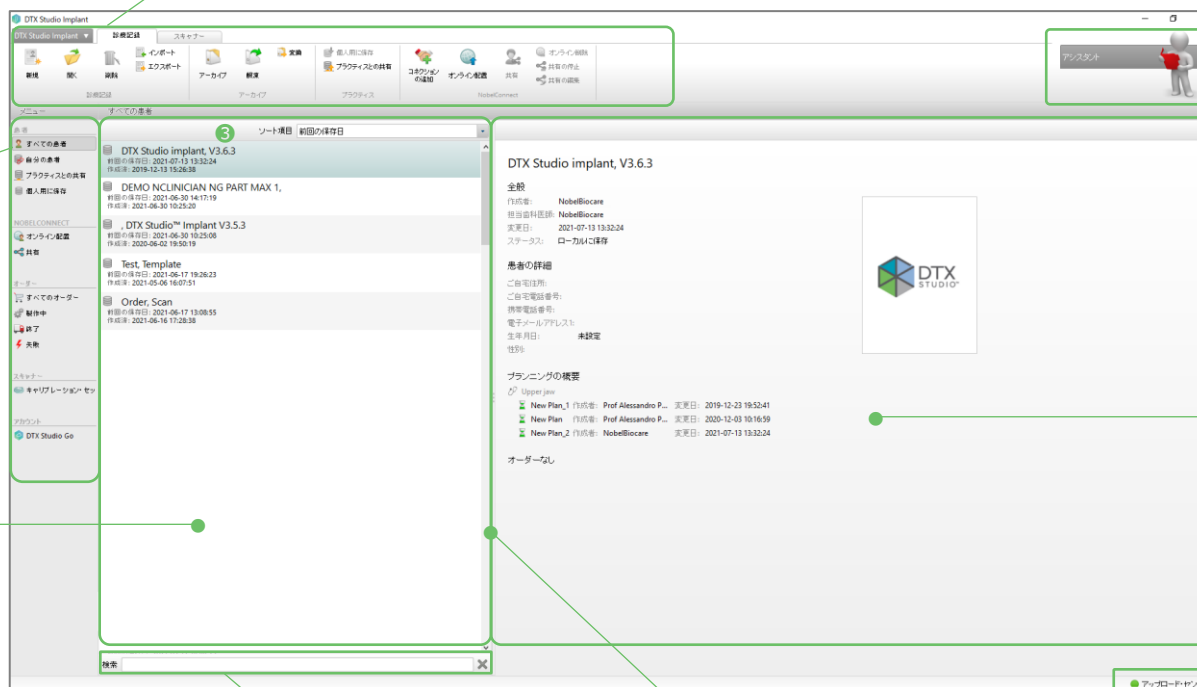


タイトル	詳細	ページ
完了 / Finalize		96
	テンプレシエル・ソリューション	99
	テンプレシエル・リクエスト	104
	テンプレシエルの追加	107
	テンプレート設計	109
	計画の承認	116
オーダー概要		117
	オーダー概要	118
	スキャンオーダー	120
	製品オーダー	121
	その他オーダー	122
	オーダーレポート	125
オーダー		
	ノーベル・プロセラ・プロダクションセンター	127
	ローカル・プロダクション	133
	オーダー・ステータス	138
	テンプレートデータのダウンロード / DTX Studio Go	139
	オーダー再送信 / リプラン	146
	ローカル・プロダクション 3Dプリンティング後の操作	148
	必要な製品	150
	スリーブの固定 / フル・ガイド	151
	スリーブの固定 / パイロット・ガイド	152
	スリーブの固定 / アンカー・ピン	153
	スリーブの接着	154
	関連製品	156
その他 / Other		158
	DTX Studio Implant その他機能	163
	エクスポート	166
Contact Support		169



DTX Studio Implantの構成

マイ・オフィス (DTX Studio Implant Platform)



① メニュー・バー

各項目のモジュールをクリックで移動します

② リスト・ビュー

患者リストを表示します

③ ソート・ボックス

患者リストをソートします

④ ツール・バー

必要なツールにアクセスできます
【ソフトウェアの設定】や【患者ファイルへのアクション】、
【スキャナーキャリブレーション】を選択します

⑤ アシスタント

DTX Studio Implantでは、アシスタントがサージカルプレートデータ作成までのステップをサポートします

⑥ 更新ボタン

フィールドをリフレッシュします

⑦ 詳細ビュー

患者情報の詳細を表示します

⑨ 検索フィールド

患者データを検索します

⑩ 分割バー (垂直サイドバー)

フィールドの大きさを調整できます

⑧ アップロード・センター

データの送受信時に進行状態を確認します



DTX Studio Implantの構成

マイ・オフィス (DTX Studio Implant Platform)

診療記録

診療記録は、患者の医療記録の管理と、オンラインコラボレーションの概要に関連しています



治療記録

【新規】は、新しい患者ファイルを作成します

【開く】は、既存の患者ファイルを開きます

【削除】は、リストから患者ファイルを削除します

【インポート】は、DTX Studio Implant (NobelClinician) で作成した患者ファイルをインポートします (.ncle)

【エクスポート】は、DTX Studio Implant (NobelClinician) で作成した患者ファイルをエクスポートします (.ncle)

アーカイブ

【アーカイブ】は、選択した患者ファイルをアーカイブします

【解凍】は、選択した患者ファイルのアーカイブを解除します

【変換】は、旧バージョンのDTX Studio Implant (NobelClinician) でアーカイブした古いアーカイブファイルを変換します

プラクティス *ライセンスがプラクティスセットアップライセンスの場合にのみ表示

【個人用に保存】は、患者ファイルを自身のPCにのみ保存します
プラクティスセットアップユーザーには共有されません

【プラクティスとの共有】は、患者ファイルを共有ネットワークドライブ (チームフォルダー) に保存します

NobelConnect

【コネクションの追加】は、DTX Studio Implantユーザー同士または、DTX Studio Labユーザーの間に接続を作成します

【オンライン配置】は、患者ファイルをオンラインで保存します
患者ファイルは、同じNobelConnect IDを共有するユーザー (アクティブなDTX Studio Implantライセンスを有する) に表示されます

【共有】は、コネクされているユーザーと共有します
選択した人と計画されたデータの共有を開始します

【オンライン削除】は、オンラインに配置されたデータを削除します

【共有の停止】は、データの共有を停止します

【共有の編集】は、データ共有の設定を編集します



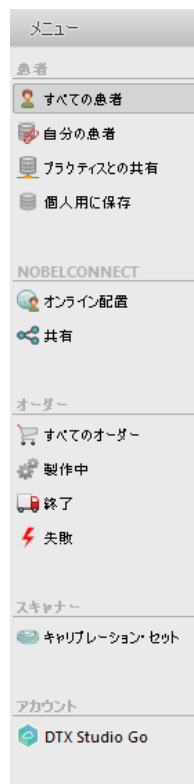
DTX Studio Implantの構成

マイ・オフィス (DTX Studio Implant Platform)

メニューバー

マイ・オフィス【メニュー】では、患者・NobelConnect・オーダーのグループにリストされています

これらのグループの内容は、ライセンスの種類によって異なります



患者

【すべての患者】は、利用可能なすべての保存された患者ファイルで構成されます

【自分の患者】は、ログインしたユーザーが、臨床医として治療を行う患者ファイルです

【プラクティスとの共有】は、診療内で共有されるすべての患者ファイルが含まれています
これは、プラクティスセットアップの場合にのみ表示されます

【個人用に保存 (シングルユーザー設定) またはプライベートに保存 (プラクティス設定) 】は、ログインしたユーザーが作業しているコンピューターに保存されているすべての患者ファイルが表示されます

NOBELCONNECT

【オンライン配置】された患者ファイルは、ログインしたユーザーが他の人と共有するファイルを含め、オンラインで保存されるファイルです

【共有】リストは、オンラインで保存されている患者ファイルを除外し、ログインしているユーザーと共有します

オーダー

【すべてのオーダー】は、オーダーされたすべての保存された患者ファイルで構成されます

【製作中】は、オーダー受信後、製作途中の患者ファイルが表示されます

【終了】は、製造が終了し、製品がプロダクションセンターを出発した患者ファイルが表示されます

【失敗】は、失敗したオーダーの患者ファイルが表示されます

スキャナー

【キャリブレーション・セット】は、較正を行ったデータファイルが表示されます

アカウント

DTX Studio Goのログイン画面へリンクします



DTX Studio Implantの構成

プランニング・モジュール



① モジュール・バー

各項目のモジュールをクリックで移動します
診療記録ダイアログと同じ機能です

② ツール・バー

特定のタスクに必要なツールにアクセスします
【インプラント】や【クロスセクショナル画像】を選択した
場合、追加のタブが出現します

③ アシスタント

DTX Studio Implantでは、アシスタントがサージカルプレートデータ作成までのステップをサポートします

④ グループ・オブジェクト・バー

オブジェクト・バーでは、
 > 画像・オブジェクト
 > プランニング・オブジェクト
 > リスライス・オブジェクト
 の表示 / 非表示設定が可能です

⑤ 折りたたみボタン

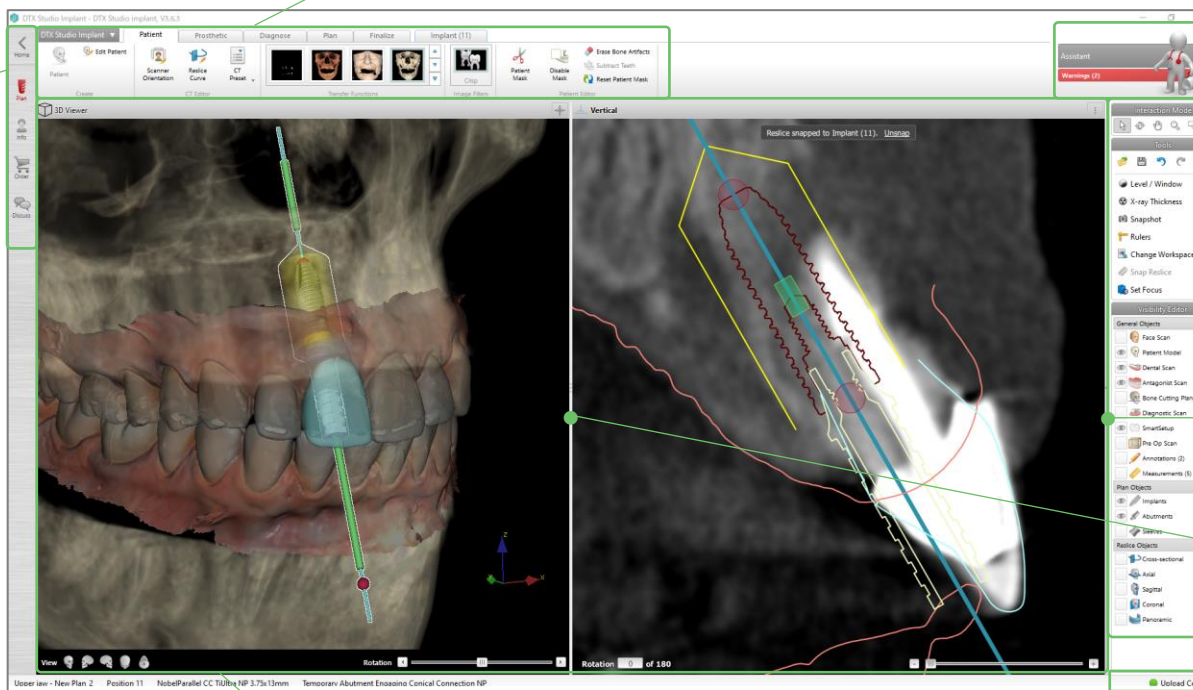
グループ・オブジェクト・バーを最小化しアイコンのみを表示します

⑥ サイド・バー

画面の大きさを変更します

⑦ アップロード・センター

データの送受信時に進行状態を確認します



⑧ ワークスペース

3D / 2D / パノラミック画像など、様々な視点で確認できるワークスペース

診療記録ダイアログ





DTX Studio Implantの構成

モジュールバー

モジュール・バーのアイコンをクリックして、各モジュール間を移動します

患者に関するセクションを指定して表示するには、マイ・オフィスから患者データをダブルクリックします
診断と治療計画を行うには、【診療記録ダイアログ】の【3Dプランニング】をクリックします

診療記録ダイアログ



【ホーム/マイ・オフィス】モジュールは、患者および、キャリアレーション・セットの管理に使用します

【3Dプランニング】モジュールは、DICOMファイルのインポート、患者モデルとガイド・モデルの作成、診断と計画の実行に使用します

【患者情報】モジュールは、患者情報の保存および患者ライブラリの臨床写真の管理に使用します

【オーダー】モジュールは、歯科模型またはワックスアップのスキャン、テンプレットまたはサージカルテンプレットのオーダーや、デュプリケート・デンチャー（標準コンポーネント付）のオーダーに使用します

【ディスカッション】モジュールを使用すると、ビューア・ファイル、レポート、Communicatorプレゼンテーションによって歯科医師同士や患者との治療計画についてのコミュニケーションが容易になります



DTX Studio Implantの構成

ビューア操作











操作モードを選択し、DTX Studio Implantを操作します

操作ツールバーのアイコンをクリックし、画面上での右クリック・メニュー、またはショートカット・キーの組み合わせを使用して、操作モードを切り替えます

3Dビューアでは、さまざまな標準ビューを利用します

標準ビューでモデルを表示するには、該当するアイコンをクリックします



	操作モード	オブジェクトを選択したり、アクション対象のオブジェクトを指定します
	回転モード	マウスをドラッグして3Dシーンを回転させます（3Dの場合のみ）
	移動モード	マウスをドラッグしてシーンを移動します
	ズーム・モード	マウスをドラッグして拡大または縮小します
	ズーム・ボックス・モード	長方形の領域を描画してモデルの特定の領域に焦点を合わせてズームします（2Dの場合のみ）
	正面 - 標準の正面からのビュー - ショートカット・キー [5]	
	左 - 標準の左側面のビュー - ショートカット・キー [1]	
	右 - 標準の右側面のビュー - ショートカット・キー [3]	
	上から下 - 標準の頭蓋-顎方向のビュー - ショートカット・キー [9]	
	下から上 - 標準の顎 - 頭蓋方向のビュー - ショートカット・キー [7]	

既存患者ファイルのアクション

既に保存されているデータを編集する場合は、マイ・オフィス(DTX Studio Implantトップ画面)を開きます

- ① 症例を選択します
- ② 『診療記録』タブから【開く】をクリックします
* 患者名をダブルクリックしても症例が開きます

マイ・オフィス 画面

The screenshot shows the 'My Office' interface in DTX Studio Implant. The top menu bar includes '診療記録' (Treatment Record) and 'スキーマ' (Schema). A toolbar contains various icons, with '開く' (Open) highlighted by a green box. The main area displays a list of cases under the '診療記録' tab. A green box highlights the '3, Demo Patient' entry, with a green circle and the number '1' indicating the selection step. A green callout box above the list reads: 『診療記録』タブから【開く】をクリックします * 患者名をダブルクリックしても症例が開きます. The right panel shows patient details for '3, Demo Patient', including general information, contact details, and planning information.



既存患者ファイルのアクション

診療記録ダイアログから目的のモジュールを選択します

3D
プランニング

プランニング画面へ進みます

* DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル・プランニング・オーダー編(本書)
P,19 を参照してください患者
情報

患者情報を編集します

* DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル・プランニング・オーダー編(本書)
P,16 を参照してください


製品のオーダー

オーダーやリクエストを行います

* DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル・プランニング・オーダー編(本書)
P,117 ~ P,157 を参照してくださいディスカッション
プラン各種デバイス用のデータ作成やレポートなど
コミュニケーションを行います* DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル・ディスカッション・その他編
P,19 を参照してください

診療記録ダイアログ

診療記録



3, Demo Patient


治療を受けた患者 NobelBiocare




3D
プランニング



患者
情報



製品のオーダー



ディスカッション
プラン

患者を閉じる

既存患者ファイルのアクション

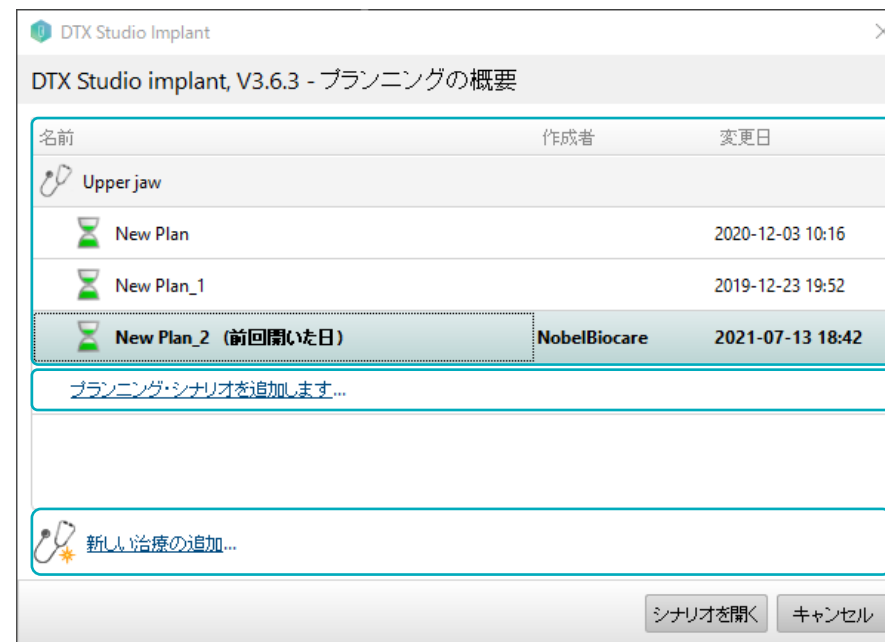


3Dプランニング

3D
プランニング

【3Dプランニング】アイコンをクリックします
プランニングの概要が表示されます

- ① 目的の既存プランを選択し、【シナリオを開く】をクリックします
* 前回開いたプランが選択されています
- ② プランニング・シナリオを追加します... :
顎骨データと補綴データを残した状態で新しいプランニングを行う際に使用します
- ③ 新しい治療の追加... :
新しいデータを作成します
* CTデータおよび、補綴データが必要です



名前	作成者	変更日
Upper jaw		
New Plan		2020-12-03 10:16
New Plan_1		2019-12-23 19:52
New Plan_2 (前回開いた日)	NobelBiocare	2021-07-13 18:42

①

②

③

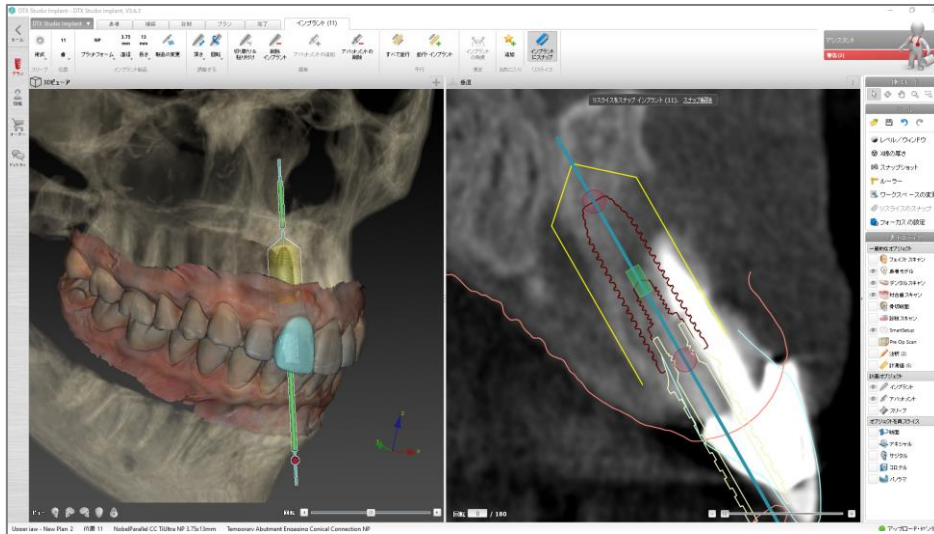
シナリオを開く キャンセル

既存患者ファイルのアクション

3Dプランニング

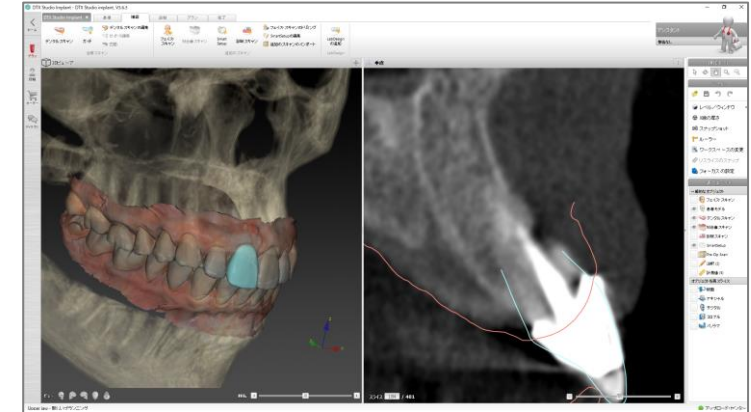
3D
プランニング

① 目的の既存プランを選択し、シナリオを開きます



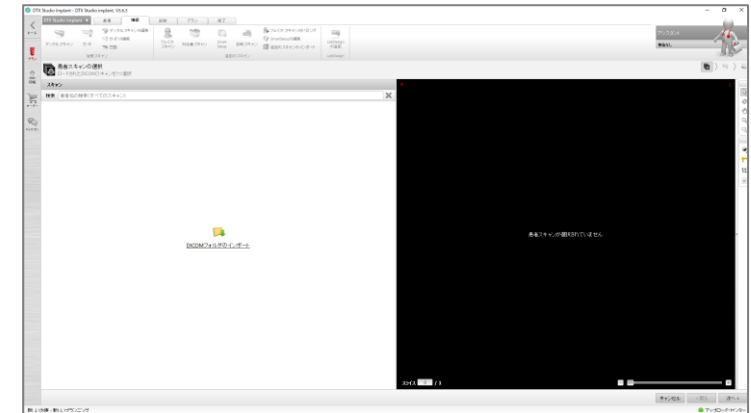
② プランニング・シナリオを追加します... :

患者モデルデータ、デンタルスキャン(または、ラジオラジオグラフィックガイド)、追加のスキャンデータは残したまま、新しいプランニングを行う際に使用します
* プランした、インプラントやアットメントは削除されます



③ 新しい治療の追加... :

新しいデータを作成します
* CTデータ(顎骨)および、補綴データが必要です



既存患者ファイルのアクション



患者情報

患者情報

【患者情報】アイコンをクリックします
患者情報を編集します

編集後、画面左上の【ホーム】ボタンで戻ります

① 患者情報の編集をします

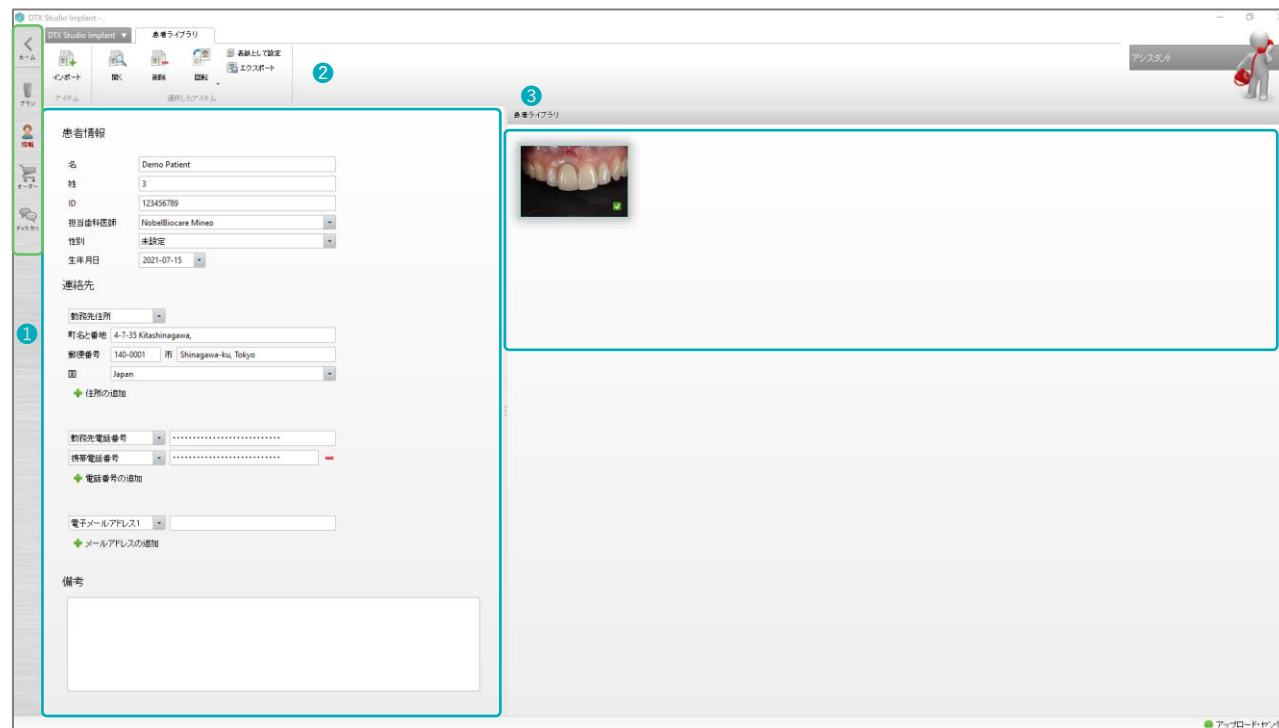
② 画像の設定を行います

③ 画像の編集を行います
口腔内写真や顔貌写真など、各種画像をライブラリに保存します



モジュール・バー

各項目のモジュールをクリックで移動します





既存患者ファイルのアクション



患者
情報

患者情報

1 患者情報を入力します

患者情報

- ・ 名 / 性 / IDを入力します
- ・ 性別 / 生年月日を選択します

連絡先

- ・ 連絡先所在を選択します
- ・ 郵便番号 / 住所を入力します
- ・ 国を選択します
- ・ 連絡先を追加できます
- ・ 連絡手段を選択し、番号を入力します
- ・ 連絡先手段と番号を追加できます
- ・ メールアドレスを入力します
- ・ メールアドレスを追加できます

備考

- ・ 必要に応じて情報を入力できます

2 画像の挿入と設定

インポート

画像の取り込みを行います

開く

選択した画像を開きます

削除

選択した画像を削除します

回転

選択した画像の方向、向きを変更します

表紙として設定

選択した画像を表紙画像にします

エクスポート

選択した画像を他の場所に移動します

回転方向の設定

- 右に90°回転
- ← 左に90°回転
- ↻ 180度回転
- ⏮ 上下反転
- ↔ 左右反転



既存患者ファイルのアクション

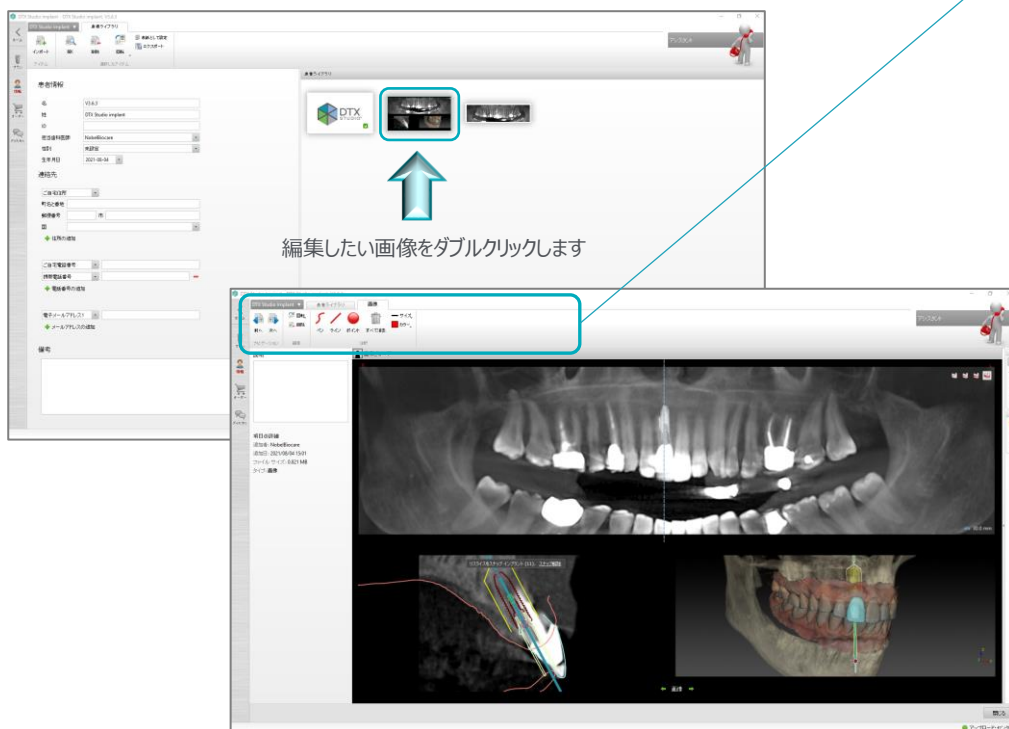


患者情報

患者情報

⑤ 画像の編集を行います

編集したい画像をダブルクリックします



前の画像、次の画像と複数画像が保存されている場合に使用します



画像の方向、向きを変更します



画像を削除します (ゴミ箱などには入らずに完全に無くなります)



画像に記入する際に使用します



画像に直線を記入する際に使用します



画像にポイントを記入する際に使用します



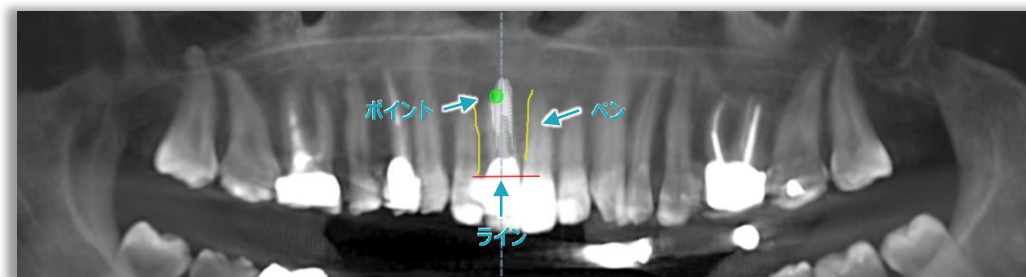
全てのマークを消す時に使用します
右端にあるUndo を使用すると、一つ前の操作に戻ります



ペンのサイズを変更します (小、中、大)



ペンの色を変更します





DTX Studio™ Implant
Planning for success in implant dentistry

プロパティ **Property**



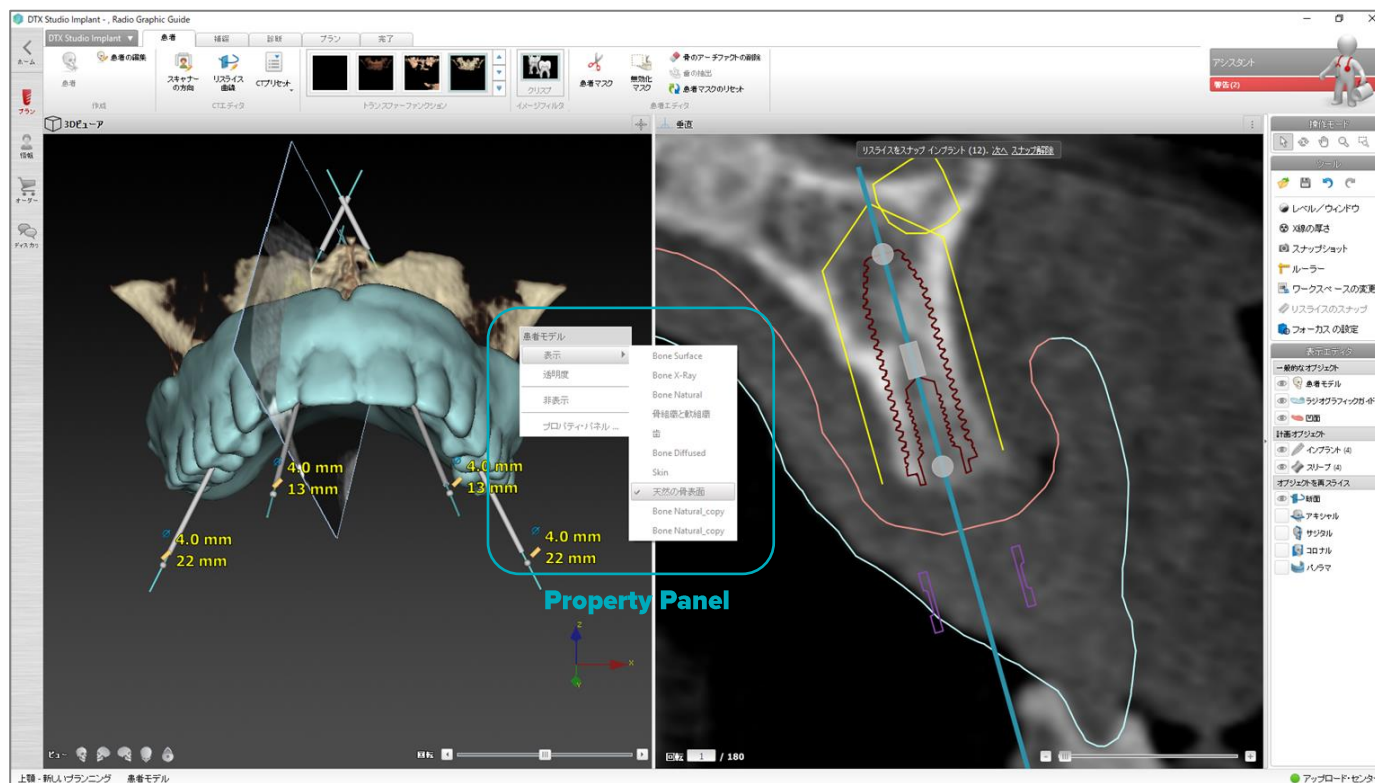
Property Panel表示

各オブジェクトのプロパティを使用し、より詳細に3D画像診断を行えます

骨や補綴データ、下歯槽神経などのオブジェクトをクリックで選択します
 選択されたオブジェクトは、対象物周囲に白枠が表示されます
 (顎骨データは白枠が表示されません)

選択後、対象物上で【右クリック】を行うと、それぞれのオブジェクトに対応したプロパティが表示されます

プロパティから、画面表示の設定、オブジェクトの削除、設定の修正などを行えます





Property Panel表示 (Bone)

プロパティを使用し、より詳細に3D画像診断を行います



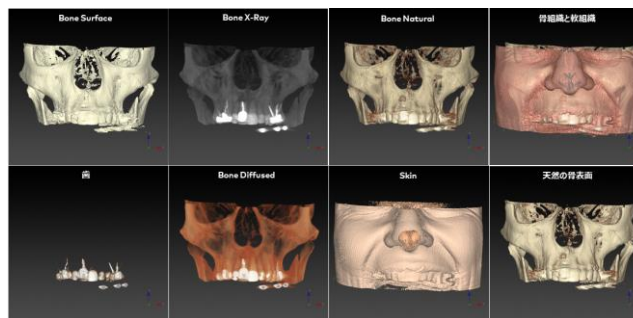
Property Panel



●表示 (トランスファーファンクション)

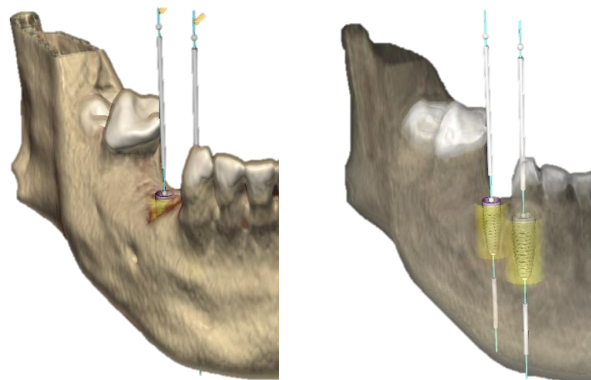
3Dの表情を変更します

* DTX Studio Implant V3.6ユーザーマニュアル 準備・データ読み込み P.57 参照



●透明度 (トランスファー)

3Dオブジェクトを透過させます



●非表示

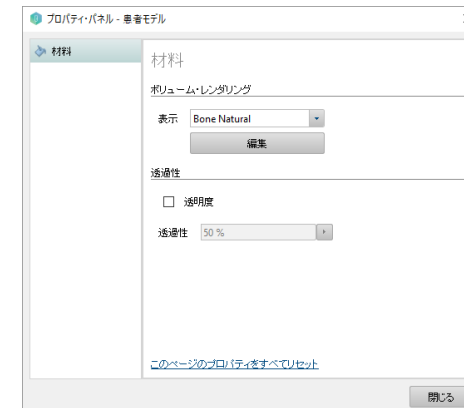
3D画像を画面から非表示にします

再表示させる場合は、画面右側【表示エディタ】の患者モデルにチェックを入れます



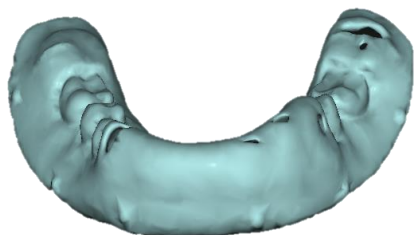
●プロパティ・パネル

3D情報や透明度の詳細設定を行ないます



Property Panel表示 (Prosthetic)

プロパティを使用し、より詳細に3D画像診断を行います



Property Panel

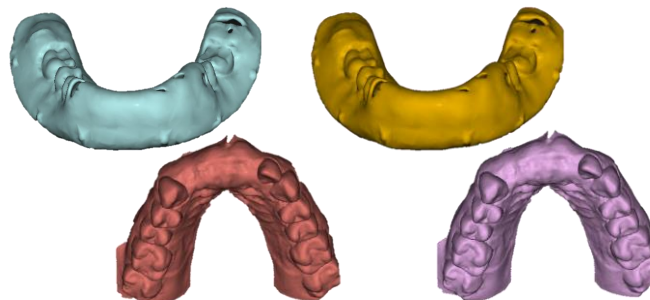
ラジオグラフィックガイド

ラジオグラフィックガイド
カラー ▶
透明度
非表示
形状の編集
オブジェクトの削除
プロパティパネル ...

デンタルスキャン

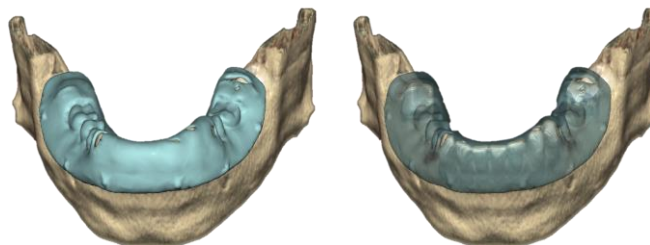
デンタルスキャン 17-27
カラー ▶
透明度
非表示
オブジェクトの削除
プロパティパネル ...

- カラー
オブジェクトの色を変更します



* カラースキャンされたデンタルキャストは、3Dビューではデータの色が変更されません
2Dビューのデンタルキャスト枠線の色が変更されます

- 透明度 (トランスファー)
3Dオブジェクトを透過させます



- 非表示
3D画像を画面から非表示にします

再表示させる場合は、画面右側【表示エディタ】の補綴データにチェックを入れます

ラジオグラフィックガイド

デンタルスキャン



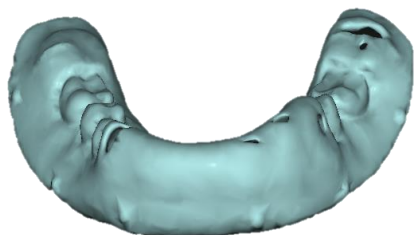
- オブジェクトの削除
3D画像データを消去します

- プロパティ・パネル
3D情報や透明度の詳細設定を行いません



Property Panel表示 (Prosthetic)

プロパティを使用し、より詳細に3D画像診断を行います



Property Panel

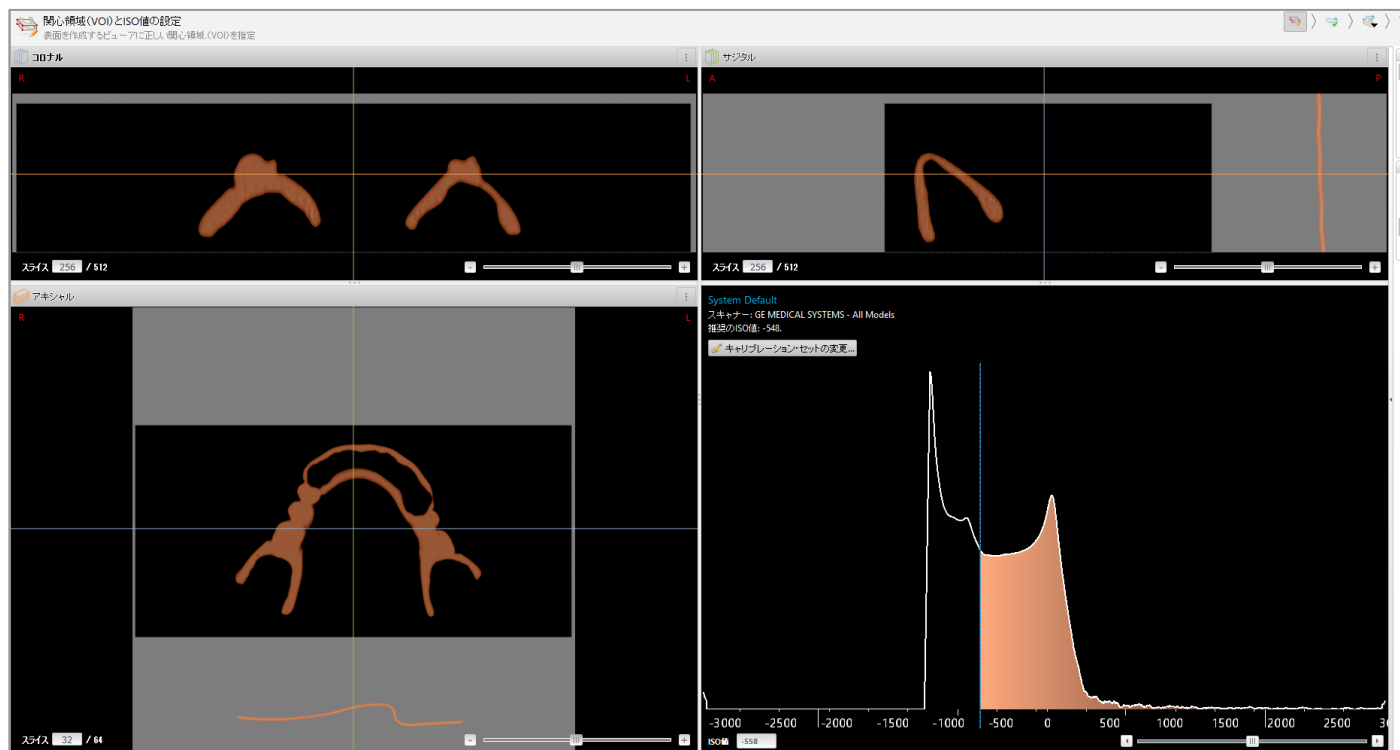
ラジオグラフィックガイド

- ラジオグラフィックガイド
- カラー ▶
- 透明度
- 非表示
- 形状の編集**
- オブジェクトの削除
- プロパティパネル ...

デンタルスキャン

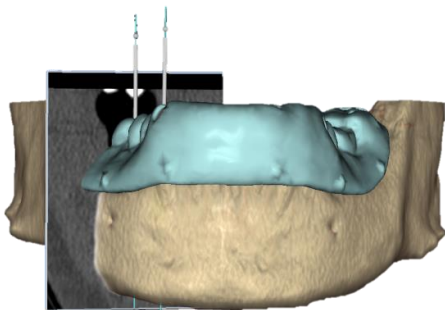
- デンタルスキャン 17-27
- カラー ▶
- 透明度
- 非表示
- オブジェクトの削除
- プロパティパネル ...

- 形状の編集 (ラジオグラフィックガイドのみ)
- ラジオグラフィックガイドの設定を編集します
- * DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル・準備・データ読込編 P,185 ~ P,186 参照





Property Panel表示 (Cross-sectional)



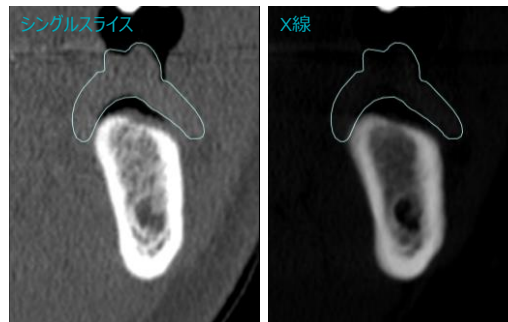
Property Panel

- リスライスモード ▶
- スライス・インデックス ▶
- 回転 ▶
- 近遠心傾斜 ▶
- 表示スライス ▶
- クリッピング ▶
- サイズ ▶
- レベル/ウィンドウ ▶
- カラー・マッピング ▶
- 透明度 ▶
- 非表示 ▶
- リスライス曲線
- プロパティパネル ...

インプラントにスナップしている場合は、リスライスの動作項目は表示されません

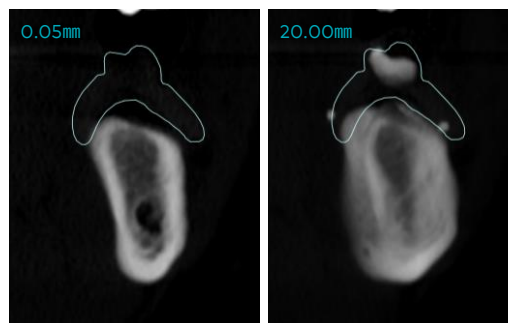
- リスライスモード
リスライス画像を変更します

シングル・スライス
X線



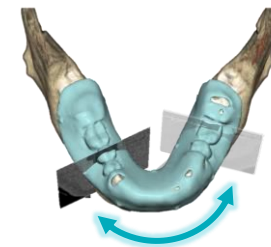
- 厚さ (リスライスモード X線のみ)
リスライスの厚さを調節します
(0.05mm ~ 20.00mm)

垂直 [X線の厚さ6.00 mm]

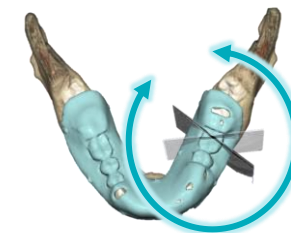


奥行きを確認することができます

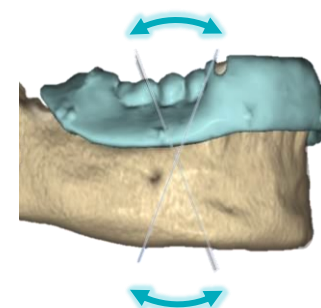
- スライス・インデックス
リスライスをアーチに沿って移動させます



- 回転
リスライスを回転させます

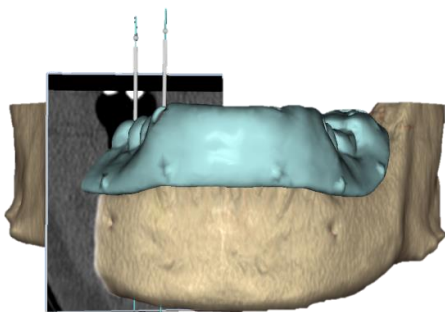


- 近遠心傾斜
リスライスを近遠心方向へ傾斜させます

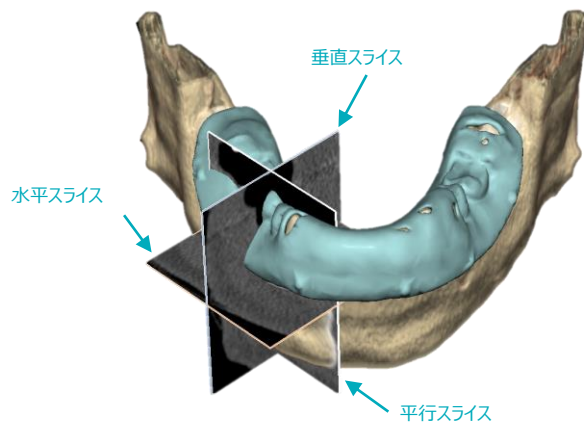




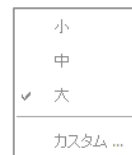
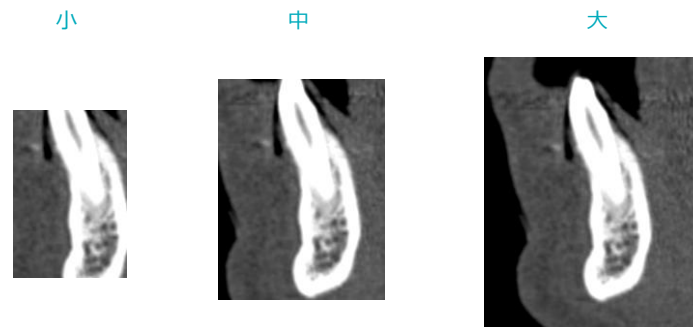
Property Panel表示 (Cross-sectional)



●表示スライス
様々な方向のスライス画像を追加します



●サイズ
スライスのサイズを変更します



Property Panel



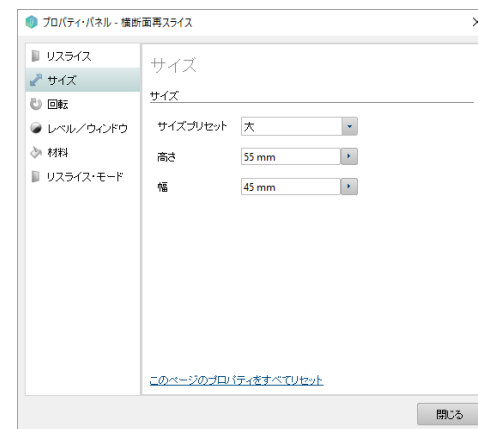
インプラントにスナップしている場合は、スライスの動作項目は表示されません

●クリッピング
3Dの一部を非表示にし、リスライス断面を表示します



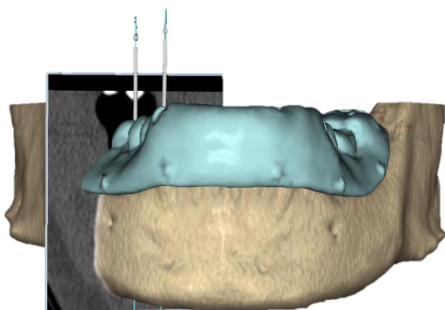
垂直スライスに対して、近心側または遠心側の3D画像を非表示にして断面を立体的に確認することができます (表示スライス内にあるアキシタル、サジタル、コロナルでも可能です)

●サイズ(カスタム)
カスタムから詳細な設定を行ないます





Property Panel表示 (Cross-sectional)

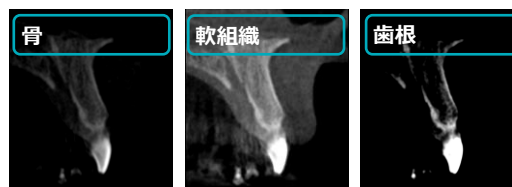


Property Panel

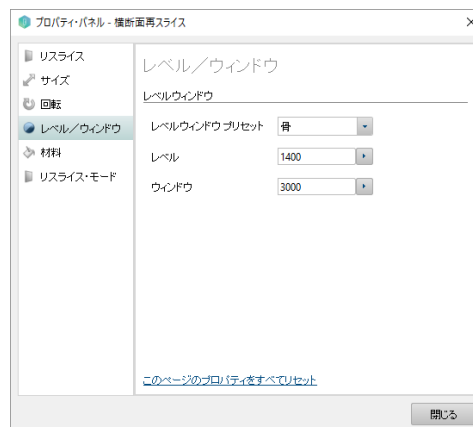


インプラントにスナップしている場合は、スライスの動作項目は表示されません

- レベル/ウィンドウ
CT値を元に、骨、軟組織、歯牙をそれぞれフォーカスした画像に切り替えられます
* CBCTの画像では、機種によっては希望通りの画像にならないこともあります

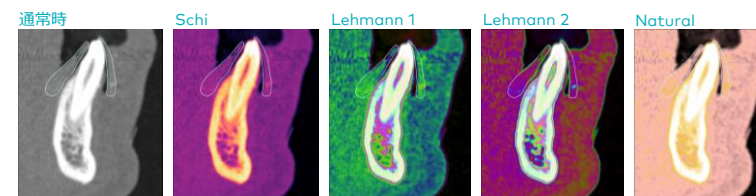
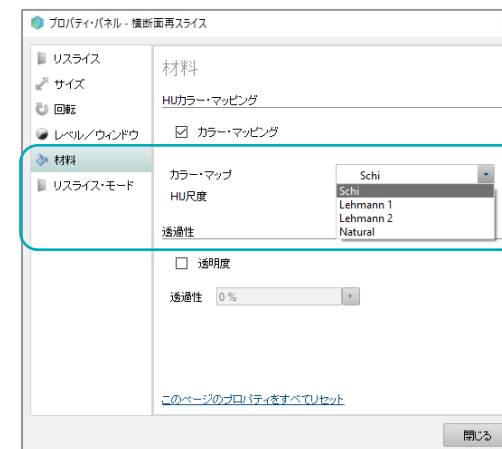


- レベル/ウィンドウ (カスタム)
カスタムで詳細な設定を行ないます



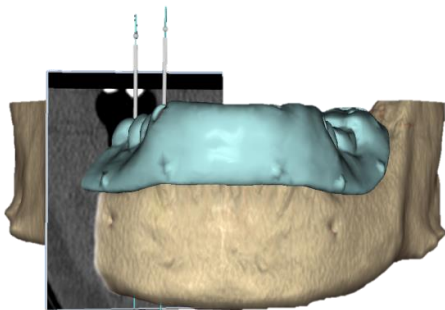
- カラー・マッピング
リスライス画像をHU値により色分け表示します

- カラー・マッピング (プロパティ・パネルから)
プロパティ・パネルの【材料】から、複数ある設定項目を選択します

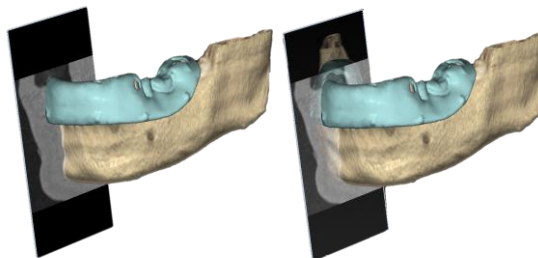




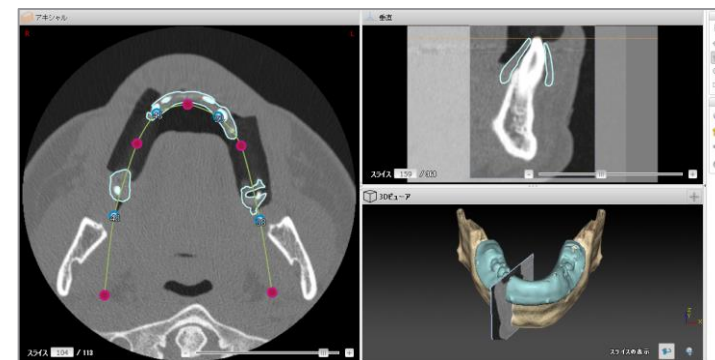
Property Panel表示 (Cross-sectional)



- 透明度 (トランスファー)
3D画像内のリスライスを透過させます



- リスライス曲線
リスライスカーブの設定を行いません
* DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル 準備・データ読込編 P.55 参照



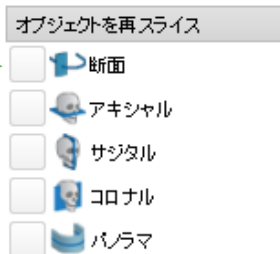
Property Panel



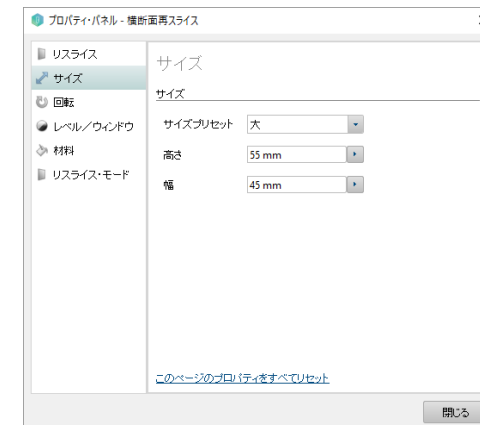
インプラントにスナップしている場合は、リスライスの動作項目は表示されません

- 非表示
3D画像を画面から非表示にします
再表示させる場合は、画面右側【オブジェクトを再スライス】の項目にチェックを入れます

スライスの表示・非表示



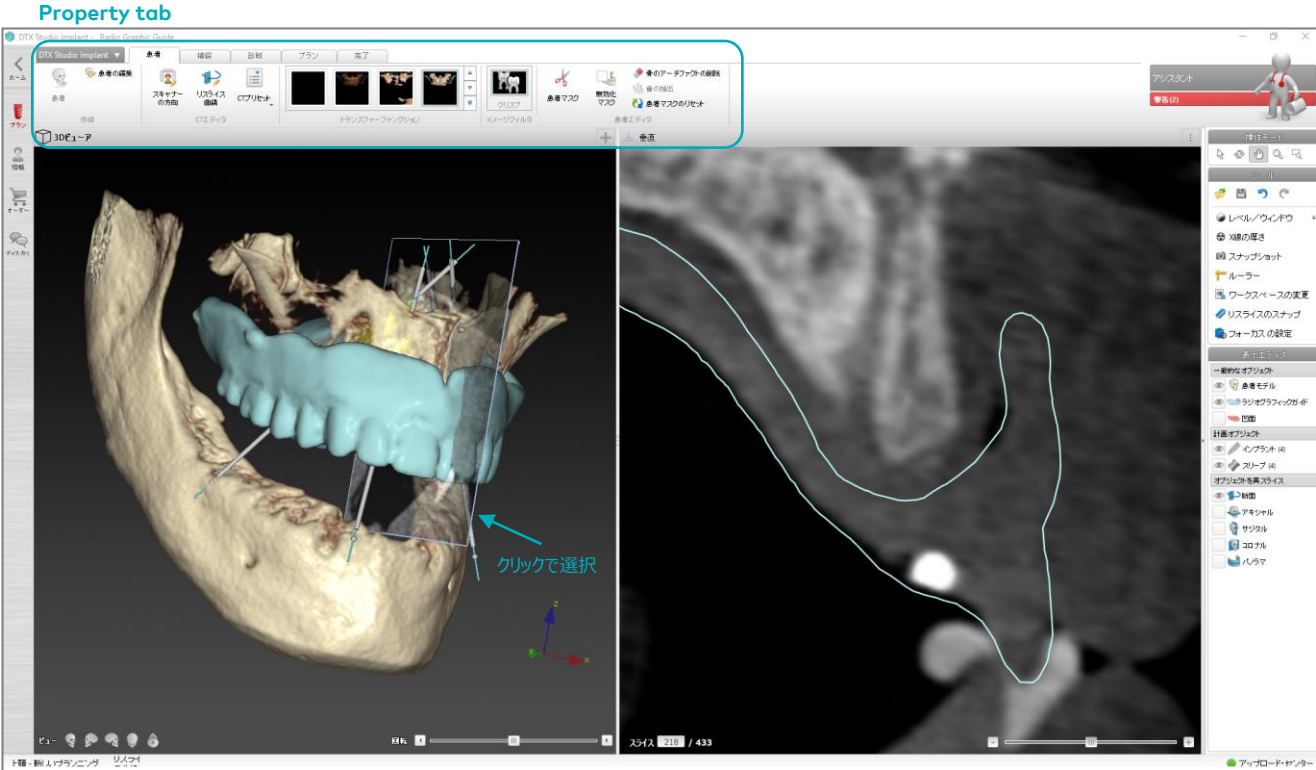
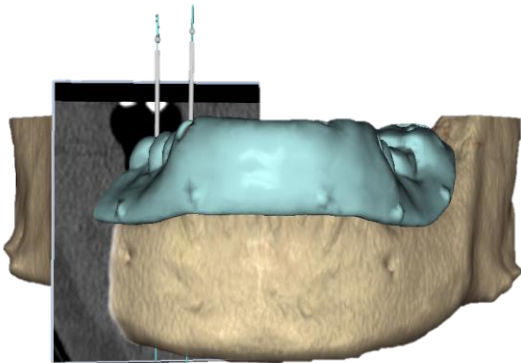
- プロパティ・パネル
詳細設定を行いません





タブ表示 (Cross-sectional / 断面)

Cross-sectionalを選択すると、メニュータブが表示されます
プロパティと同じ内容がタブ内に表示され、効率よく操作が可能です





DTX Studio™ Implant
Planning for success in implant dentistry

診断 Diagnose



検査診断

【診断】タブでは、検査診断に必要な各種測定ツールや、解剖学的構造を可視化するためのツールが備わっています





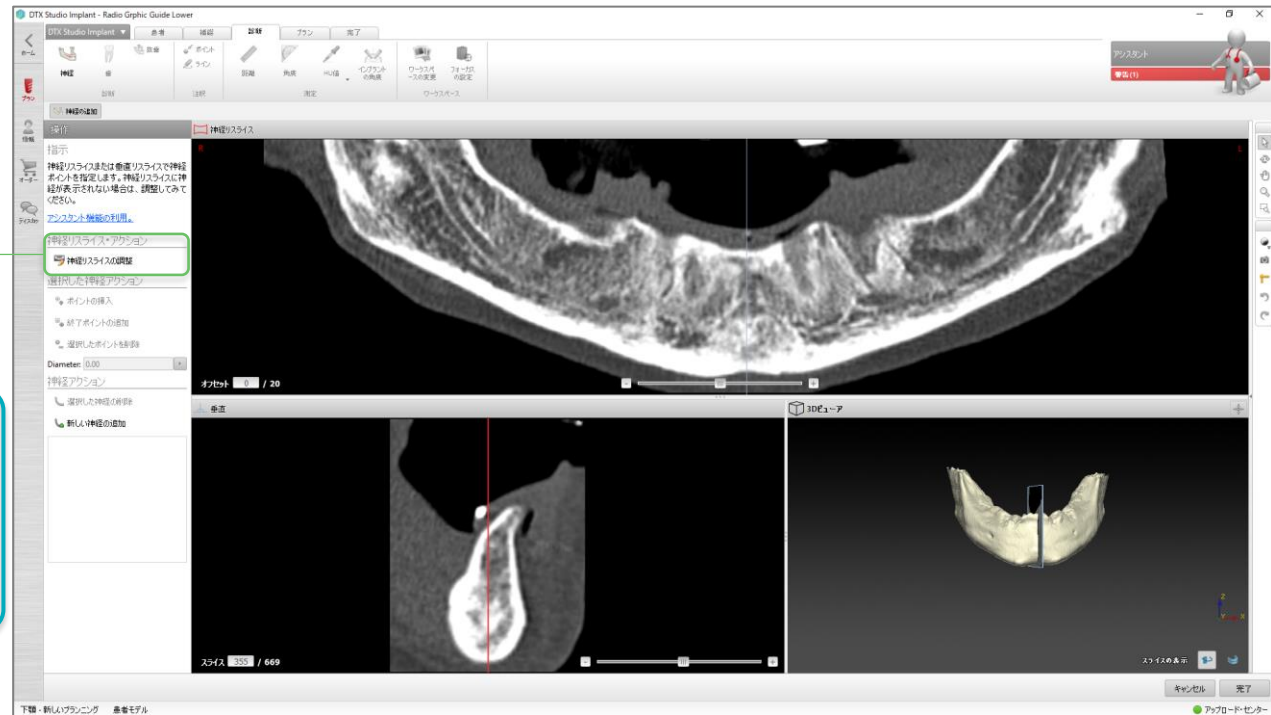
診断タブ（下歯槽神経 / Nerve）

神経の設定を行うと、計画したインプラントが神経に近接した際に、警告を発することができます
【診断】タブ内の【神経】をクリックし、神経設定画面を表示させます



神経リスライス・アクション
神経リスライスの調整

神経をクリックすると、パノラマ画面が開きます
自動でマウスカーソルが【+】になっており、神経が書き込める状態となっています
パノラマ画面に下歯槽管がしっかりと見えている状態であれば、書き込みが可能です
下歯槽管が断片的に表示されている場合は、画面上で右クリックを行い神経の書き込み状態をキャンセルします
下歯槽管の表示設定を行なうため、画面左側にある【神経リスライスの調整】をクリックします





診断タブ（下歯槽神経 / Nerve）

神経リスライス調整画面

【神経リスライスの調整】から下図の画面が表示されます
 ②画面のラインは、ポイントを移動してもリスライスカーブとはリンクしません
 この画面でポイントの追加・削除や移動を行い、下図パノラマ画面のように、
 下歯槽管のラインを設定します

神経リスライス・アクション

- ポイントの挿入
- 終了ポイントの追加
- 選択したポイントを削除
- ↔ 曲線の再指定

- ポイントの追加
- 最終ポイントの追加
- ポイントの削除
- ↔ リスライスのやり直し（削除）
- ↔ パノラマサイズの高さの設定

神経リスライスのプロパティ

高さ 50 mm

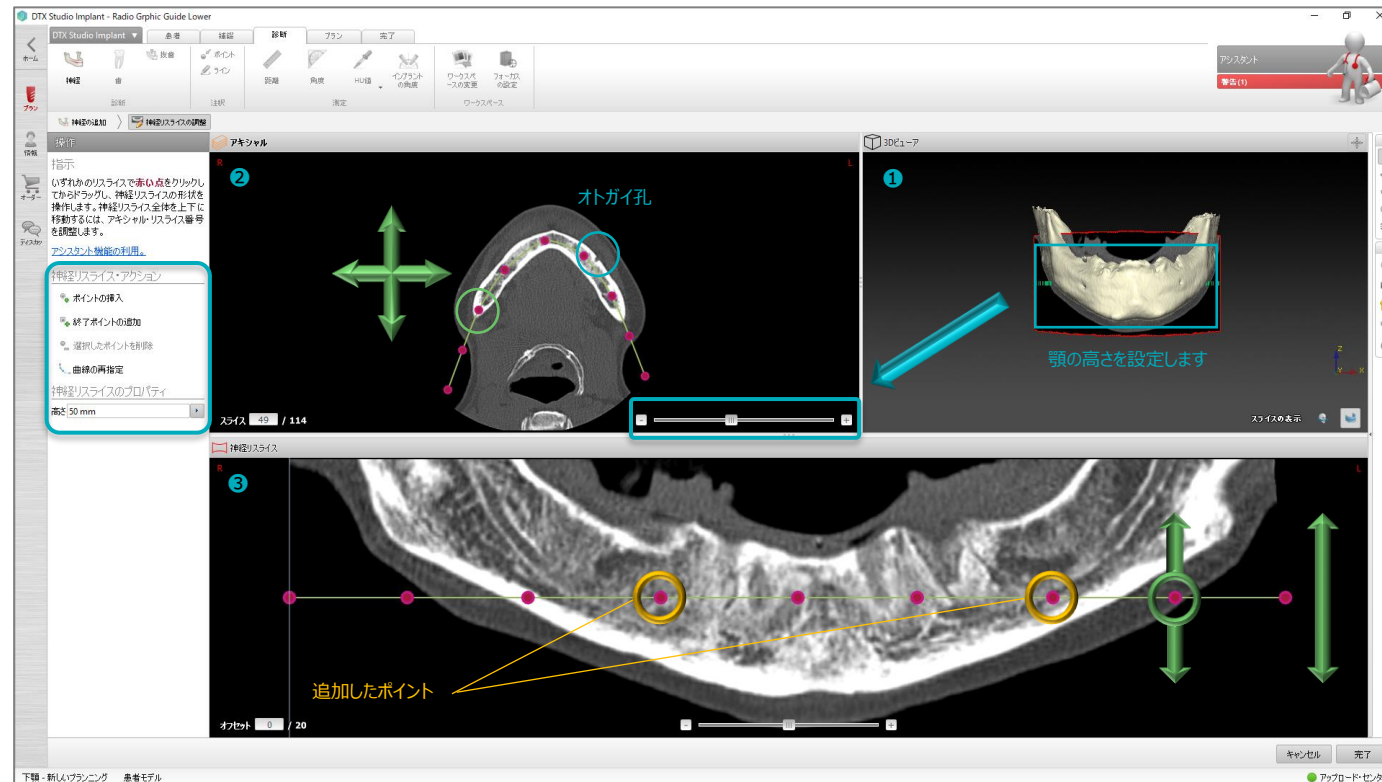
操作は、

- ②画面の slider を動かし、オトガイ孔付近を表示します
- ②画面のポイントは、骨上に配置し、ラインを設定します
- ③画面のポイントを上下に移動し、神経管を探します
下歯槽管のラインが見える状態になったら、【完了】をクリックして進みます

完了

Point

- ②画面では、近遠心および頬舌方向に移動できます
- ③画面では、頬舌方向にのみ移動できます





診断タブ（下歯槽神経 / Nerve）

神経リスライズ調整画面

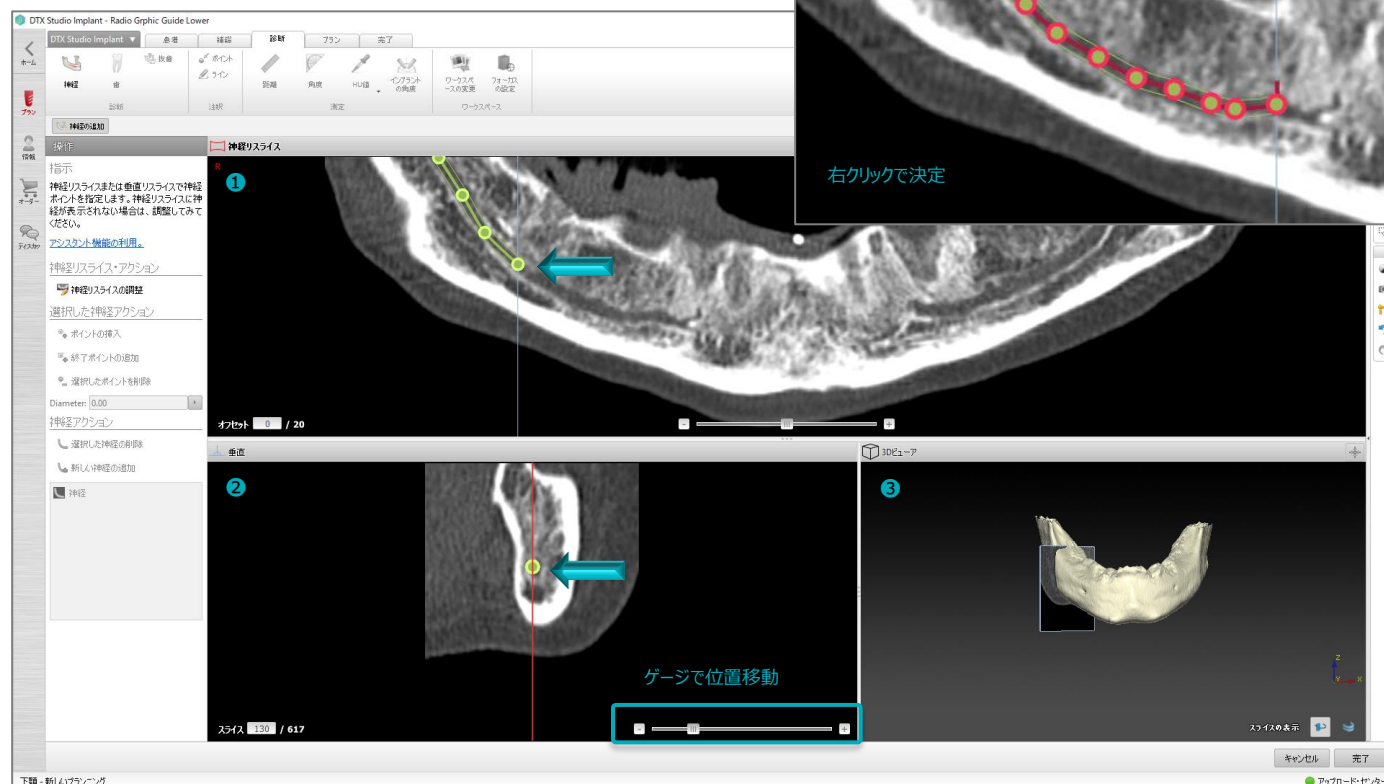
マウスマウスカーソルが+の状態になっています

+ ポイントを追加するには、神経リスライズまたは垂直リスライズをクリックします。終了するには、右クリックします。

下歯槽管上にポイントを与え、神経を描画していきます
ポイントの付与は、①および②の画面上で行います

②の画面でポイントを与えようとする場合は、右下のゲージで近遠心方向に垂直スライズの位置を移動しながらポイント付与を行います

ポイントの追記が終了したら、右クリックで決定します





診断タブ (下歯槽神経 / Nerve)

神経リスライズ調整画面

【新しい神経の追加】を選択することで、何本でも追加表示ができます
(血管などの明示にも使用できます)
細かい調整はポイントをクリック後、そのポイントをドラッグすることで移動します

ポイント修正は、画面②で行います

選択した神経アクション

- ポイントの挿入
- 終了ポイントの追加
- 選択したポイントを削除

Diameter: 2.0 mm

神経アクション

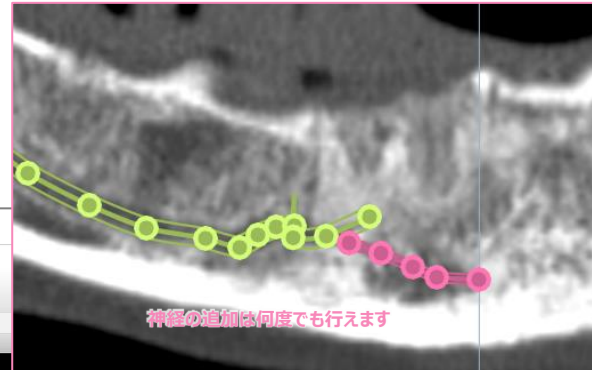
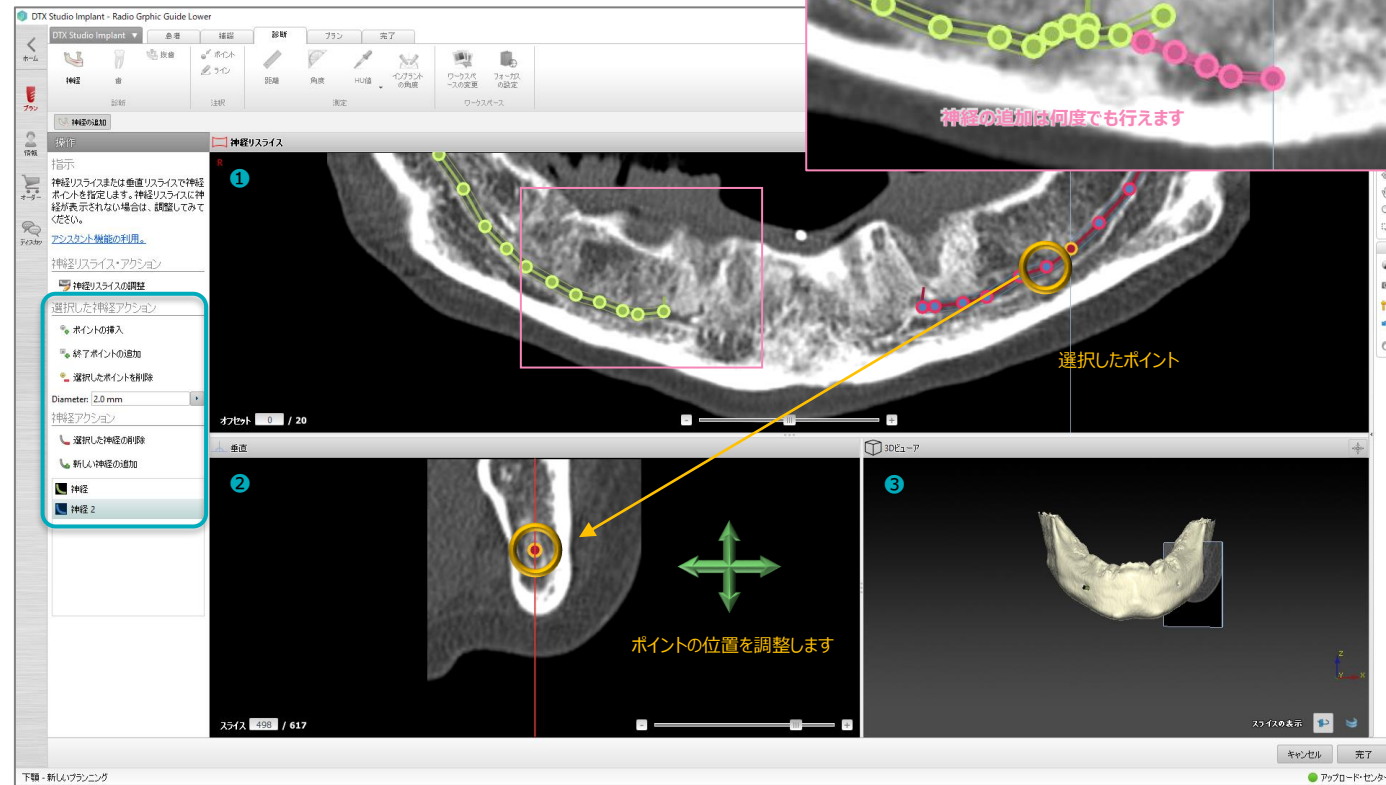
- 選択した神経の削除
- 新しい神経の追加

神経

- ポイントの追加
- 最終ポイントの追加
- ポイントの削除
- 神経の太さ (1.0mm~6.0mm)
- 明記した神経の削除 (やり直し)
- 反対側の神経の追記、または
終了した部分に追加をしたい
時などに使用します

設定が終了したら【完了】をクリックし、次に進みます

完了



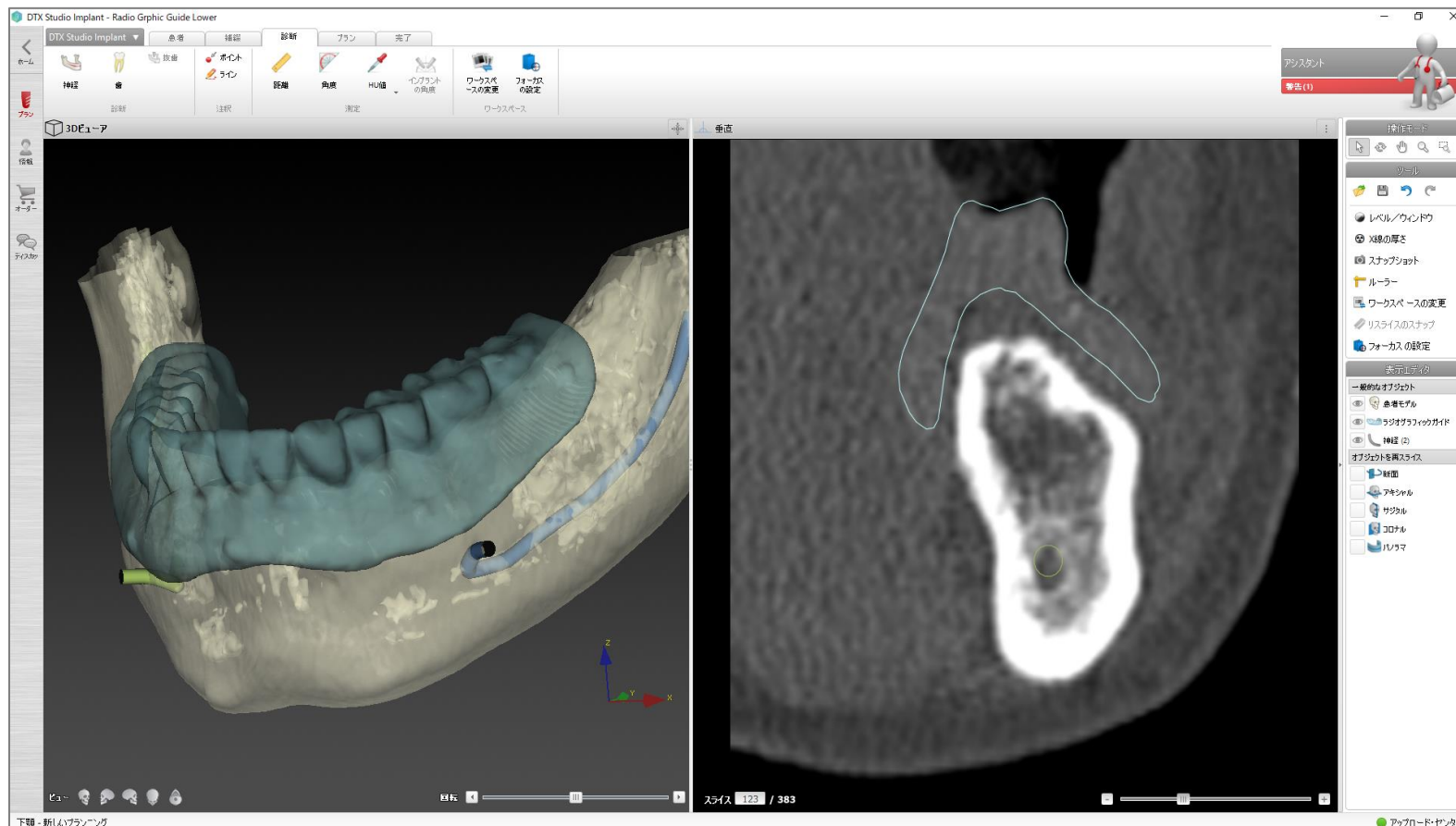
選択したポイント

ポイントの位置を調整します



診断タブ (下歯槽神経 / Nerve)

神経設定の完了



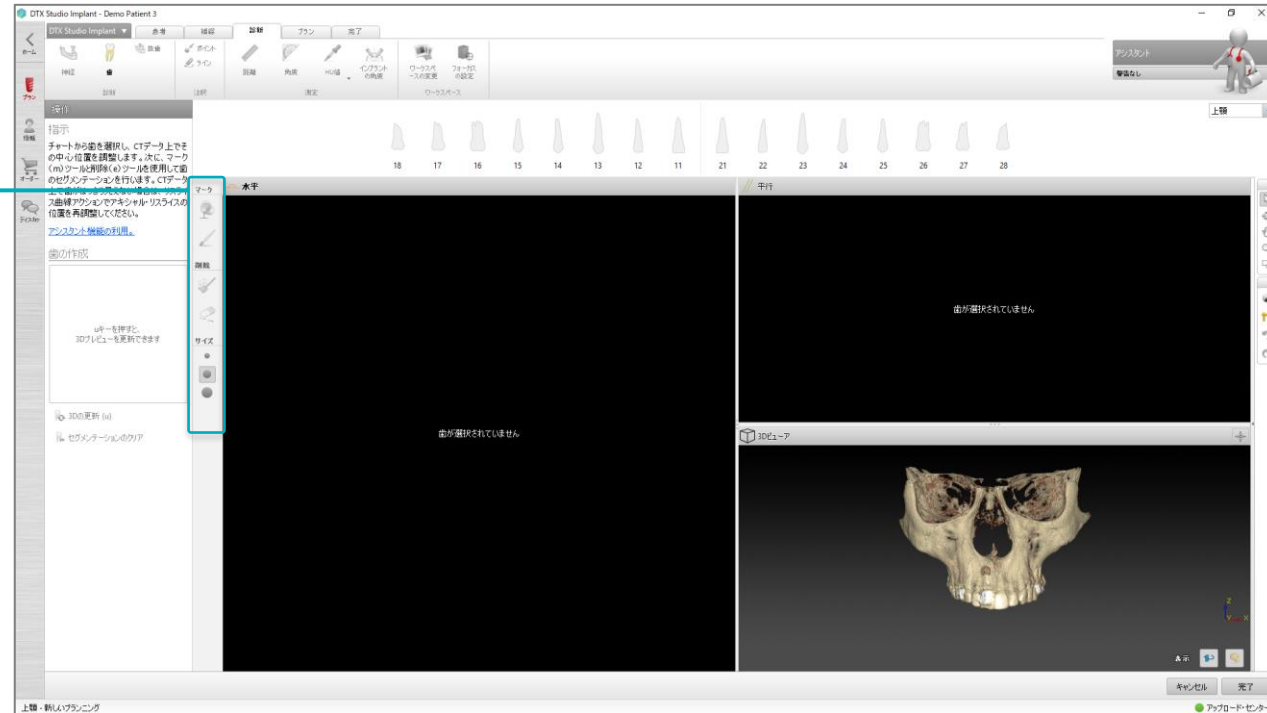


診断タブ (歯牙の3D化 / Tooth)

歯の設定を行うと、患者モデルデータから、歯牙の3Dを作成します
【診断】タブから【歯】をクリックし、歯牙設定画面を表示させます



マーク	
	大きく塗り潰す場合に、使用します クリック、ドラッグしながらマウスを動かします
	細かく塗り潰す場合に、使用します クリック、ドラッグしながらマウスを動かします
削除	
	大きな範囲を消す場合に、使用します クリック、ドラッグしながらマウスを動かします
	細かく消す場合に、使用します クリック、ドラッグしながらマウスを動かします
サイズ	
	ブラシのサイズを変更します





診断タブ (歯牙の3D化 / Tooth)

歯牙設定画面

3D表示したい歯牙を歯式からクリックし選択します

右図では、34番が選択されています

できる限り、歯牙が中心になるように、ドラッグで移動させ、ポイントの位置を調整します

ブラシやパケツのツールを使用して、34番を塗り潰していきます

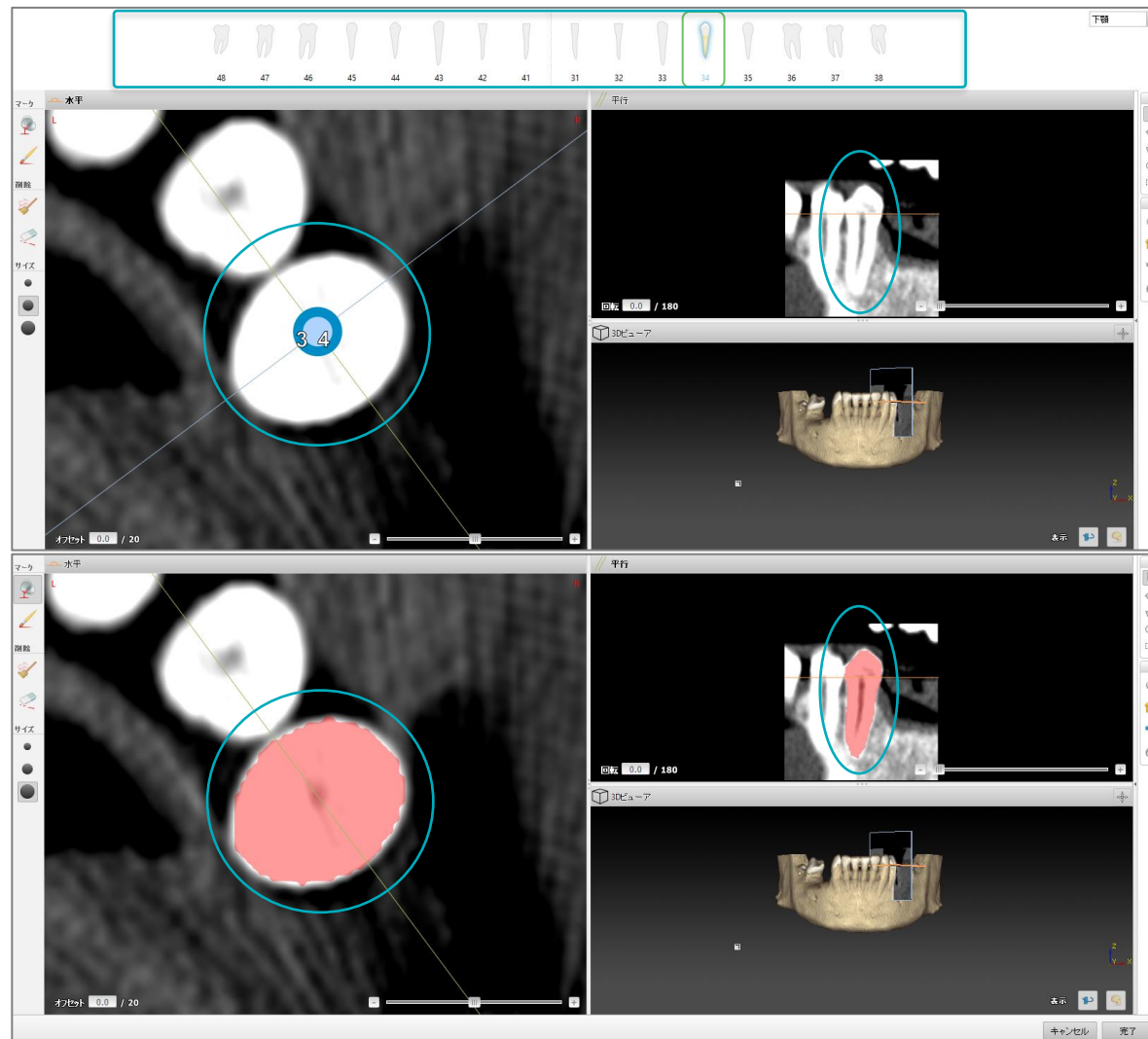
水平 / Horizontal、平行 / Parallelの画面で、マウスのスクロールを動かし上下、左右に画像を動かしながら、徐々に歯牙を塗り潰します



34

* 歯牙の画像がはっきりと表示される様に、● レベル / ウィンドウを使用し画像の調整を行ってください

歯牙の画像がはっきりしていれば、🖱️ を使用し、一番大きい塗り潰しブラシを使用することで、3D画像も綺麗になり作業もスムーズに進みます





診断タブ (歯牙の3D化 / Tooth)

歯牙設定画面

ツールを使用して、ある程度塗り潰しが終了したら、画面左側【3Dの更新 (U)】をクリックして3D画像を表示させます
修正箇所がある場合には、再度ツールを使用して作業を行った後、再度【3Dの更新 (U)】をクリックして、3D画像で確認します

操作

指示

チャートから歯を選択し、CTデータ上でその中心位置を調整します。次に、マーク(m)ツールと削除(e)ツールを使用して歯のセグメンテーションを行います。CTデータ上で歯がはっきり見えない場合は、リスライス曲線アクションでアキシャル・リスライスの位置を再調整してください。

[アシスタント機能の利用。](#)

歯の作成

uキーを押すと、
3Dプレビューを更新できます

3Dの更新 (u)

セグメンテーションのクリア



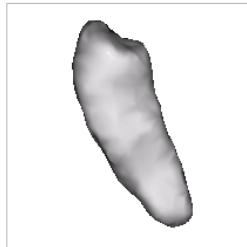
操作

指示

チャートから歯を選択し、CTデータ上でその中心位置を調整します。次に、マーク(m)ツールと削除(e)ツールを使用して歯のセグメンテーションを行います。CTデータ上で歯がはっきり見えない場合は、リスライス曲線アクションでアキシャル・リスライスの位置を再調整してください。

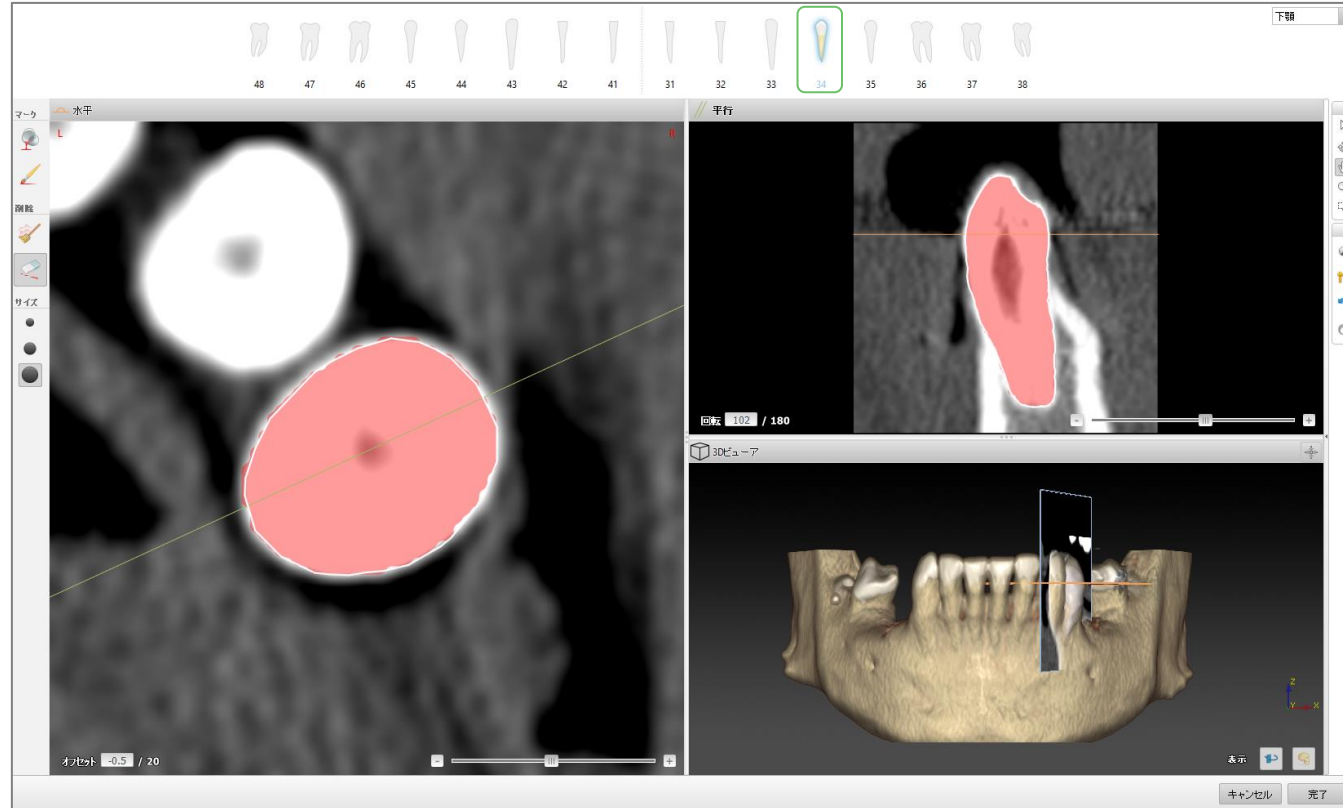
[アシスタント機能の利用。](#)

歯の作成



3Dの更新 (u)

セグメンテーションのクリア



設定が終了したら【完了】をクリックし、次に進みます

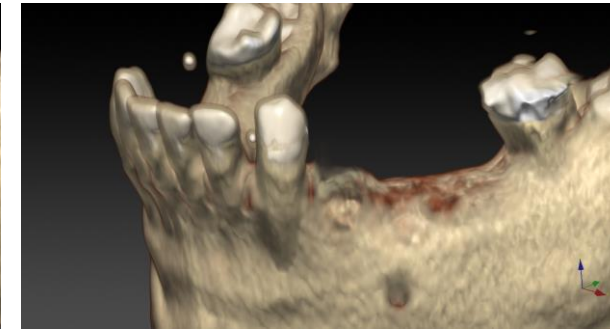
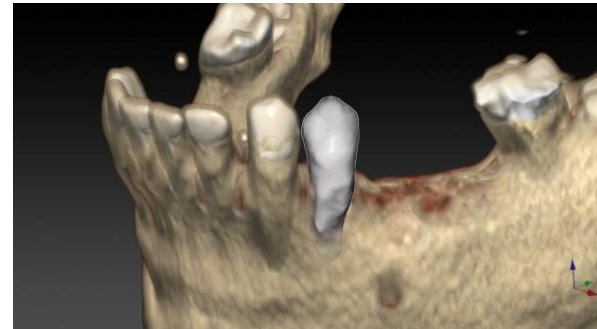
完了



患者タブ (歯牙の抽出 / Tooth)

歯の抽出を行うことで、患者モデルデータから、抜歯予定の歯牙として抜歯状態を作成することが可能です

歯牙の選択を終了すると歯牙が3Dで表示され、元の顎データと重なった状態で表示されます。3D化した歯牙データのみを表示させる場合は、【患者】タブ内の【歯の抽出】をリセットし、顎データの当該歯部分を消去します。歯牙抽出を行った場合は、画面右端の【表示エディタ】から表示、非表示選択が可能です (抜歯即時埋入などのプランニングにお奨めです)



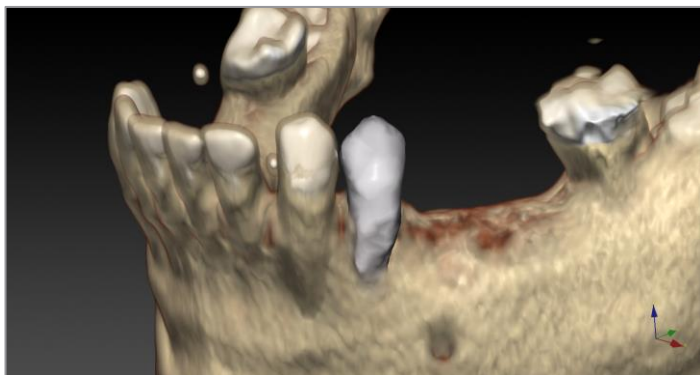
歯牙抽出を行った場合は、画面右端の【表示エディタ】から表示、非表示選択が可能です (抜歯即時埋入などのプランニングにお奨めです)

診断タブ (歯牙の抜歯 / Tooth)

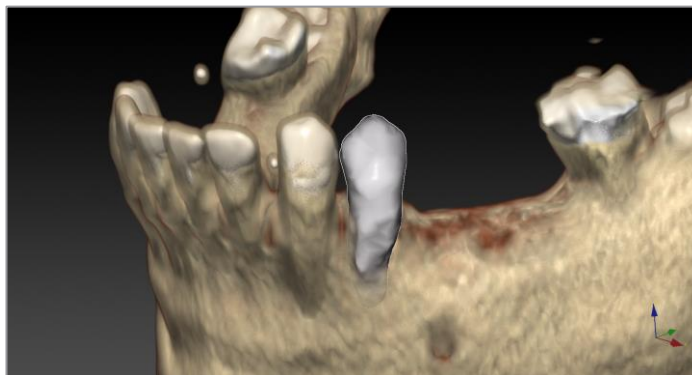


3D化した歯牙を、抜歯状態に設定します
 【診断】タブ内の【拔牙】をクリックします
 3D化した歯牙が赤く色塗られ可視化されます

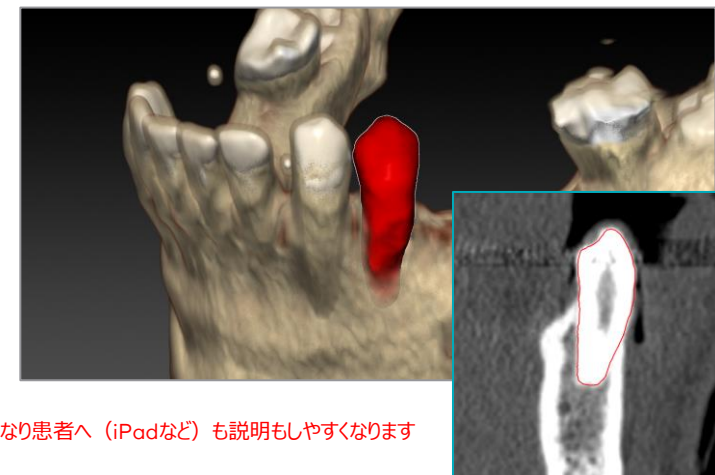
拔牙部位



拔牙部位をクリックで選択 (3D画像上)



【拔牙】をクリックすると、拔牙部位が赤色になります



拔牙部位が赤色になり、より診断がわかりやすくなり患者へ (iPadなど) も説明もしやすくなります
 (コミュニケーション・アプリ / iPad)



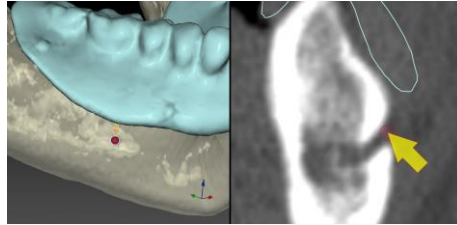
診断タブ（注釈・測定・ワークスペース）

診断各種機能

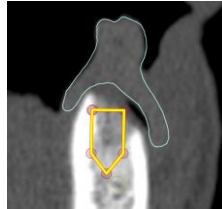
【診断】の項目では、様々な診断ツールが用意されています
顎骨データの解剖学的リスクファクター(危険因子)のチェックや、計測、ワークスペースなどの機能を使用しインプラントプランニングを導きます



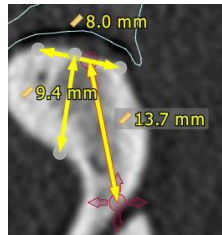
ポイント 目印として使用します
(大事な箇所など)



ライン 歯根などの明記に使用します
ポイントはクリックで設定して、右クリックで終了します

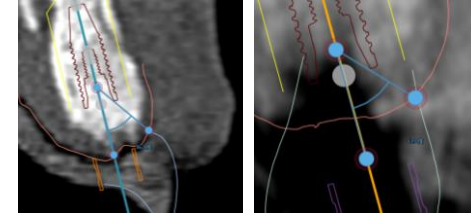


距離 計測を行います
クリックで2箇所ポイントします
設定したポイントをドラッグで、好きな方向に動かすことができます



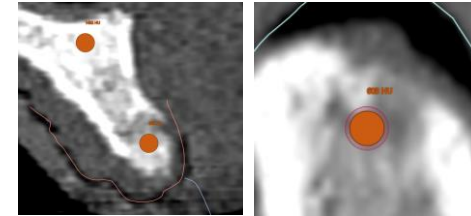
角度

角度の計測を行います
3箇所をクリックしポイントを設定します
ポイントをドラッグすれば、それぞれのポイントを動かせます



HU値

骨密度の測定
ヘリカルCTの場合は、Hu値、CBCTの場合はGray値で示されます



フォーカスの設定

フォーカスの設定は、プランニングの際に非常に便利な機能です
【フォーカスの設定】アイコンをクリックすると、カーソルが【+】になります
3D画面、パノラマ画面などで、インプラントを計画する箇所や見たい箇所をクリックすることで、リスライズが瞬時に移動します

(キーボードFキーでも同じです)



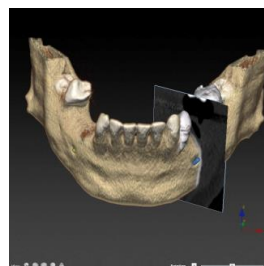
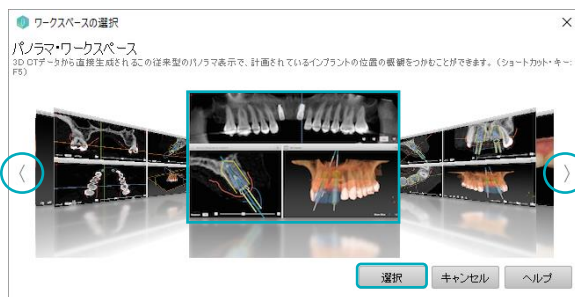
診断タブ（注釈・測定・ワークスペース）

Panoramic Workspace

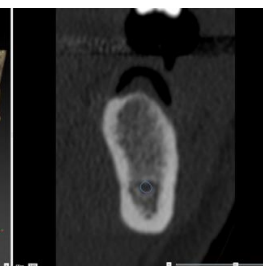
【ワークスペースの変更】アイコンをクリックすると、**図 1** が開きます
 左右<>のどちらかをクリックし、6種類のビューから診断、確認、プランニング等で使いやすいビューを選択します
 使用するビューが中心にある時に【選択】ボタンで決定します
 また、それぞれのワークスペースでは、画像の繋ぎ目にマウスを近づけると、カーソルが↔に変更されます
 ドラッグすればビューのサイズ変更が可能です



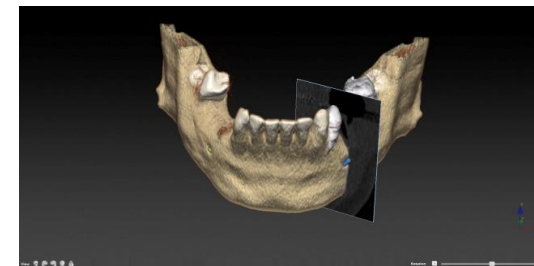
図 1



Implant Workspace

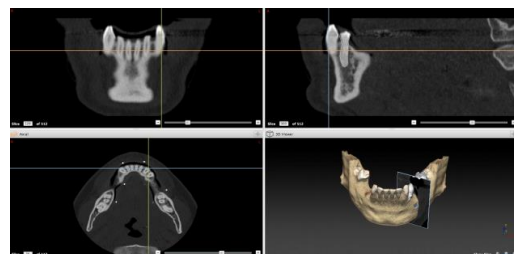


(ショートカットキー F2)



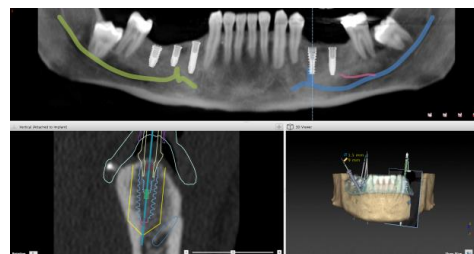
3D Workspace

(ショートカットキー F3)



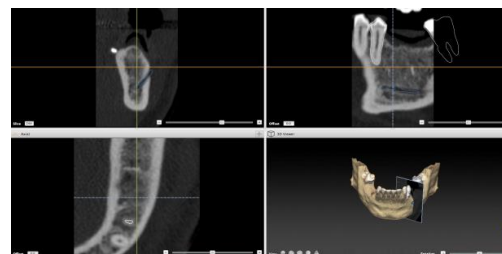
Reslice Workspace

(ショートカットキー F4)



Panoramic Workspace

(ショートカットキー F5)



Cross-sectional Workspace

(ショートカットキー F6)

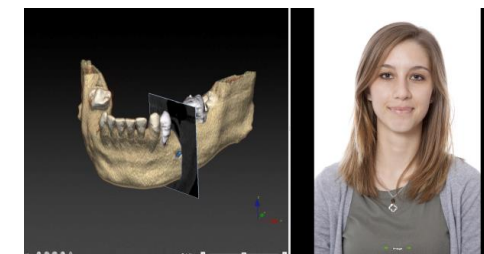


Image Workspace

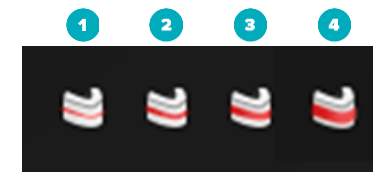
(ショートカットキー F7)



診断タブ (注釈・測定・ワークスペース)

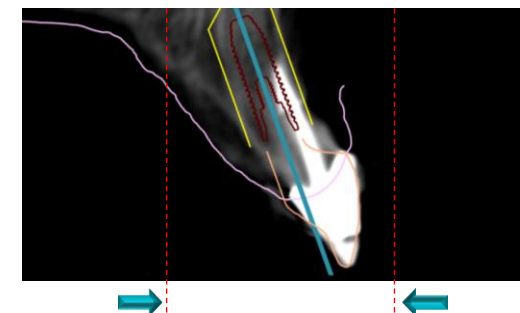
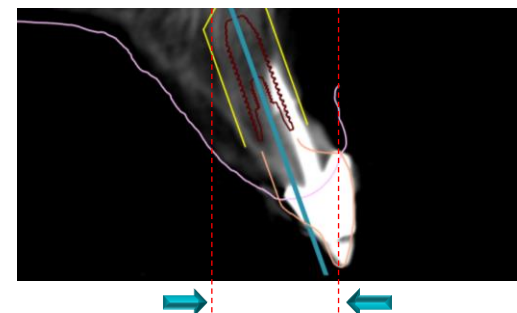
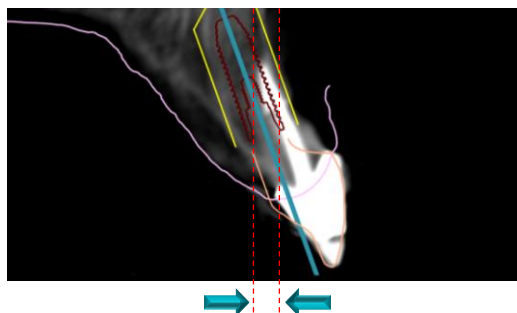
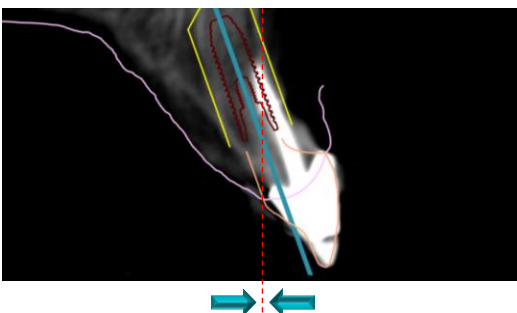
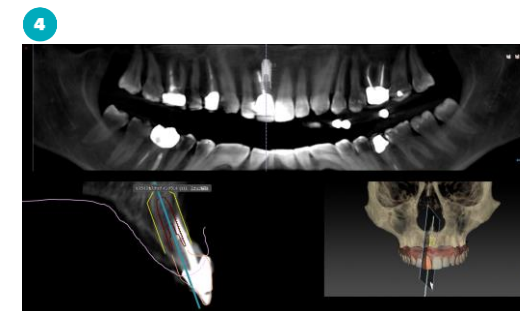
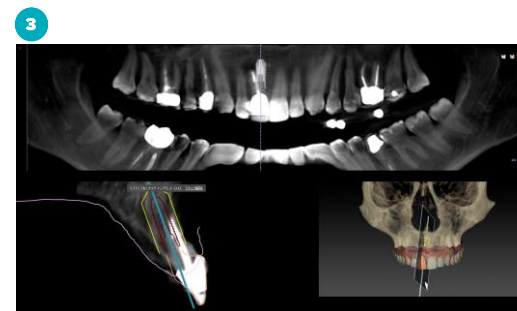
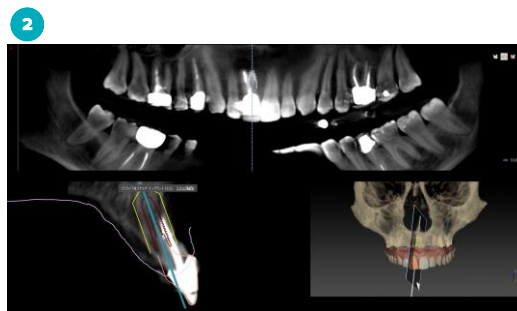
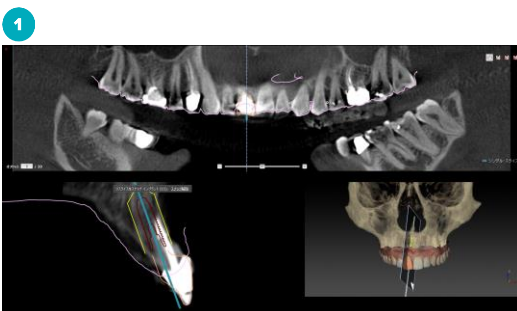
Panoramic Workspace

パノラマ画像の奥行きを変更します
画面右上のビューツールで、奥行きを選択します



ビューツール

ビューツールを使用することで、赤色の点線範囲内が可視化され、パノラマ画像に反映される奥行きが変化します





DTX Studio™ Implant
Planning for success in implant dentistry

計画 Plan

プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います



インプラントを計画します
アイコンをクリックするとカーソルが【+】に変更されます
スライス画面、パノラマ画面などで、ポイントを2点付与しインプラントの位置、方向、長さを決定します
①プラットホームの位置でクリック、②インプラント計画の方向と長さの位置でクリックします (* 図1参照)
②のポイントした位置から、自動的にインプラントの長さを計算し、プロダクトの長さが選択されます



アバットメントを装着します
但し、インプラントが計画されている状態で該当するインプラント製品を選択していないと装着(計画)できません
* 本書 P.62 参照



アンカー・ピンを設定します
アイコンをクリックするとカーソルが【+】に変更されます
スライス画面で①ラジオグラフィックガイド内でクリック、②骨内でクリックしてアンカー・ピンを計画します
* 本書 P.70 参照



複数のインプラントを平行に計画する場合に使用します
基準となる計画済インプラントを選択したのち、【並行・インプラント】のアイコンをクリックします
計画する部位のプラットホーム位置でクリックします



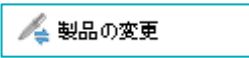
骨切削面(ボーンリダクション)を定義します
骨切削面を定義することで、すばやくインプラントの治療計画を立てることが可能です
定義した骨切削面は、X-Guideソフトウェアや、3rd Partyソフトウェアへエクスポートすることが可能です
* 本書 P.80 参照



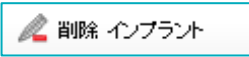
計画されたインプラントの位置を変更したい時に使用します
計画されたインプラントを選択してから、【切り取り&貼り付け】のアイコンをクリックします
変更したい部位のプラットホームの位置でクリックし計画します



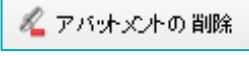
全てのインプラントを平行に計画する場合に使用します
基準となるインプラントを選択した後、【すべて並行】のアイコンをクリックします



製品の変更を行います
変更したい、インプラント、アバットメントをクリックで選択します
【製品の変更】アイコンをクリックし、変更します



インプラントを削除します

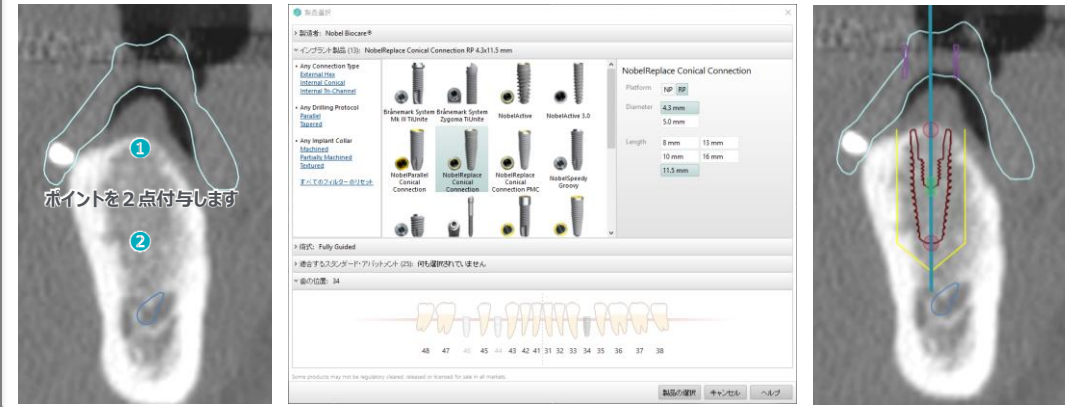


アバットメントを削除します

図-1

【インプラント】アイコンをクリックするとカーソルが【+】に変更されます

+ 先端ポイントを指定するか、右クリックしてキャンセルしてください。



それぞれのコマンドをキャンセルする場合は、右クリックで解除されます



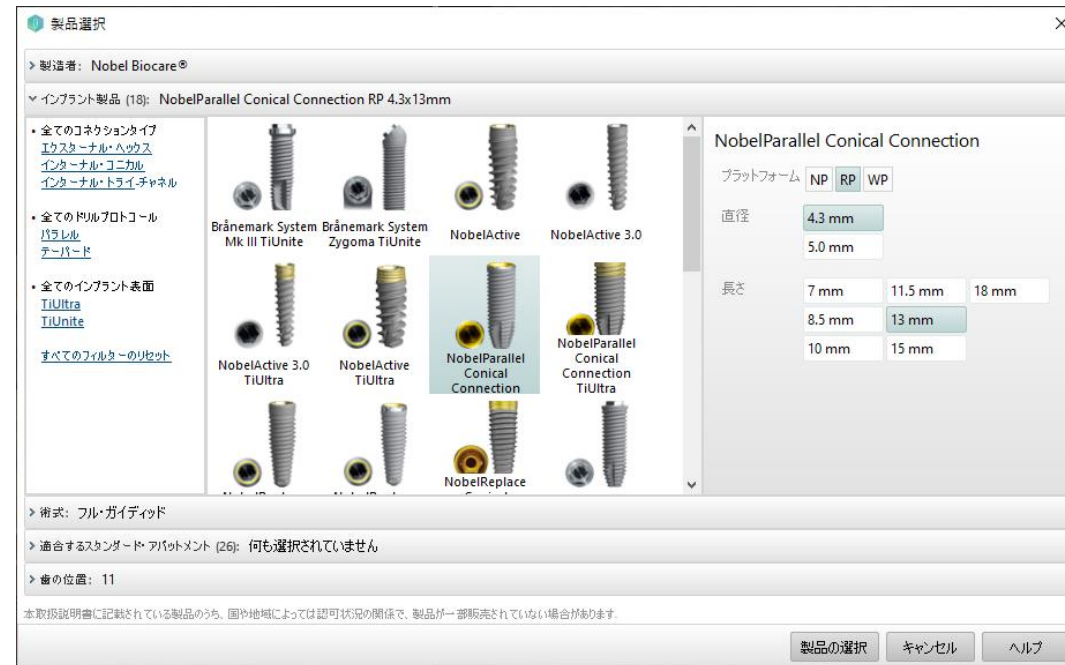
プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

製品選択 : 製造者

インプラント・メーカーの選択 (デフォルトはNobelBiocare)
* 他メーカーのインプラント・カタログを事前にインストールしていないと表示されません

製品選択 : インプラント製品

インプラントの種類選択
* インプラント種類、プラットフォーム径、直径、長さを選択します





プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

製品選択 : 術式

術式の選択

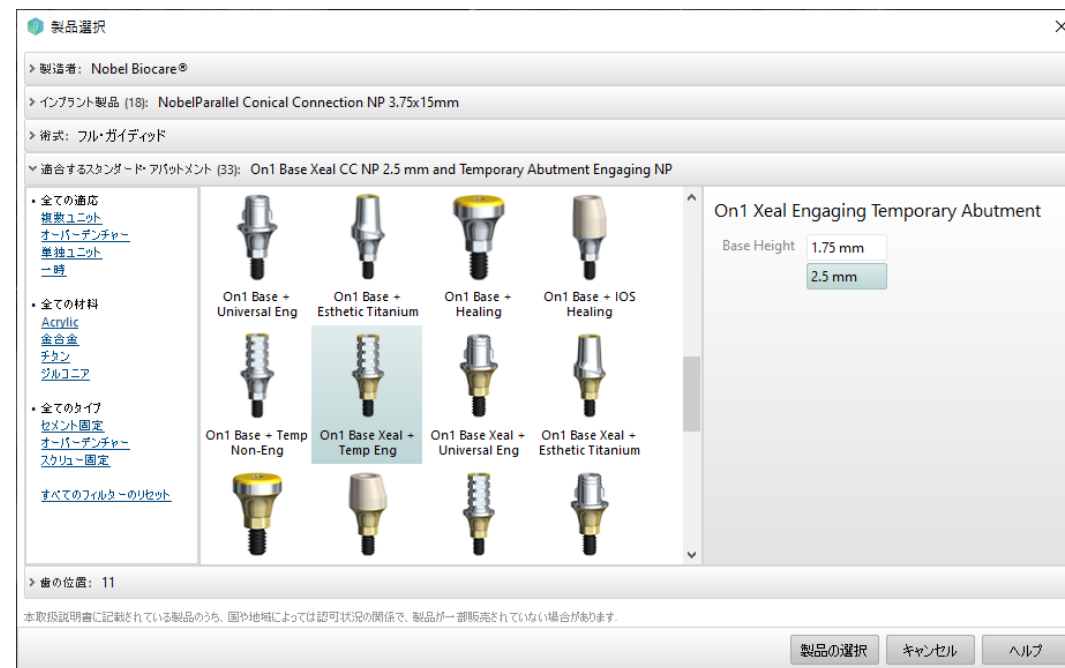
* Freehand, Fully Guided, Pilot 1.5もしくは2.0
(* NobelActive3.0のみ、Pilot1.5が選択可能です)

フル・ガイドッド ラジオグラフィックガイド使用時 & SmartFusion使用時
Pilot 2.0(1.5) ラジオグラフィックガイド使用時 & SmartFusion使用時
フリーハンド X-Guideなど

製品選択 : アバットメント製品

アバットメントの種類選択

* 選択したアバットメントにより、サイズや付属パーツの設定を行ないます
* アバットメントが表示されるのは、NobelBiocare社のインプラント製品を選択している場合のみです



プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

製品選択：歯式設定

歯の位置の選択

* 歯式が間違っている場合は、正しい歯式に変更します

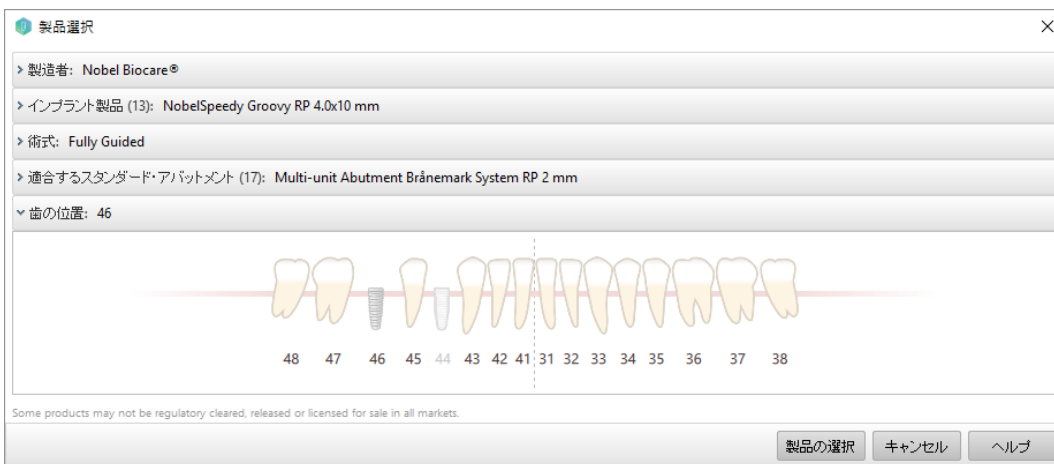
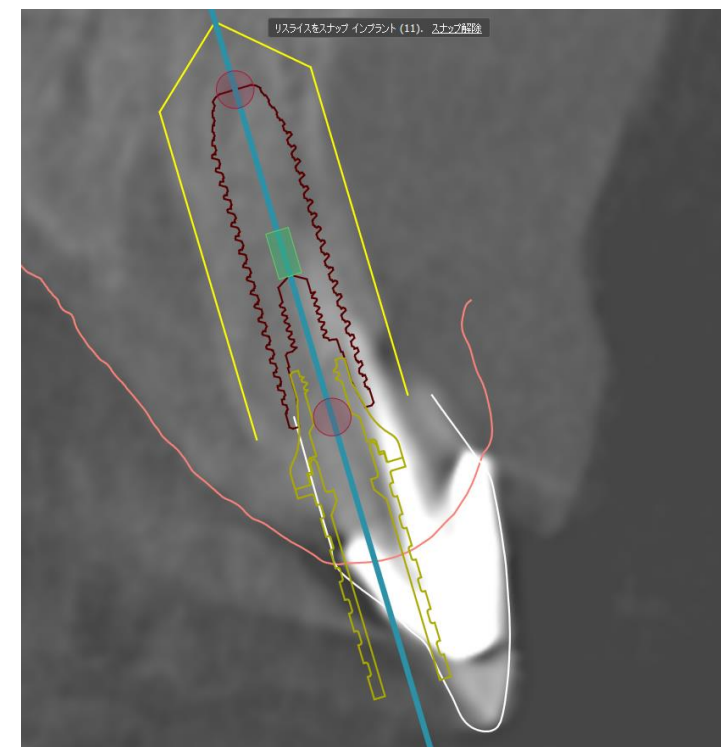
デフォルトでは、リスライス曲線で設定した3番（犬歯）、8番（第三大臼歯）を基準とし設定されます

* インプラント計画部位の歯式設定が異なっている場合、オーダー操作ができなくなることがあります



プロダクト選択後、【製品の選択】をクリックします

製品の選択





プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

インプラント計画



1

リスライスをインプラント計画予定部位に合わせます
2D画面下部のゲージで調整します

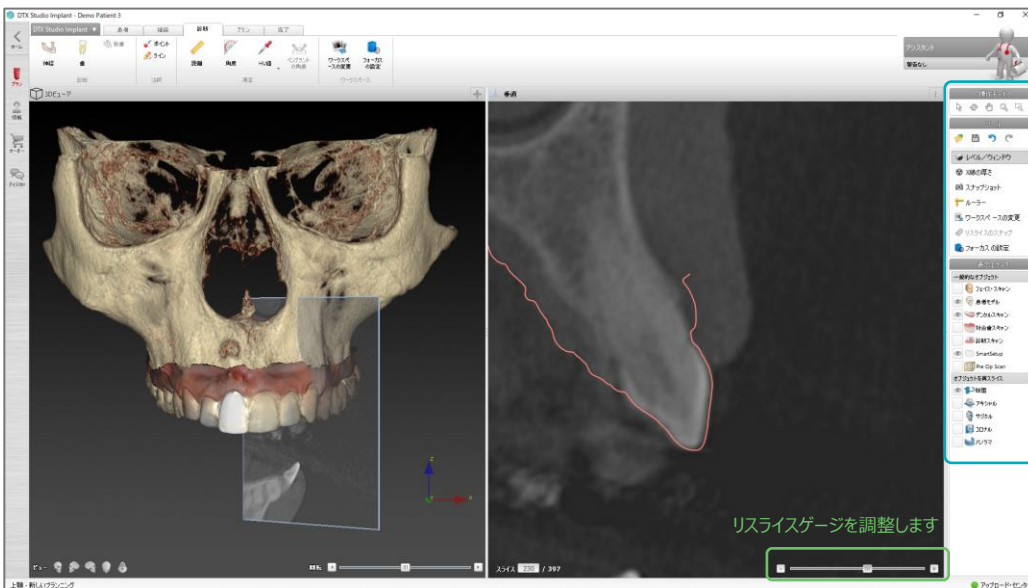
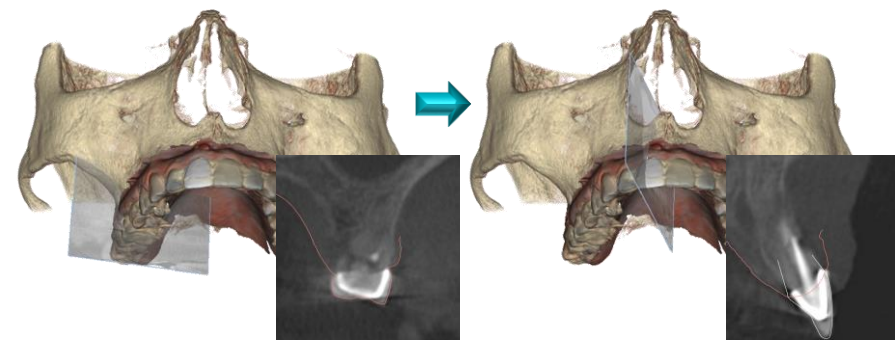
リスライスゲージ



ゲージを調整し、リスライスの位置を決定します
左右の矢印ボタンで細かく移動させることも可能です (0.5mm / クリック)

フォーカスの設定

【フォーカスの設定】をクリックし、計画したい部位をクリックすると
リスライスがインプラント計画部位へワンタッチで移動します





プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

インプラント計画



2 【プラン】タブの【インプラント】をクリックします

3 2D画面で計画するポジションのプラットホーム付近をクリックします

【インプラント】アイコンをクリックするとカーソルが【+】に変更されます

①インプラント・プラットホーム、②インプラント先端部の順でポイントが付与します

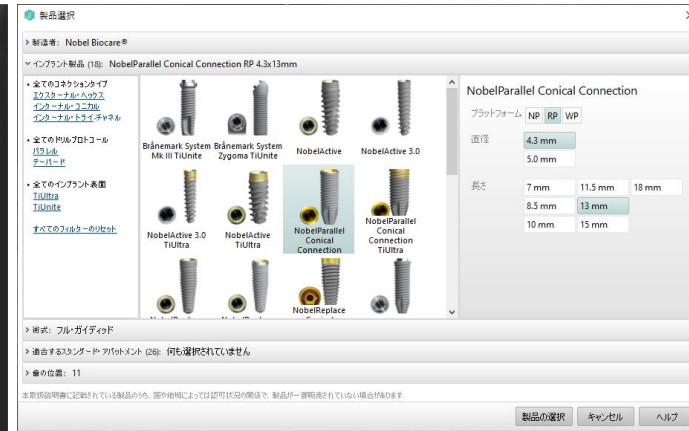
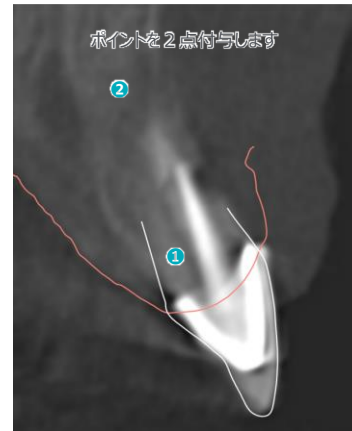
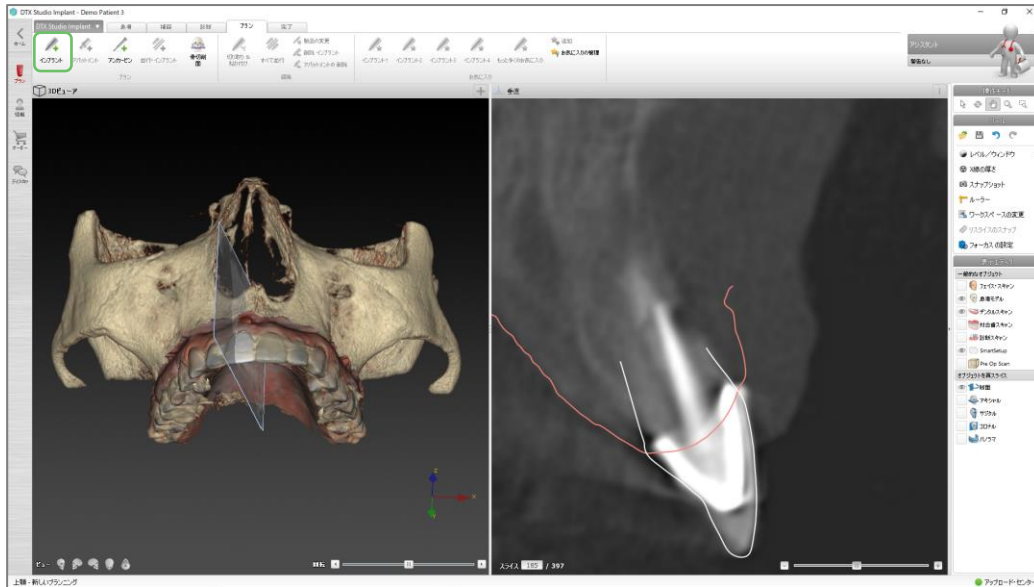
インプラントのプロダクトカタログが表示されます
インプラント種類、サイズなどを選択します
この時に、アバットメントの選択もできます



【インプラント】を選択します

【インプラント】アイコンをクリックするとカーソルが【+】に変更されます

先端ポイントを指定するか、右クリックしてキャンセルしてください。



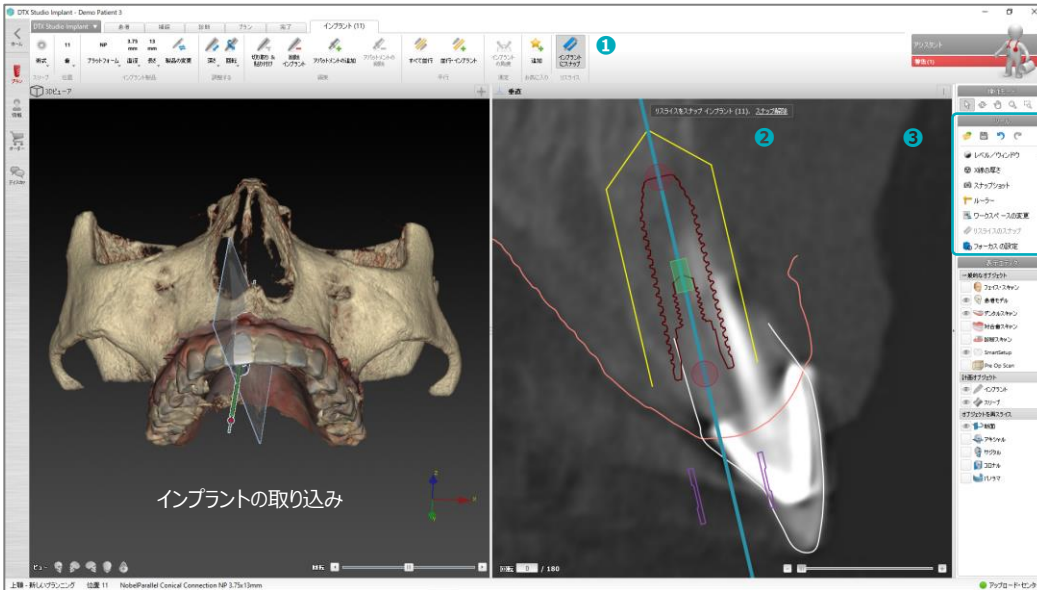


インプラント・タブ (インプラント・アバットメント)

インプラント計画

4 インプラントが取り込まれ、計画が可能な状態となります

- * この時、リスライスの移動は、インプラントを軸に回転するように動作します
- * 【タブ】メニューに【インプラント】タブが追加されます
- (【インプラント】タブは、インプラントが選択されており、編集が有効な状態のときに表示されます)



リスライスの動作を変更する場合

インプラント軸回転 ⇔ 顎堤アーチに沿って移動

インプラント選択時：

インプラント軸を中心にリスライスが回転動作を行っている

⇒ 顎堤アーチに沿わせてリスライスを移動したい

- 1 【インプラント】タブ内の【インプラントにスナップ】もしくは、2D画像内上部にある
- 2 【スナップの解除】をクリックします

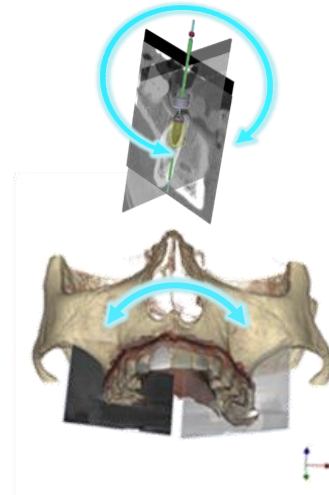
- * アンカー・ピンを計画している場合も同様です
- * 複数のオブジェクトがある場合、【次へ】をクリックすると、順番にスナップが次のオブジェクトへ移動します

インプラント未選択時：

リスライスの動作が顎堤のアーチに沿って移動を行っている

⇒ インプラント軸を中心に回転動作を行いたい

画面右のツールメニューから、3 【リスライスのスナップ】をクリックします

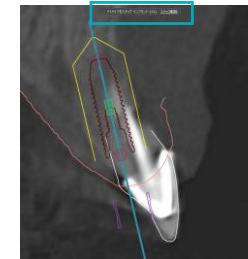


1

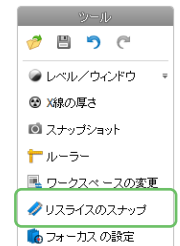


2

リスライスをスナップ インプラント (45). スナップ解除



3



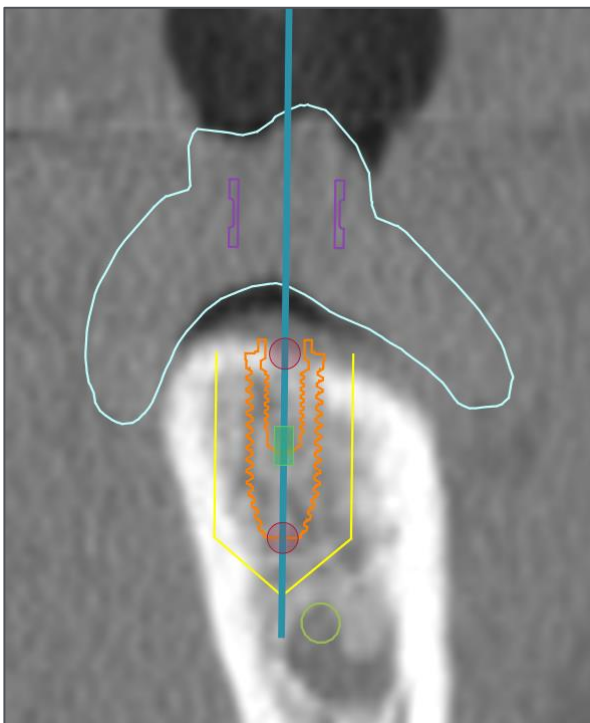


インプラント・タブ (インプラント・アバットメント)
インプラント計画



NOTE

警告時の設定



インプラントが取り込まれた際、インプラントの外形線が黄色になっている場合は、計画した神経や歯牙と近接、もしくは接触しています

警告設定を確認し、インプラントの計画を変更・調整します

* 警告の設定に関しては
DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル・準備・データ読込編 P,27 参照



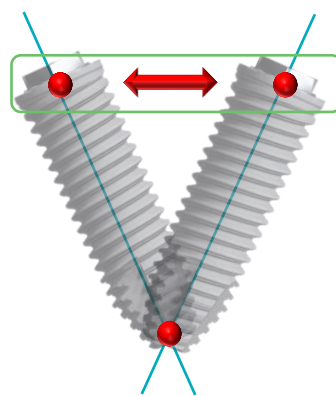
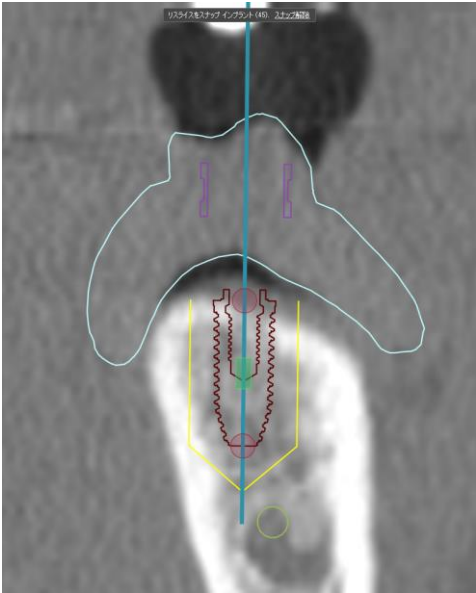


インプラント・タブ (インプラント・アバットメント)

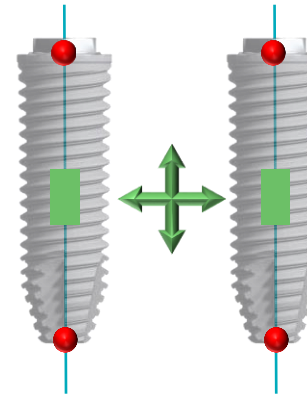
インプラント計画



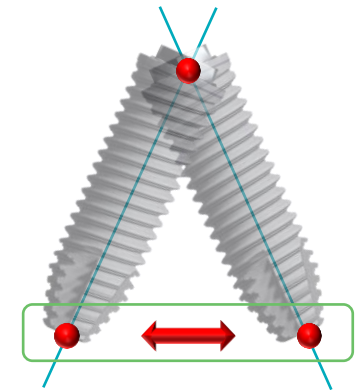
- 5 インプラントの位置を修正します
インプラント位置の修正は、インプラントの両端に表示のある、2つのポイント【●】と、中心にある【■】をそれぞれドラッグし、修正したい方向に動かします



プラットフォーム側の移動
プラットフォーム側の赤色のポイントをつかみ、インプラント先端を中心に、インプラントのプラットフォームの位置を変更します



インプラント体の移動
中央に表示されている緑色のポイントをつかみ、インプラントの位置を上下左右へ自由に移動できます



先端側の移動
インプラント先端側の赤色のポイントをつかみ、インプラント・プラットフォームを中心に、インプラント先端の位置を変更します

* 複数のインプラントを計画する場合は、STEP 1 ~ 5 を繰り返します



インプラント・タブ (インプラント・アバットメント)

インプラント計画



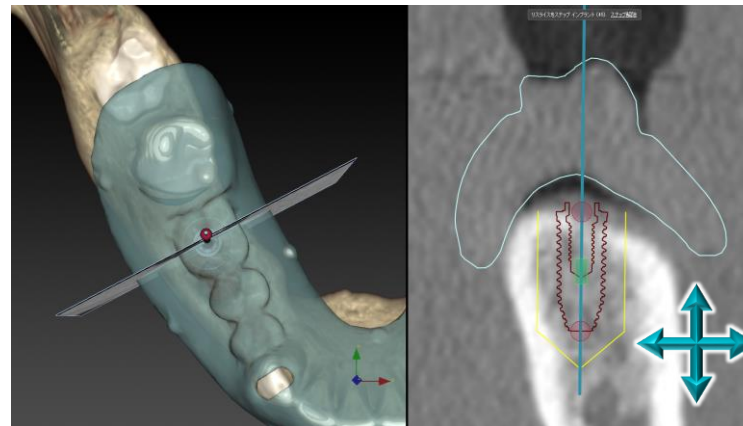
リスライス・スナップはインプラントが計画されると、リスライスは顎堤のアーチに沿った移動から、自動的にインプラント・スナップ (インプラント軸の軸を中心とした回転移動) になります。リスライス画面の下にある、スライダーバーを調整し左から右まで180°回転させ、骨内の情報を確認しながらインプラントの位置を微調整します。

近心、遠心方向や斜めの方向など、3D画像上でインプラントをドラッグして動かすこともできますが、この方法では微妙な位置の修正が難しく、動かした後も骨内にインプラントが位置しているかの確認が必要です。

手順

1. インプラント・スナップの状態、移動させたい部位にリスライスの面が重なるように回転させます (3D画像の場合は、咬合面から確認)
2. 2D画像にてインプラントの移動を行います (アンカー・ピン・スナップも同様に行い、アンカー・ピンの位置修正が可能です)

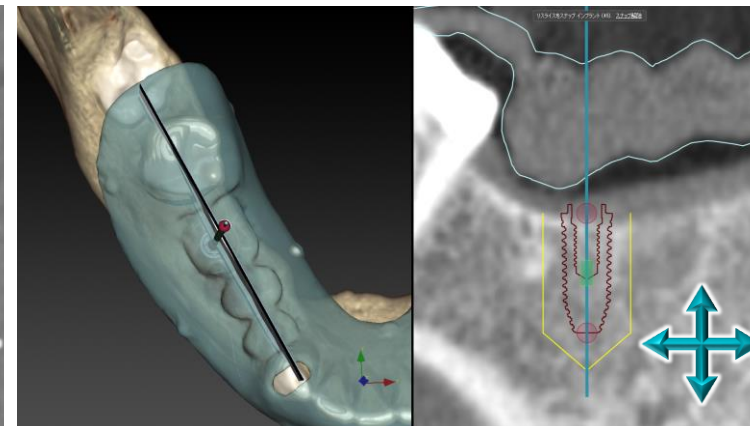
インプラントを頬舌または、上下に移動させるリスライスの方向



近遠心方向には移動できません

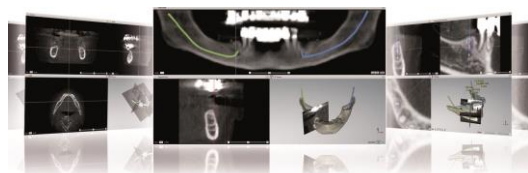
移動させたい方向に、リスライスの面を合わせておくことが重要です

インプラントを近遠心または、上下に移動させるリスライスの方向



頬舌方向には移動できません

Point



ツールメニュー内の【ワークスペースの変更】から様々なビューでインプラントの調整が可能です




インプラント・タブ (インプラント・アバットメント)

インプラント計画


【インプラント】タブの項目では、計画したインプラントの設定や、アバットメントの設計画を行うツールが用意されています





表示されている機能は、インプラント選択後、右クリックで表示されるプロパティ機能と同じです


- 

術式の選択：スリーブが変更できます
 フリーハンド X-Guideなど
 フル・ガイドッド ラジオグラフィックガイド使用時 & SmartFusion使用時
 Pilot 2.0 (1.5) ラジオグラフィックガイド使用時 & Smart Fusion使用時
- 

インプラント埋入計画ポジションの歯式設定
 デフォルトでは、リスライス曲線で設定した3番 (犬歯) と8番 (第三大臼歯) を基準とし、設定されます
- 

インプラントプラットフォームの変更 (NP.RP.WP.6.0)
 * 選択した成否により異なります
- 

インプラント体直径の変更
- 

インプラント長さの変更
- 

インプラントやアバットメントの種類を変更

- 

インプラント体の計画深度の調整
 矢印1クリックで0.1mm
- 

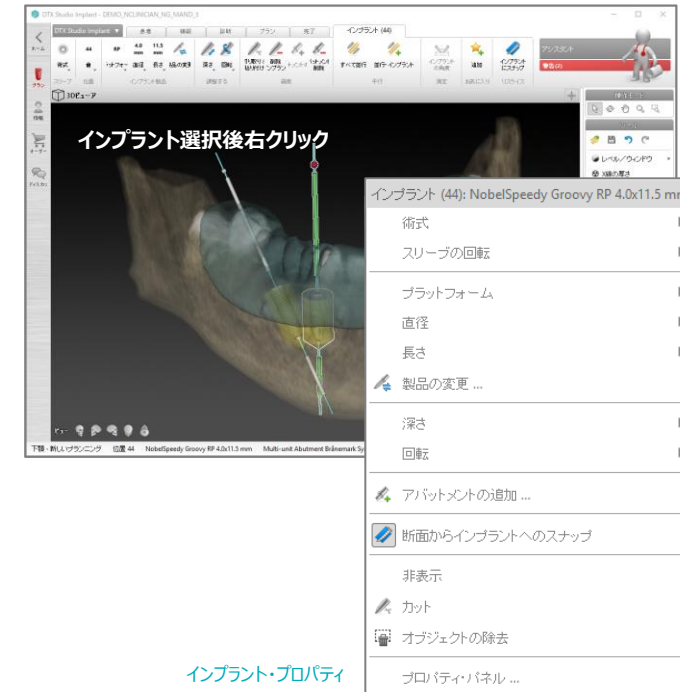
インプラント体を回転させる
 角度付アバットメント装着後の調整
- 

インプラント体を切り取り別の位置に貼付けます
- 

インプラントの削除
- 

アバットメントの計画
- 

アバットメントの削除



インプラント・プロパティ



インプラント・タブ (インプラント・アバットメント)

インプラント計画:

【インプラント】タブの項目では、計画したインプラントの設定や、アバットメントの計画を行うツールが用意されています



表示されている機能は、インプラント選択後右クリックで表示プロパティには表示されない機能です



全てのインプラントを平行に計画する際に使用



複数のインプラントを平行に計画する際に使用



インプラントと他のインプラント間の角度計測及びアバットメント間の角度測定を行う際に使用

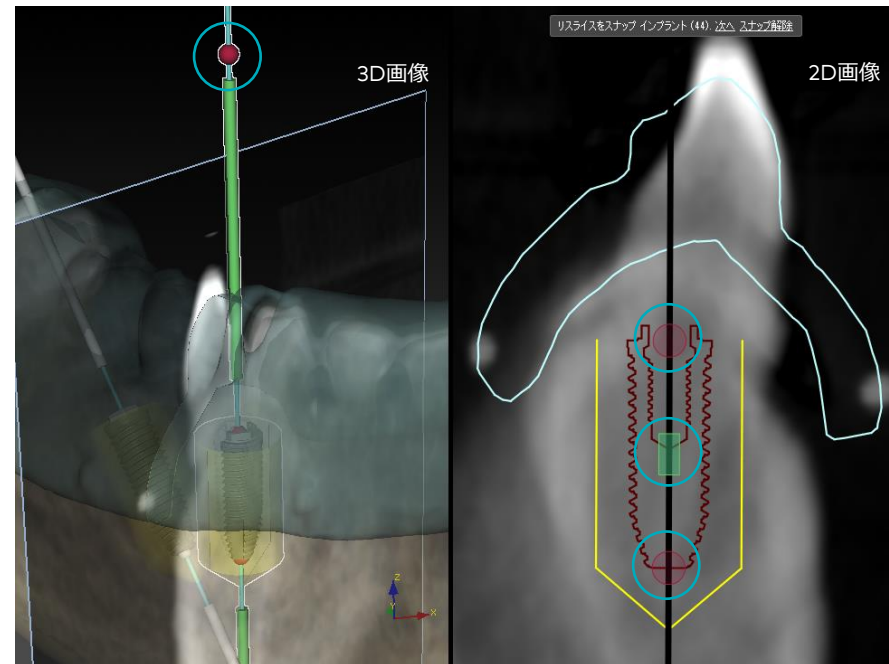


お気に入りへ追加する



インプラント中心の軸面に表示されています

右クリック・プロパティは、インプラントを選択している場合のみ表示されます (インプラントを動かせる状態)





インプラント・タブ (インプラント・アバットメント)

インプラント計画 : 術式

【術式】では、ガイドッド・サージェリーの術式タイプを変更します



術式の選択 : スリーブが変更できます
 フリーハンド X-Guideなど
 フル・ガイドッド ラジオグラフィックガイド使用時 & SmartFusion使用時
 Pilot 2.0 (1.5) ラジオグラフィックガイド使用時 & Smart Fusion使用時



フリーハンド

X-Guideを使用しての手術を予定する場合など

✓ フル・ガイドッド

インプラント埋入までのサポート (従来型)

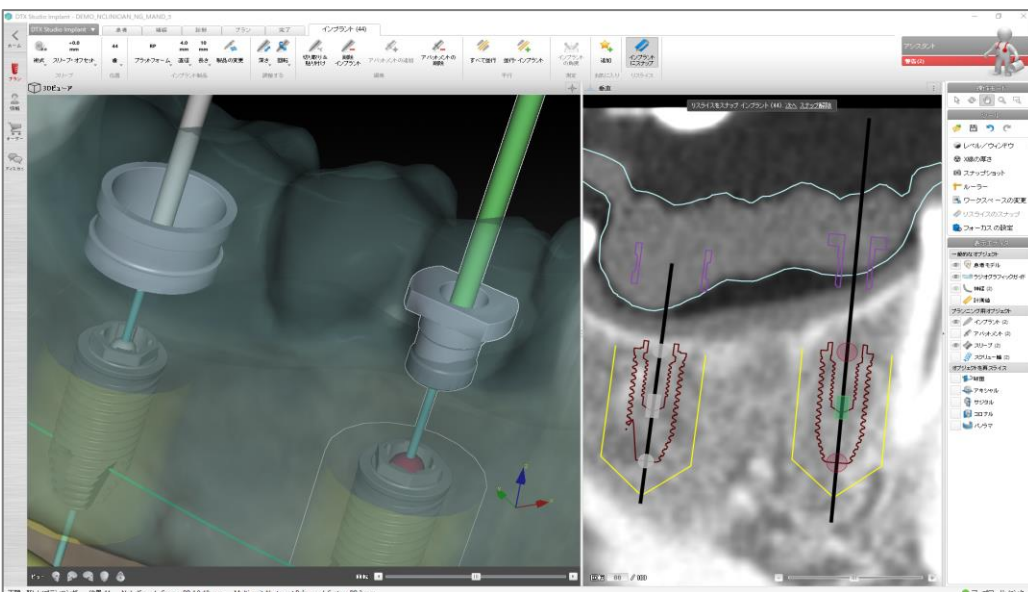
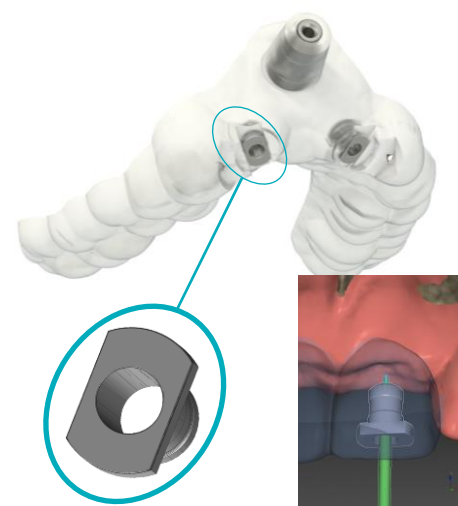
Pilot 2.0

2 mmのツイストドリルまでのサポート

* NobelActive3.0を計画した場合は、1.5mm もしくは、2.0mmのパイロット・スリーブが選択可能

Pilot Drill

Fully guided





インプラント・タブ (インプラント・アバットメント)

インプラント計画 : 術式 - スリーブ・オフセット

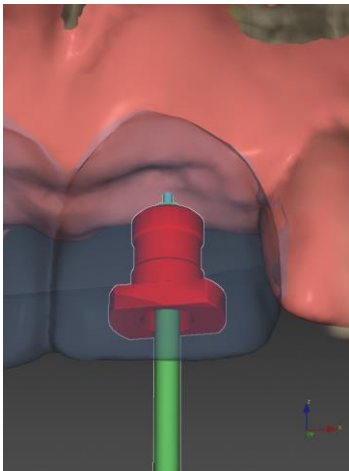
パイロット・スリーブを選択した場合は、【インプラント】タブ項目に
【スリーブ・オフセット】が追加されます
オフセット・ゲージでスリーブの高さを変更します

2.0mmおよび1.5mmのパイロット・スリーブ設定後、スリーブが赤くなっている場合は、
パイロット・スリーブがデンタル・キャストに接触しているため、サージカルテンプレートのオーダー
ができません

インプラント自体を浅く計画するか、スリーブをオフセットさせます



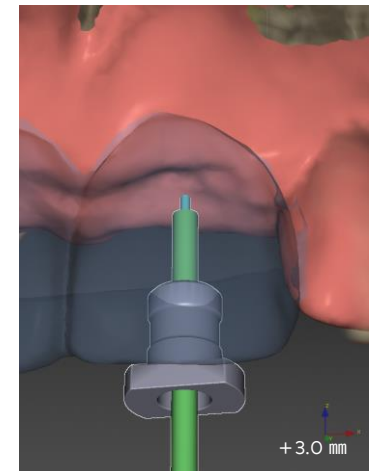
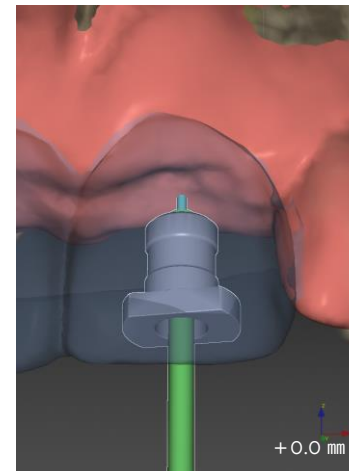
オフセット機能では、初期の位置からスリーブを低く設定することはできません



術式から、Pilot2.0(1.5)を選択
Pilot2.0(1.5)では、選択したインプラントの最長サイズ以外を選択している場合
に、スリーブ・オフセット機能が使用できます
この機能は埋入深度が深く、歯肉粘膜にスリーブが接触してしまう、
もしくは歯肉粘膜内に入り込んでしまう場合などに使用します

例 15mmのインプラントを埋入する場合
ツイストドリルの深度ゲージは
ストレート系 : 7,10,13,15,18mm
テーパード系 : 8,10,11.5,13,16mm
になっています

このケース (ストレート系) では、スリーブを 3 mm オフセットし、パイロットドリルを
18mmのラインまでドリリングし、その後サージカルテンプレートを外します
以降のドリルは15mmのラインまで形成し、マニュアルに沿った術式にて15mmの
インプラントを埋入します





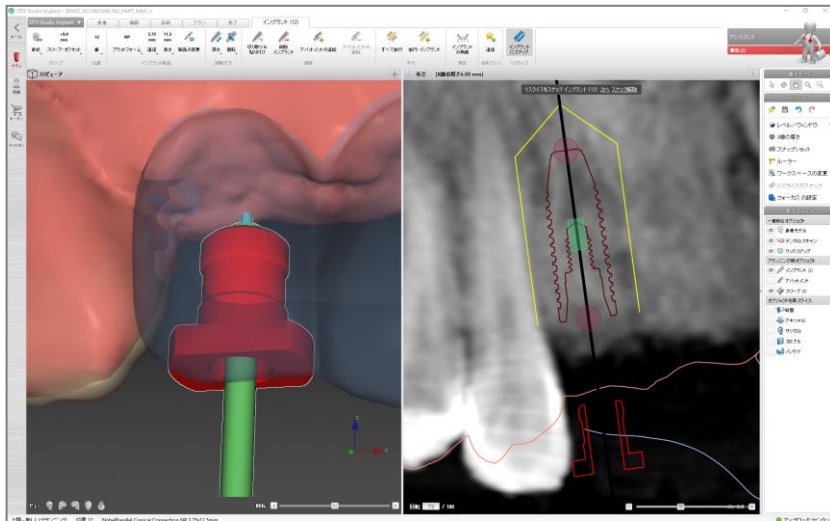
インプラント・タブ (インプラント・アバットメント)

インプラント計画：術式 - スリーブ・回転

パイロット・スリーブを選択した場合は、選択されたインプラントのプロパティからスリーブの回転軸を変更します

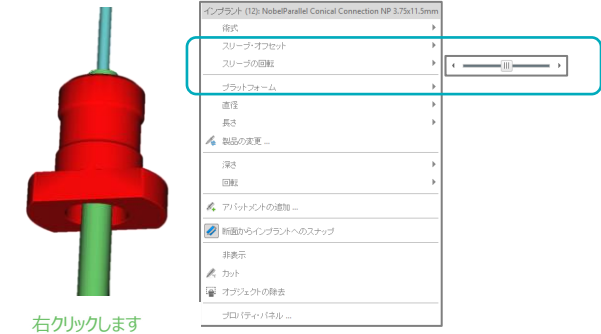
2.0mmおよび1.5mmのパイロット・スリーブ設定後、スリーブが赤くなっている場合は、パイロット・スリーブが隣在歯などに接触しているため、サージカルテンプレートのオーダーができません

スリーブを回転させます



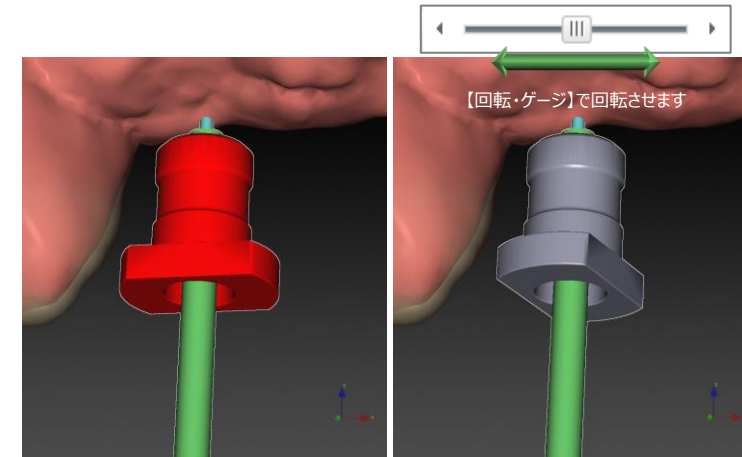
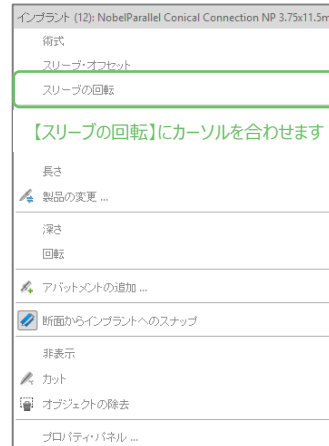
インプラントを選択し、右クリックします
インプラント・プロパティから【スリーブの回転】にカーソルを合わせます

回転ゲージを操作し、スリーブを回転させます



右クリックします

インプラント・プロパティ





インプラント・タブ (インプラント・アバットメント)

インプラント計画：並行

複数のインプラントを平行に埋入計画を立てる場合、
【インプラント】タブ内の【並行】もしくは【並行・インプラント】から設定します



【並行・インプラント】アイコンをクリックするとカーソルが【+】に変更されます

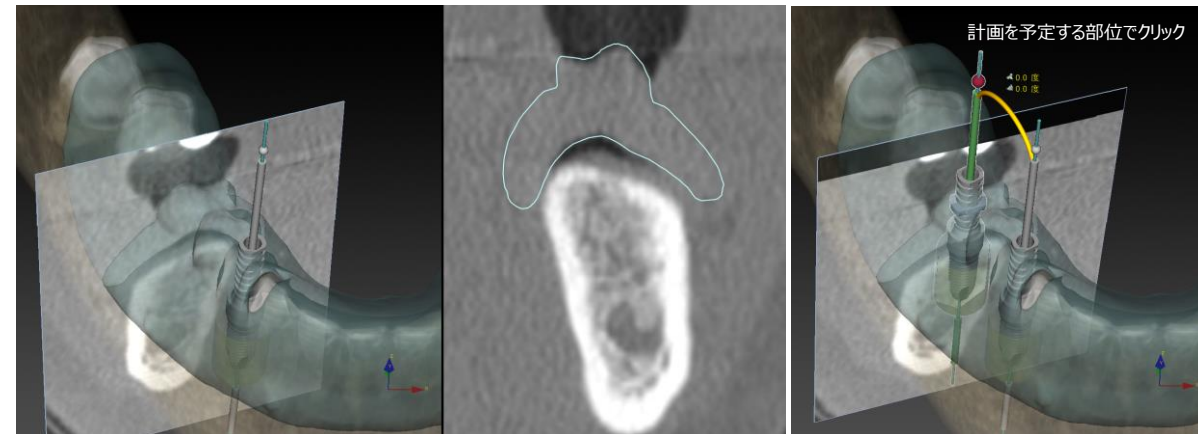
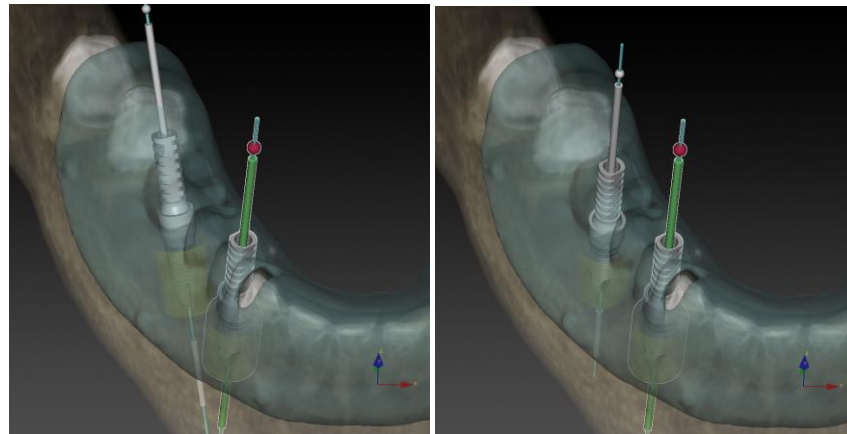
ショルダー・ポイントを指定するか、右クリックしてキャンセルしてください。



全てのインプラントを平行に計画する際に使用
基準となるインプラントを選択後、【すべて並行】ボタンをクリックします



複数のインプラントを平行に計画する際に使用
リスライスを計画を予定する部位へ移動します
基準となるインプラントを選択後、【並行・インプラント】ボタンをクリックします
カーソルが【+】に変更されたら、2D画面上でインプラント頸部付近をポイントします



【並行・インプラント】機能を選択した場合は、アバットメントもコピーされ計画に追加されます

プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

インプラント計画 : お気に入り

普段使用されているインプラントをお気に入りへ追加し、作業効率を向上させます

- * 登録されるインプラントは種類と同時に直径、長さも登録されます
- * 他の直径、長さを追加する場合は、新たに追加する必要があります



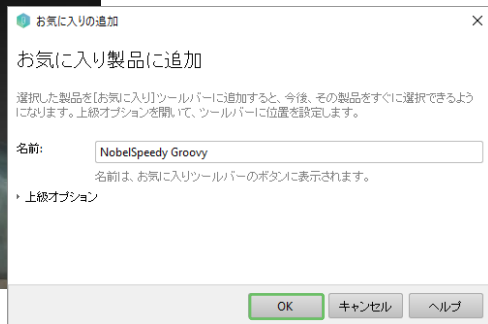
埋入計画を立てたインプラントを選択し、【プラン】もしくは【インプラント】タブから【追加】ボタンをクリックします

【お気に入りに追加】ウィンドウが開き【OK】をクリックすると、選択されているインプラントが【プラン】タブに追加されます

【お気に入りの管理】から、順序変更や削除も行えます



インプラントを選択し、プランもしくは【インプラント】タブから【追加】ボタンで追加します



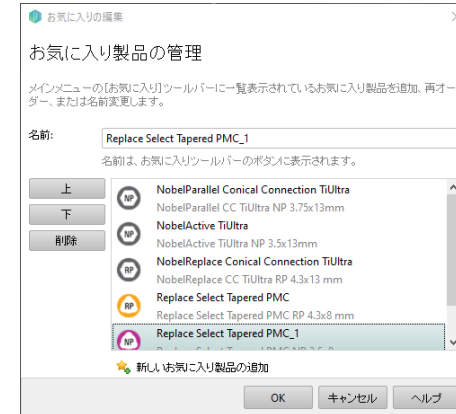
お気に入り追加後



インプラントは複数個の登録が可能です



【お気に入りの管理】から、名称変更、表示順序変更や削除も行えます



プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

アバットメント計画



6 対象となるインプラントを選択します
【プラン】タブ内の【アバットメント】をクリックします

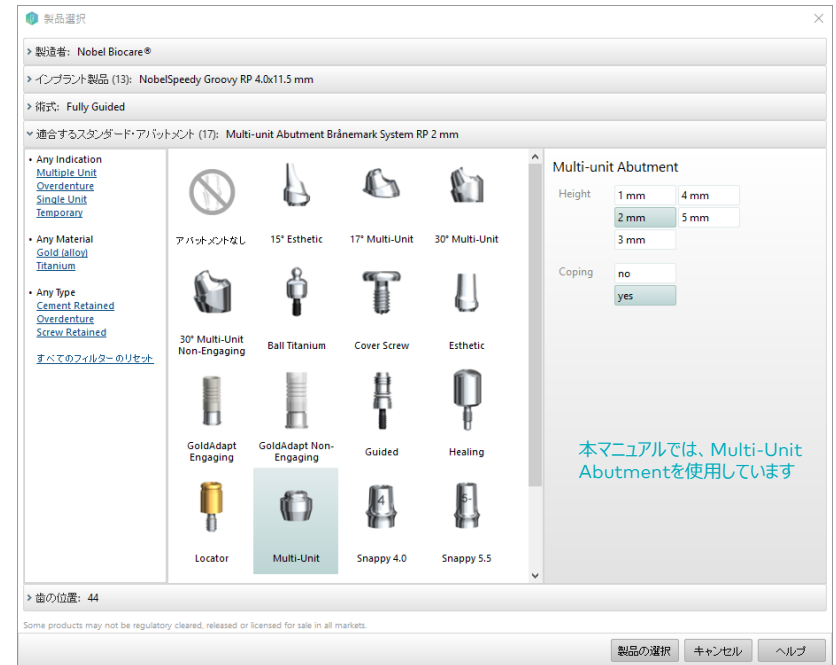
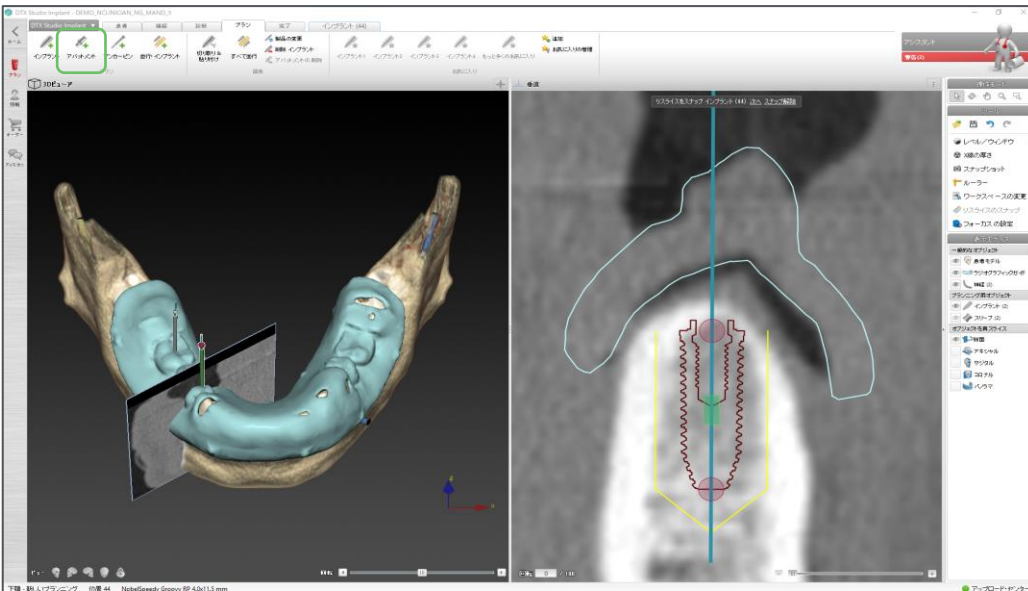
7 製品選択ウィンドウは、計画したインプラントに適合するアバットメントが表示されます
アバットメントを選択すると画面右側に、アバットメント詳細が表示され、高さや幅、関連するパーツなどが選択できます



【アバットメント】を選択します

プロダクト選択後、【製品の選択】をクリックします

製品の選択





インプラント・タブ (インプラント・アバットメント)

アバットメント計画

8 アバットメントの変更

【インプラント】タブ内から【製品の変更】→【適合するアバットメント】を選択し、アバットメントを変更します

【製品の変更】を選択します



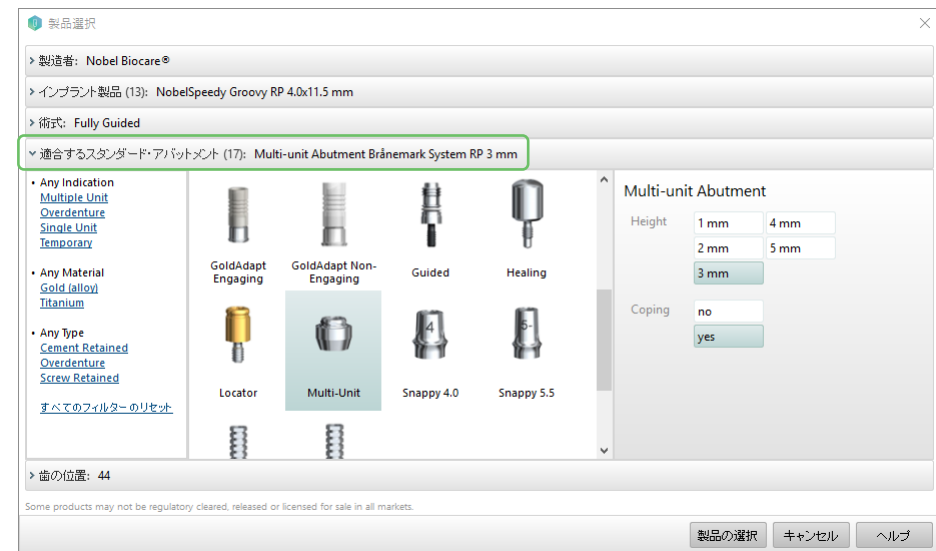
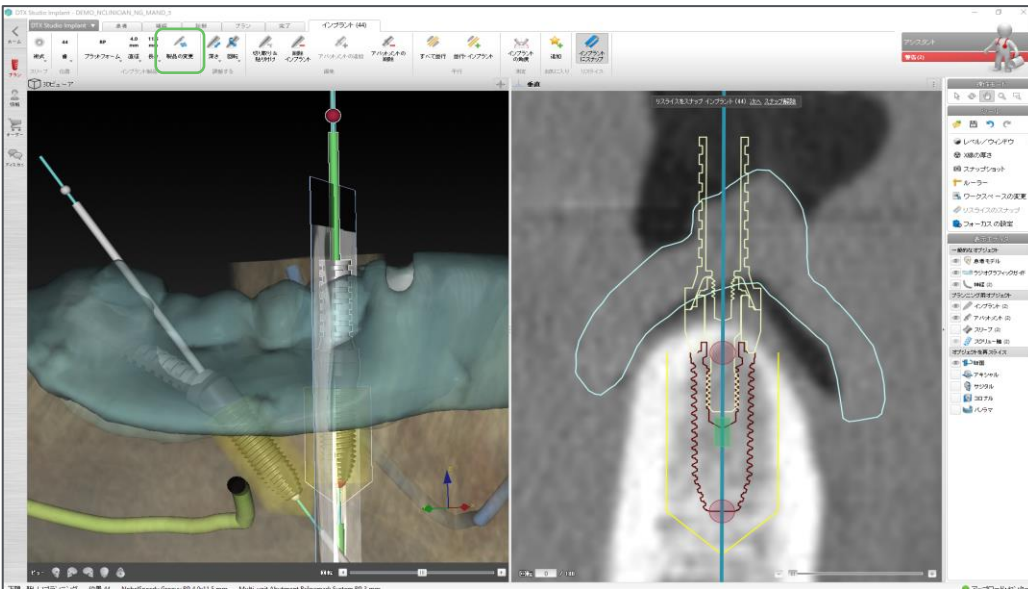
9

計画するアバットメントの選択を行います
画像確認を行い、高さや幅、製品の変更を行います

【インプラント】タブ内から【製品の変更】→【適合するアバットメント】を選択し、アバットメントを変更します



製品の変更



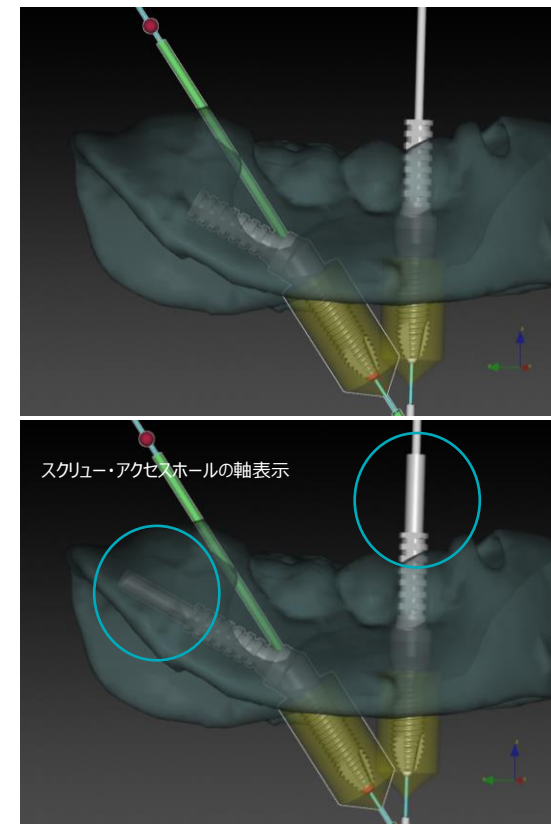


インプラント・タブ (インプラント・アバットメント)

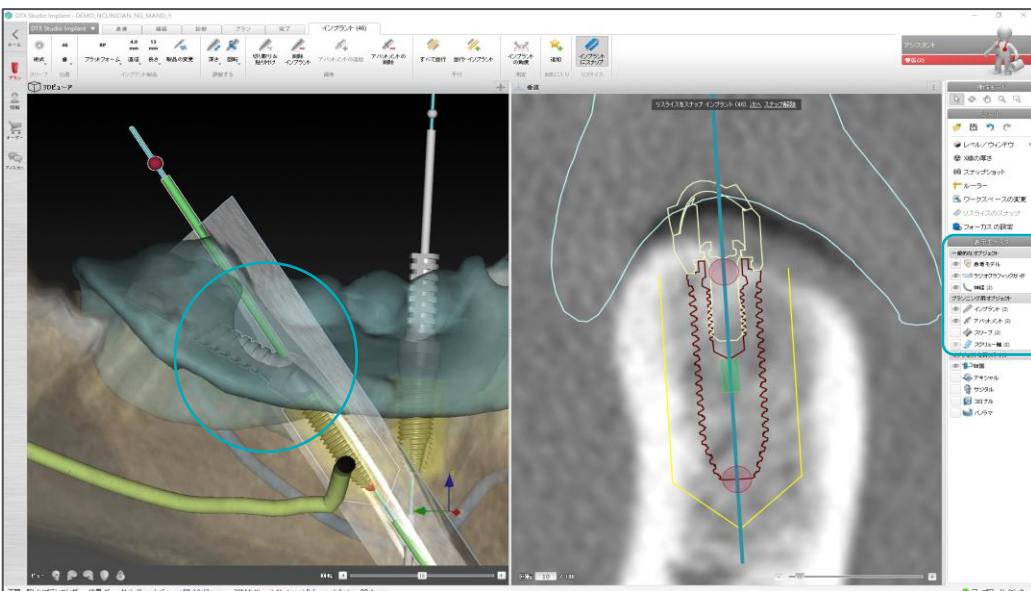
アバットメント計画

NOTE アバットメントの角度調整を行います (* 角度付きアバットメントの場合)
スクリュー・アクセスホールの確認

アバットメント計画時はアバットメントの回転軸は適切な位置に設定されていません



表示エディタ内の【スクリュー軸】にチェックを入れ、補綴スクリューの軸を表示します



インプラント・タブ (インプラント・アバットメント)

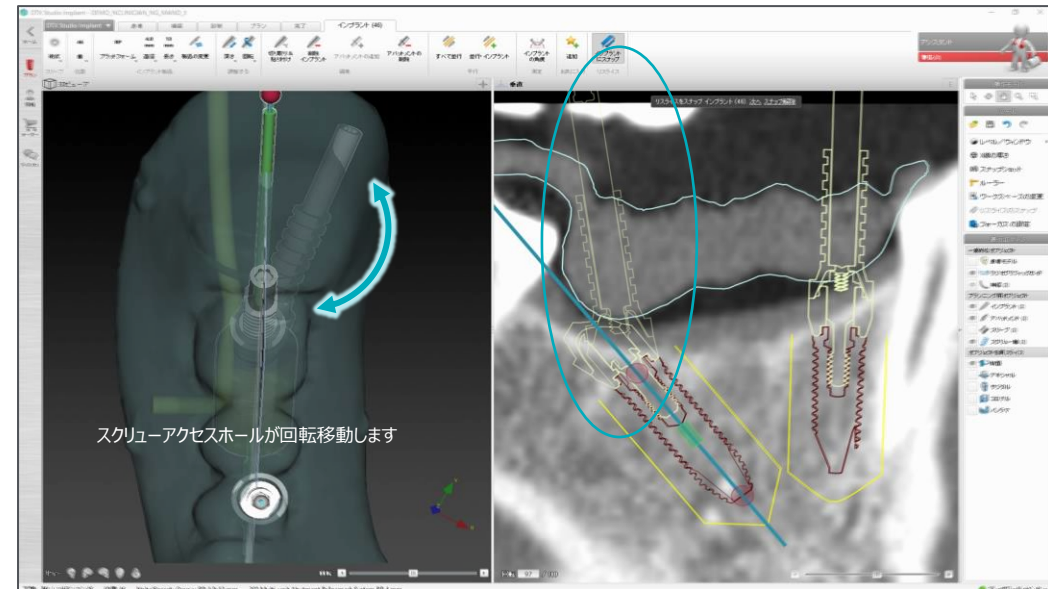
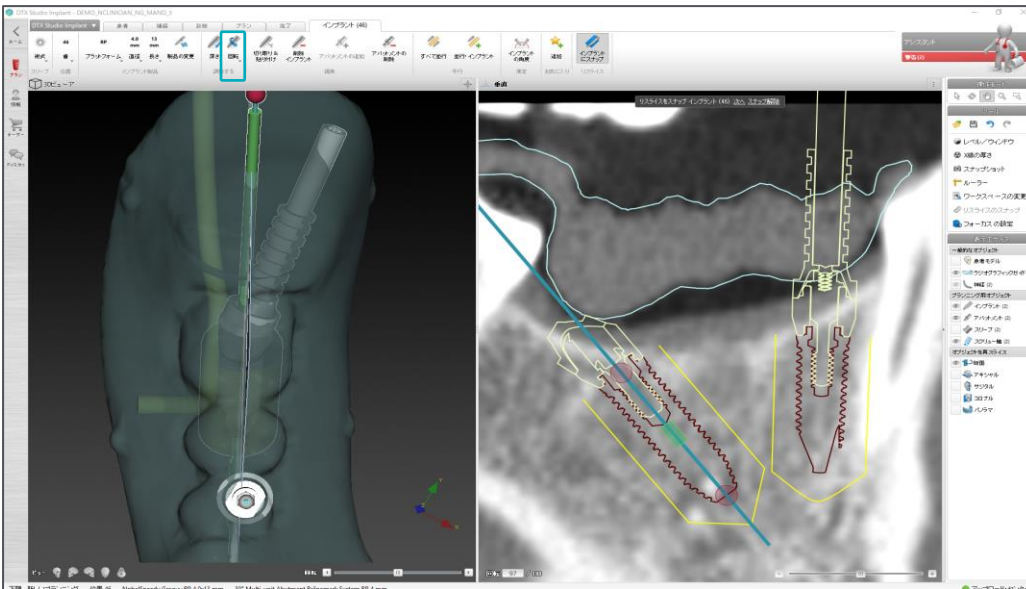
アバットメント計画

NOTE アバットメントの角度調整を行います (* 角度付きアバットメントの場合)
 スクリュー・アクセスホールの変更

対象のインプラントを選択後、【インプラント】タブ内の【回転】をクリックします



回転ゲージを調整し、2D・3D画面を確認しながら、
 スクリューアクセスホールを移動します





インプラント・タブ (インプラント・アバットメント)

アバットメント計画

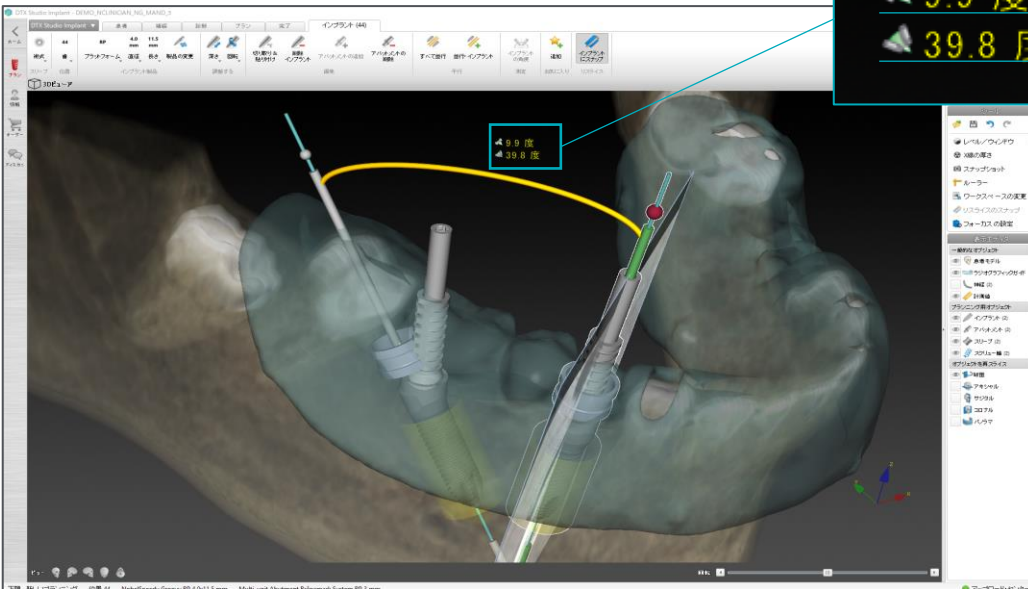


NOTE

角度測定
基準となるインプラントを選択します
測定したいもう一方のインプラントを選択することでインプラント(アバットメント)レベルの角度を測定します

NOTE

DTX Studio Implant では、インプラント・レベルおよび、アバットメント・レベルの角度が表示されます
* アバットメントの設計を行っていない場合は、インプラント・レベルのみ角度測定します



アバットメント・レベル

インプラント・レベル

インプラント・レベル
39.8deg

アバットメント・レベル
9.9deg

Point

NobelProcera Implant Bridgeの製作を予定している場合は、必ず角度測定を行ってください
コネクションタイプにより、製造の制限角度が異なります

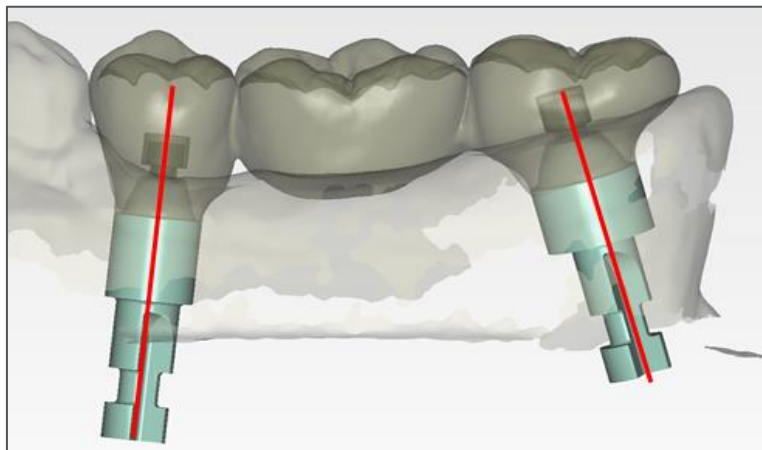


インプラント・タブ (インプラント・アバットメント)

インプラント計画

NobelProcera Zirconia Implant Bridge - Nacera 製造におけるインプラント間の最大傾斜角

コネクションタイプ	インプラント間傾斜角
インターナル・コニカル・コネクション	30°
インターナル・トライチャネル	30°
エクスターナル・ヘックス	20°
マルチユニットアバットメント	45°
複数のコネクション・タイプが混在	20° - 30°
インターナル・コニカル・コネクション + マルチユニットアバットメント	30°



NobelProceraシステムをご使用の場合

NobelProcera ジルコニアインプラントブリッジ - ナセラは、
インプラント間の平行性が規定の角度を超える製作はできません

インプラント - インプラント間における平行性の最大角度は、コネクションタイプで異なります
(2021年11月現在)

— インプラント・レベル —

インターナル・コニカル・コネクション : 30°
インターナル・トライチャネル : 30°
エクスターナル・ヘックス : 20°

— アバットメント・レベル —

マルチユニットアバットメント : 45°

*アバットメント・レベルでは、
アバットメント上の角度が基準となります

— 複数のプラットフォームが混在しているケース —

【インプラント・レベル】

インターナル・コニカル・コネクション + インターナル・トライチャネル : 30°
インターナル・コニカル・コネクション + エクスターナル・ヘックス : 20°
インターナル・トライチャネル + エクスターナル・ヘックス : 20°

【アバットメント・レベル】

マルチユニットアバットメント + インターナル・コニカル・コネクション : 30°
マルチユニットアバットメント + インターナル・トライチャネル : 30°
マルチユニットアバットメント + エクスターナル・ヘックス : 20°

(NobelProcera Zirconia Implant Bridgeは、NobelBiocareのインプラントシステムのみ製造が可能です)



Point

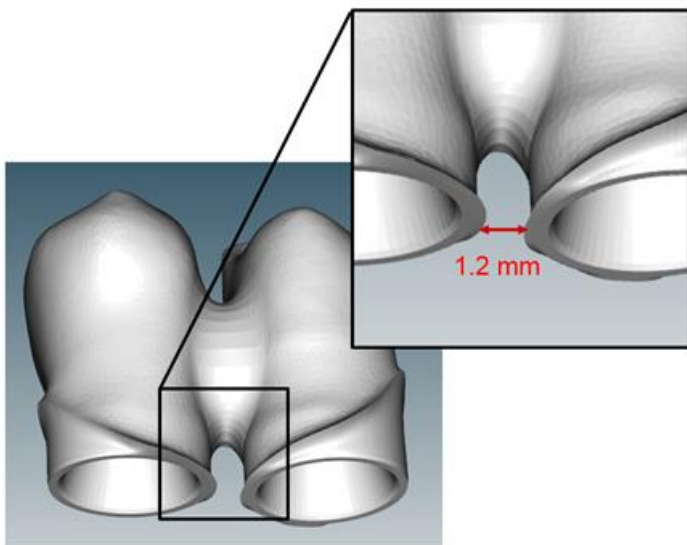
NobelProcera インプラントブリッジ Titanium、Zirconia (旧タイプ)の場合
インプラント間の最大傾斜角度は【40°】です

インプラント・タブ (インプラント・アバットメント)

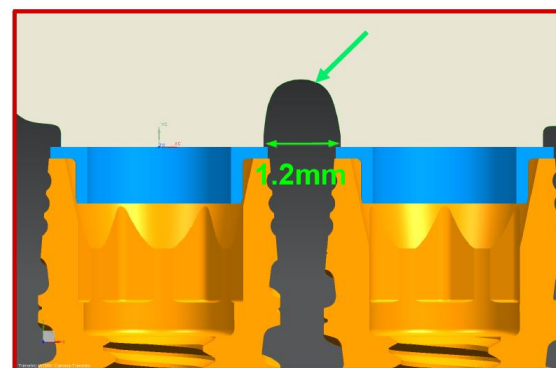
インプラント計画

NobelProcera Zirconia Implant Bridge - Nacera におけるインプラント間の水平距離

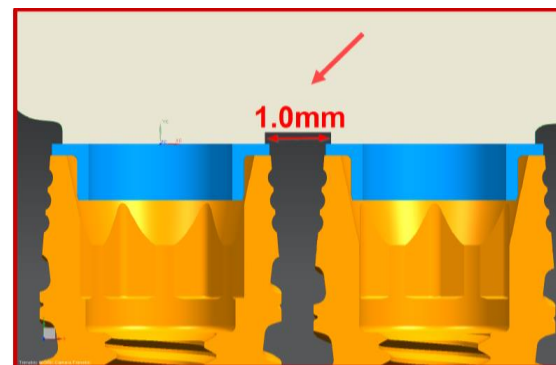
複数のインプラント・プラットフォームが水平的に1.2 mmより近い状態では製造できません



NobelProceraシステムをご使用の場合



製作可能です



製作不可です





プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

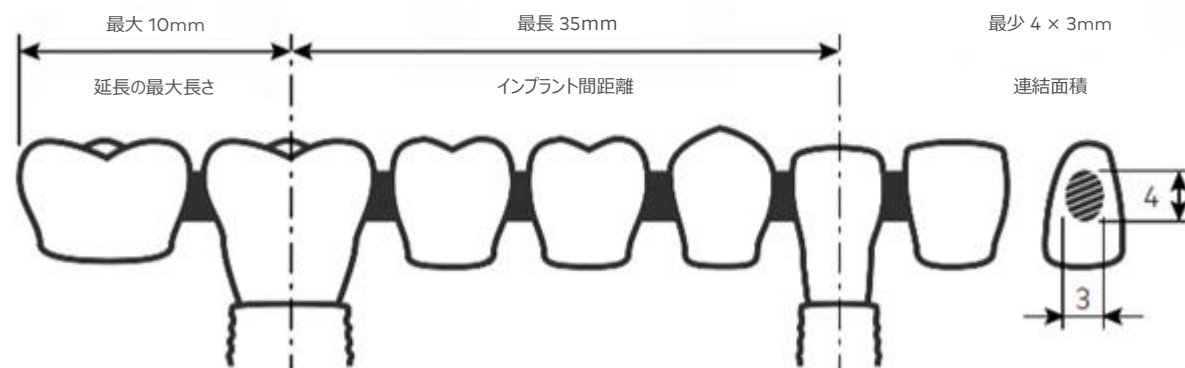
インプラント計画

NobelProcera Zirconia Implant Bridge – Nacera における設計上の制約

- ・延長の最大長さ10mm
- ・インプラント間の距離(顎堤アーチに沿った歯槽頂上の距離)は、最大35mm
- ・コネクタサイズは最大4×3mm



設計上の制約
ブリッジ設計の最大寸法





プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

アンカー・ピン計画 - サージカルテンプレートを骨支持にする場合

- リスライスをアンカー・ピン計画予定部位に合わせます
2D画面下部のゲージを調整します



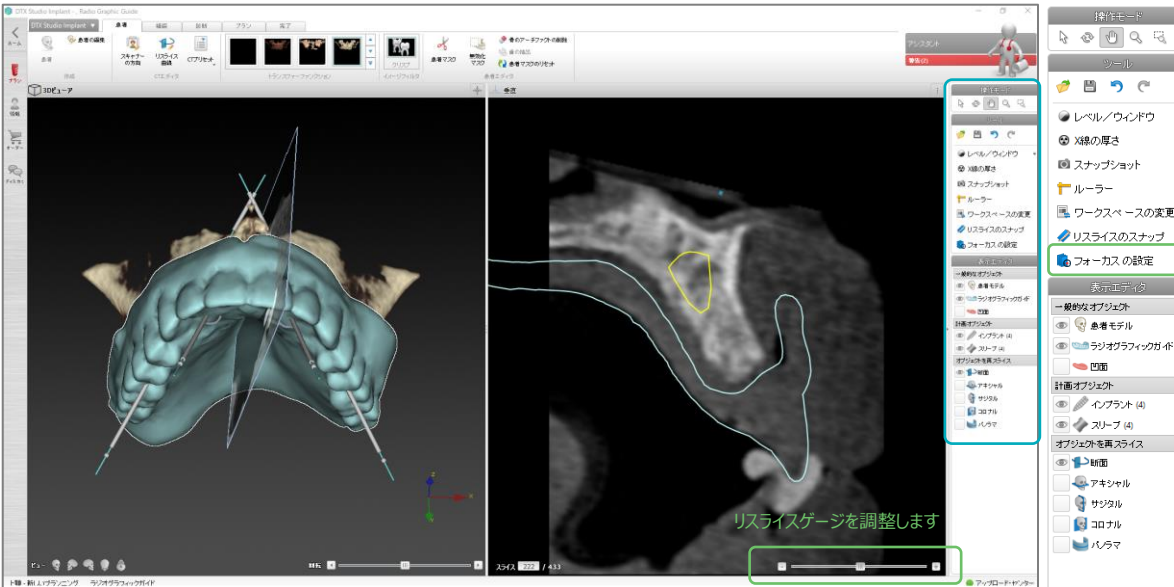
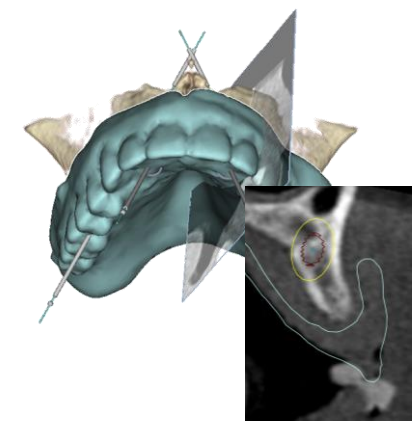
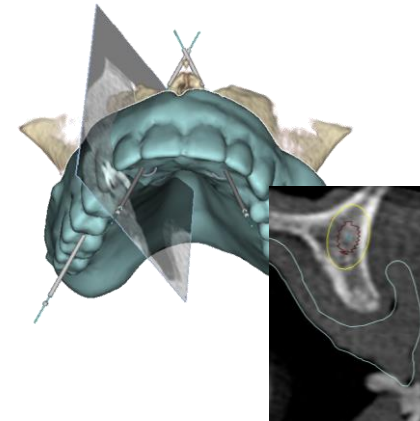
リスライスゲージ



ゲージを調整し、リスライスの位置を決定します
左右の矢印ボタンで細かく移動させることも可能です (0.5mm / クリック)

フォーカスの設定

【フォーカスの設定】をクリックし、計画したい部位をクリックすると
リスライスがアンカー・ピン計画部位へワンタッチで移動します



プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

アンカー・ピン計画



12 【プラン】タブ内の【アンカー・ピン】をクリックします

13 2D画面でアンカー・ピンを計画したい位置でクリックします

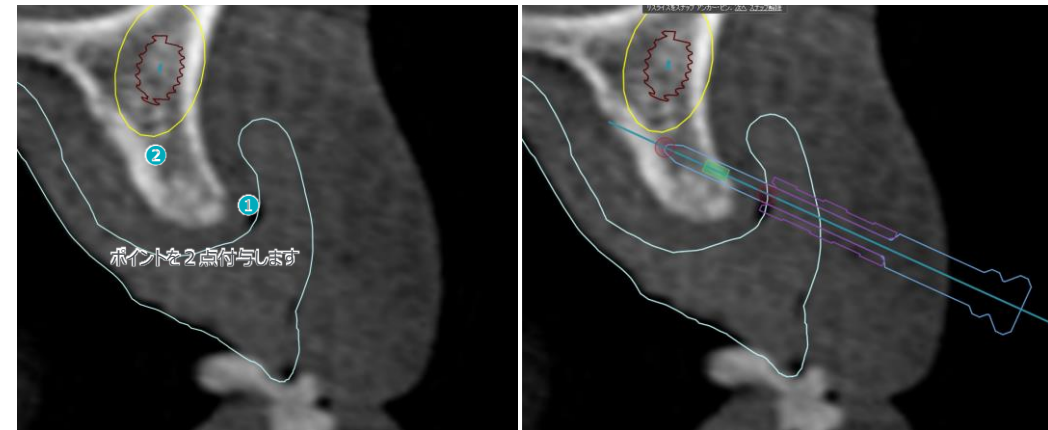
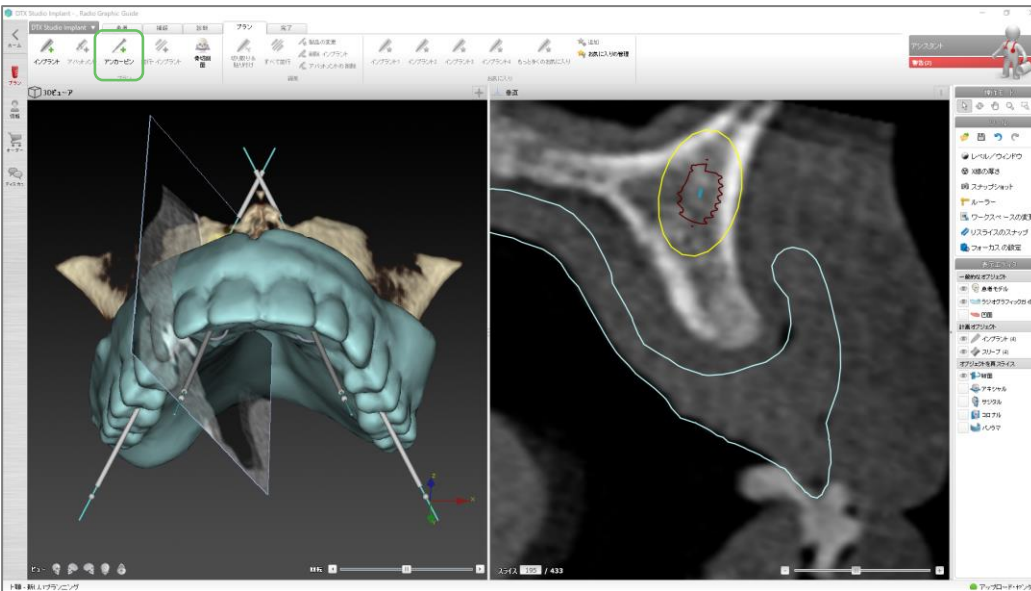
【アンカー・ピン】アイコンをクリックするとカーソルが【+】に変更されます
①アンカー・ピンの上部、②アンカー・ピンの先端部の順でポイントします

アンカー・ピンが設置されます



【アンカー・ピン】を選択します

【アンカー・ピン】アイコンをクリックするとカーソルが【+】に変更されます
+ 先端ポイントを指定するか、右クリックしてキャンセルしてください。



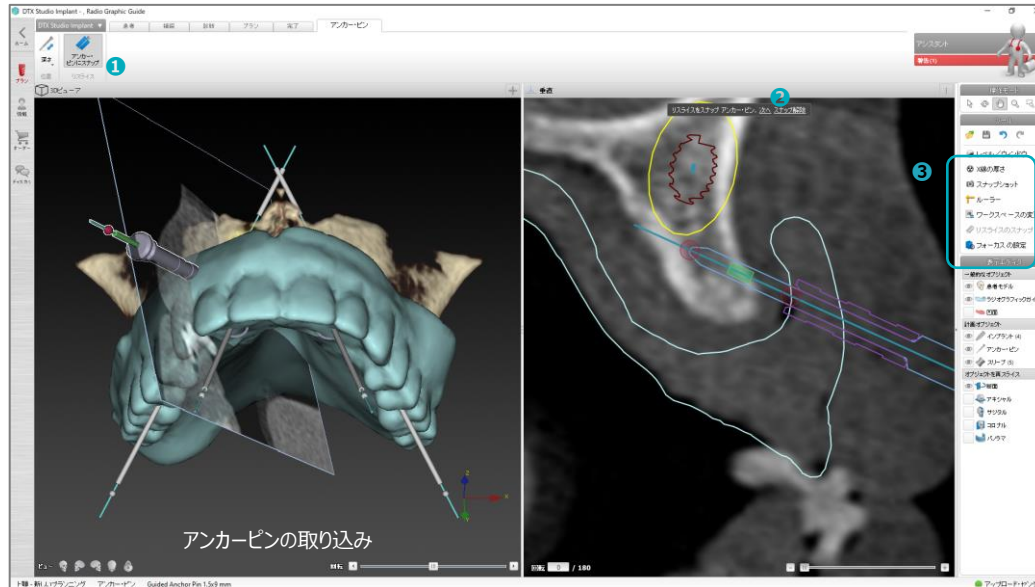


アンカー・ピン・タブ (アンカー・ピン)

アンカー・ピン計画

14 アンカー・ピンが取り込まれ、計画が可能な状態となります

- * この時、リスライスの移動は、アンカー・ピンを軸に回転するように動作します
- * タブ・メニューに【アンカー・ピン】タブが追加されます
(【アンカー・ピン】タブは、アンカー・ピンが選択され編集が有効な状態のときに表示されます)



リスライスの動作を変更する場合

アンカー・ピン軸回転 ⇔ 顎堤アーチに沿って移動

アンカー・ピン選択時：

- アンカー・ピン軸を中心にリスライスが回転動作を行っている
⇒ 顎堤アーチに沿わせてリスライスを移動したい
- 【アンカー・ピン】タブ内の①【アンカー・ピンにスナップ】、もしくは、2D画像内の上部にある②【スナップの解除】をクリックします
- * インプラントを計画している場合も同様です
- * 複数のオブジェクトがある場合、【次へ】をクリックすると、順番にスナップが次のオブジェクトへ移動します

アンカー・ピン未選択時：

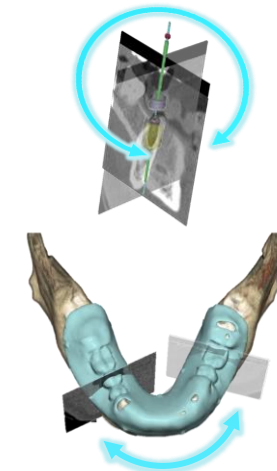
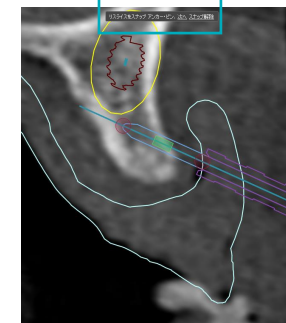
- リスライスの動作が顎堤のアーチに沿って移動を行っている
⇒ アンカー・ピン軸を中心に回転動作を行いたい
- 画面右のツールメニューから、③【リスライスのスナップ】をクリックします

1



2

リスライスをスナップ アンカー・ピン、次へ スナップ解除



3





アンカー・ピン・タブ (アンカー・ピン)

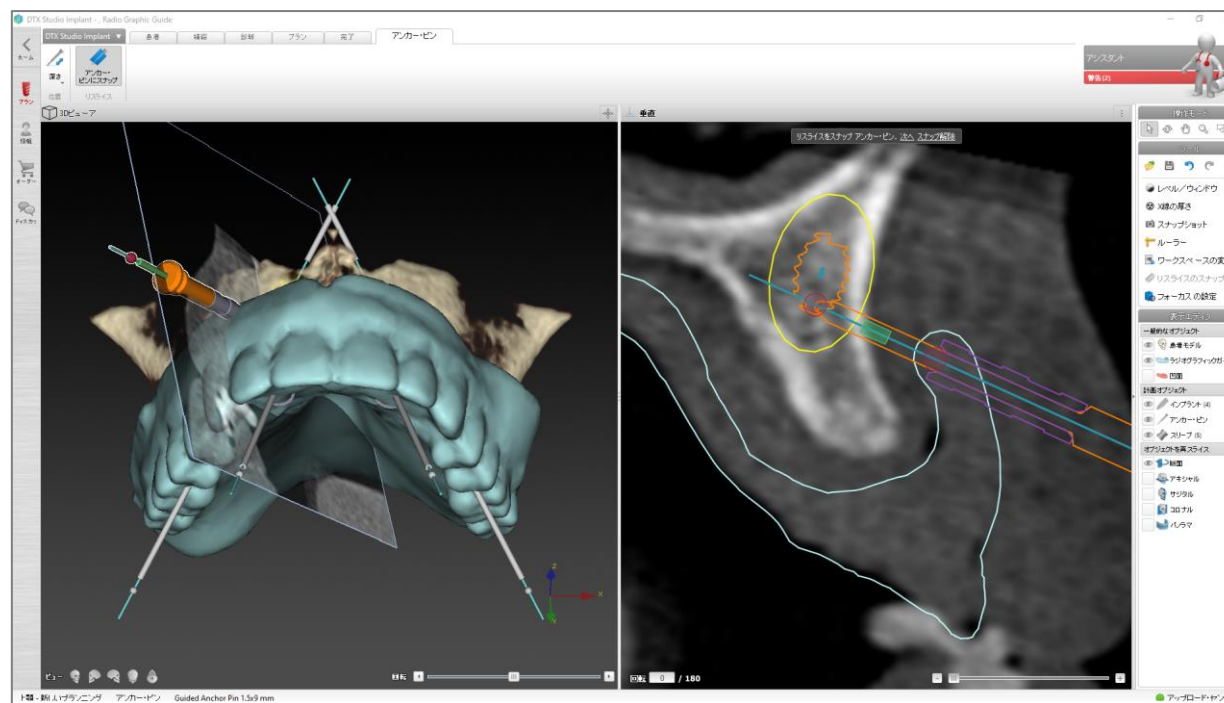
アンカー・ピン計画

NOTE 警告時の設定



アンカー・ピンが取り込まれた際、アンカー・ピンの枠線が黄色になっている場合は、設定したインプラントおよび、神経や歯牙と近接もしくは接触しています

この場合、アンカー・ピンの計画位置や角度を修正します





アンカー・ピン・タブ (アンカー・ピン)

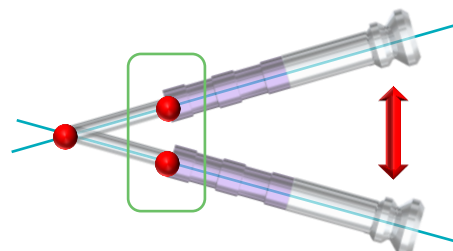
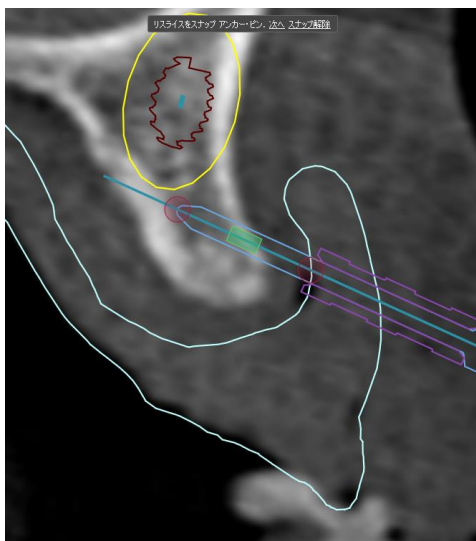
アンカー・ピン計画

15

アンカー・ピンの位置を修正します
アンカー・ピンの位置の修正は、アンカー・ピンの両端に表示のある2つのポイント【●】と、中心にある【■】をそれぞれドラッグし、修正したい方向に動かします

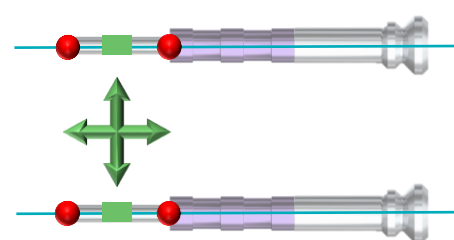


アンカー・ピンの深さを設定します
アンカー・ピンの角度などを動かさずに、深度を調整します
深度ゲージを調整します



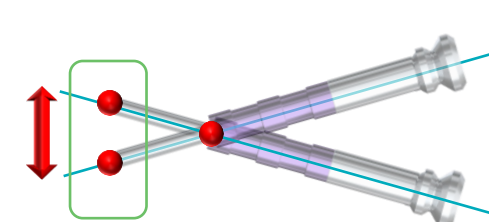
アンカー・ピン上部の移動

上部側の赤色のポイントをつかみ、アンカー・ピン先端を中心に、アンカー・ピンの上部位置を変更します



アンカー・ピン本体の移動

中央に表示されている緑色のポイントをつかみ、アンカー・ピンの位置を上下左右へ自由に移動できます



先端側の移動

アンカー・ピン先端側の赤色のポイントをつかみ、アンカー・ピン上部を中心に、アンカー・ピン先端の位置を変更します

* 複数のアンカー・ピンを計画する場合は、STEP 11~15 を繰り返します
本マニュアルでは、複数のアンカー・ピンを計画しています



アンカー・ピン・タブ (アンカー・ピン)

アンカー・ピン・計画

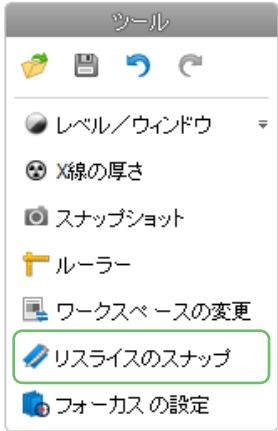


リスライス・スナップはアンカー・ピンが計画されると、顎堤のアーチに沿った移動もしくは、インプラントスナップから、自動的にアンカー・ピン・スナップ (アンカー・ピンの軸を中心とした回転移動) になります。リスライス画面の下にある、スライダーバーを調整し左から右まで180°回転させ、骨内の情報を確認しながらアンカー・ピンの位置を微調整します。

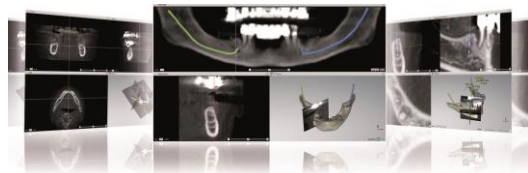
近心、遠心方向や斜めの方向など、3D画像上でアンカー・ピンをドラッグして動かすこともできますが、この方法では微妙な位置の修正が難しく、動かした後に骨内にアンカー・ピンが位置しているかの確認が必要です。

手順

1. アンカー・ピン・スナップの状態では、移動させたい部位に、リスライスの面が重なるように回転させます (3D画像の場合は、咬合面から確認)
2. 2D画像にてアンカー・ピンの移動を行います (インプラント・スナップも同様に行い、インプラントの位置修正が可能です)

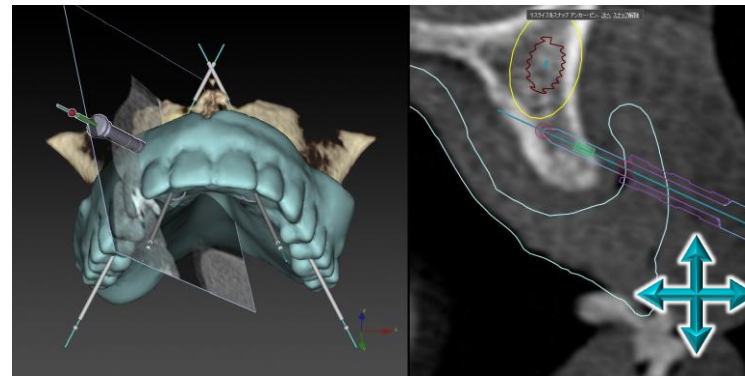


Point



ツールメニュー内の【ワークスペースの変更】から様々なビューでアンカー・ピンの調整が可能です。

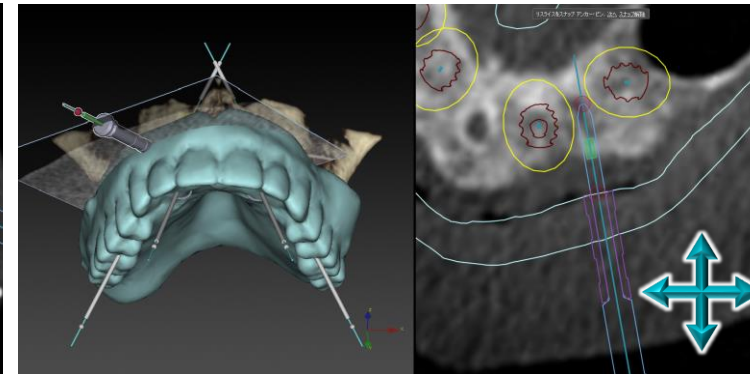
アンカー・ピンを頬舌または、上下に移動させるリスライスの方向



近遠心方向には移動できません

移動させたい方向に、リスライスの面を合わせておくことが重要です

アンカー・ピンを近遠心または、上下に移動させるリスライスの方向



頬舌方向には移動できません



アンカー・ピン・タブ (アンカー・ピン)

アンカー・ピン計画

NOTE アンカー・ピンの角度と深さの修正



サージカルテンプレートを安定させた状態でインプラントを埋入するには、アンカー・ピンを正しい位置に配置します

アンカー・ピンの角度と深さが重要です

アンカー・ピンは術中に口角鉤の役割も果たします

アンカー・ピンが歯列弓内に広がりすぎると、正しい開口量が得られない場合があります

* ショート・シャフトのアンカー・ピンを使用すれば、このような悪影響の可能性を軽減します

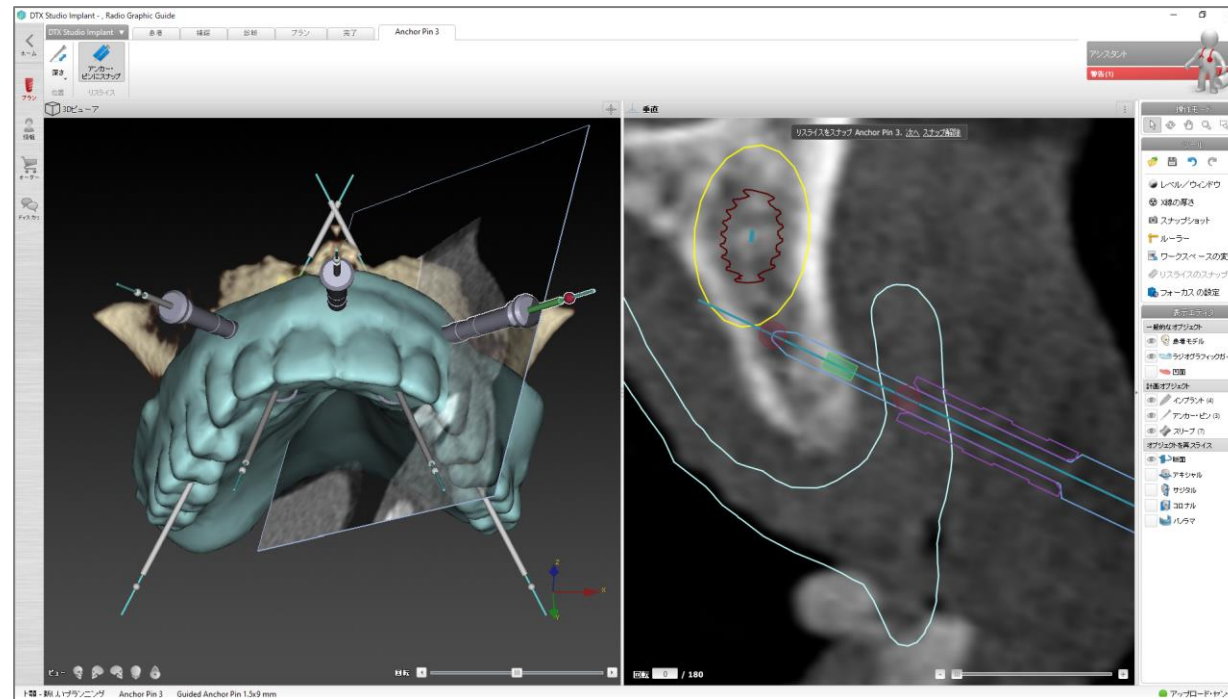
SmartFusionの場合は、粘膜付近（粘膜から0.5～1 mmの距離）にスリーブを配置する必要があります

* デンタルスキャンに接触しないように配置します

サーフェス・スキャンを使用することにより、口角の位置が可視化され、アンカー・ピンの位置を決定しやすくなります

無歯顎の場合、4本以上のアンカー・ピンを使用することをお勧めします

アンカー・ピンを口腔前庭部に入れるか、反対方向（舌側／口蓋側）へ、状況に応じた配置を行い、両側からサージカルテンプレートを固定します



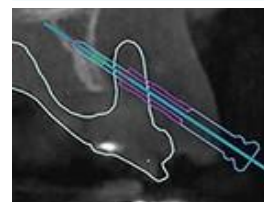


アンカー・ピン・タブ (アンカー・ピン)

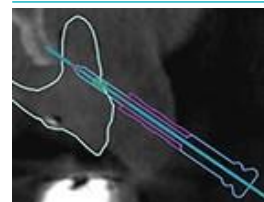
アンカー・ピン計画

NOTE アンカー・ピンとラジオグラフィックガイド (無歯顎ワークフロー)

ラジオグラフィックガイドを使用する場合は、スリーブがラジオグラフィックガイドに接している必要がありますが、ラジオグラフィックガイドの内面に突出しないようにする必要があります

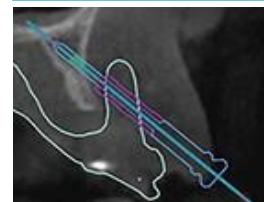


正しい



正しくない

アンカー・ピンのスリーブがラジオグラフィックガイドに付いておらず、テンプレートにも付かない



正しくない

アンカー・ピンのスリーブがラジオグラフィックガイドの内面に出ていて、テンプレートが患者の口腔内で適合しない

- * テンプレート製作後、スリーブの切削が必要な場合があります
- * スリーブを切削した場合、計画通りのドリリングができない場合があります



アンカー・ピン・タブ (アンカー・ピン)

アンカー・ピン計画

NOTE アンカー・ピンとデンタルスキャン (部分欠損ワークフロー)

SmartFusionを使用する場合は、粘膜付近 (粘膜から 0.5mm ~ 1 mm の距離) にスリーブを配置する必要がありますが、デンタルスキャンに接触しないようにする必要があります



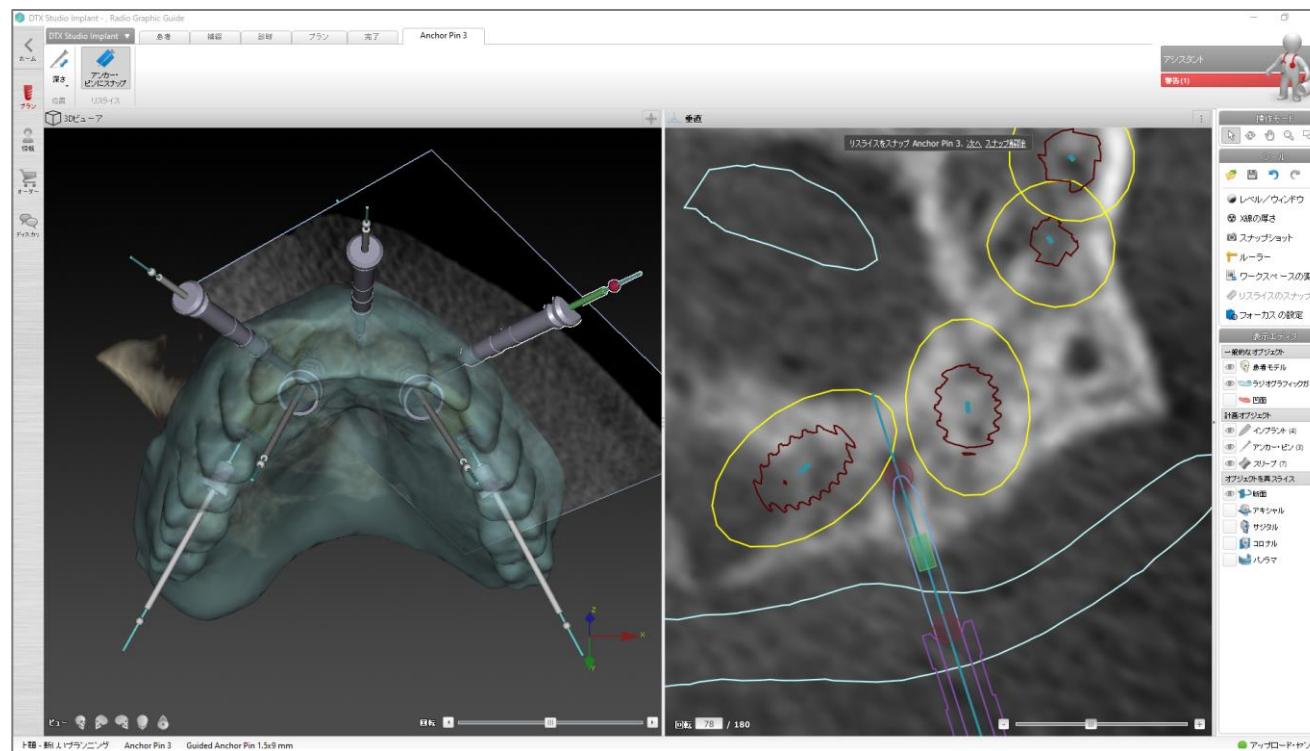
		<p>正しい</p>
		<p>正しくない</p> <p>アンカー・ピンのスリーブがデンタルスキャン (軟組織) に接触しており、テンプレートが患者の口の中で適合しない</p> <p>* テンプレート製作後、スリーブの切削が必要な場合があります * スリーブを切削した場合、計画通りのドリリングができない場合があります</p>
		<p>正しくない</p> <p>アンカー・ピンが骨にアンカーされておらず、デンタルスキャンに付いていない テンプレート材がスリーブ周囲に付与されていない</p>
		<p>正しくない</p> <p>テンプレート材はスリーブの周囲に付いているものの、アンカー・ピンが骨にアンカーされていない このアンカー・ピンは固定源とならない</p>



アンカー・ピン・タブ (アンカー・ピン)

アンカー・ピン計画

16 アンカー・ピン計画の完了





プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

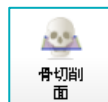
骨断面設定 - 骨のリダクションを計画する場合

17 【プラン】タブ内の【骨切削面】をクリックします

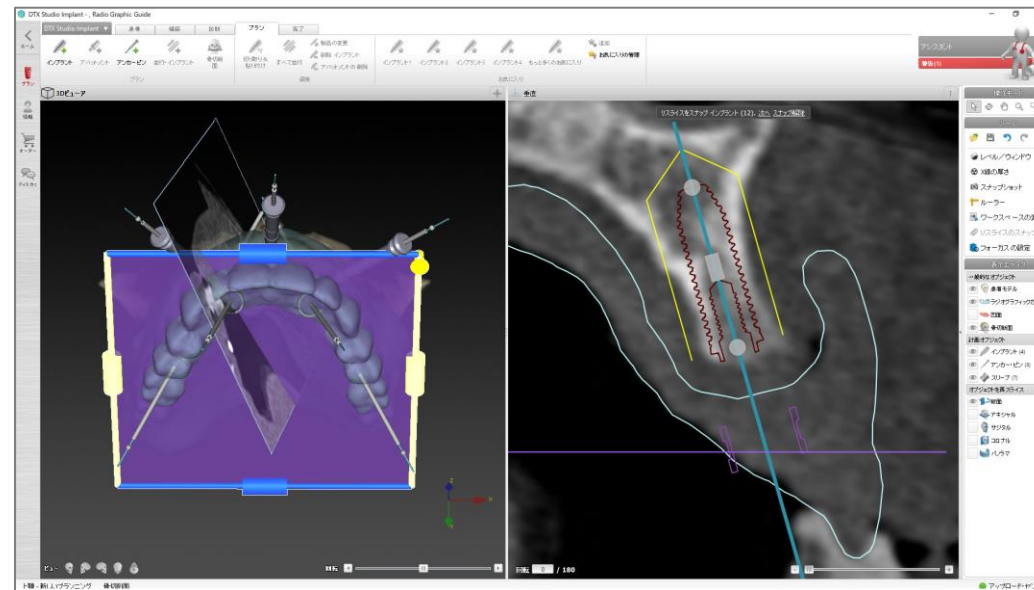
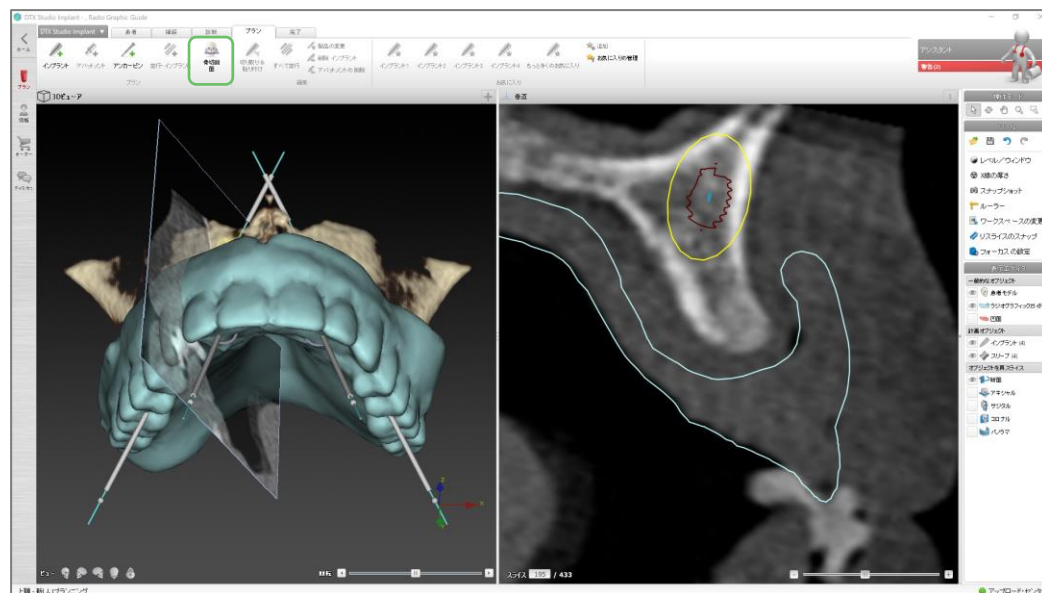


18 3Dおよび2D画面に骨切削面が表示されます
3D画像内の骨切削面オブジェクトを操作し、骨切削レベルを調整します

【骨切削面】を選択します



3Dおよび2D画面に骨切削面が表示されます





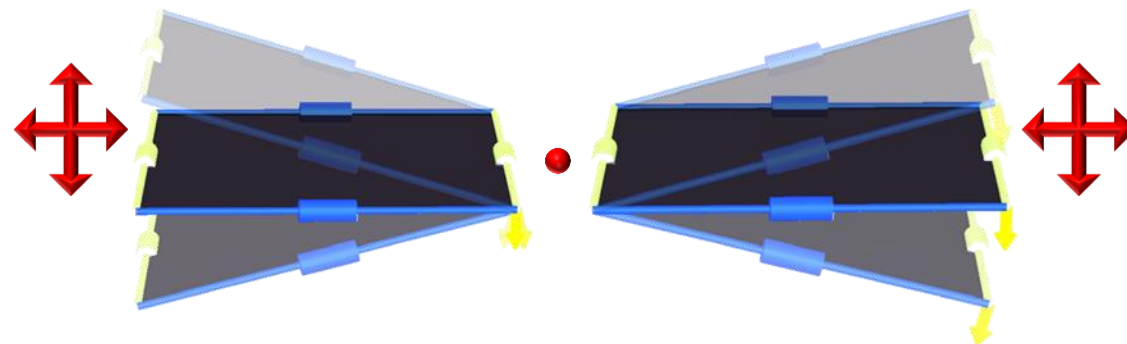
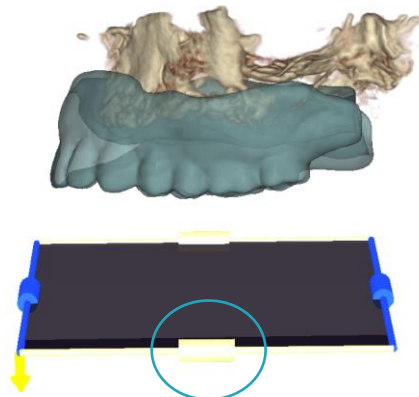
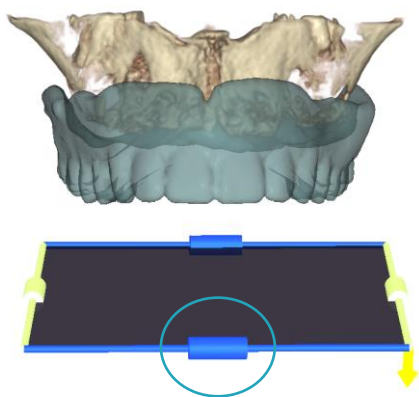
プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

骨断面設定 - 骨のリダクションを計画する場合



19 骨切断面の側面にあるハンドルをドラッグで操作し、骨切削レベルを調整します

20 青色と黄色のハンドルをドラッグします
ドラッグするハンドルと反対のハンドルを中点とし、角度と向きが変更されます



Point

ハンドルをドラッグすると、反対側のハンドルを中点とし、骨切断面の角度や大きさを変更できます



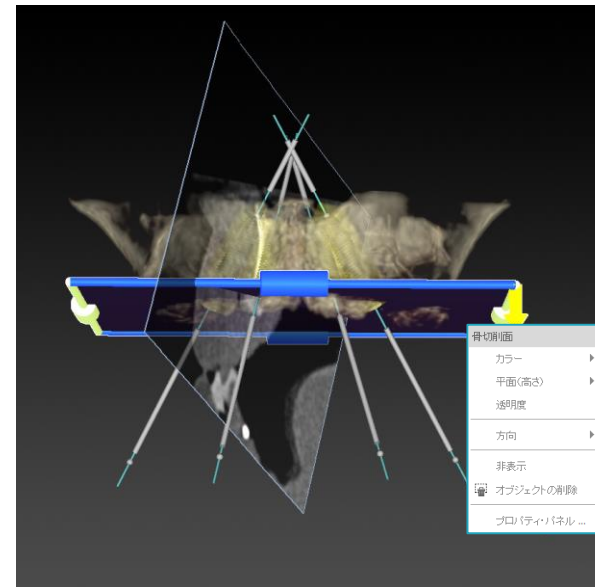
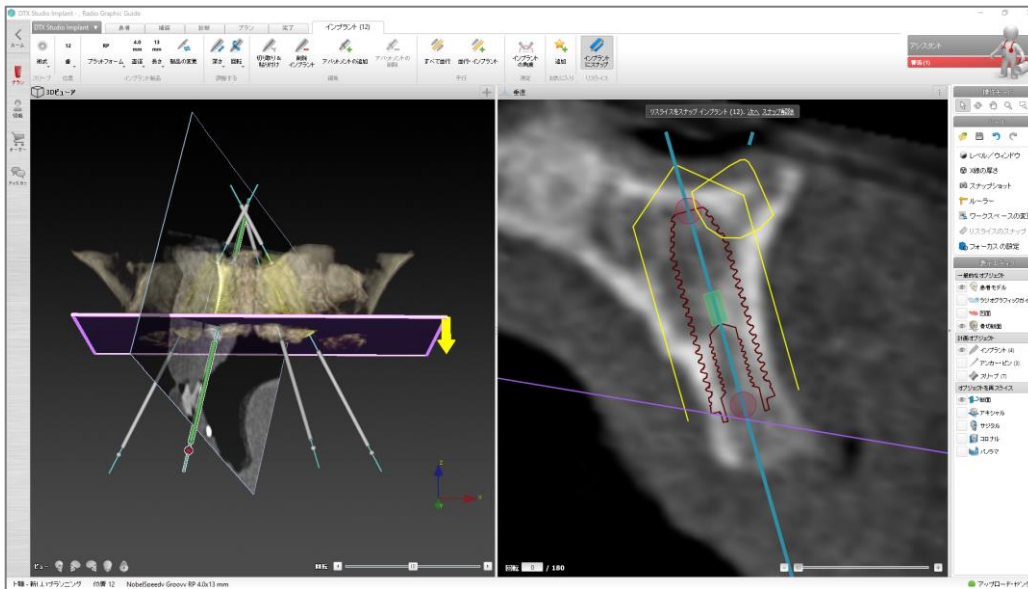
プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

骨断面設定 - 骨のリダクションを計画する場合

- 21 設定された骨切断面から、計画するインプラントの埋入深度を調整および確認を行います
- * 骨切断面は、骨の切断に必要な平面を視覚化するツールです
 - * 画面上では、骨切断面が必要となる平面が視覚化されます
 - * 患者モデルは削除されません



NOTE 骨切断面のプロパティ
右クリックメニューから設定が行なえます



骨切断面のプロパティでは

- ・カラー
- ・平面の高さ
- ・透明度
- ・方向(骨削合をする面の表示)
- ・非表示
- ・オブジェクトの削除
- ・プロパティパネル

の設定が行なえます



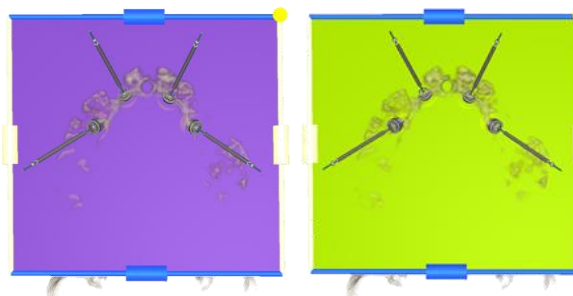
Property Panel表示 (骨切削面)

骨断面設定 - 骨のリダクションを計画する場合

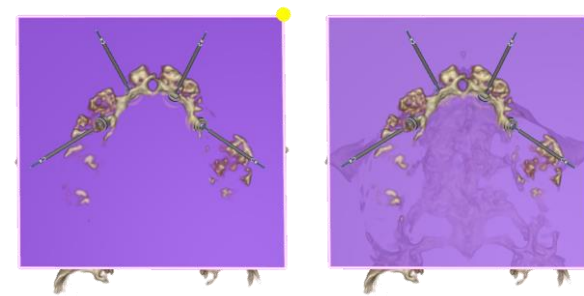
NOTE

骨切削面のプロパティ
右クリックメニューから設定が行なえます

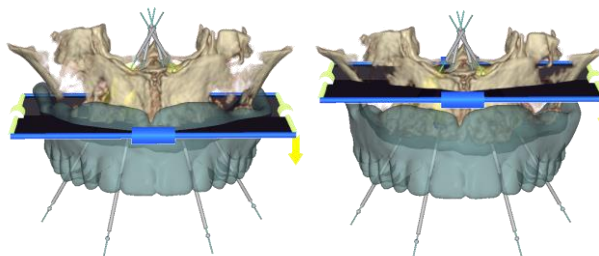
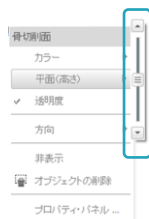
●カラー
オブジェクトの色を変更します



●透明度 (トランスファー)
3Dオブジェクトを透過させます

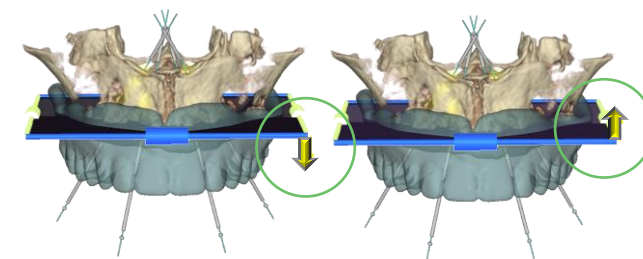


●平面高さ
3Dオブジェクト全体の高さを変更します
*高さゲージで変更します



●方向
骨削合をする面を表示します
*削除される方向に矢印が向きます
*実際に患者モデルは削除されません

✓ 下の面から骨を削除
上の面から骨を削除



Property Panel



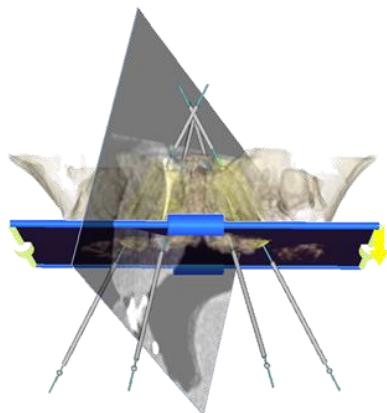


Property Panel表示 (骨切剖面)

骨断面設定 - 骨のリダクションを計画する場合

NOTE

骨切剖面のプロパティ
右クリックメニューから設定が行なえます



Property Panel

- 非表示
3D画像を画面から非表示にします

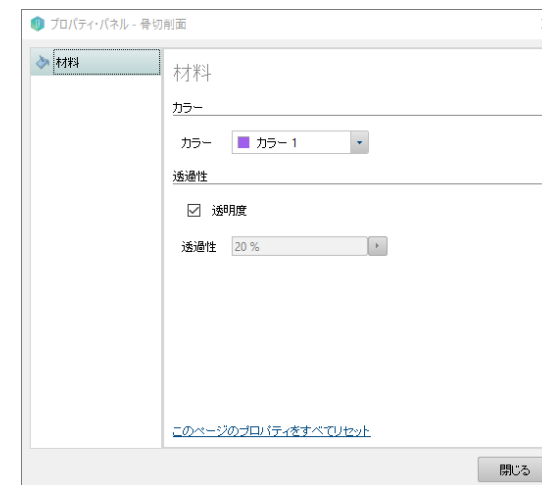
再表示させる場合は、画面右側【表示エディタ】
の骨切剖面にチェックを入れます



骨切剖面 →

- オブジェクトの削除
3D画像データを消去します

- プロパティ・パネル
3D情報や透明度の詳細設定を行ないます





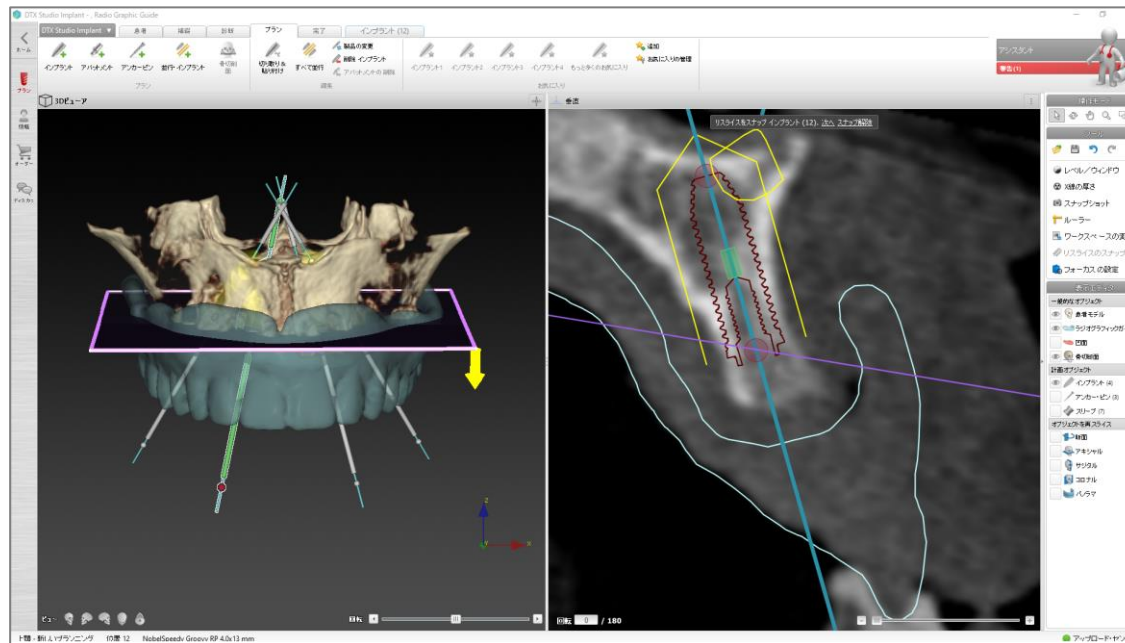
プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

骨断面設定 - 骨のリダクションを計画する場合



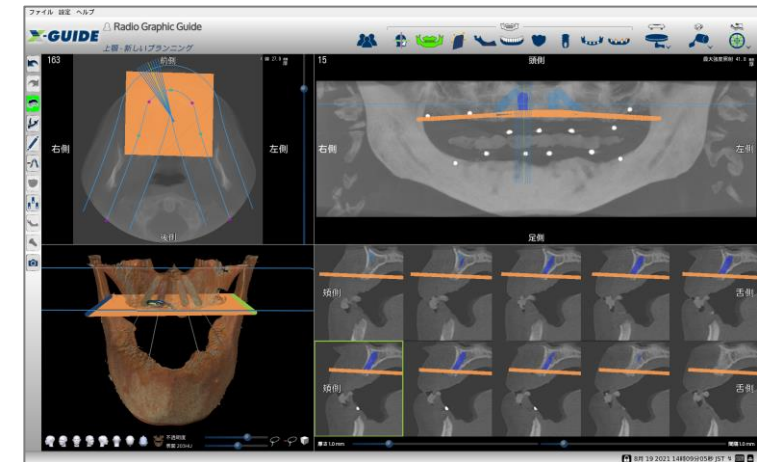
22

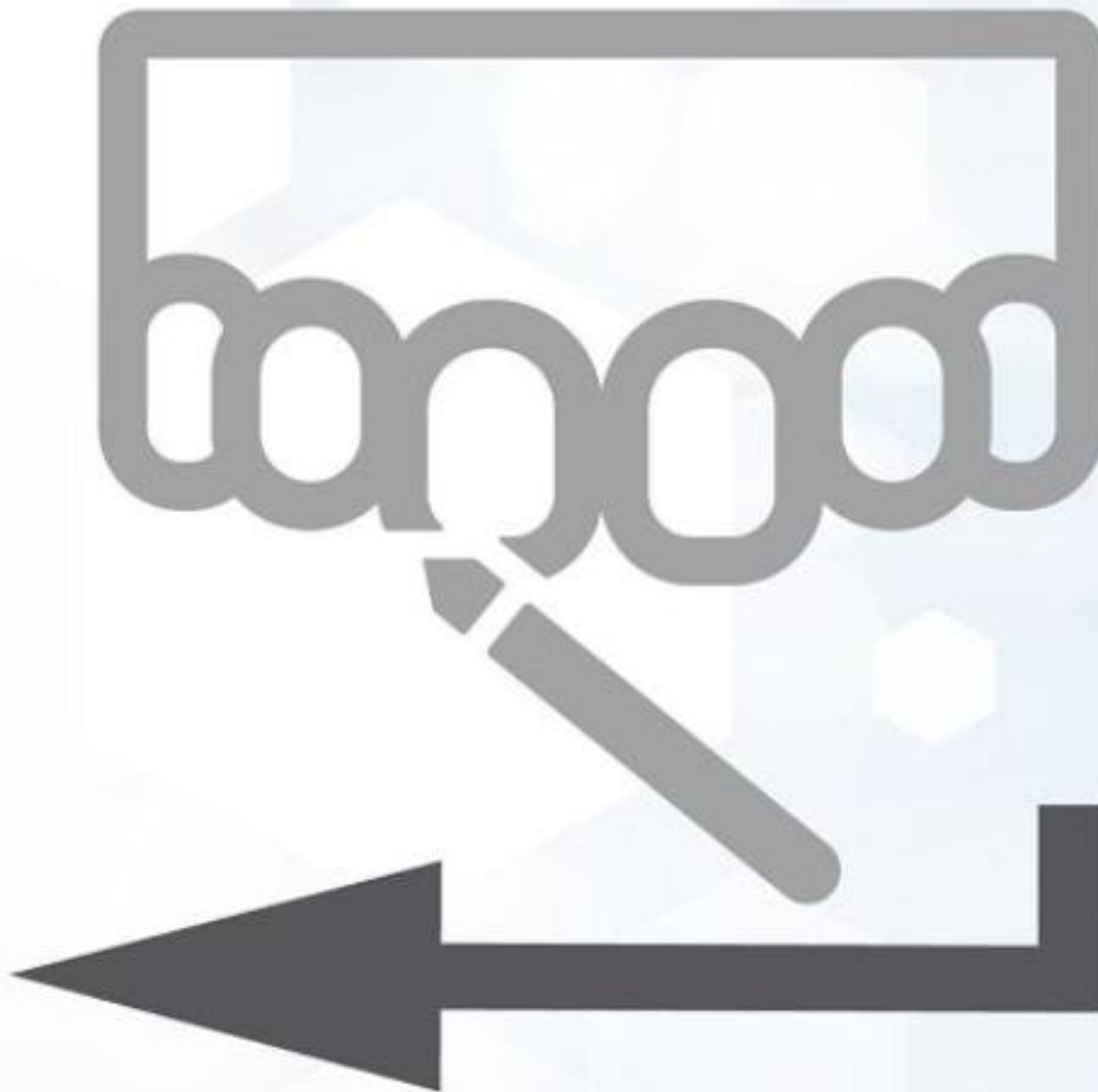
骨切断面設定の完了



Point

骨切断面を設定した場合は、
X-Guideへデータが移行されます





プラン / 補綴
AddLabdesign



補綴・タブ (Add LabDesign)

アドラボデザイン :

最終補綴装置を考慮したデザインを治療計画に
DTX Studio Labとのコラボによる、最終補綴装置に最も近い補綴デザイン



LabDesign request

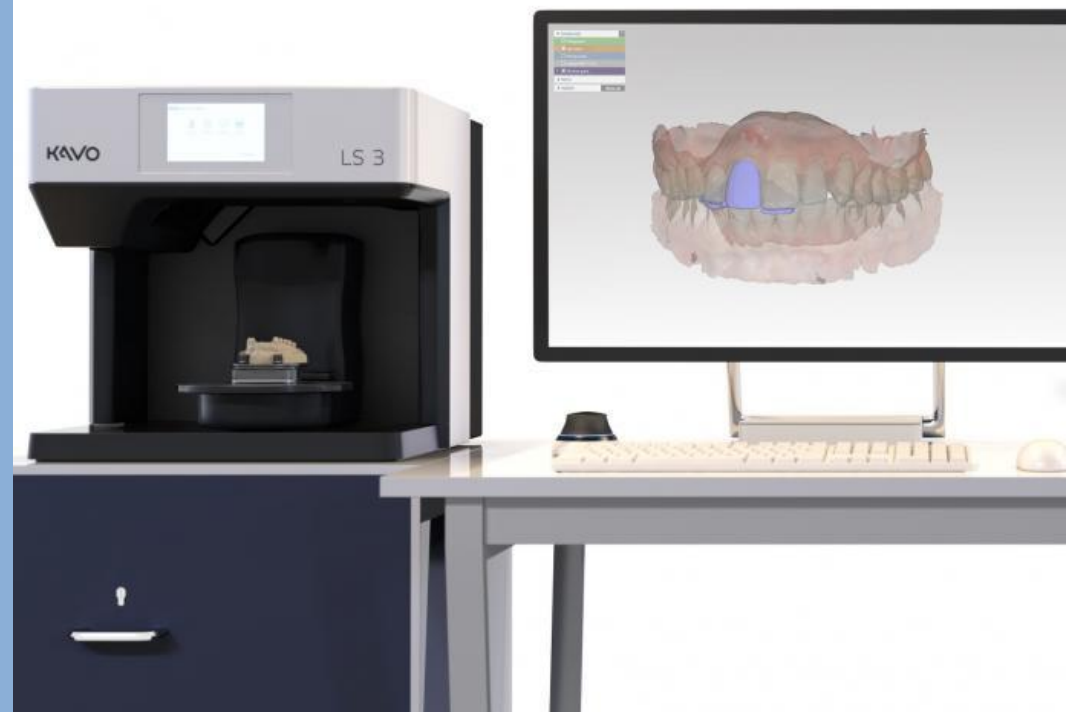
Preview the final restoration to validate your implant placement plan

With one click, reach out to your DTX Studio Lab partner and securely share your SmartSetup and intraoral scan through DTX Studio Go. The lab will convert the SmartSetup to design a final restoration, which you receive back to finalize your implant plan against definitive prosthetic needs. The modified tooth setup can be used for a TempShell provisionalization. After tissue maturation and definitive impression, you can order the final product based on the initial LabDesign.

ノーベルバイオケアのデジタルワークフロー :

- 治療の効率を高め、患者様の満足度を向上
- クリニックとラボの連携がさらに発展
- 最終補綴装置を考慮したデザインを治療計画

* Add LabDesignは、SmartFusionのみ有効なソリューションです

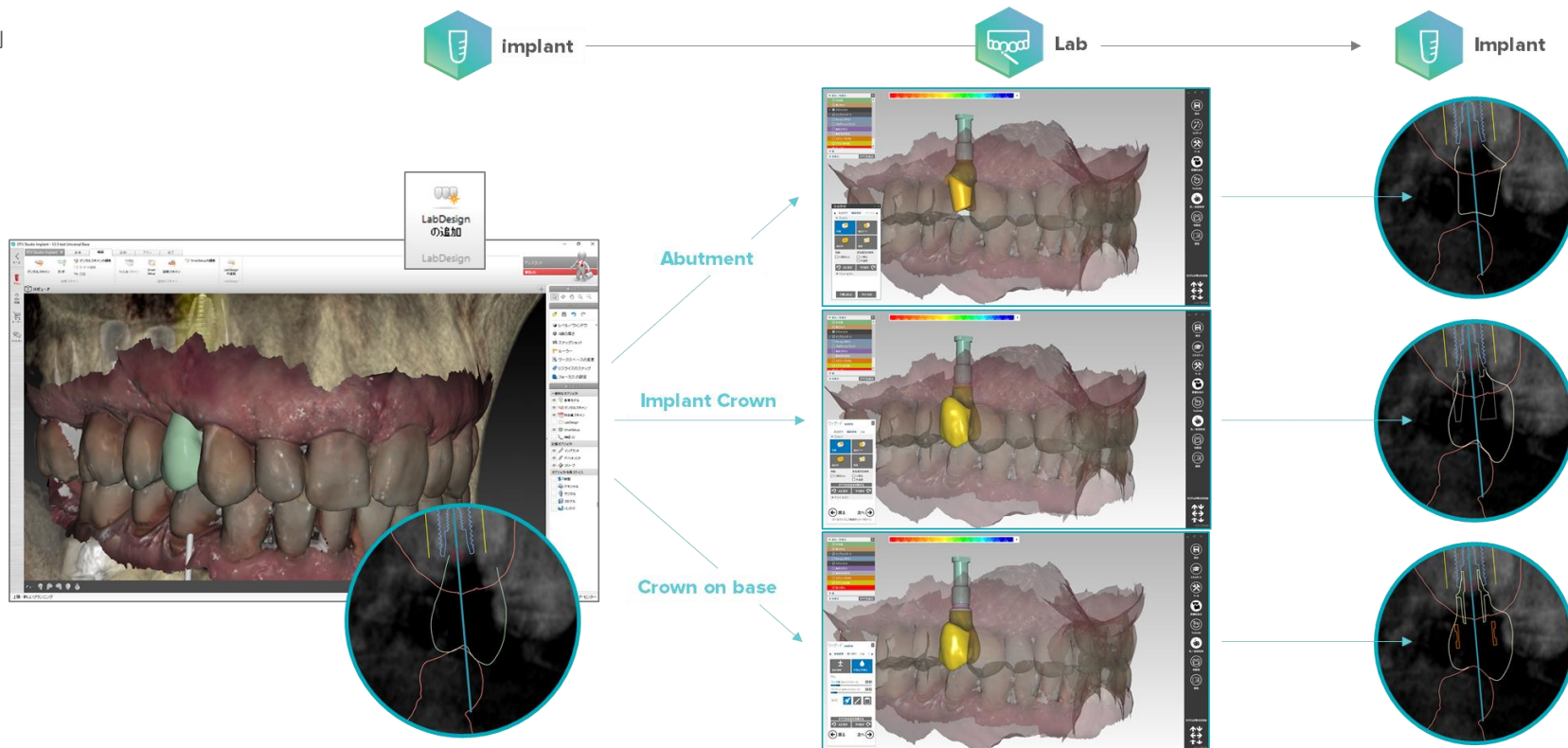




補綴・タブ (Add Lab Design)

アドラボデザイン : リクエスト

NOTE Add LabDesignの例



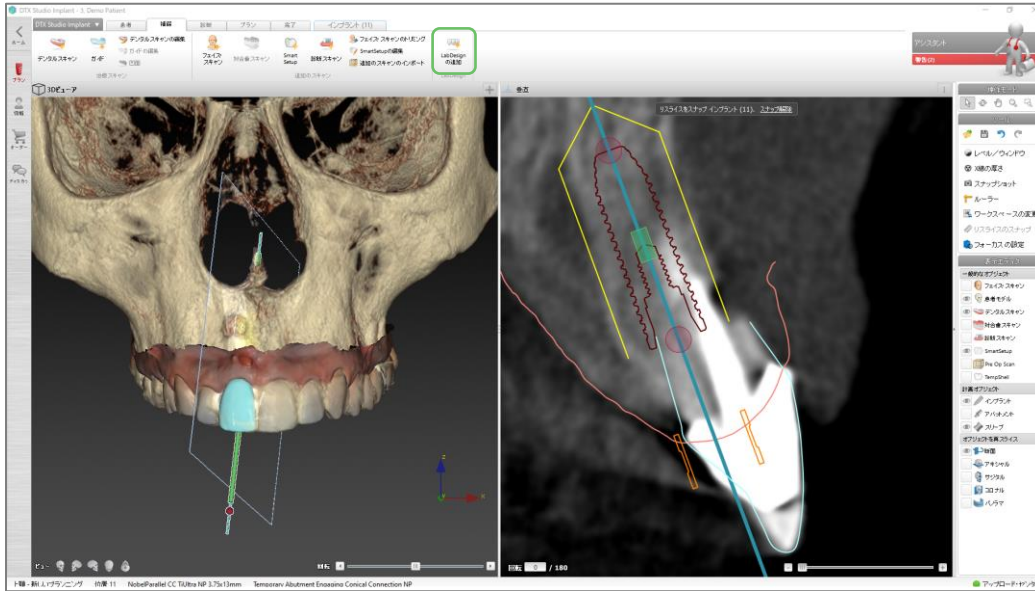
補綴・タブ (Add Lab Design)

アドラボデザイン : リクエスト

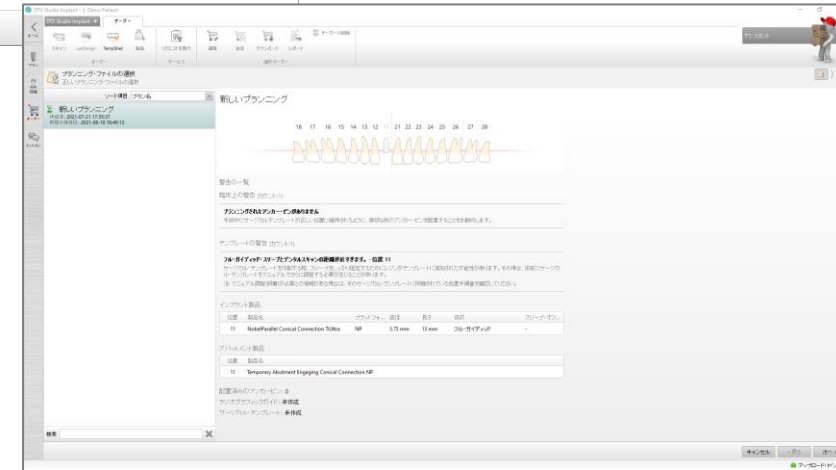
1 【補綴】タブ内の【LabDesignの追加】をクリックします



【LabDesignの追加】を選択します



2 LabDesignの追加ウィンドウが表示されます【オーダー・モジュールに移動】をクリックします



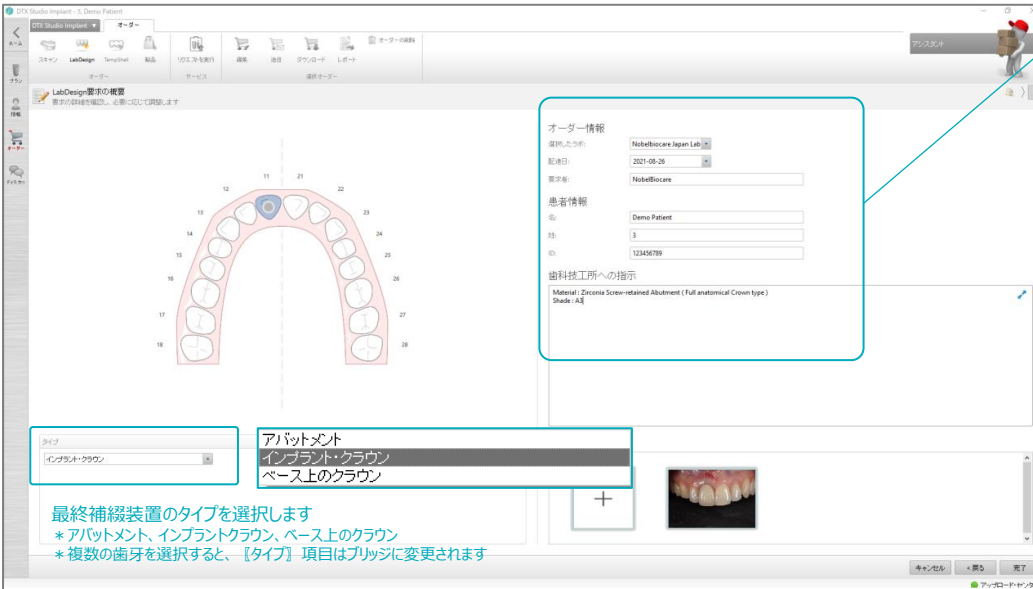


補綴・タブ (Add Lab Design)

アドラボデザイン : リクエスト

3 LabDesignのリクエスト内容を確認します

オーダー情報から、コネク先、患者名の変更、技工所への指示が行えます
* 本マニュアルでは、DTX Studio Labユーザーへコネクで送信する方法を解説しています



最終補綴装置のタイプを選択します
* アバットメント、インプラントクラウン、ベース上のクラウン
* 複数の歯牙を選択すると、【タイプ】項目はブリッジに変更されます

オーダー情報

選択したラボ:

配達日:

要求者:

患者情報

名:

姓:

ID:

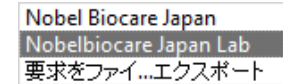
歯科技工所への指示

Material : Zirconia Screw-retained Abutment (Full anatomical Crown type)
Shade : A3

歯科技工所への連絡事項を記入できます

オーダー情報を設定し【完了】を選択します

選択したラボ項目からコネク先を選択します
DTX Studio Labユーザーを選択します

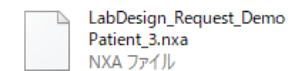


【要求をファイルにエクスポート】を選択すると、NXAファイルを抽出できます

コネクを行っていないDTX Studio Labユーザー・ヘンブ・シエルを依頼する場合に選択します



【要求をファイルにエクスポート】を選択すると、NXAファイルを抽出します
DTX Studio Labユーザーへファイルを送付します

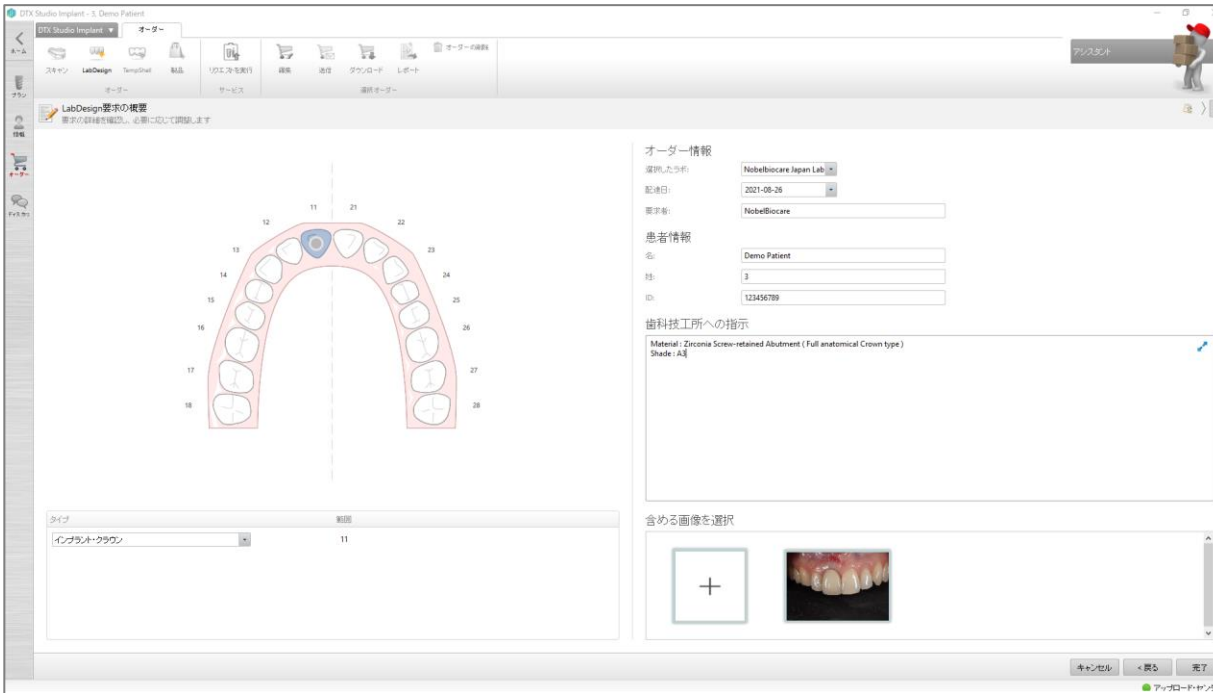


補綴・タブ (Add Lab Design)

アドラボデザイン : リクエスト

MEMO

単独歯修復の場合



最終補綴装置のタイプを単独歯修復で選択した場合

- * アバットメント
- * インプラントクラウン
- * ベース上のクラウン

から選択可能となります

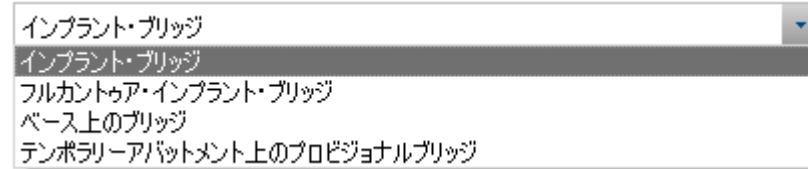
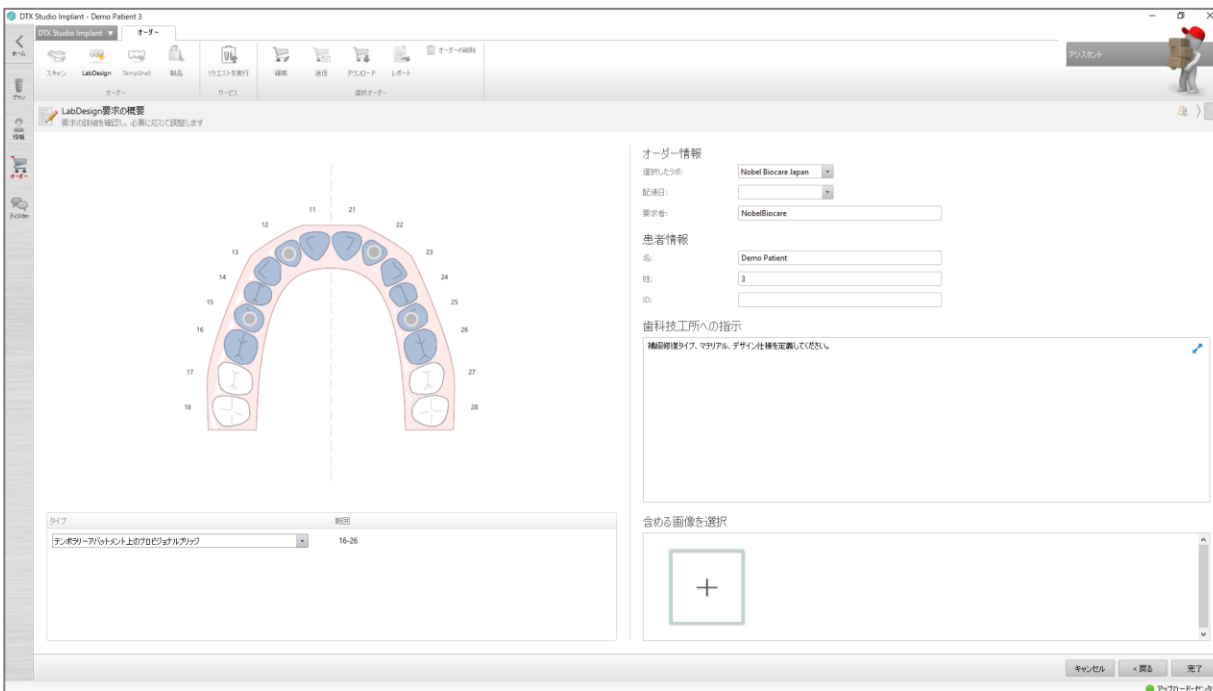


補綴・タブ (Add Lab Design)

アドラボデザイン : リクエスト

MEMO

複数歯修復の場合



最終補綴装置のタイプを単独歯修復で選択した場合

- * インプラント・ブリッジ
- * フルカントゥア・インプラント・ブリッジ
- * ベース上のブリッジ
- * テンポラリーアバットメント上のプロビジョナルブリッジ

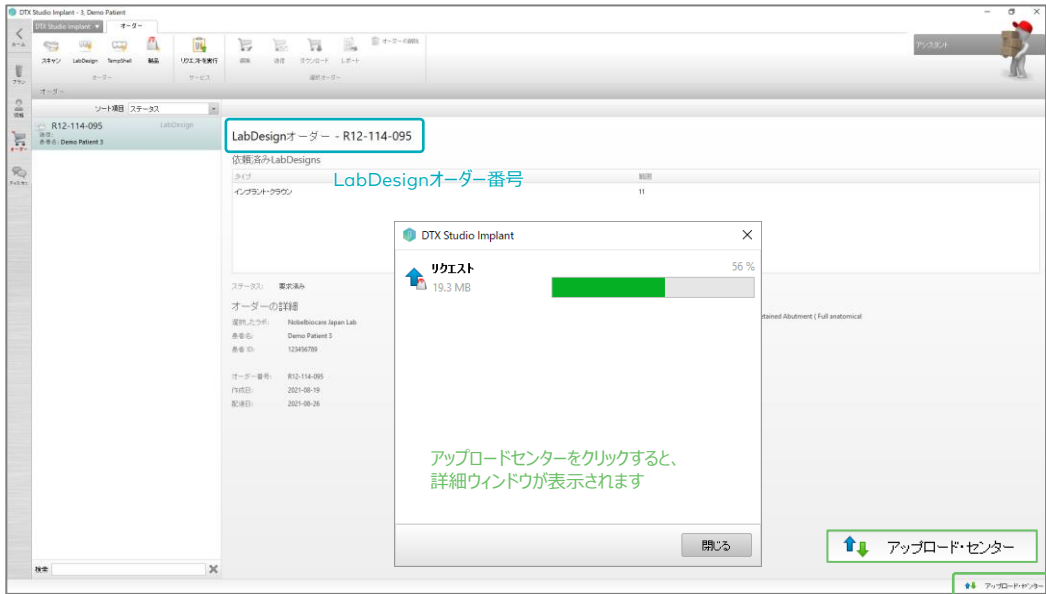
から選択可能となります

補綴・タブ (Add Lab Design)

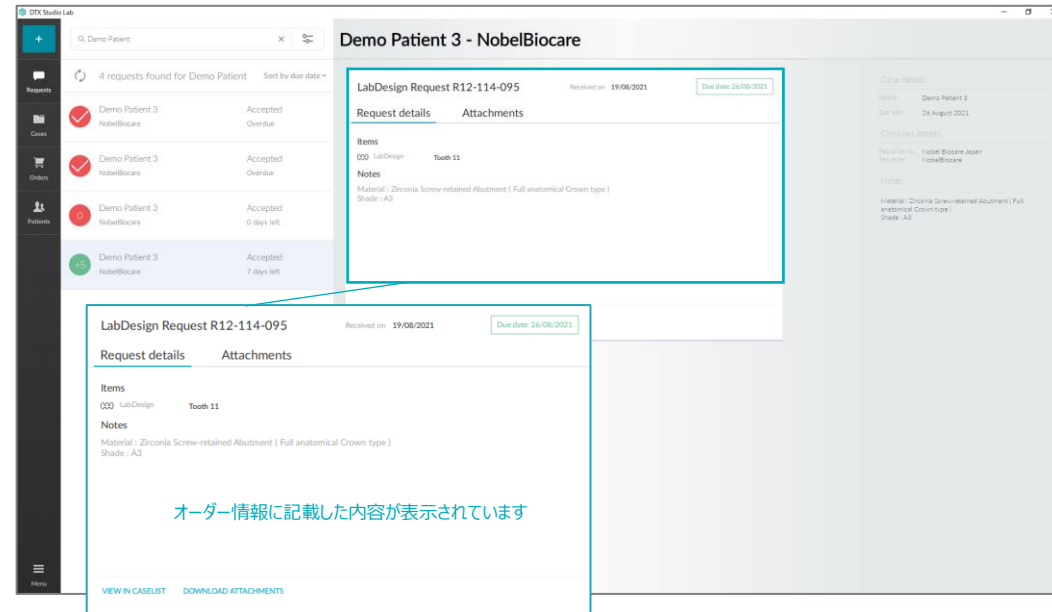
アドラボデザイン : リクエスト

- リクエストを実行します
アップロードセンターの更新が終わり次第、DTX Studio Lab ソフトウェアへ送信されます

LabDesignをリクエストします



- DTX Studio Labソフトウェア画面
歯科技工所でデザイン後、DTX Studio Implant ソフトウェアへ直接データ送信されます



補綴・タブ (Add Lab Design)

アドラボデザインの追加

- インプラント治療計画にLabDesignデータを追加します
DTX Studio Labソフトウェアでデザインした最終補綴装置のイメージデータをDTX Studio Implantでインポートします



歯科技工所からデザインされたデータが共有されると、ご登録のメールアドレスにご案内メールが届きます
DTX Studio Implantソフトウェアの『補綴』タブから【LabDesign】をクリックし、デザインデータを取り込みます



共有メールの受信



デザインデータの取り込み

*コネクト機能を利用されていない場合は、NXAファイルを【LabDesignのインポート】から取り込みます





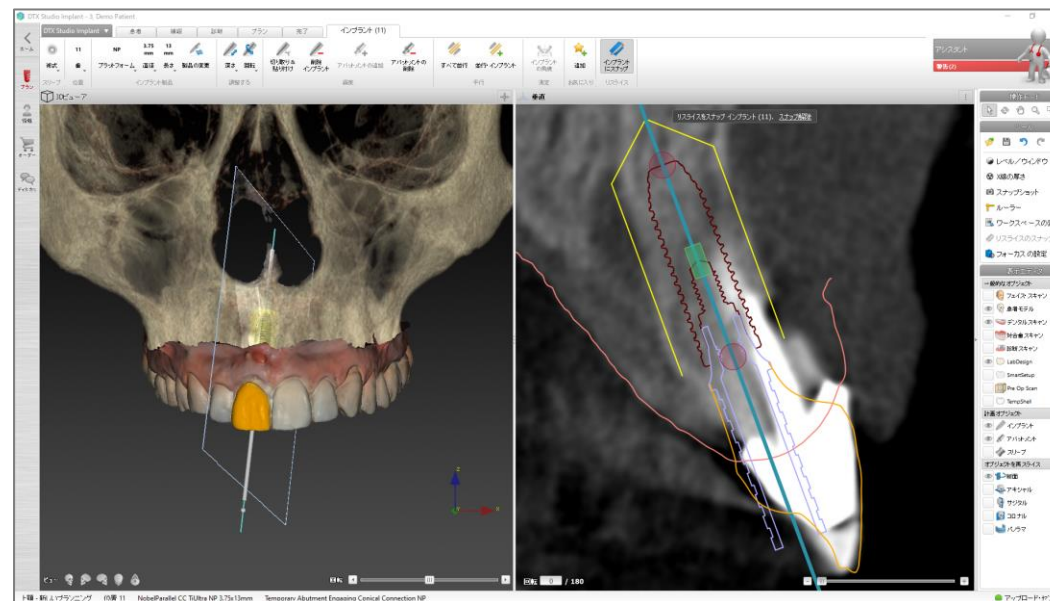
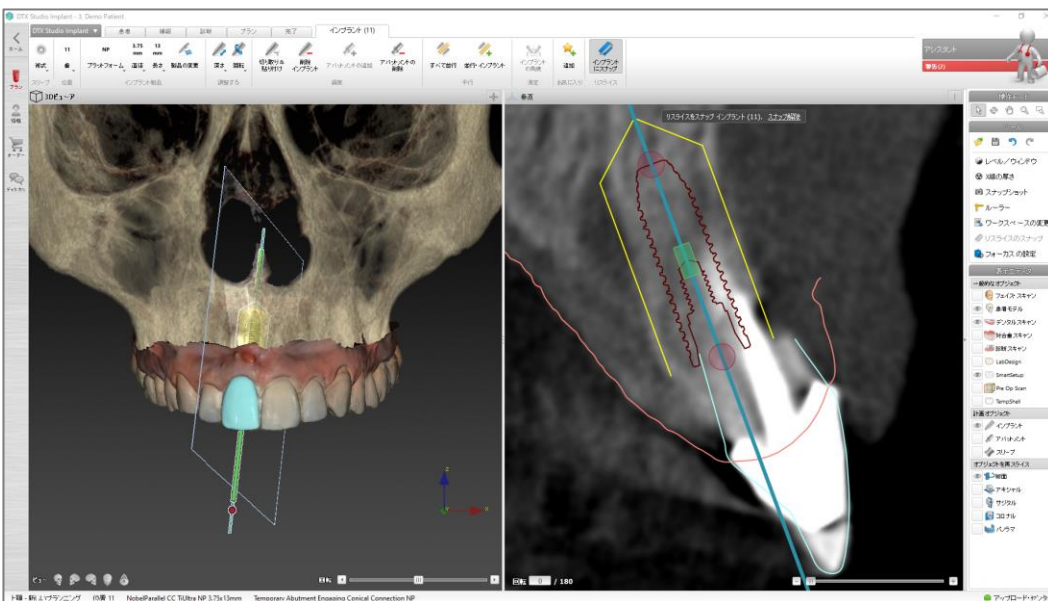
補綴・タブ (Add Lab Design)

アドラボデザイン追加

7 LabDesignデータの取り込み完了

スマートセットアップ *ライブラリーデータの色を変更しています

ラボデザインデータの取り込み *ラボデザインデータの色を変更しています





DTX Studio™ Implant
Planning for success in implant dentistry

完了
Finalize

完了 - Finalize



DTX Studio™ Implant
Planning for success in implant dentistry

完了タブ (テンプレシエル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

【完了】タブでは、サージカルテンプレートの設計やテンプレシエルのリクエスト、オーダーや各種ビューアの作成を行います

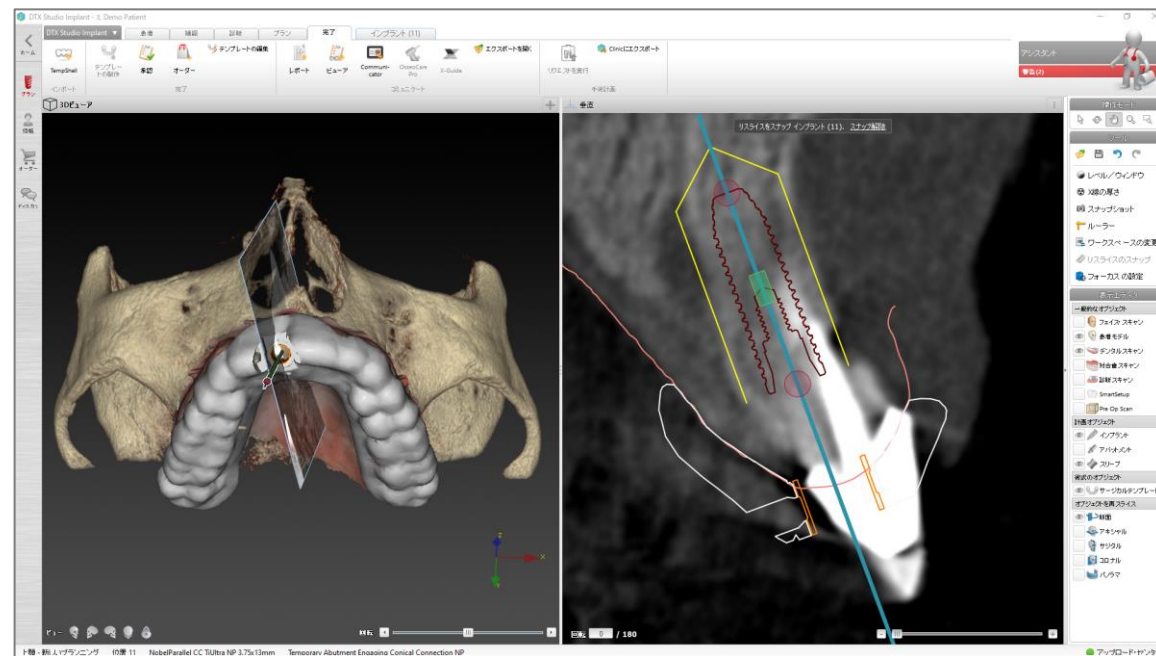
【完了】タブ (ラジオグラフィックガイドの場合)



【完了】タブ (Smartfusionの場合)



* ラジオグラフィックガイド法やSmartFusion法の設定により、有効化されるボタンが変更します

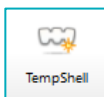




完了タブ (テンプシェル、 テンプレート設計、 オーダー、 レポート、 ビューア)

機能 :

【完了】 タブの項目では、計画した症例のテンプシェル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューアの作成を行います



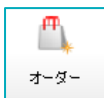
テンプ・シェルの製造および補綴イメージ編集を、DTX Studio Labユーザーへリクエストします
* SmartFusionの場合のみ有効化されます



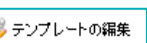
サージカルテンプレートの計画を行います
製造者の選択を行います
・ NobelBiocare production center
・ Local Production



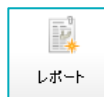
計画した症例の承認を行います
計画の承認は歯科医師のみが行います



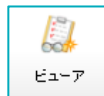
サージカルテンプレートのオーダー
計画したインプラント体やアバットメントなど、手術に必要な製品のオーダーを行います



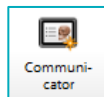
計画したサージカルテンプレートの編集を行います



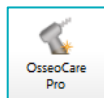
計画した症例のレポートを作成します



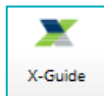
DTX Studio Implant viewer専用のビューア・ファイルを作成します



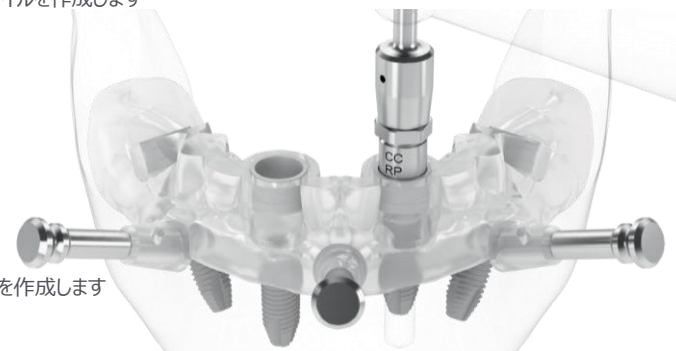
NobelClinicin communicator (iPad) 専用のビューア・ファイルを作成します



OsseoCare Pro (iPad) 専用のビューア・ファイルを作成します



X-Guide system 専用のファイルを作成します





完了タブ (テンプシェル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

テンプシェル・ソリューション :

個別に製作するスクリー固定のプロビジョナルがインプラント埋入手術当日に装着可能です



Supports fast time-to-teeth

TempShell is a screw-retained CAD/CAM provisional on the day of surgery, which is digitally created for each patient and easy to adjust according to the implant position. It is powered by DTX Studio suite.



TempShell

Screw-retained CAD/CAM provisional at the day of surgery. Collaborative digital workflows.

ノーベルバイオケアのプロビジョナル・デジタルワークフロー :

- 治療の効率を高め、患者様の満足度を向上
- クリニックとラボの連携がさらに発展
- より迅速な、プロビジョナルの提供を実現
- 手術当日に固定可能なプロビジョナルレストレーション

* TempShellは、SmartFusionのみ有効なソリューションです



完了タブ (テンプレ、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

テンプレ・ソリューション :

個別に製作するスクリー固定のプロビジョナルがインプラント埋入手術当日に装着可能です

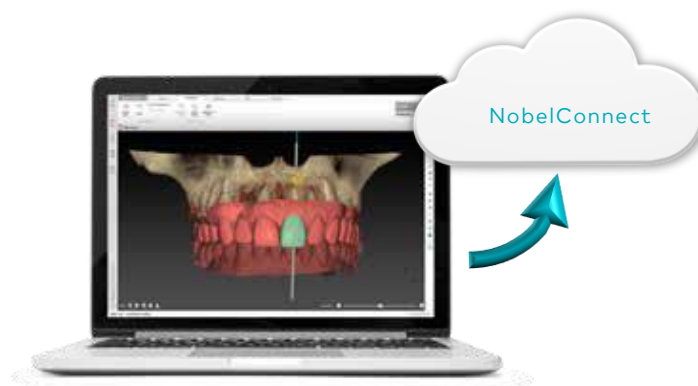


1, 患者の初診訪問時

患者様の口腔内情報 (CTデータ、口腔内スキャン、臨床写真など) をソフトウェアに取り込みます

DTX Studio Implant・ソフトウェアVer.3.6を使用して、補綴主導のインプラント治療計画を作成します

患者に確認していただけるように、治療計画と補綴形態をビジュアル化します



DTX Studio Implant – 初診時のスキャンからプランニングまで

SmartFusionで素早くビジュアル化

口腔内スキャナーもしくはデスクトップ・スキャナーから取り込んだ STL ファイルを (CB) CTデータと融合させ、患者様の解剖学的な情報をビジュアル化します

スマートセットアップでプランニング

ソフトウェア上でワックスアップを素早くデザインする機能 (スマートセットアップ) を使用し、補綴主導のインプラント治療計画を作成します

ラボとのコラボレーションがさらに充実

DTX Studio Lab・ソフトウェアを所有するラボと、クラウド上で情報共有ができます



完了タブ (テンプレシェル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

テンプレシェル・ソリューション :

個別に製作するスクリー固定のプロビジョナルがインプラント埋入手術当日に装着可能です

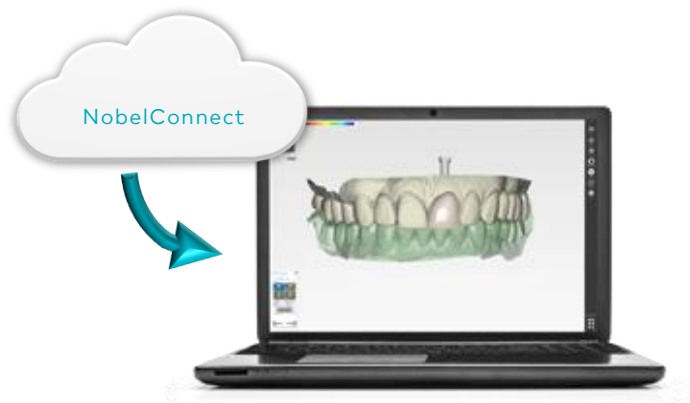


2, ラボのワークフロー

DTX Studio Labソフトウェアを用いて、プロビジョナルのデザインを完成させます

デザインした STLファイルをエクスポートし、インハウス型3Dプリンターもしくは、ミリングマシンでテンプレ・シェルを製造します

完成したテンプレシェル (プロビジョナル) を歯科医院に送り、即時で補綴装置を装着できる準備を行います



DTX Studio Lab - スタート時点から歯科技工士との密な連携が可能

DTX Studio Labソフトウェアで変わります
DTX Studio Labは、歯科医師と歯科技工士との連携を通じて、補綴装置のデザインから製造まで、ラボに新たな選択肢を提供します

チームでつながる

テンプレ・シェルなど、新たなソリューションを使用することで、歯科技工士と効率性の高いコラボレーションが可能になります

完全デジタル・ワークフローで作業時間を節約

デジタルプランを元に、クリックするだけでプロビジョナルのデザインを作成でき、インハウス型機器での製造*まで可能になります

* テンプレシェル製造には別途、3Dプリンター / ミリングマシンが必要となります



完了タブ (テンプレセル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

テンプレセル・ソリューション :

個別に製作するスクリー固定のプロビジョナルがインプラント埋入手術当日に装着可能です



3, インプラント手術当日

インプラントを埋入します

チェアサイドで、テンプレセル・プロビジョナルを仕上げます

プロビジョナルをインプラント手術当日に患者へ提供します

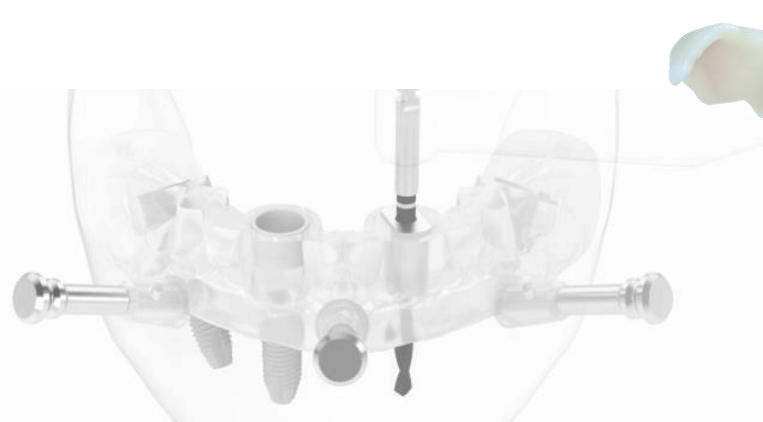
テンプレセル - CAD/CAM 製作のスクリー固定のプロビジョナル

審美性の高い修復を短期間で提供

テンプレセルは、患者様個別にデジタルで製造するプロビジョナル・レストレーションです
インプラント埋入ポジションに応じた調整が行えます

チェアタイムの短縮

個別製造のため、試適、調整の回数を減らします
プロビジョナルに付与されるウイングは、正しいポジションを確認する際に使用し、最終的には除去
します



テンプレセルのウイングを使用し、
手術中に補綴装置の正しい位置を取得します



完了タブ (テンプシェル、 テンプレート設計、 オーダー、 レポート、 ビューア)

テンプシェル・ソリューション :

個別に製作するスクリュー固定のプロビジョナルがインプラント埋入手術当日に装着可能です

テンポラリーアバットメントをテンプシェルに取り込みます
アバットメント基底部よりアピカルドリルを挿入し、スクリュー
アクセスホールを正確に成形します



3, インプラント手術当日

テンプシェル - CAD/CAM 製作におけるスクリュー固定のプロビジョナル

スナップオン機能付きのテンポライゼーション・ワークフロー

テンプシェルは、テンポラリー・スナップ・アバットメントまたはテンポラリー・スナップ・シリンダー
(マルチユニット・アバットメント プラス用) と一緒にご使用いただくことで、その利便性がより発揮されます

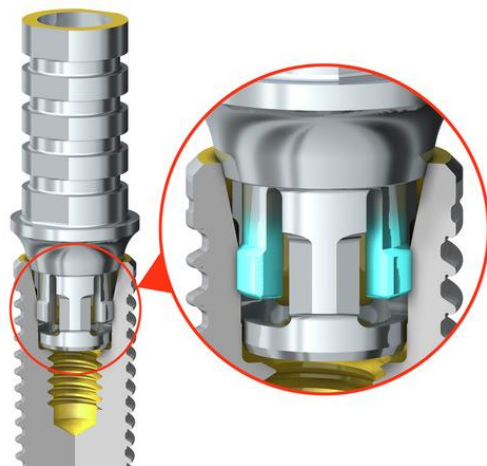
スクリュー不要なトライイン

スナップオン・タイプのテンポラリー・スナップ・アバットメントまたはテンポラリー・スナップ・シリンダーをご利用いただくことで、
試適時のスクリュー締結が不要です

スクリュー・アクセスホールの形成が容易に形成

専用のドリルガイドとアピカルドリルを使用して、スクリュー・アクセスホールを正確に形成します

* テンポラリー・スナップ・アバットメントまたはテンポラリー・スナップ・シリンダーは、インターナル・コニカル・コネクション専用のソリューションとなります



テンポラリー・アバットメントが収まる
少し広めのスペース

テンポラリー・スナップ・アバットメント



テンポラリー・スナップ・シリンダー
* for Multi-Unit Abutment Plus



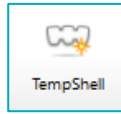
完了タブ (テンプシェル、 テンプレート設計、 オーダー、 レポート、 ビューア)

テンプシェル・ソリューション : リクエスト



1

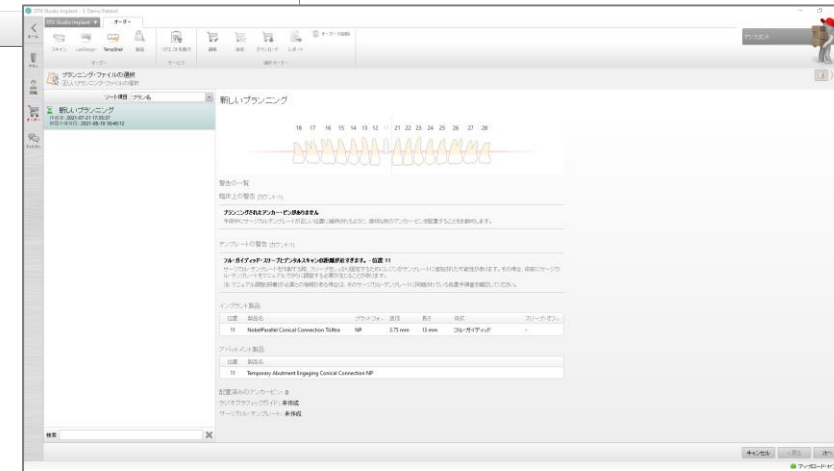
【完了】タブ内の【TempShell】をクリックします



TempShellを選択します

2

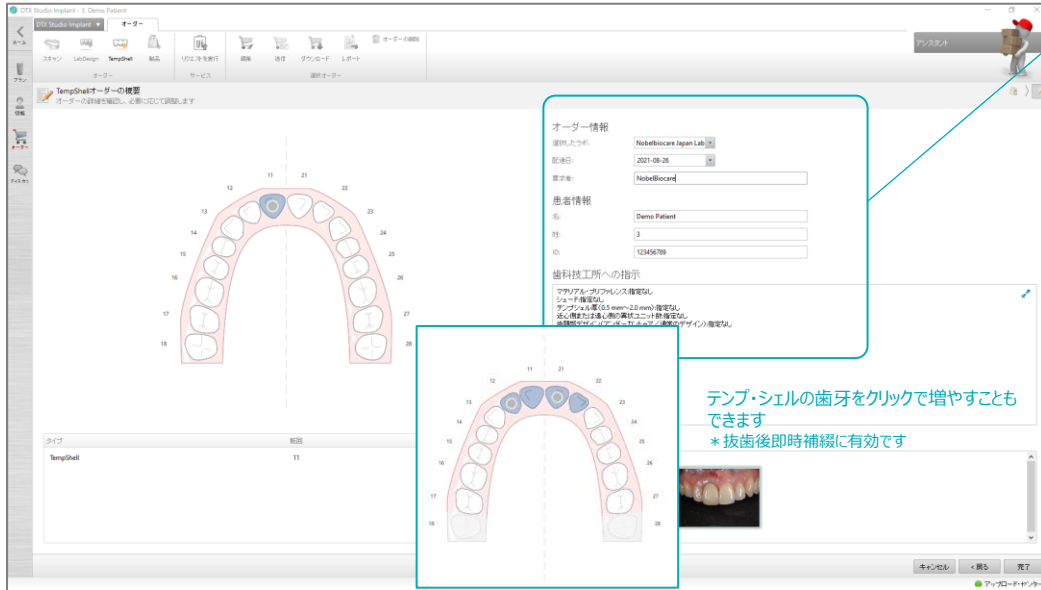
TempShellの追加ウィンドウが表示されます
【オーダー・モジュールに移動】をクリックします



完了タブ (テンプシェル、 テンプレート設計、 オーダー、 レポート、 ビューア)

テンプシェル・ソリューション : リクエスト

- TempShellのオーダーを確認します
オーダー情報から、コネク先、患者名の変更、技工所への指示が行えます
* 本マニュアルでは、DTX Studio Labユーザーへコネク先で送信する方法を解説しています



テンプ・シェルの歯牙をクリックで増やすことも
できます
* 拔牙後即時補綴に有効です

オーダー情報

選択したラボ: Nobelbiocare Japan Lab

配達日: 2021-08-26

要求者: NobelBiocare

患者情報

名: Demo Patient

姓: 3

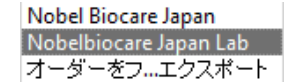
ID: 123456789

歯科技工所への指示

マテリアル・プリファレンス 指定なし
シェード 指定なし
テンプシェル厚 (0.5 mm~2.0 mm) 指定なし
近心側または遠心側の真状ユニット数 指定なし
歯頸部デザイン(アンダーカントラア/通常のデザイン) 指定なし
備考:

歯科技工所への連絡事項を記入できます

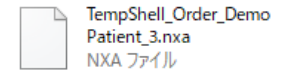
選択したラボ項目からコネク先を選択します
DTX Studio Labユーザーを選択します



【オーダーをファイルにエクスポート】を選択すると、NXAファイルを抽出できます
コネク先を行っていないDTX Studio Labユーザーへテンプ・シェルを依頼する場合に選択します



【オーダーをファイルにエクスポート】を選択すると、NXAファイルを抽出します
DTX Studio Labユーザーへファイルを送付します



オーダー情報を設定し【完了】を選択します





完了タブ (テンプシェル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

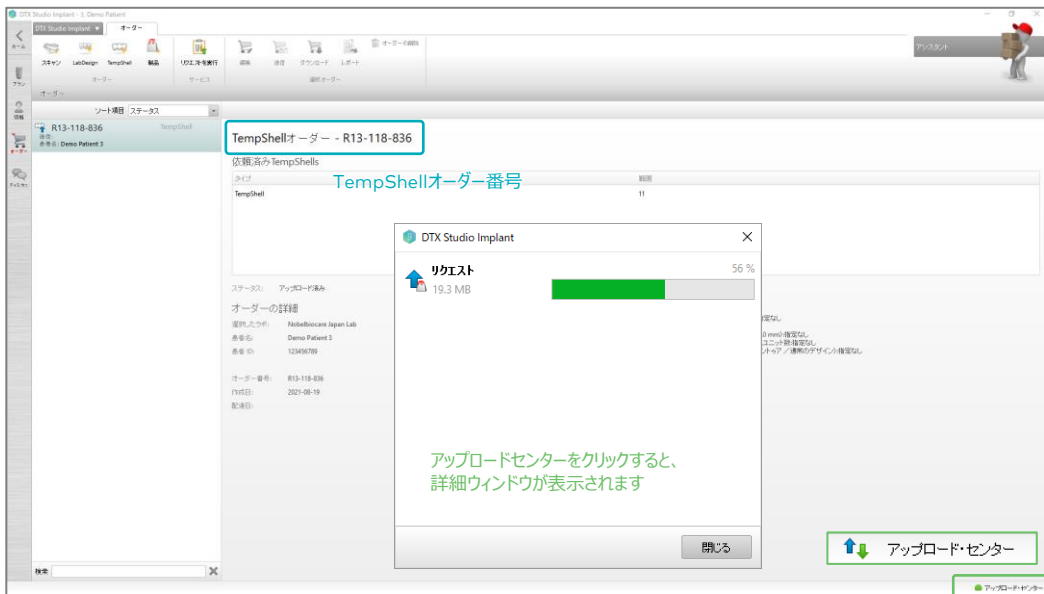
テンプシェル・ソリューション : リクエスト

4 リクエストを実行します
アップロードセンターの更新が終わり次第、DTX Studio Lab ソフトウェアへ送信されます



5 DTX Studio Labソフトウェア画面
歯科技工所で製作後、テンプシェルが納品されます

TempShellをリクエストします





完了タブ (テンプシェル、 テンプレート設計、 オーダー、 レポート、 ビューア)

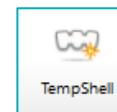
テンプシェル・ソリューション : TempShellの追加



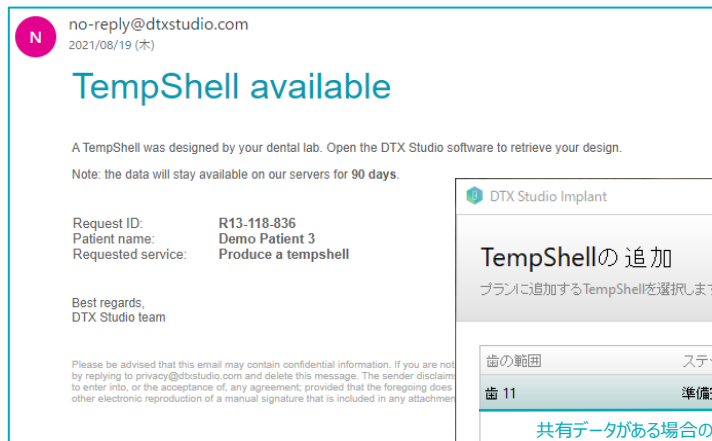
NOTE

TempShellリクエスト機能を使用し、テンプレートのデザインデータを計画に追加可能です
DTX Studio Labソフトウェアでデザインした歯牙データをDTX Studio Implantに戻し、再度診断が行なえます

歯科技工所から再デザインされたデータが共有されると、ご登録のメールアドレスにご案内メールが届きます
DTX Studio Implantソフトウェアの【完了】タブから【TempShell】をクリックし、デザインデータを取り込みます

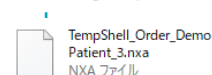


共有メールの受信



デザインデータの取り込み

コネク機能を利用されていない場合は、NXAファイル【TempShellのインポート】から取り込みます



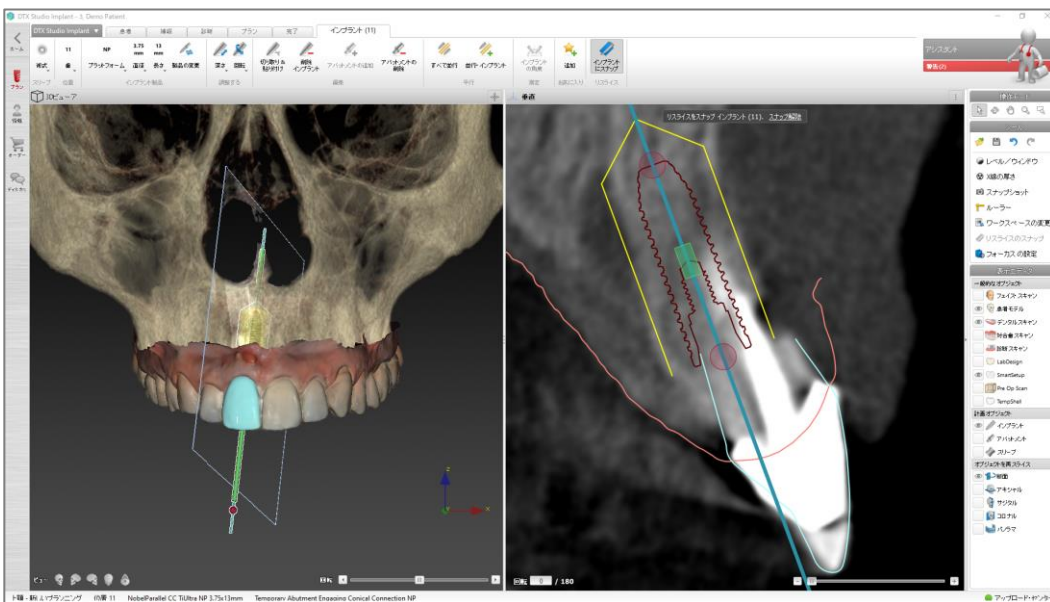
完了 - Finalize

完了タブ (テンプシェル、 テンプレート設計、 オーダー、 レポート、 ビューア)

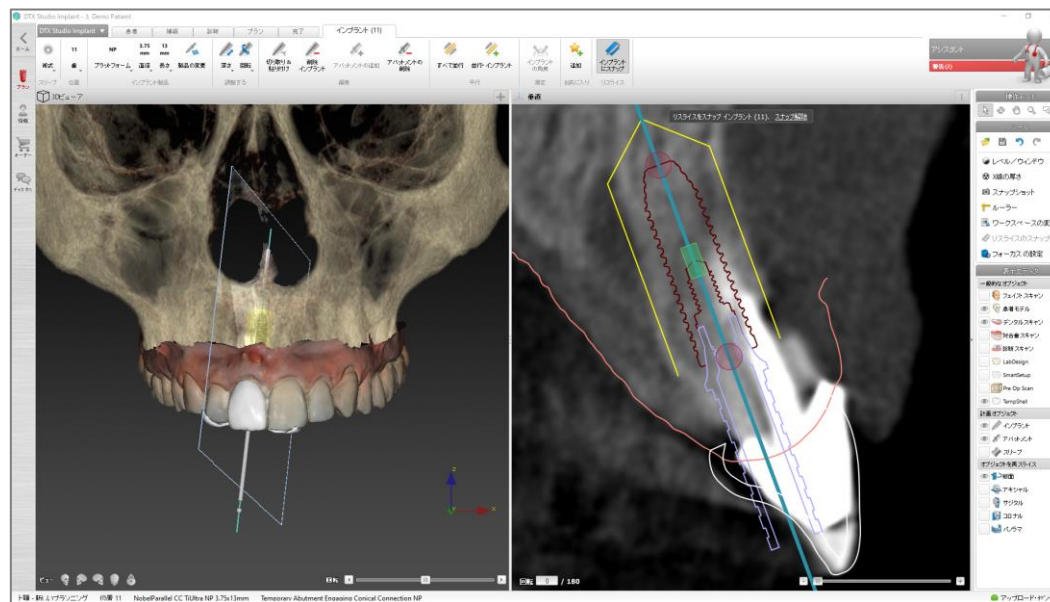
テンプシェル・ソリューション :

6 TempShellデータの取り込み完了

スマートセットアップ * ライブラリーデータの色を変更しています



テンプシェルデータの取り込み



DTX Studio™ Implant
Planning for success in implant dentistry

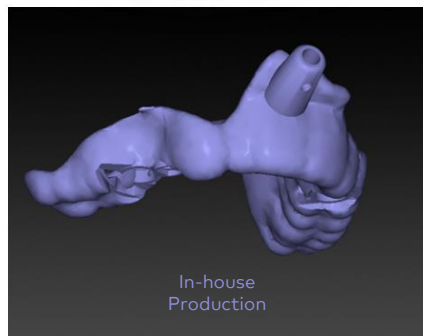
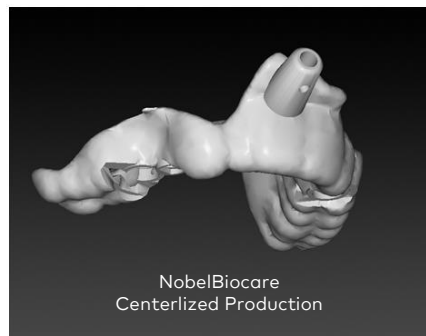
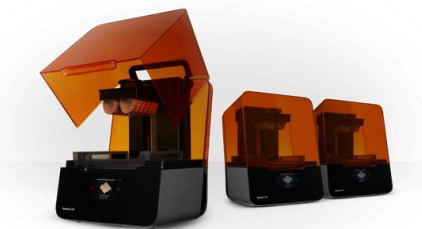
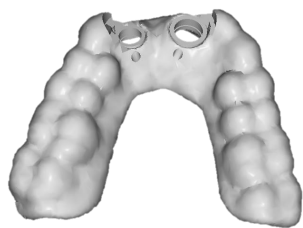


完了 - Finalize

完了タブ (テンプシェル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

テンプレート設計 :

DTX Studio Implantでは、サージカルテンプレートの製造先をノーベルプロセラ・プロダクションセンターもしくは、インハウス・プロダクションから選択しオーダーが可能です

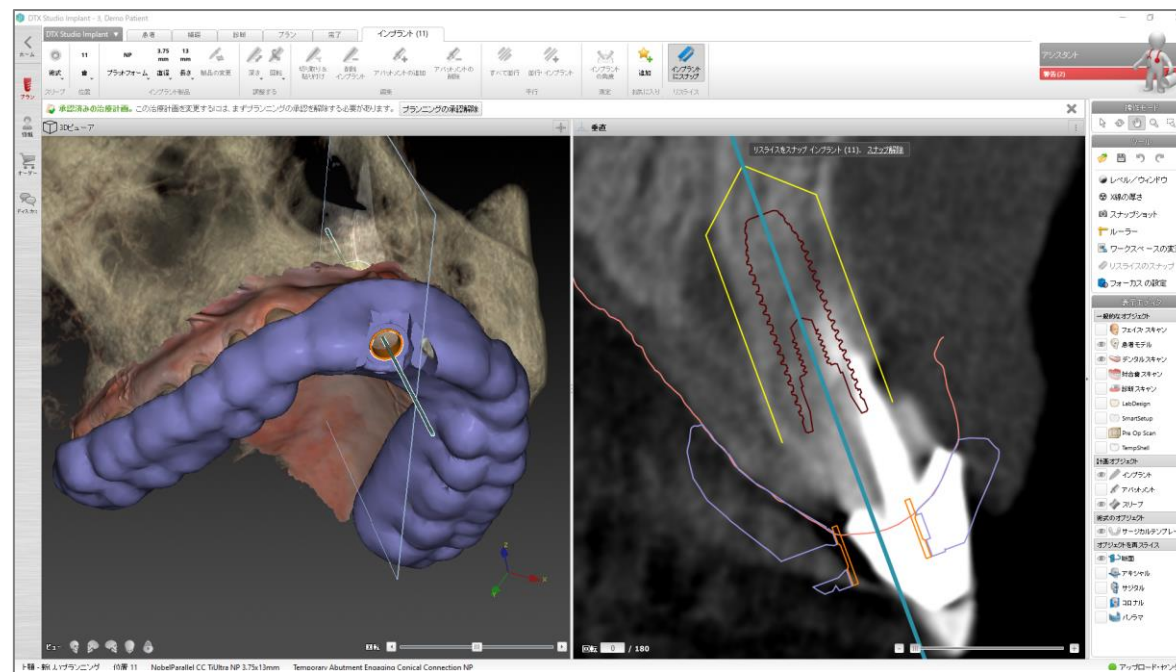


DTX Studio™ Implant
Planning for success in implant dentistry

Surgical Template's file Export

サージカルテンプレートのSTLファイルを出力します
出力したSTLファイルから、3Dプリンティング製作が可能です

* インハウス・プロダクション製作を選択した場合は、Surgical Templateが青くなります





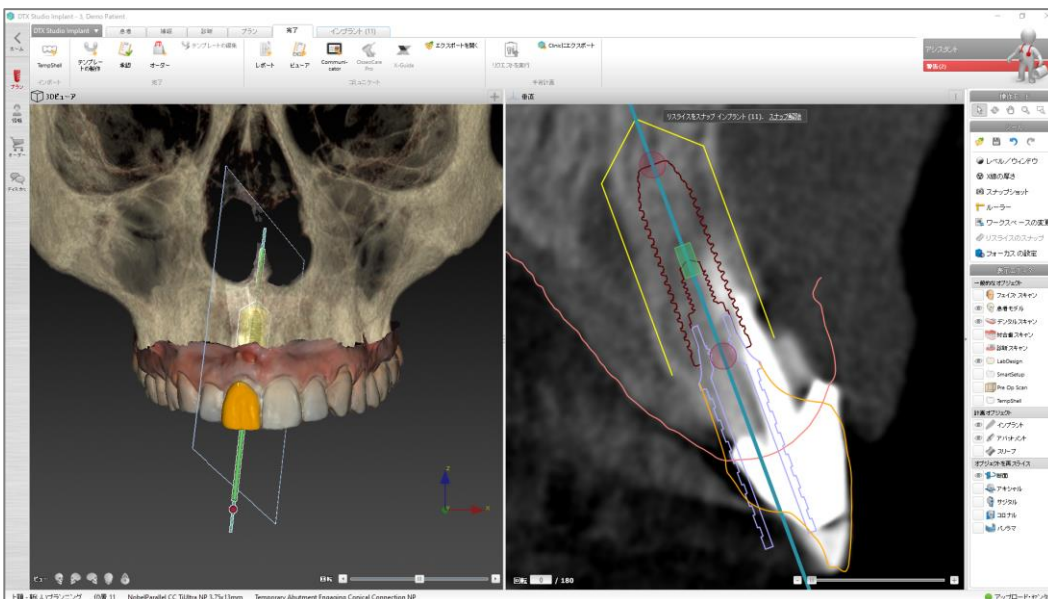
完了タブ (テンプレセル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

テンプレート設計 :

1 検査診断とプランニングを完成させ、【完了】タブを表示します



2 【完了】タブから【テンプレートの製作】をクリックします





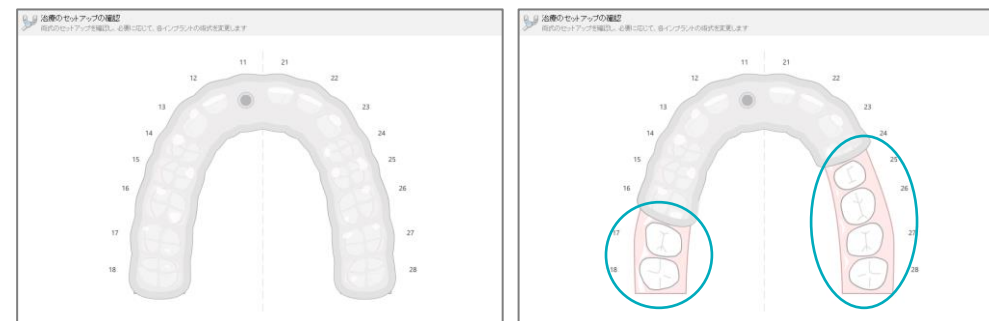
完了タブ (テンプシェル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

テンプレート設計 :



3 製造に関する設定を行います
サージカルテンプレートの形態変更、術式タイプの変更が可能です

4 サージカルテンプレートの形態を変更します



不要または、必要な部位をクリックし、テンプレートの形態を編集します

完了タブ (テンプシェル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

テンプレート設計 :

5 製造の設定を行います



6 製造方法と製造先を選択します

- 1 サージカルテンプレートの製造方法を選択します
プロダクションセンターへオーダーする場合は、【Nobel Biocare】を選択します
データをエクスポートする場合は、【その他】を選択します
- 2 サージカルテンプレートの製造先を選択します
*コネク特している場合は、プルダウンメニューより選択します
*ラボにデータを送りたい場合は、コネク特先のラボを選択します
- 3 患者名を確認します(必要に応じて変更できます)
- 4 患者ID・患者情報通知を確認します
- 5 ソフトウェア画面右下の【次へ】をクリックします

5 次へ >

コネク特を確立している場合、プルダウンからコネク特先が選択可能

ローカルの製造者が選択された場合、ノーベルバイオケアは、テンプレートについて一切の責任を負わないものとします。

製造者	Nobel Biocare Japan
患者の名	Nobel Biocare Japan
患者の姓	Nobelbiocare Japan Lab
患者 ID	

1 製造方法の選択

- Nobel Biocare : NBプラント製造
- **その他 : Local Production**

サージカルテンプレートの製造者

Nobel Biocare

その他

ローカルの製造者が選択された場合、ノーベルバイオケアは、テンプレートについて一切の責任を負わないものとします。

2 製造先の選択 (自施設・コネク特先)

製造者	Nobel Biocare Japan
患者名の変更 (First name)	Taro
患者名の変更 (Last name)	Nobel
患者ID	123456789

4 患者情報通知の可否

すべての患者情報を匿名化する

チェックを入れると患者情報を【匿名】にしてデータを作成できます

サージカルテンプレートの製造者

Nobel Biocare

その他

ローカル製造者を選択する場合は、ノーベルバイオケアのサポートセンターに一切の責任を負わないものとします。

製造者: Nobel Biocare Japan

患者名: Demo Patient

患者ID: 3

患者ID: 123456789

製造者を設定します
プロダクションセンターへオーダーする場合は、【Nobel Biocare】を選択します
データをエクスポートする場合は、【その他】を選択します

計画された製品

品番	形式	製品名	プラント幅	直径	高さ	スリーブオフセット
11	フル-ガイドド	NobelParallel Conical Connection Tilttra NP	NP	3.75 mm	13 mm	-

警告の一覧

臨床上の警告 (フロント)

プランニングされたフル-ガイドドの準備が完了しました。

テンプレートの警告 (フロント)

フル-ガイドド-スリーブ-オフセットの準備が完了しました。位置 11

完了 - Finalize



完了タブ (テンプシェル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

テンプレート設計 :

7 サージカルテンプレートの3Dデータを作成します



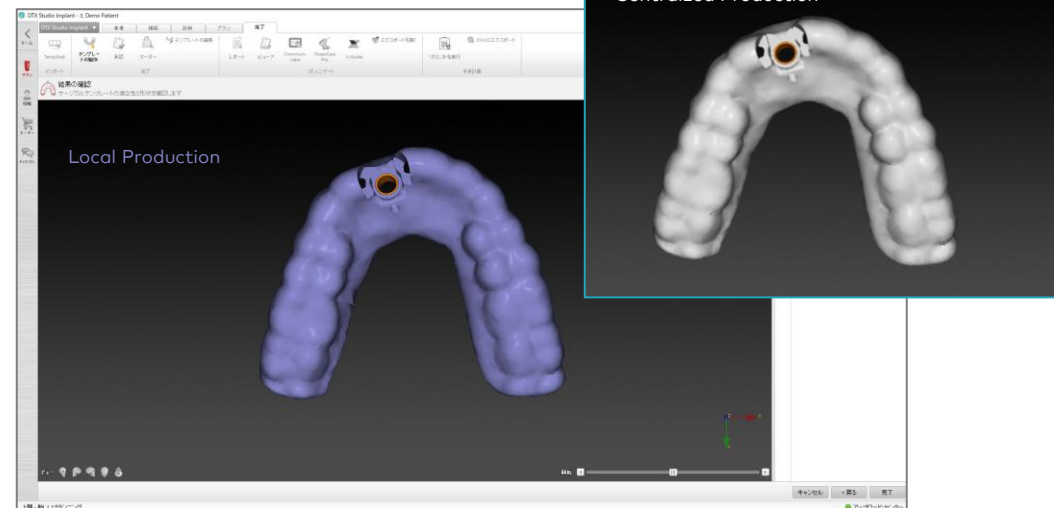
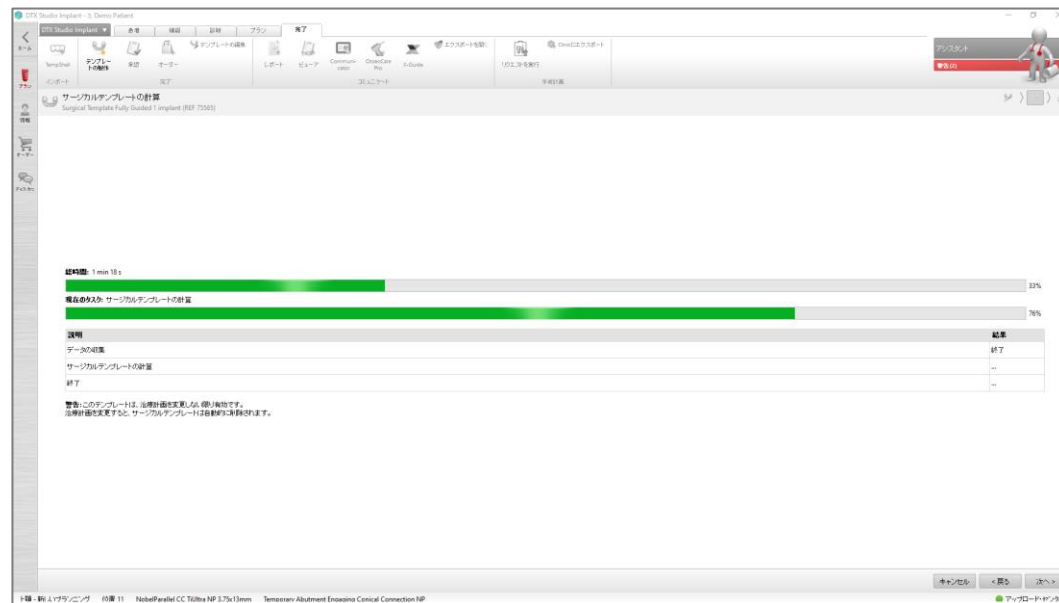
8 サージカルテンプレートの確認をします

【その他】を選択した場合は、テンプレートが青く表示されます
【Nobel Biocare】を選択した場合は、従来通り白く表示されます

データに問題がなければ、【完了】をクリックします

- * STEP11へ進みます
- * データ編集を行う場合は、次項へ進みます

完了

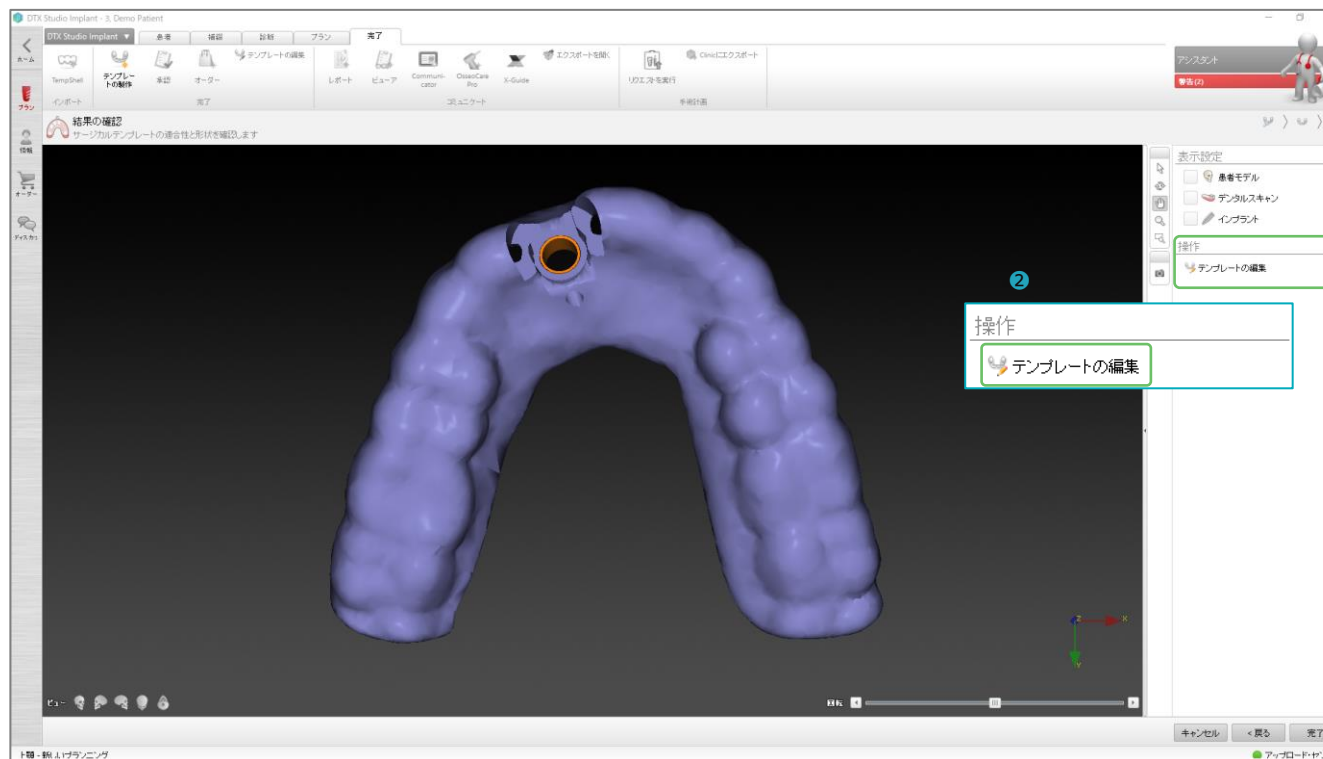




完了タブ (テンプレシェル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

テンプレート設計 :

- 9 サージカルテンプレートの確認をします
テンプレートを編集したい場合は、【テンプレートの編集】をクリックします (次項参照)

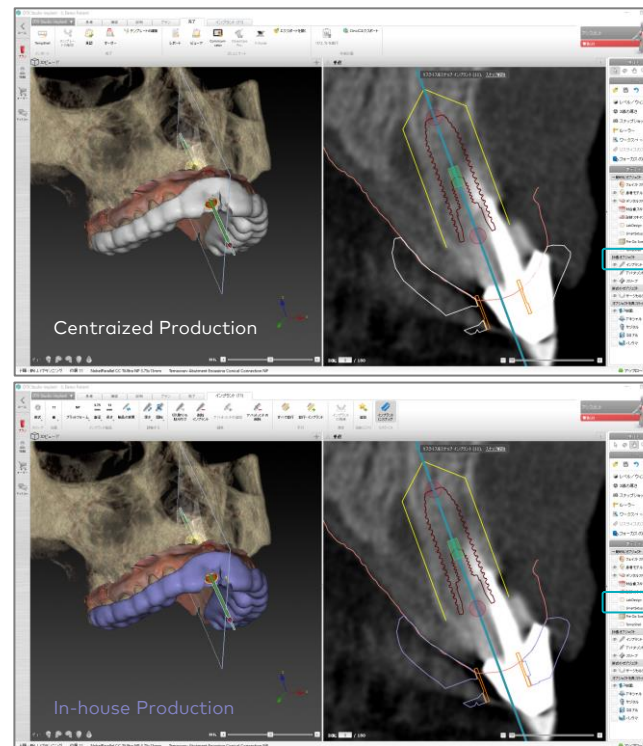
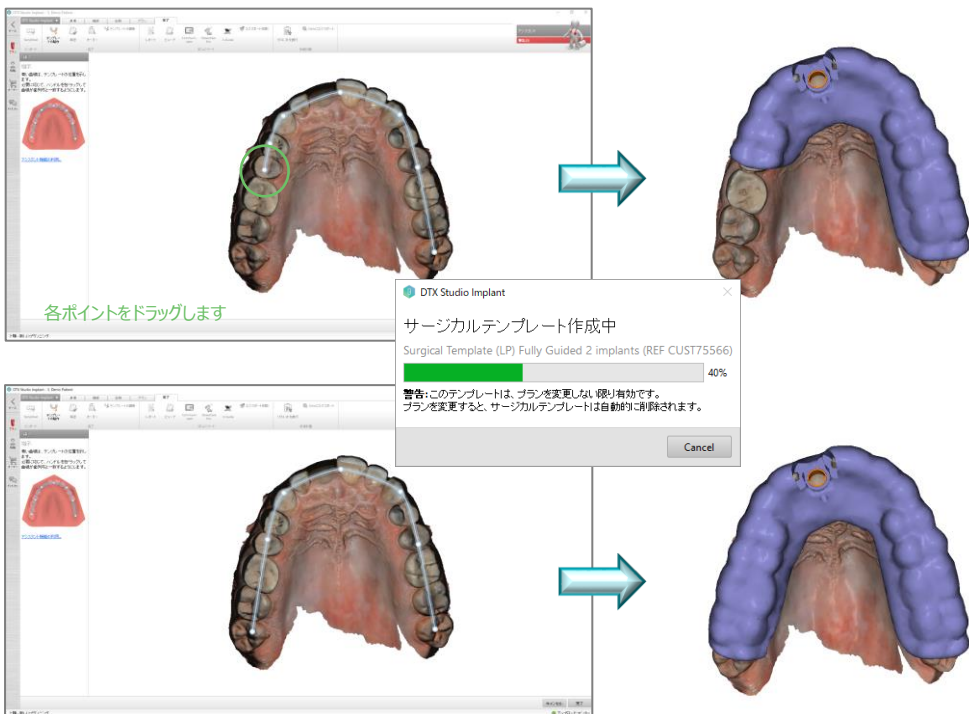




完了タブ (テンプレセル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

テンプレート設計 :

10 顎堤アーチ内のポイントをドラッグし、サージカルテンプレートの製造範囲を設定します
設定後、【完了】ボタンをクリックします



- プランニング用オブジェクト
- インプラント (2)
 - アパットメント (2)
 - スリーブ (2)
 - 術式のオブジェクト
 - サージカルテンプレート

術式オブジェクト内に【サージカルテンプレート】が表示され、表示/非表示の操作が行えます

サージカルテンプレートを確認します

- ・【サージカルテンプレート】と【スリーブ】以外すべてを非表示設定にし、サージカルテンプレート内面やスリーブ付近の状態を確認します
- ・【スリーブ】を非表示設定にし、スリーブ内面状態を確認します

完了タブ (テンプセル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

計画の承認 :



- 11 計画した症例の承認を行います
【完了】タブ内の【承認】をクリックし、計画の承認チェックボックスにチェックをし、計画の同意を行います
【後で承認】または、【オーダーの作成】をクリックします

* 全ての計画(データ、データマッチング、プランニング)の承認は歯科医師のみが行います



チェックを入れ計画の同意を行います

後で承認

計画した症例の承認を後で行います
画面に記載されている内容を確認し、【後で承認】をクリックします
* プランニング画面に戻ります

* 後で承認を行うと、計画の修正が行なえます
* オーダーを行う場合は、【完了】タブ内の【承認】をクリックし、計画の承認後、オーダーへ進みます

オーダーの作成

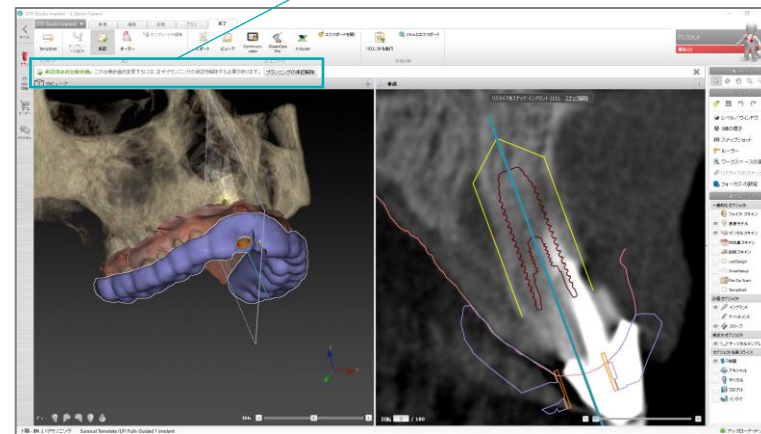
計画した症例の承認を行い、オーダーを行います

* オーダーについては、【オーダーの作成】をクリック後、本書 P127 もしくは P133 へ進んでください

* 本マニュアルでは【後で承認】を選択して解説しています

- 12 治療計画の承認
承認されたデータはプランの変更ができなくなり、オーダーの準備に入ります

承認済みの治療計画。この治療計画を変更する場合は、まずプランニングの承認を解除する必要があります。 **プランニングの承認解除**



プランの変更を行う場合は、
【プランニングの承認解除】をクリックします

* インプラントやアンカー・ピンの計画を変更した場合は、サージカルテンプレートが
消去されます

計画の承認を行うと、【OsseoCare Pro】および【X-Guide】のコミュニケートが有効化されます





DTX Studio™ Implant
Planning for success in implant dentistry

オーダー Order



患者ファイルのアクション



製品オーダー

製品のオーダー

【モジュールバー】から【オーダー】アイコンをクリックします
オーダーの確認および、各種オーダーを実行します

確認後、【モジュールバー】の【ホーム】ボタンで戻ります

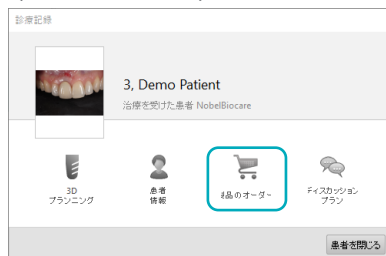
① 目的のオーダーを選択します

② オーダーを確認します：
オーダー状況をステータスから確認します

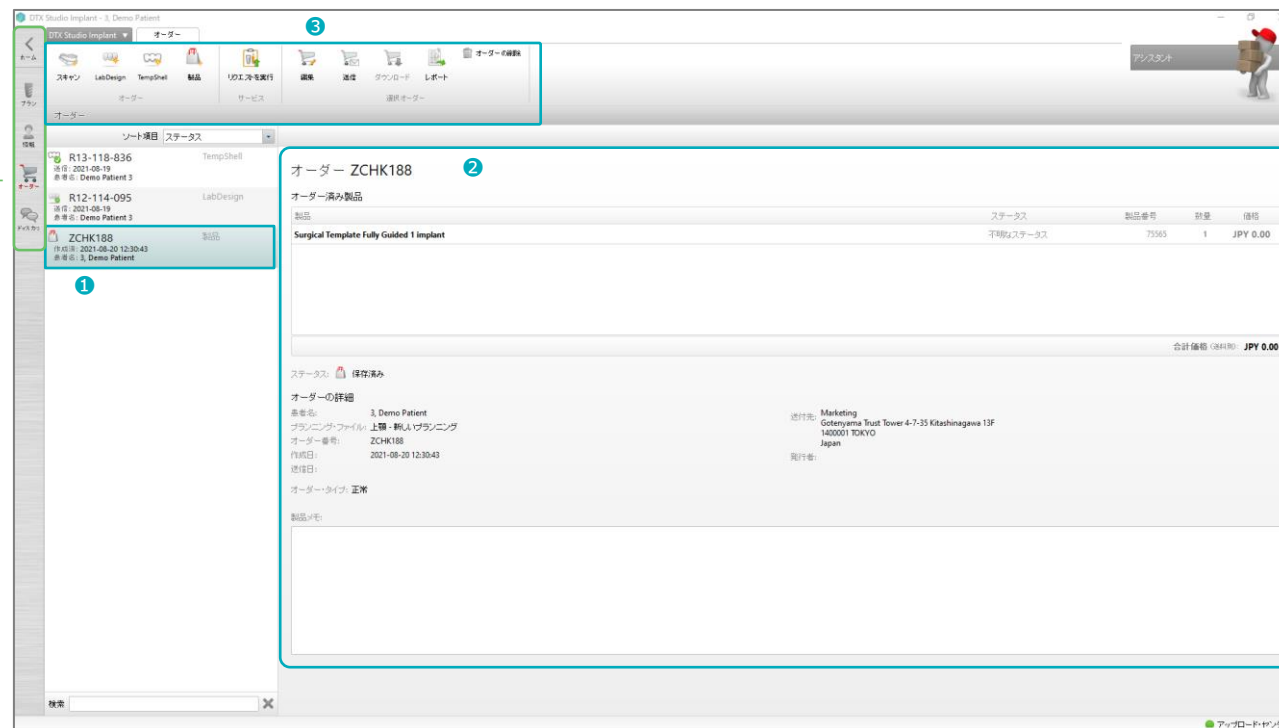
③ 各種オーダー：
次項を参照ください

モジュール・バー

（診療記録ダイアログ）



【診療記録ダイアログ】の製品の
オーダーからもアクセスが可能です





オーダーのアクション



製品のオーダー

製品オーダー

③ 各種オーダー



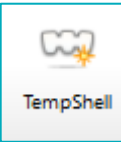
リクエスト・オーダーを行ったファイルをダウンロードします



デンタル・スキャン（スマート・フュージョン）のオーダーを、DTX Studio Labユーザーへ行きます
* DTX Studio Labユーザーとのコネクタが必要です
* DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル・準備・データ読込編 P,86 を参照してください



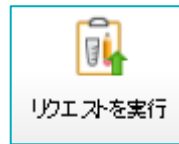
LabDesignのオーダーを、DTX Studio Labユーザーへ行きます
* DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル・プランニング・オーダー編 P,86 を参照してください（本書）



TempShellのオーダーを、DTX Studio Labユーザーへ行きます
* DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル・プランニング・オーダー編 P,99 を参照してください（本書）



選択している症例のオーダーへ進みます
* DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル・プランニング・オーダー編 P,121 を参照してください（本書）



使用不可
DTX Studio Clinic から送信されたプランニング・リクエストをDTX Studio Implant で編集または、DTX Studio Implantから DTX Studio Clinicへ返送します
* DTX Studio Clinic ソフトウェアは、2021年11月現在日本未発売品となります



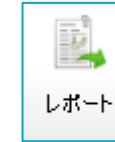
NBのサーバーメンテナンス中のオーダー保留や、オーダー保存中のファイルを編集し、オーダーを行います
* DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル・プランニング・オーダー編 P,124 を参照してください（本書）



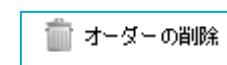
NBのサーバーメンテナンス中のオーダー保留や、オーダー保存中のファイルを、再度オーダーを行います
* DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル・プランニング・オーダー編 P,124 を参照してください（本書）



リクエスト・オーダーを行ったファイルをダウンロードします
* DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル・プランニング・オーダー編 P,125 を参照してください（本書）



オーダーしたファイルのレポートを保存します（PDF形式）
* DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル・プランニング・オーダー編 P,126 を参照してください（本書）



選択している保存済みのオーダーを削除します

オーダーのアクション

製品オーダー:



スキャン・オーダー * DTX Studio Labユーザーとのコネクが必要です

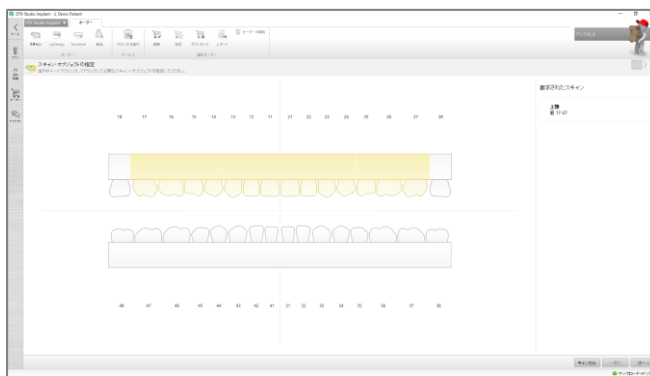
デンタル・スキャン (スマート・フュージョン) のオーダーを、DTX Studio Labユーザーへ行います

* スキャン・オーダーリクエストは、事前に患者の顎骨データ(CTデータ)の取り込みを完了している場合に使用します

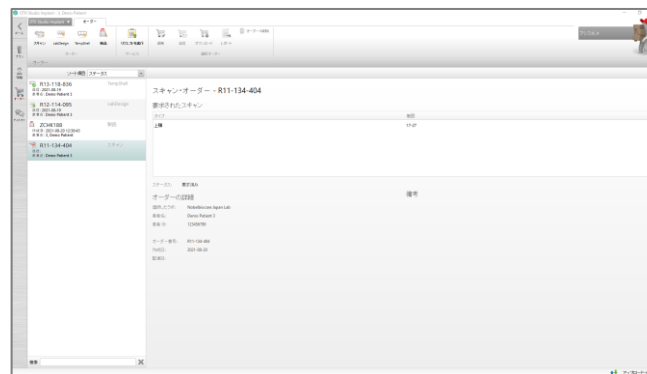
【スキャン】ボタンをクリックします

以降の操作は、DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル・準備・データ読み込み編 P.88を参照してください

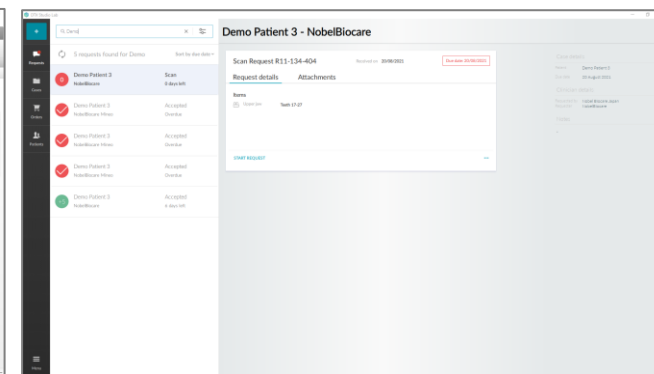
① スキャン・リクエストの設定



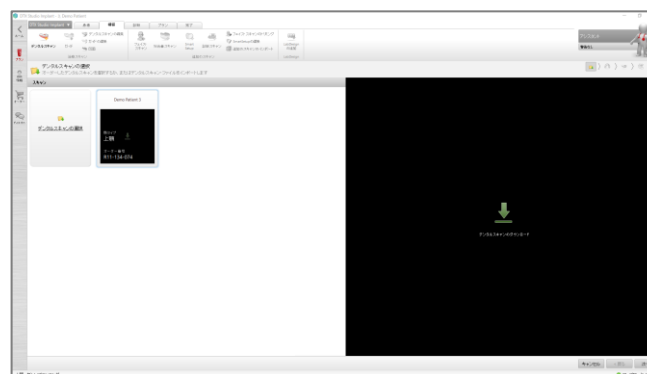
② スキャン・リクエスト



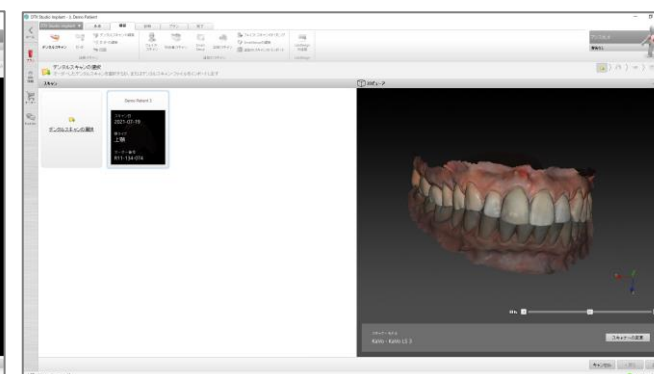
③ リクエスト受信画面 / DTX Studio Lab



④ スキャン・リクエストのダウンロード



⑤ リクエストデータの受信



オーダー – Order

オーダーのアクション

製品オーダー:



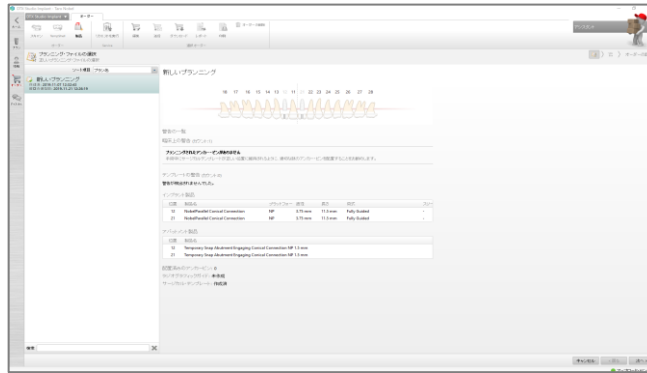
製品オーダー

選択している症例のオーダーへ進みます

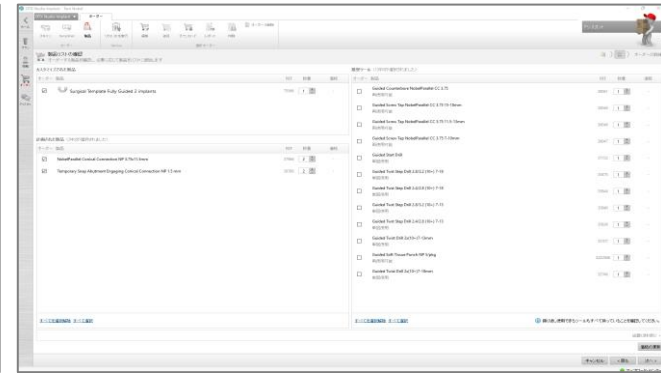
* DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル・プランニング・オーダー編 P.127を参照してください(本書)



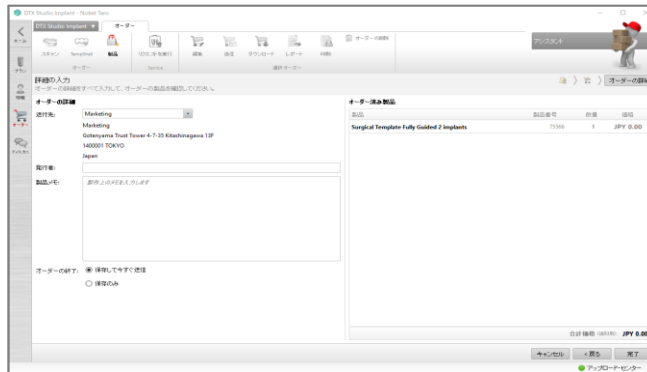
1 計画の確認



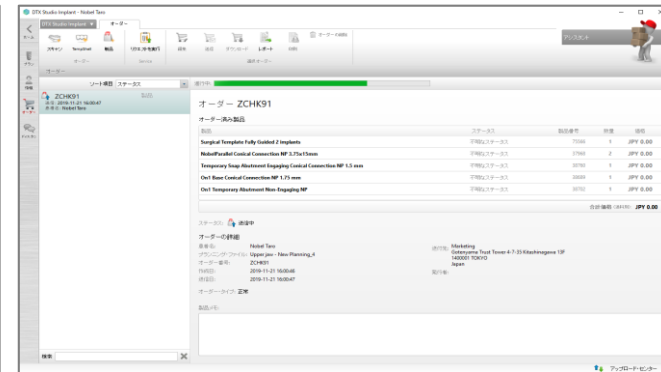
2 オーダーする製品の選択



3 オーダー確認



4 オーダー



オーダー – Order



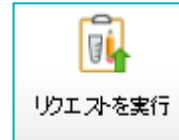
DTX Studio™ Implant
Planning for success in implant dentistry

オーダーのアクション

オーダー : Service Request – order fulfillment

DTX Studio Clinic から送信されたプランニング・リクエストを
DTX Studio Implant で編集
DTX Studio Implantから DTX Studio Clinicへ返送します

* DTX Studio Clinic ソフトウェアは、2021年11月現在日本未発売品となります



リクエスト返送機能 (オーダー)



言語設定
左：日本語
右：英語



DTX Studio™ Clinic (日本未発売)

2Dまたは3D画像のさまざまな画像ソースをシームレスにまとめて表示します
特定部位の歯の画像だけをまとめ、一括表示を行うなど、日常の診断プロセスを
サポートし、画像の撮影から管理を向上させるソフトウェアです
DTX Studio Implantの画像も管理が行えます

(日本未発売)



DTX Studio Clinic

計画の詳細を作成し、リクエストを
送信します
返送された計画を取り込みます



DTX Studio Implant

コメントを追加し、DTX Studio
Clinic から送信されたリクエスト計画
に送信(返送)します

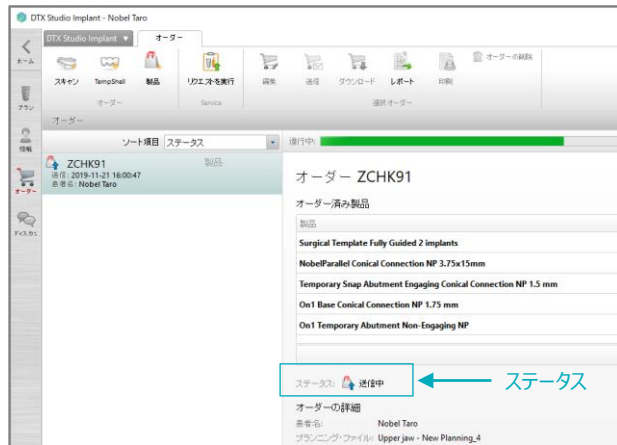


オーダーのアクション

オーダー：その他

NOTE オーダーの中断

オーダー送信中にソフトウェアを閉じた場合、オーダーが中断されます



オーダー送信中です
ステータスが送信中の場合は、ソフトウェアを閉じない
ください
閉じてしまいますと、中断してしまい未送信となります

*間違えてソフトウェアを閉じてしまった場合は、
インターネットが繋がった状態で、ソフトウェアを
起動すると、中断していたオーダーは自動的
に送信が開始されます

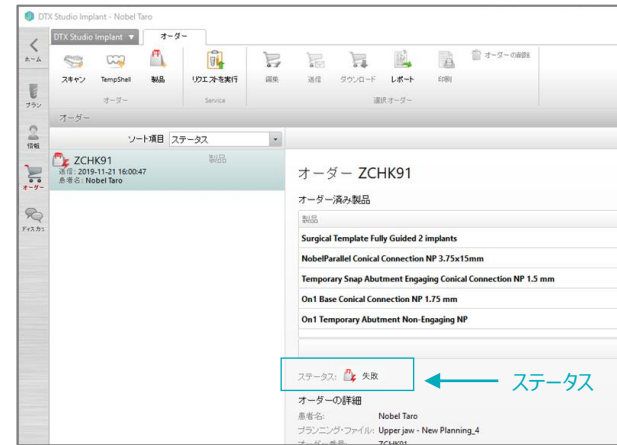
ステータス: ← ステータス

オーダー送信状態は、『進行中』のプロセス・バーを確認してください



NOTE オーダーの失敗

送信失敗



送信失敗の場合は、ネットの接続を確認してください
または、当社のサーバーメンテナンスなどの
原因が考えられます

詳細を下記よりご確認ください
[プロセラテクニカルサポート 0120-432-118](mailto:pro@seletech.com)

ステータス: ← ステータス

オーダー – Order

オーダーのアクション

オーダー：その他

NOTE

オーダーキャンセル

* ノーベル・プロセラ・プロダクションセンターへオーダーした場合のみ

オーダーがキャンセルされると、ファイル名と製品名が赤字で表示されます

DTX Studio Implant - Nobel Taro

オーダー

ソート項目 | ステータス

ZCHK91
発注: 2019-11-21 16:00:47
発注店: Nobel Taro

オーダー ZCHK91

オーダー済み製品

製品	ステータス	製品番号	数量	価格
Surgical Template Fully Guided 2 implants	キャンセル済	75566	1	JPY 0.00
NobelParallel Conical Connection NP 3.75x1.5mm		37968	2	JPY 0.00
Temporary Snap Abutment Engaging Conical Connection NP 1.5 mm		38760	1	JPY 0.00
On1 Base Conical Connection NP 1.75 mm		38689	1	JPY 0.00
On1 Temporary Abutment Non-Engaging NP		38702	1	JPY 0.00
				合計価格 (税込) JPY 0.00

ステータス: キャンセル済

オーダーの詳細

発注店: Nobel Taro	送り先: Marketing Gotenryama Trust Tower 4-7-35 Kitashinagawa 13F 1400001 TOKYO Japan
プランニングファイル: Upper jaw - New Planning_4	
オーダー番号: ZCHK91	
作成日: 2019-11-21 16:00:46	発行日: 2019-11-21 16:00:47
送信日: 2019-11-21 16:00:47	

オーダータイプ: 正常

製品名:



DTX Studio™ Implant
Planning for success in implant dentistry

DTX Studio Implant

オーダー

スキャン | LabDesign | TempShell | 製品 | リクエストを実行 | サービス | 編集 | 送信 | ダウンロード | レポート | オーダーの削除

オーダー | サービス | 選択オーダー

NOTE

保存済みオーダーの再オーダー

【オーダー】タブから【編集】【送信】ボタンをクリックします

再編集は【製品リスト】画面に戻ります

DTX Studio Implant - Nobel Taro

オーダー

製品リストの確認

オーダー済み製品

オーダー	製品	REF	数量
<input checked="" type="checkbox"/>	Surgical Template Fully Guided 2 implants	75566	1
<input checked="" type="checkbox"/>	NobelParallel Conical Connection NP 3.75x1.5mm	37968	2
<input checked="" type="checkbox"/>	Temporary Snap Abutment Engaging Conical Connection NP 1.5 mm	38760	1

詳細な製品 (中出し確認されました)

再送信は、オーダーを行います

DTX Studio Implant - Nobel Taro

オーダー

オーダー ZCHK91

オーダー済み製品

製品	ステータス
Surgical Template Fully Guided 2 implants	送信中
NobelParallel Conical Connection NP 3.75x1.5mm	
Temporary Snap Abutment Engaging Conical Connection NP 1.5 mm	
On1 Base Conical Connection NP 1.75 mm	
On1 Temporary Abutment Non-Engaging NP	

ステータス: 送信中

オーダーの詳細

発注店: Nobel Taro	送り先: Marketing Gotenryama Trust Tower 4-7-35 Kitashinagawa 13F 1400001 TOKYO Japan
プランニングファイル: Upper jaw - New Planning_4	

オーダー – Order

オーダーのアクション

オーダー：レポート

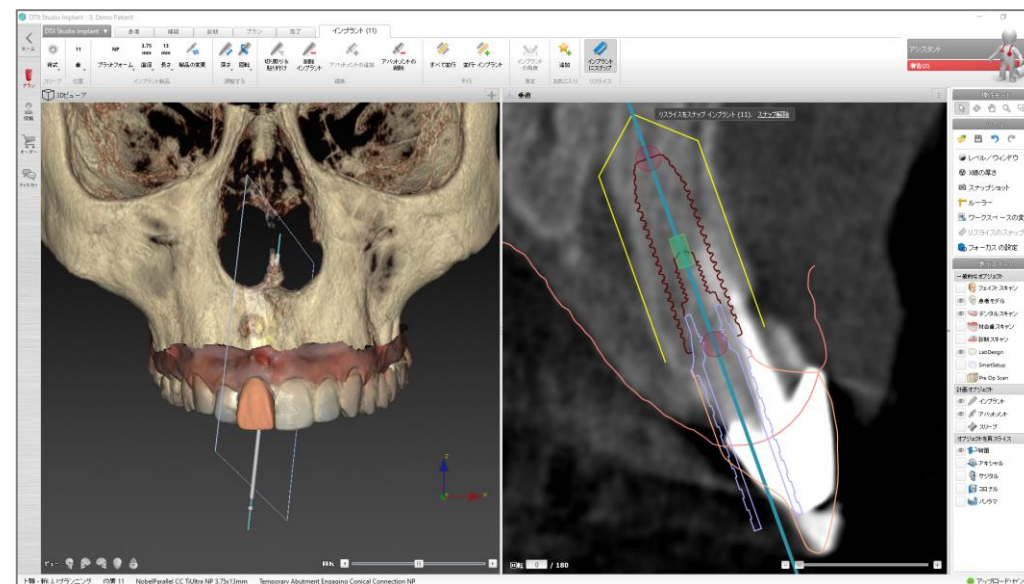
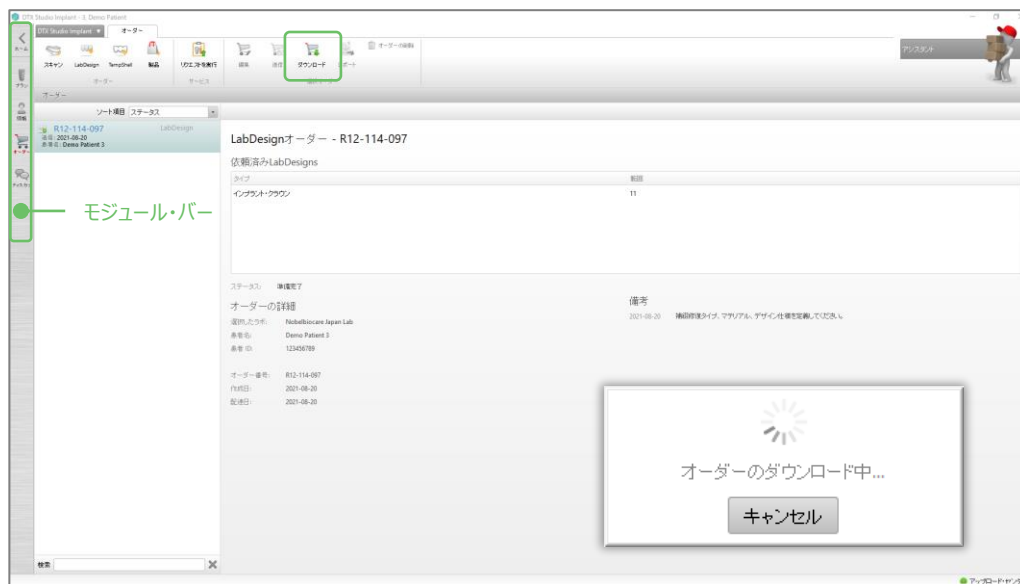


NOTE データ・ダウンロード



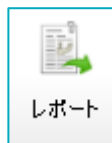
該当のオーダーを選択し、【ダウンロード】ボタンをクリックします
ダウンロード・ウィンドウが閉じたら、【モジュール・バー】の【プラン】をクリックします

【補綴】タブから【LabDesign】もしくは、【完了】タブから【TempShell】をクリックし、デザイン
データを追加します



オーダーのアクション

オーダー：レポート

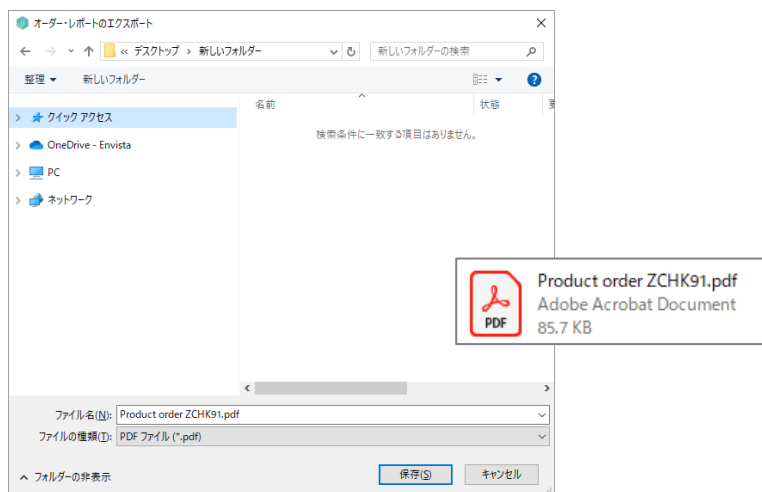


レポート

NOTE オーダー・レポート

該当のオーダーを選択し、【レポート】ボタンをクリックします

保存したいフォルダを選択し、ファイルを保存します



オーダー・レポート

患者: Nobel Taro - ID:
アプリ: Upper Jaw - New Planning_4
日付: 2019-11-21 16:10

Order ZCHK91

オーダーの詳細

オーダー番号	ZCHK91
作成日	2019-11-21 16:00:46
送信日	2019-11-21 16:00:47
発行者	-
出荷先	Marketing Gotenyama Trust Tower 4-7-35 Kitashinagawa 13F 1400001TOKYO Japan
製品メモ	-

オーダー済み製品

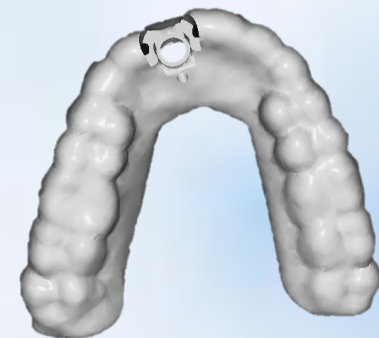
製品 ID	製品名	数量
75566	Surgical Template Fully Guided 2 implants	1
37968	NobelParallel Conical Connection NP 3.75x15mm	2
38760	Temporary Snap Abutment Engaging Conical Connection NP 1.5 mm	1
38689	On1 Base Conical Connection NP 1.75 mm	1
38702	On1 Temporary Abutment Non-Engaging NP	1
オーダー済み製品の合計		6



DTX Studio™ Implant
Planning for success in implant dentistry

オーダー Order

ノーベル・プロセラ・プロダクションセンター

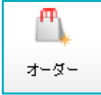


完了タブ (テンプシェル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

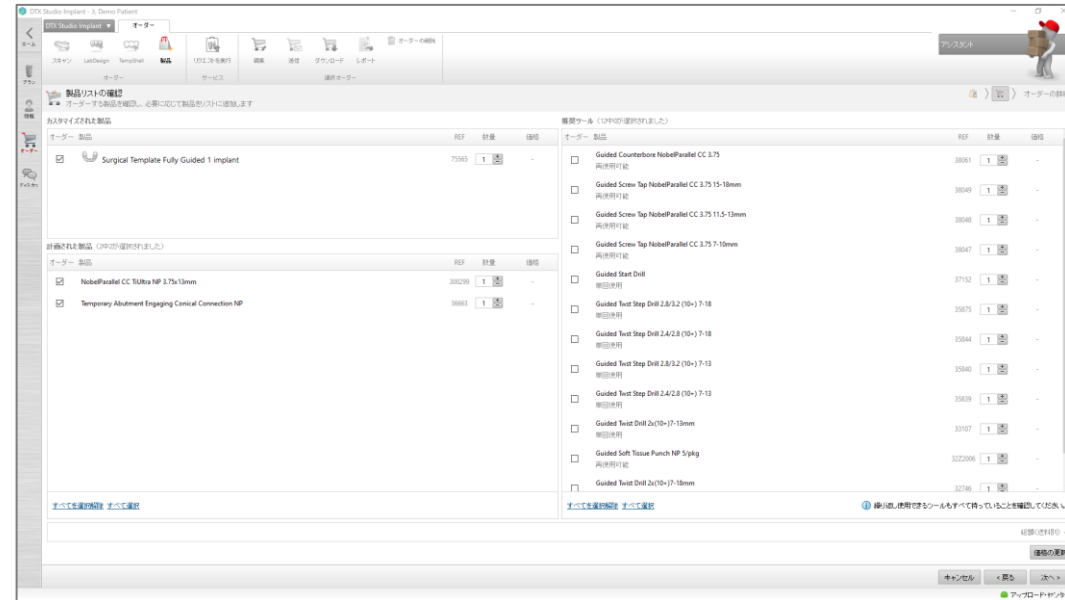
オーダー : ノーベル・プロセラ・プロダクションセンターへオーダーする場合



1 計画したサージカルテンプレートのオーダーを行います
【完了】タブから【オーダー】をクリックします
計画したプランの確認を行い【次へ】をクリックします



2 手術に必要な製品(サージカルテンプレートやインプラント製品)を確認し、オーダーを確認します



完了タブ (テンプシェル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

オーダー : ノーベル・プロセラ・プロダクションセンターへオーダーする場合



3 製品リストから、オーダーする製品を選択します

カスタマイズされた製品では、サージカルテンプレートやデュプリケート・デンチャー (ラジオグラフィック・ガイドのコピー) のオーダー選択を行います

ラジオグラフィック・ガイドの場合

カスタマイズされた製品

オーダー	製品	REF	数量	価格
<input checked="" type="checkbox"/>	Surgical Template (RG) Fully Guided 2 implants	79161	1	-
<input type="checkbox"/>	デュプリケート・デンチャー	14751	0	-

オーダーを行う製品にチェックを入れます

注文個数を設定します

スマート・フュージョンの場合

カスタマイズされた製品

オーダー	製品	REF	数量	価格
<input checked="" type="checkbox"/>	Surgical Template Fully Guided 1 implant	75965	1	-

オーダーを行う製品にチェックを入れます

注文個数を設定します

* サージカルテンプレートのチェックを外し、インプラント製品のみオーダーすることも可能です

計画された部品では、計画したインプラントやアバットメント、アンカー・ピンのオーダー選択を行います

計画された製品 (4中3が選択されました)

オーダー	製品	REF	数量	価格
<input checked="" type="checkbox"/>	NobelSpeedy Groovy RP 4.0x10 mm	32148	2	-
<input checked="" type="checkbox"/>	Multi-unit Abutment Brånemark System RP 3 mm	29181	2	-
<input checked="" type="checkbox"/>	Temporary Coping Multi-unit	29046	2	-
<input type="checkbox"/>	Guided Anchor Pin 1.5x9 mm	30909	2	-

オーダーを行う製品にチェックを入れます

注文個数を設定します

すべてを選択解除 すべてを選択

すべてを選択解除 : すべてのオーダー項目からチェックを外します

すべてを選択 : すべてのオーダー項目にチェックを入れます

* サージカルテンプレートのみをオーダーする場合は、【すべてを選択解除】をクリックします

完了タブ (テンプシェル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

オーダー : ノーベル・プロセラ・プロダクションセンターへオーダーする場合



4 製品リストから、手術に必要な製品のオーダーを選択します

推奨ツールでは、ガイドッド・サージェリーを行うためのツール類が選択できます
表示されるツールは、計画されたインプラントに準じた製品のみ表示されます

推奨ツール (15中が選択されました)

オーダー	製品	REF	数量	価格
<input type="checkbox"/>	Guided Tissue Punch for RP-sleeve 再使用可能	37154	1	-
<input type="checkbox"/>	Guided Start Drill 単回使用	37152	1	-
<input type="checkbox"/>	Guided Twist Drill 3.4x(10+)7-13mm 単回使用	33117	1	-
<input type="checkbox"/>	Guided Twist Drill 3.2x(10+)7-13mm 単回使用	33115	1	-
<input type="checkbox"/>	Guided Screw Tap RP Ø4 7-13mm 単回使用	33114	1	-
<input type="checkbox"/>	Guided Twist Drill 2.8x(10+)7-13mm 単回使用	33108	1	-
<input type="checkbox"/>	Guided Twist Drill 2x(10+)7-13mm 単回使用	33107	1	-

オーダーを行う製品にチェックを入れます

注文個数を設定します

すべてを選択解除 すべてを選択

① 繰り返し使用できるツールもすべて持っていることを確認してください。

オーダーに関する価格を更新します
【価格の更新】をクリックします

総額(送料別) -

価格の更新

↓

総額(送料別) JPY 0.00

価格の更新

オーダー製品、価格を確認し、問題がなければ【次へ】をクリックします

次へ >

すべてを選択解除 : すべてのオーダー項目からチェックを外します

すべてを選択 : すべてのオーダー項目にチェックを入れます

* サージカルテンプレートのみをオーダーする場合は、【すべてを選択解除】をクリックします

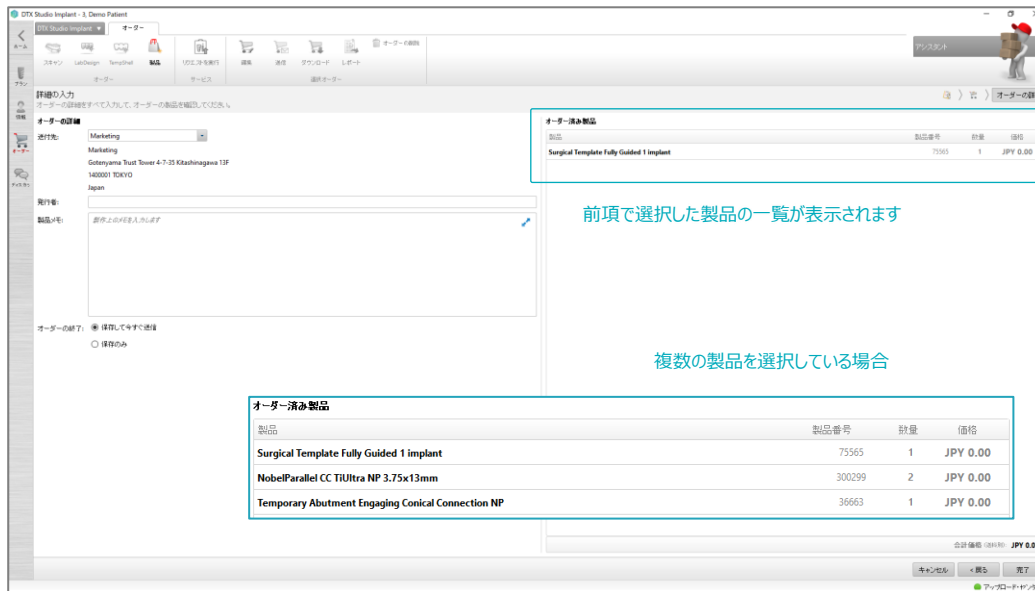
完了タブ (テンプシェル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

オーダー : ノーベル・プロセラ・プロダクションセンターへオーダーする場合



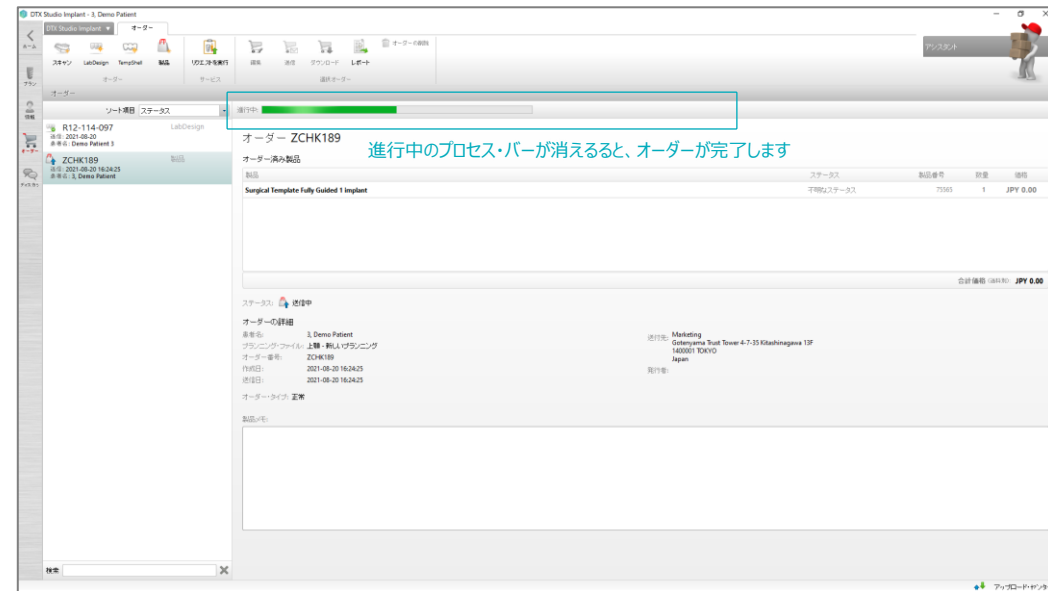
5 オーダーの最終確認を行います

【オーダー済み製品】内の項目を確認し、【完了】をクリックし、オーダーの送信を行います



6 オーダー送信

オーダー送信 : オーダー送信中はソフトウェアを閉じないでください
オーダー送信が中断されるとプロダクションセンターにオーダーが流れません



完了タブ (テンプシェル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

オーダー : ノーベル・プロセラ・プロダクションセンターへオーダーする場合

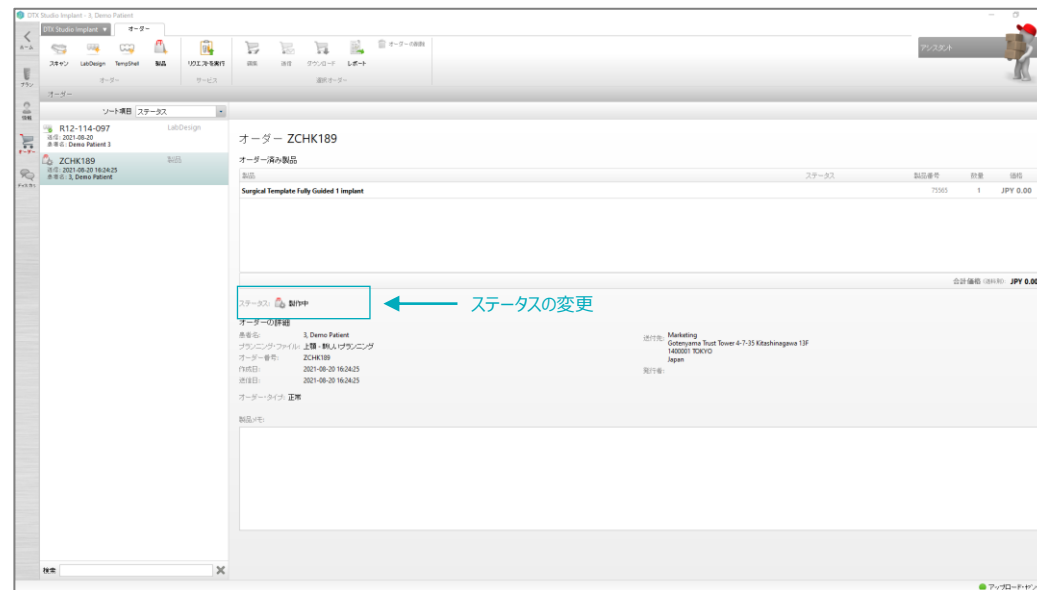
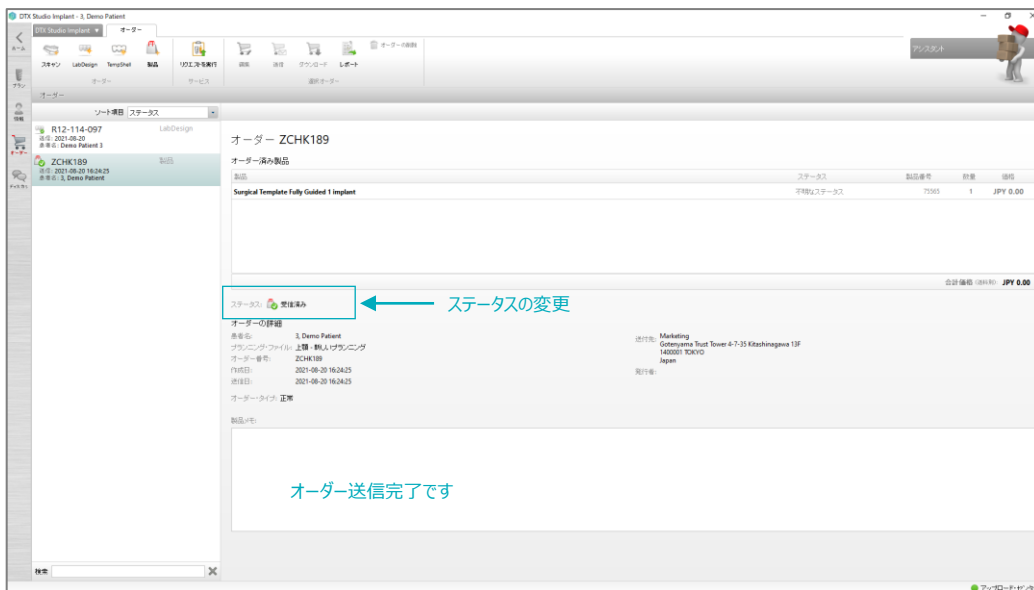
7 オーダーの受信
オーダー送信の完了

オーダーをサーバーが受信しました



8 オーダーの製作

オーダーがプロダクションセンターに入り、製造が開始されました

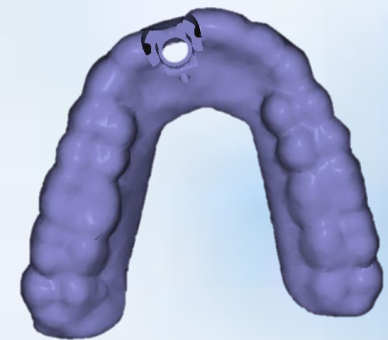




DTX Studio™ Implant
Planning for success in implant dentistry

オーダー Order

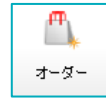
ローカル・プロダクション



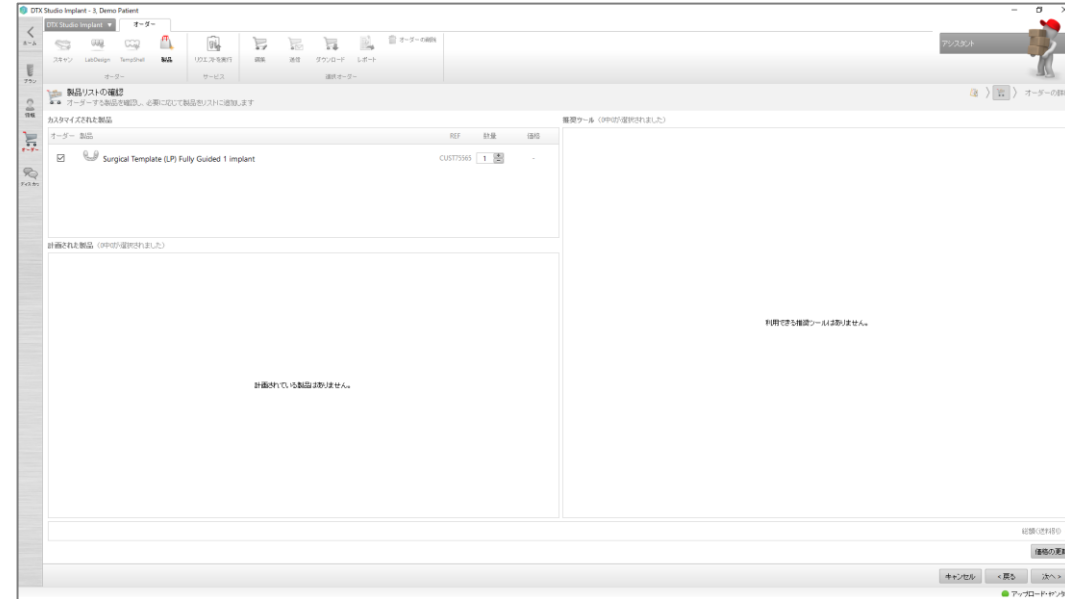
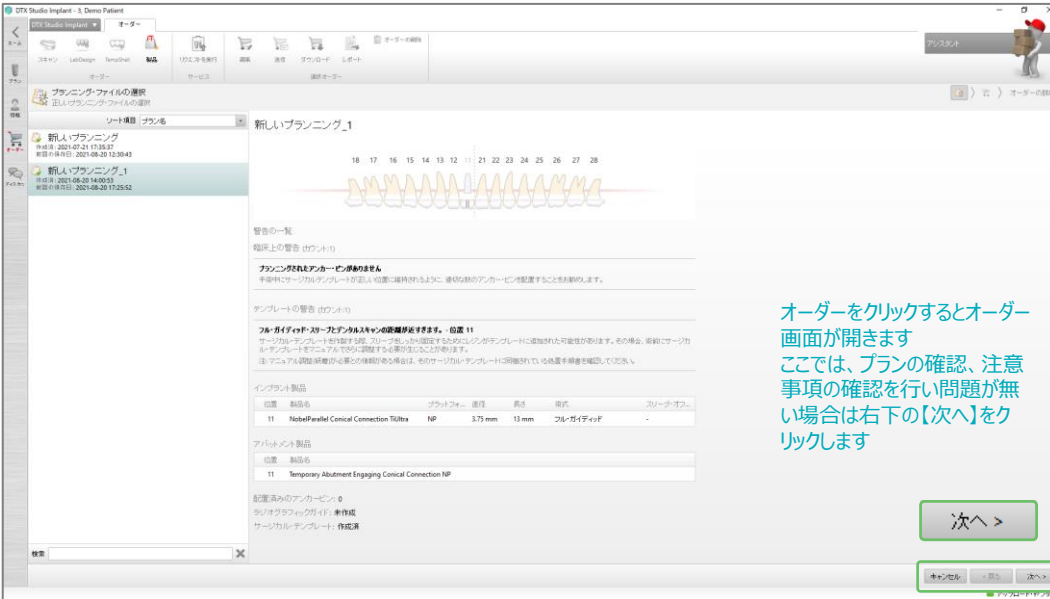
完了タブ (テンプシェル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

オーダー : ローカル・プロダクションでオーダーする場合

- 1 計画したサージカルテンプレートのオーダーを行います
【完了】タブからオーダーをクリックします
計画したプランの確認を行い【次へ】をクリックします



- 2 手術に必要な製品(サージカルテンプレートやインプラント製品)を確認し、オーダーを確認します



完了タブ (テンプシエル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

オーダー : ローカル・プロダクションでオーダーする場合



3 製品リストから、オーダーする製品を選択します

カスタマイズされた製品では、サージカルテンプレートのオーダー選択を行います
* デュプリケート・デンチャーは、ノーバル・プロセラ・プロダクションセンターのみオーダー可能です

ラジオグラフィック・ガイドの場合

カスタマイズされた製品

オーダー	製品	REF	数量	価格
<input checked="" type="checkbox"/>	Surgical Template (LP/RG) Fully Guided 2 implants	CUST79161	1	-

オーダーを行う製品にチェックを入れます

注文個数を設定します

スマート・フュージョンの場合

カスタマイズされた製品

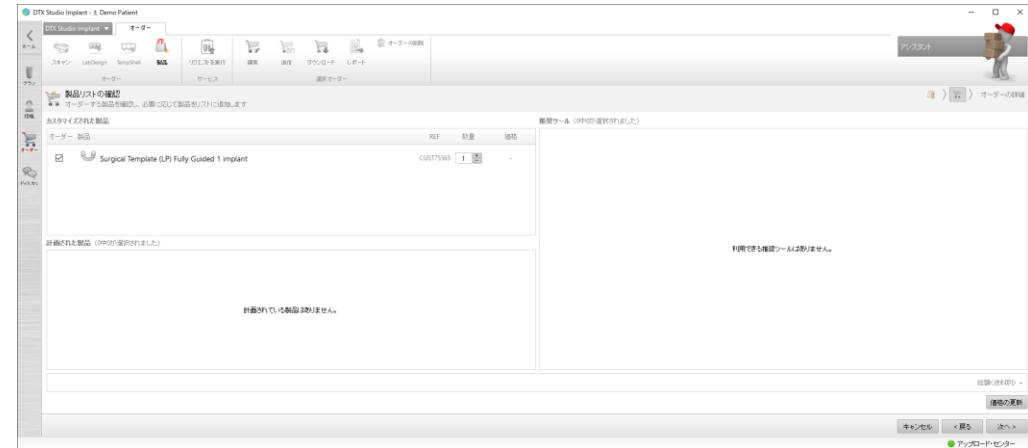
オーダー	製品	REF	数量	価格
<input checked="" type="checkbox"/>	Surgical Template (LP) Fully Guided 1 implant	CUST75565	1	-

オーダーを行う製品にチェックを入れます

注文個数を設定します

【Local production】を選択した場合は、製品名に(LP)の表示が入ります
* LP/RG = ラジオグラフィックガイドの Local Production
* LP = Local Production

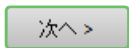
4 オーダーに関する価格を更新します
* **【Local production】**を選択した場合は、製品リストは表示されません
* 関連ツールのオーダーはできません



【価格の更新】をクリックします



オーダー製品、価格を確認し、問題がなければ【次へ】をクリックします



完了タブ (テンプシェル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

オーダー : ローカル・プロダクションでオーダーする場合



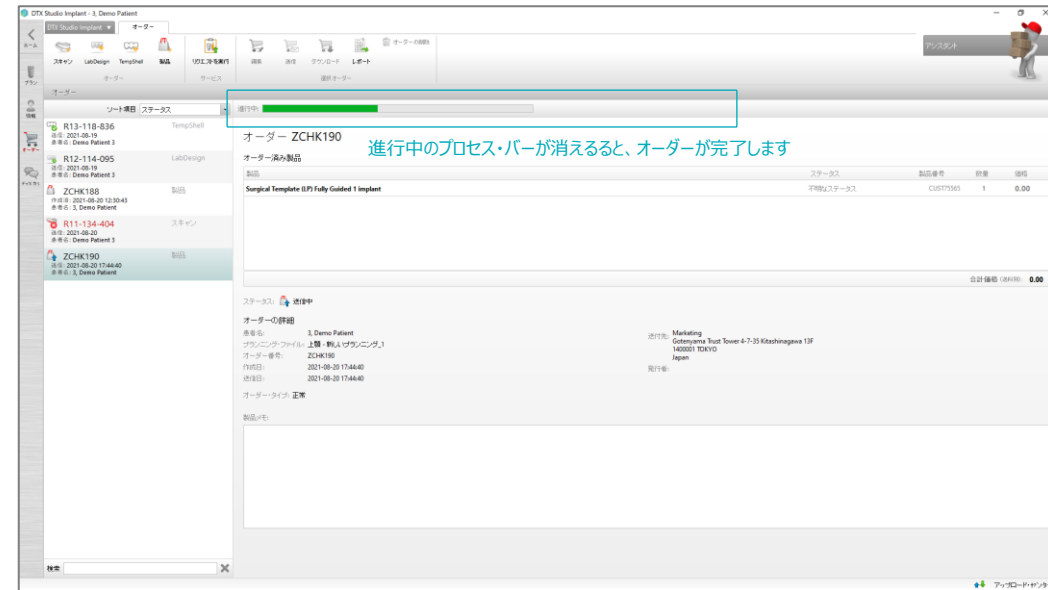
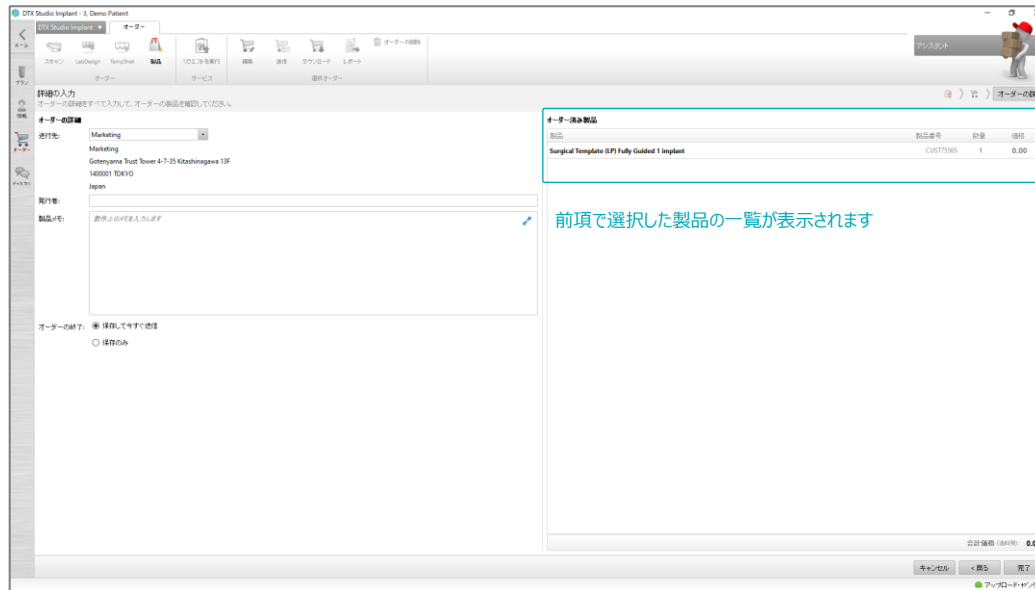
5 オーダーの最終確認を行います

【オーダー済み製品】内の項目を確認し、【完了】をクリックしオーダー送信を行います



6 オーダー送信

オーダー送信 : オーダー送信中はソフトウェアを閉じないでください
オーダー送信が中断されるとオーダーが流れません



完了タブ (テンプシエル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

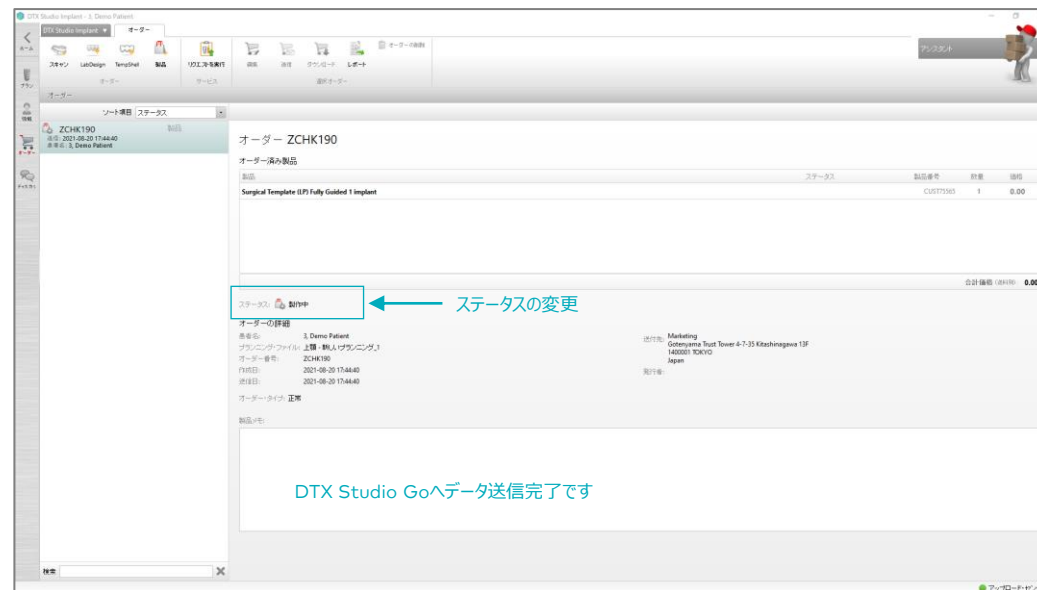
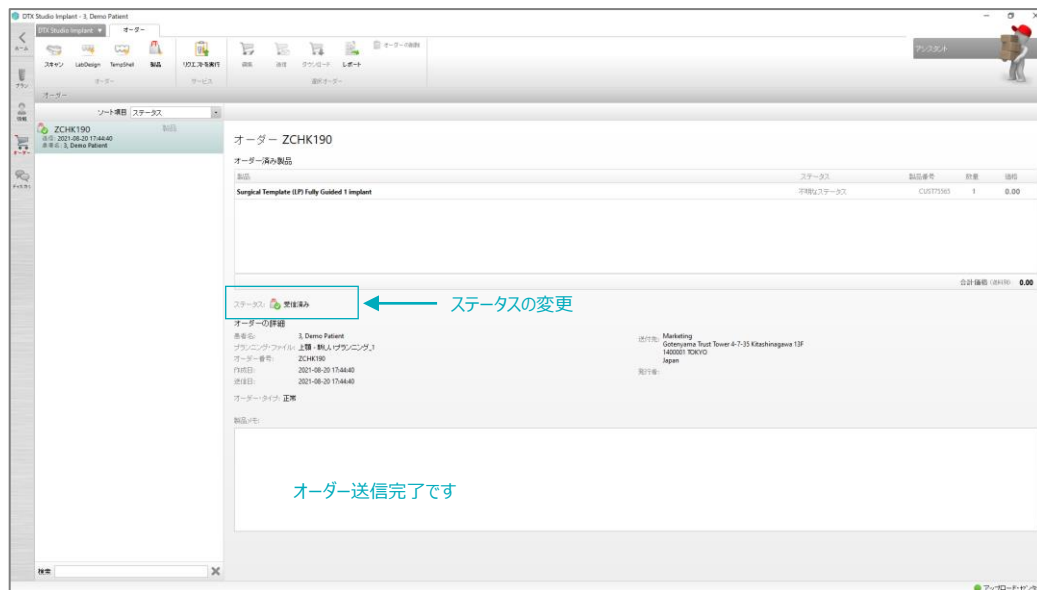
オーダー : ローカル・プロダクションでオーダーする場合

7 オーダーの受信

オーダー送信が完了し、サーバーがデータを受信しました



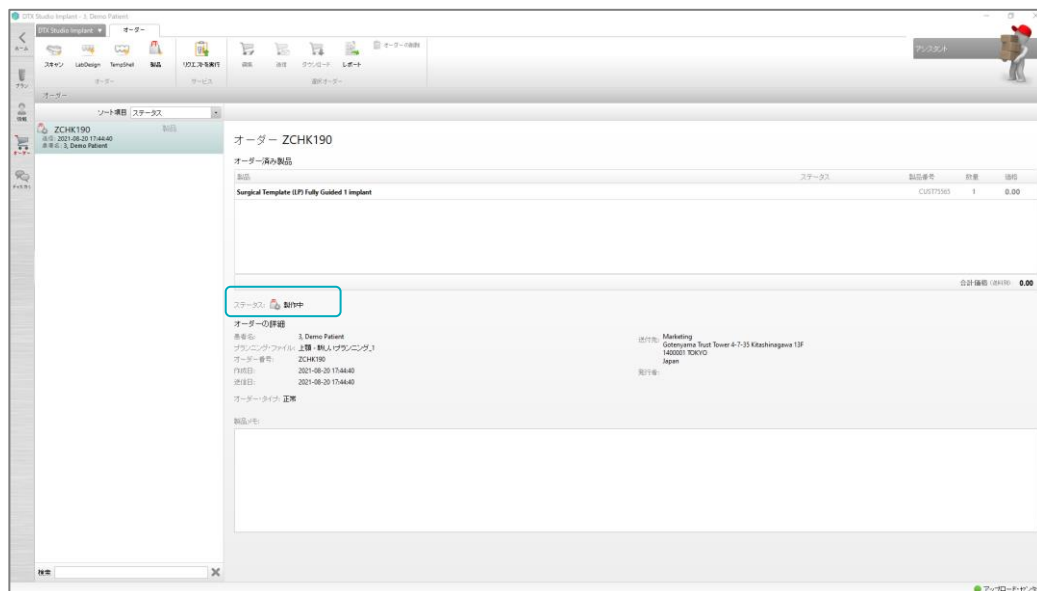
8 ステータスが【製作中】に変更されると、サージカルテンプレート作成時に選択した、コネク先ユーザーのDTX Studio Goヘデータが送信されます



完了タブ (テンプシエル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

Planning-Finalize (Order Status)

NOTE オーダー・ステータス



- オーダーリストが開いたら、ステータスを確認します
- 必ずインターネットに接続された状態で行ってください
- ステータスは、約15分毎に更新されます
- 更新される内容は、サージカルテンプレートとデュプリケート・デンチャーです



未送信 : オーダーが作成されただけで、送信されていません



転送待ち : アップロードやダウンロードなどの通信が、他の影響などで混雑している場合、オーダーは転送待ちになります



送信中 : オーダーを送信している状態



受信済み : オーダーが正常に送信された状態



作製中 : プロダクションセンター内にデータが受領された時または製造に入っている状態



終了 : プロダクションセンターで、サージカルテンプレート製造終了または、既に配送済みの状態



キャンセル済み : プロダクションセンターからキャンセルされた状態
リプランニング依頼の理由や、メッセージを出しています



オーダー送信失敗 : Sending Failed
アップロード中に通信のトラブルで送信失敗しています
(サーバーメンテナンスやネット不良)

* その他の、複数のステータス項目があります

DTX Studio Go

データダウンロード

9 リクエストの通知
データ送付先へ、ご登録メールアドレスにリクエスト通知が届きます

ご登録されている電子メール

N no-reply@dtxstudio.com
2021/08/20 (金) 18:57

New service request available

A new service request was sent out for you to be processed. Open your DTX Studio Lab to fulfill this request.

Note: the data will stay available on our servers for the upcoming **90 days**. More information about the service request can be found [here](#).

Requested by: **Nobel Biocare Japan**
Request ID: **R14-151-632**
Patient name: **Demo Patient 3**
Requested service: **Produce a template**

Best regards,
DTX Studio team

Please be advised that this email may contain confidential information. If you are not the intended recipient, please notify us by email by replying to privacy@dbxstudio.com and delete this message. The sender disclaims that the content of this email constitutes an offer to enter into, or the acceptance of, any agreement; provided that the foregoing does not invalidate the binding effect of any digital or other electronic reproduction of a manual signature that is included in any attachment.



DTX Studio Go は、下記リンクおよび、DTX Studio Implantから移動が行えます

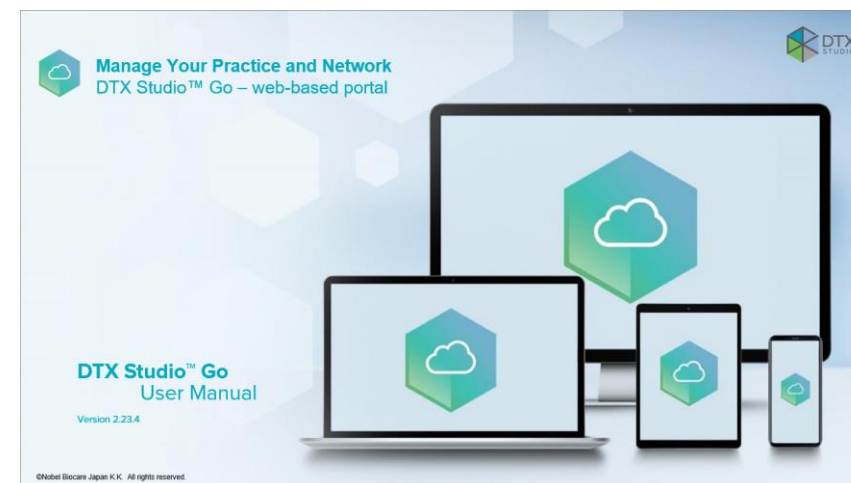
<https://go.dtxstudio.com/>

10 サージカルテンプレートのダウンロード
DTX Studio Go にログインします



DTX Studio Go

Web-based portal



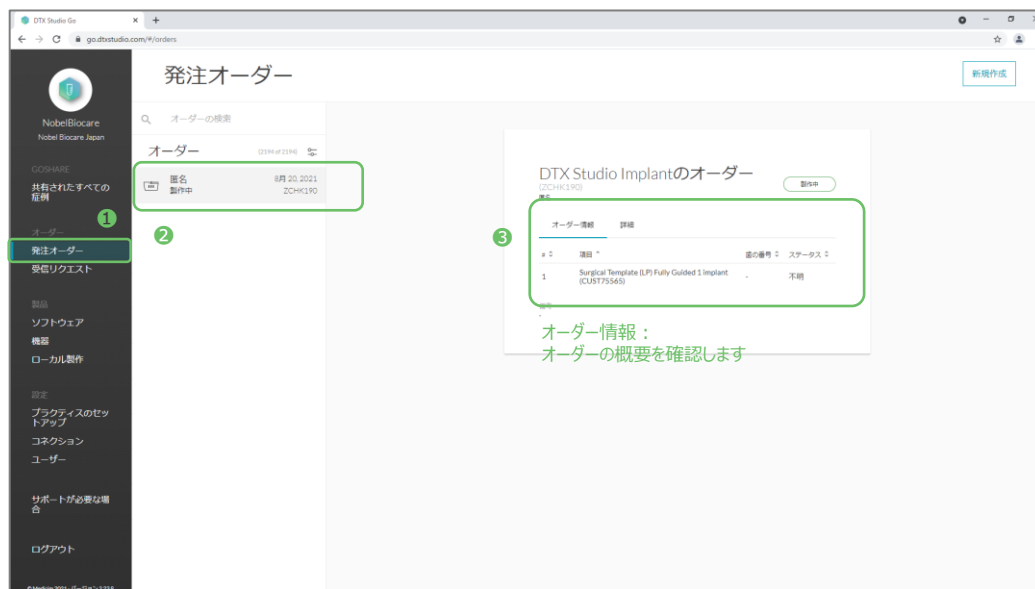
DTX Studio Go のログイン及びご使用方法は、
【DTX Studio Go User Manual】をご参照ください

DTX Studio Go

オーダー確認：送信側

NOTE オーダーリクエストを行うと、ご自身のDTX Studio Goで確認します

①【発注オーダー】⇒ ②【症例選択】⇒ ③オーダー内容を【オーダー情報】、【詳細】から確認します



DTX Studio Go

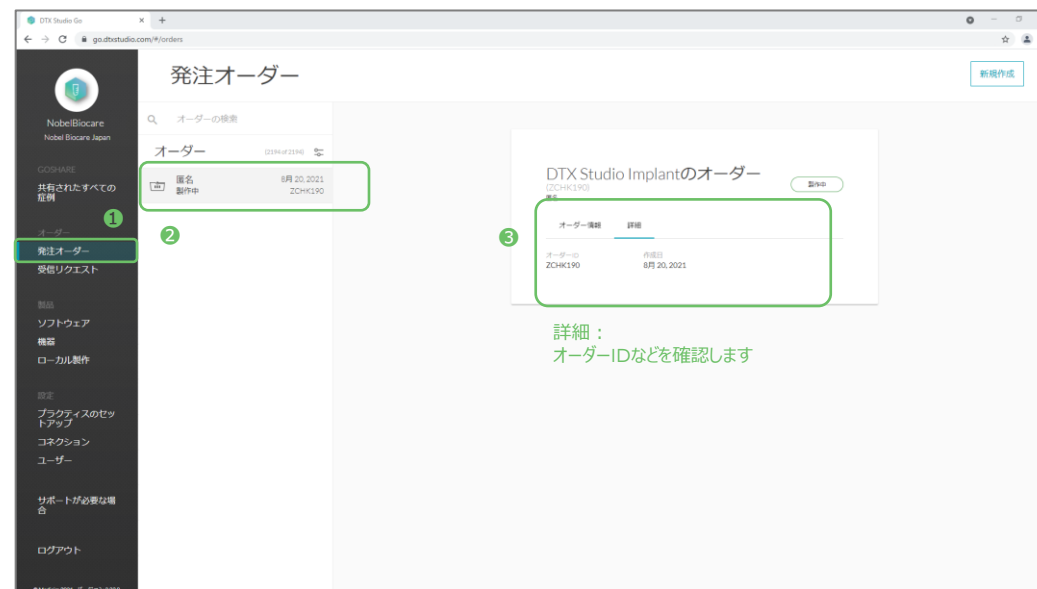
発注オーダー

オーダー情報

オーダー

種別	ステータス
Surgical Template (L) Fully Guided 1 Implant (CUST73365)	不明

オーダー情報：
オーダーの概要を確認します



DTX Studio Go

発注オーダー

オーダー情報

オーダー

オーダーID	作成日
ZCHK190	8月 20, 2021

詳細：
オーダーIDなどを確認します



DTX Studio Go

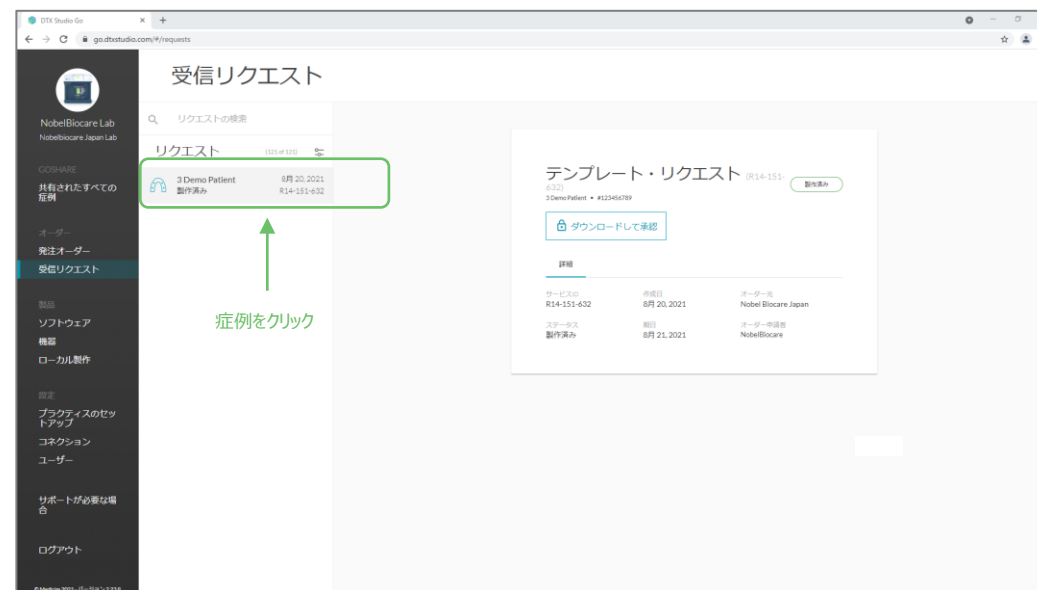
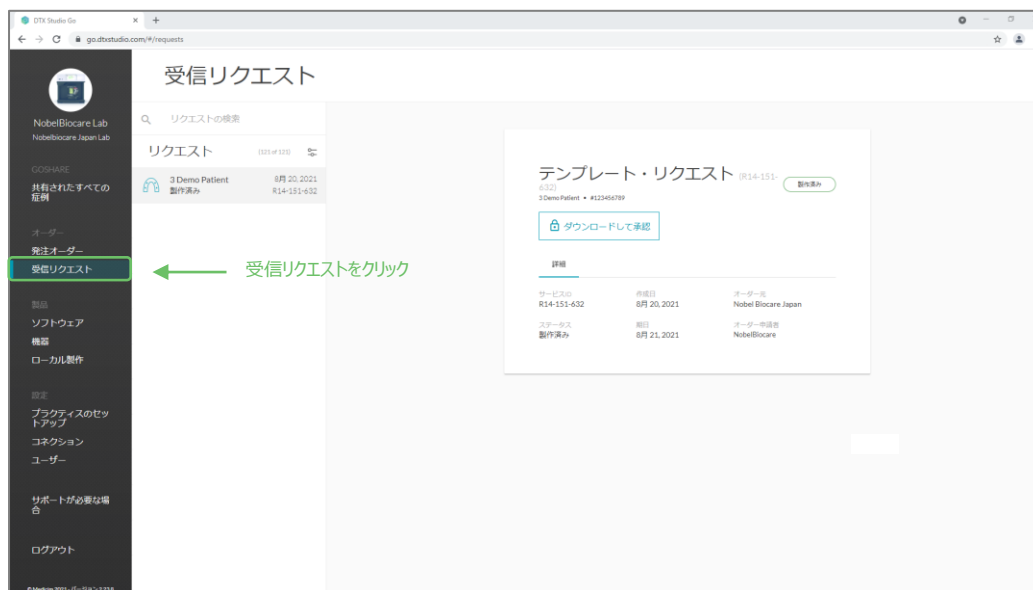
データダウンロード：受信側

- 11 DTX Studio Goの【受信リクエスト】をクリックし、受信リクエスト画面を表示します

- 12 受信された症例を選択します

Point

サージカルテンプレートをオーダーする際、製造者の項目をご自身のアカウントにしている場合は、ご自身のDTX Studio Go (受信リクエスト) からデータをダウンロードします



DTX Studio Go

データダウンロード：受信側

13 データをダウンロードします

The screenshot shows the DTX Studio Go web interface. The main content area displays '受信リクエスト' (Received Request) with a search bar and a list of requests. A modal window titled 'テンプレート・リクエスト' (Template Request) is open, showing details for a request from '3 Demo Patient' (R14-151-632). A green box highlights the 'ダウンロードして承認' (Download and Approve) button, with the text 'ダウンロードして承認をクリック' (Click Download and Approve) next to it. Below the modal, a table shows the details of the request:

詳細	サービスID	作成日	オーダー元
サービスID	R14-151-632	8月 20, 2021	Nobel Biocare Japan
オーダー元	3 Demo Patient	8月 21, 2021	Nobel Biocare

14 ダウンロードの承諾を行います

The screenshot shows a confirmation dialog box titled 'ファイルのダウンロードについて' (About File Download). The text inside the dialog reads: 'ダウンロードする前にファイルをロック解除する必要があります。毎月、ロック解除されたファイルごとに請求書をお送りします。ファイルは90日間有効です。' (You need to unlock the files before downloading. We will send you an invoice for each file that is unlocked every month. Files are valid for 90 days). At the bottom of the dialog, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '承諾' (Approve). The '承諾' button is highlighted with a green border, and the text '承諾をクリック' (Click Approve) is written below it.

承諾をクリックした時点で、Surgical Template Export feeが発生します

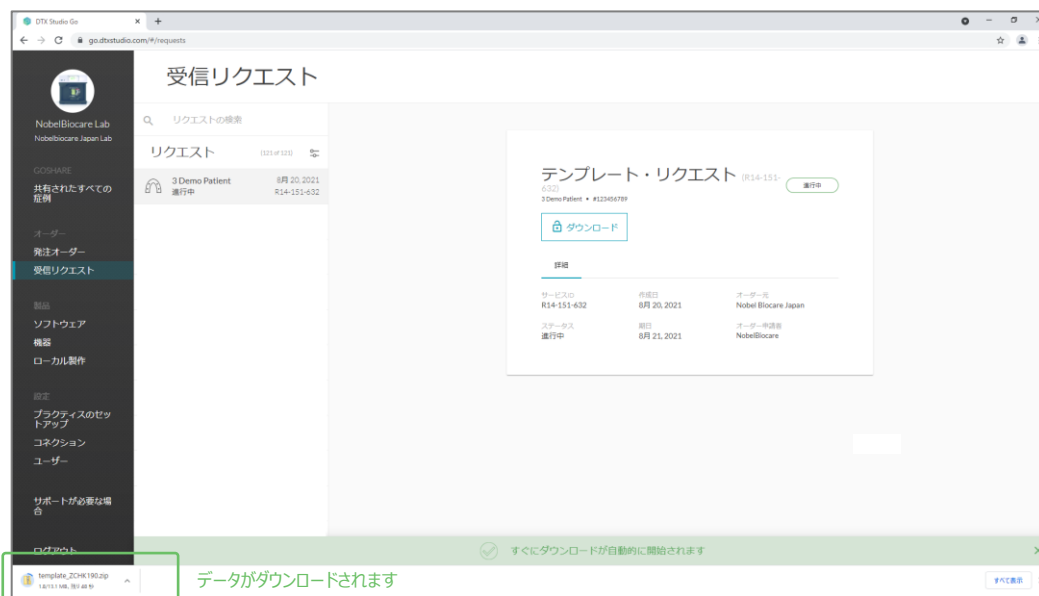
* この承諾操作で発注・費用が発生となります
発注・費用は取り消せませんので十分ご確認いただいた後に操作してください



DTX Studio Go

データダウンロード：受信側

15 データをダウンロードします

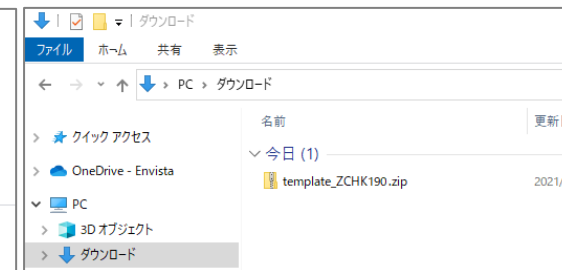


Windowsの場合

Web画面左下にダウンロードされます

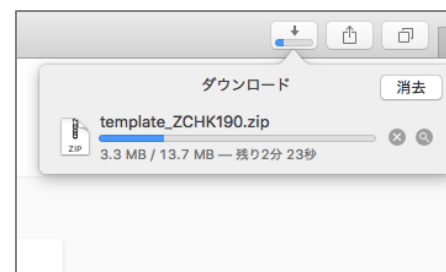


ダウンロードされたファイルをPCに保存します

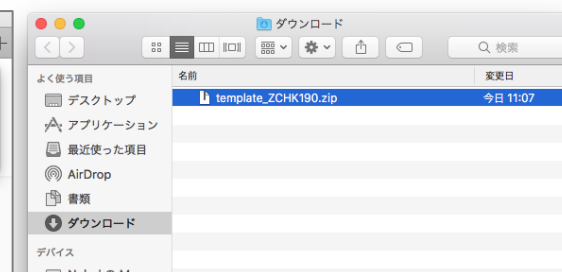


Mac OSの場合

Web画面右上にダウンロードされます



ダウンロードされたファイルをPCに保存します

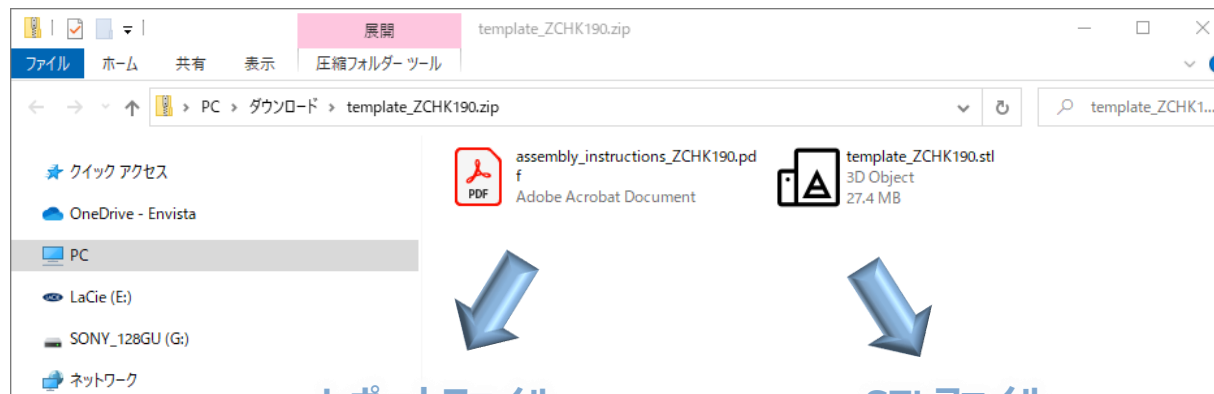




DTX Studio Go

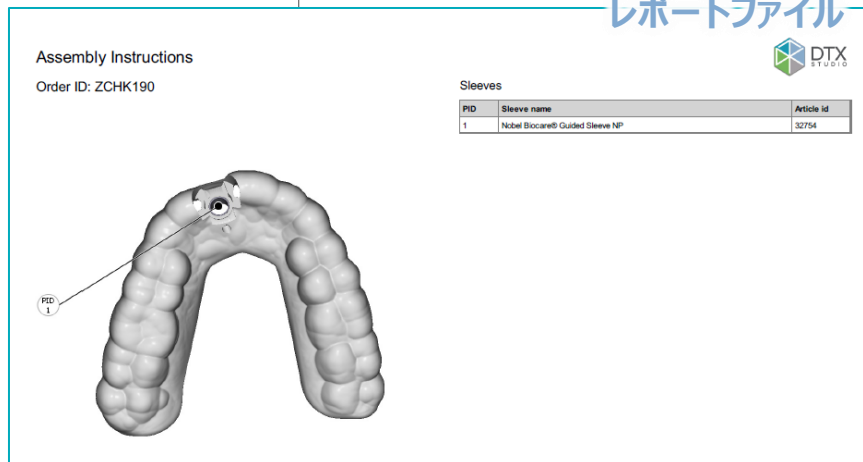
STLファイル確認

16 データを確認します



レポートファイル

STLファイル

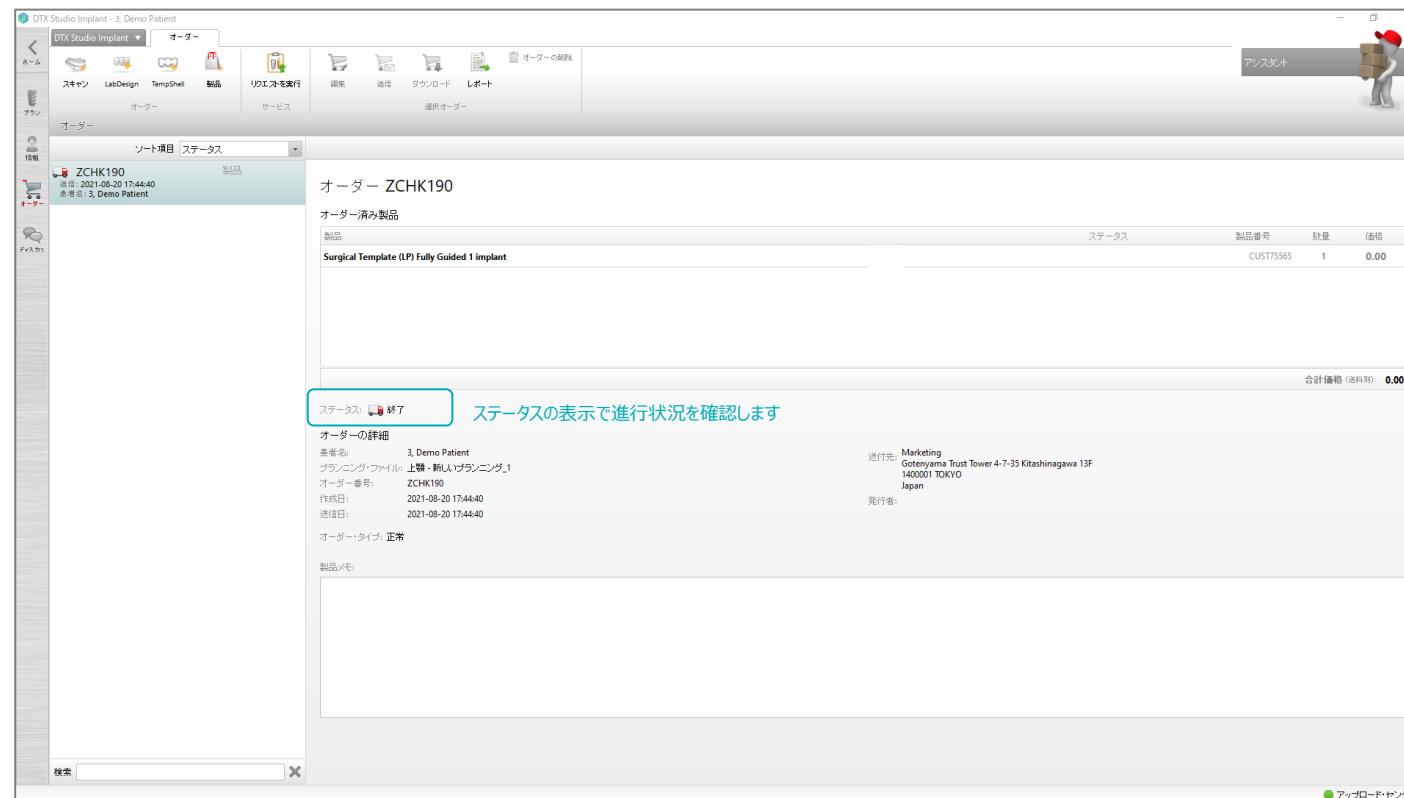




完了タブ (テンプレ、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

オーダー :

17 ステータスの確認

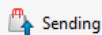


【ステータス】

データ送信中



送信中



Sending

データ受信



受信済み

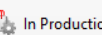


Received

DTX Studio Goが受信



製作中

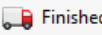


In Production

STLファイルのエクスポート



終了



Finished





完了タブ (テンプレセル、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

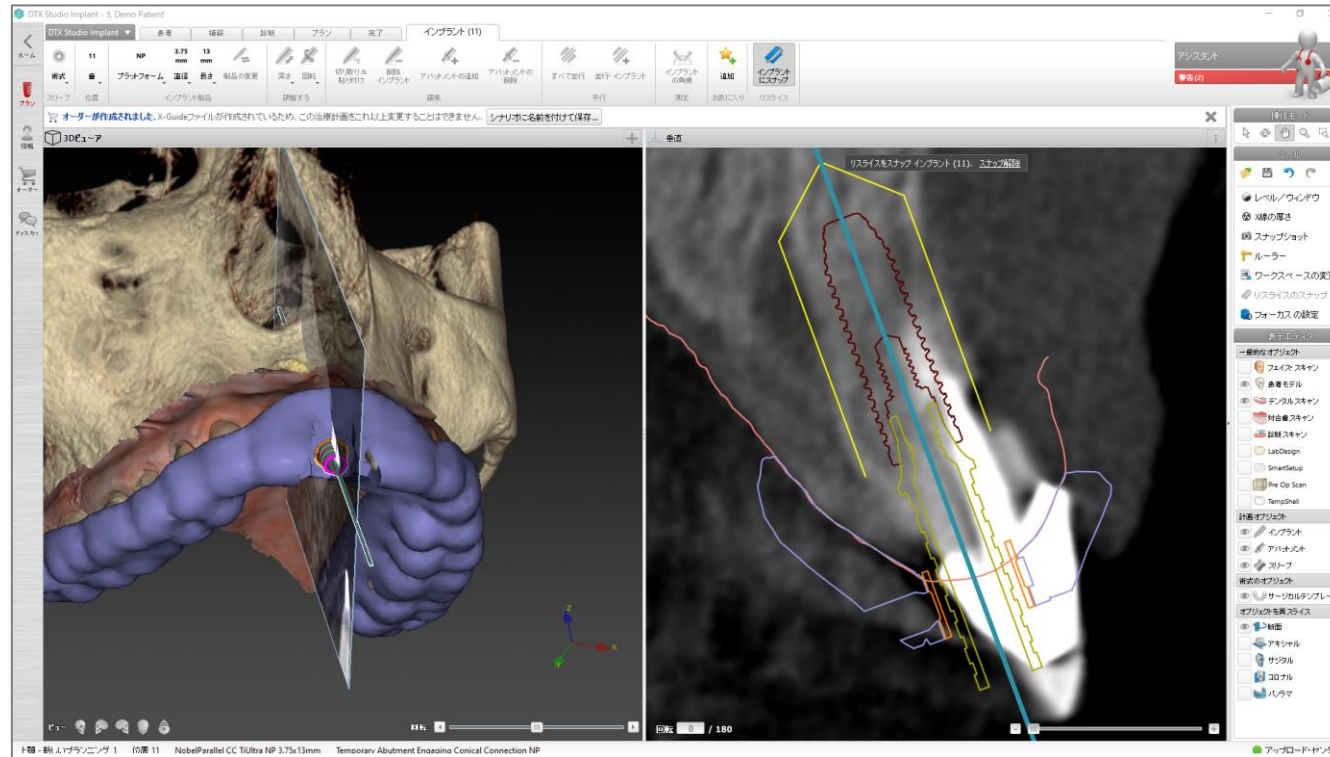
オーダー : 再送信 (Replanなど)

オーダーしたデータの状態と概要

オーダー済みのデータ

DTX Studio Implantでは、一度オーダーしたデータの変更、再プランはできません

オーダーしたプランニングは履歴として残ります



完了タブ (テンプレ、テンプレート設計、オーダー、レポート、ビューア)

オーダー：再送信 (Replanなど)

オーダーしたデータを開くと左画像のように【オーダーが作成されました。】と表示されています
この状態で編集することはできません
下記の手順で、プランニングの複製を作成し保存します

オーダーしたデータを編集して再送信する場合



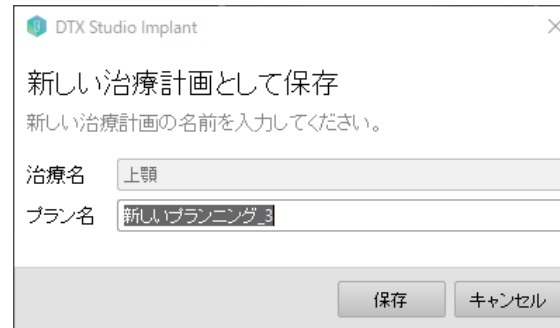
①

シナリオに名前を付けて保存...

上記のボタンをクリックします

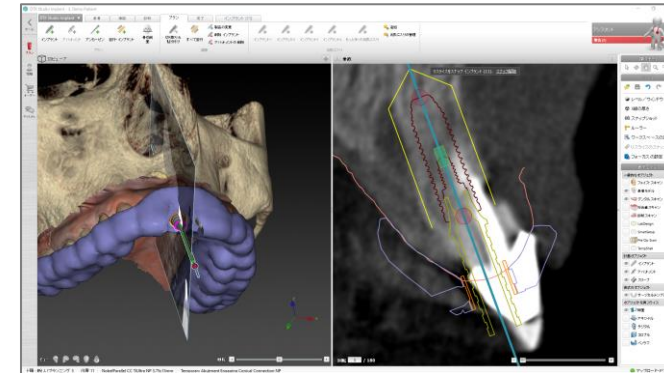


②



【保存】で複製データを保存します

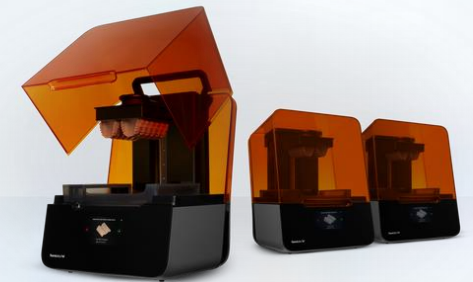
③ 【オーダーが作成されました。】表示が消えます



複製データを編集し、通常の手順でオーダーが可能となります



DTX Studio™ Implant
Planning for success in implant dentistry



オーダー Order

サージカル・テンプレート
Local Production





Local production

3Dプリンティング後の操作

サポート材の除去



目視にてバリや欠落状態を入念にチェックします



一般的な推奨事項

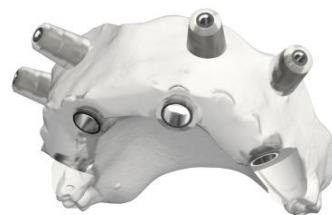
- 印刷後、サージカル・テンプレートを目視で検査します
- テンプレートの欠落部分などの印刷に問題があるテンプレートを破棄します
- テンプレートの一部を削除しないように、サポート材を慎重に削除します

スリーブのシートに材料の残留物や鋭く突出したエッジがないことを確認します
見つかった場合はそれらを取り除くか、滑らかにします



Local production

必要な製品



フルガイド・テンプレート



パイロットガイド・テンプレート

接着工程には次の製品が必要です

- 3Dプリントされたサージカルテンプレート
- ガイデッド・テンプレート用マウントツール
- ガイデッド・スリーブ
- 歯科用レジンセメント
- オプション: ガイデッド・アンカーピン・スリーブ \varnothing 1.5 mm

フルガイデッド用テンプレート

- ガイデッド シリンダー with Pin
- インプラントレプリカ
- ガイデッド・スリーブ

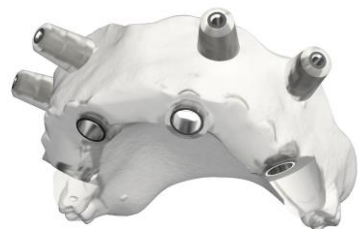
パイロット・スリーブ用テンプレート

- ガイデッド・パイロット・スリーブ・マウントツールピン
- ガイデッド・パイロットスリーブマウントベース 1.5 / 2.0 mm
- ガイデッド・パイロット・スリーブ 1.5 / 2.0 mm



Local production

スリーブの固定 ・フルガイド



フルガイド・テンプレート



①
Guidedスリーブ



② ③
ガイドッド・シリンダー with ピン



④
インプラントレプリカ

② ガイデッド・シリンダー上部(ピン)

① ガイデッド・スリーブ

③ ガイデッド・シリンダー下部

④ インプラントレプリカ



ガイデッド・スリーブをサージカルテンプレートに固定

ガイデッド・スリーブ (NP、RP、またはWP) ① をサージカルテンプレートのスリーブシートに挿入します

注意: ガイデッド・スリーブは対称であるため、上部と下部の区別はありません

ガイデッド・スリーブを正しく固定するには、ガイデッドシリンダーの上部 (ピン、NP、RP またはWP) ② とその下部を使用してガイデッドスリーブを固定します

ガイデッド・シリンダーの下部 ③ をピンで適切なインプラントレプリカ (NP、RP、または WP) ④ に締結します

すべての部品をまとめて固定し、手締めまたはドライバー (UniGrip) を使用して締結します



Local production



スリーブの固定 ・パイロットガイド



パイロットガイド・テンプレート



① ガイデッド・パイロット・スリーブ



② ガイデッド・パイロット・スリーブ
マウントツールピン



③ ガイデッド・パイロットスリーブ
マウントベース

③ ガイデッド・パイロットスリーブ
マウントベース

ガイデッドパイロットドリルスリーブをサージカルテンプレートに固定

ガイデッド・パイロットスリーブ (1.5 mmまたは 2 mm) ① をサージカルテンプレートのスリーブシートに挿入します

① ガイデッド・パイロットスリーブ

ガイデッド・パイロットスリーブを正しく固定するため、マウントツールピン ② をスリーブの下部(サージカルテンプレートの内側) から、マウントベース ③ をスリーブの上部(サージカルテンプレートの咬合/外側表面)から支えます

固定は手締めで行います

② ガイデッド・パイロットスリーブ
マウントツールピン



Guided アンカーピン・スリーブ

スリーブの固定 ・ アンカーピン



アンカーピン

① ガイデッド・アンカーピンスリーブ



シートソケットの同一平面になるように挿入します

* 専用の器具はありません

ガイデッド・アンカーピン・スリーブを固定

① ガイデッド・アンカーピン・スリーブをサージカルテンプレートのスリーブシートに挿入します

注意: ガイデッド・アンカーピン・スリーブは対称であるため、上部と下部の区別はありません

スリーブの上部がサージカル・テンプレートのシートソケットの同一平面上にあることを確認してください



Local production

スリーブの接着



アンカーピン



ガイドッドスリーブの接着工程

スリーブがサージカルテンプレートの上部周囲表面と同一平面上にあることを目視で確認します

すべてのガイドッド・スリーブとガイドッド・アンカーピン・スリーブが配置されたら、サージカルテンプレートに接着します

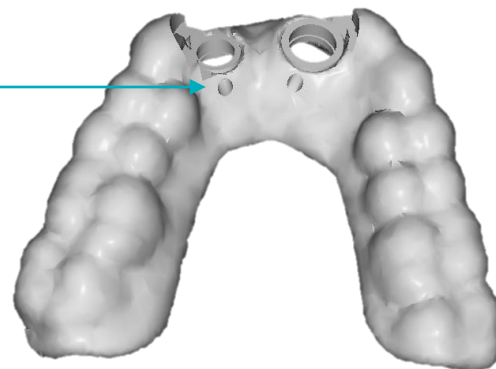
注意: 各スリーブを接着する前に、カニューレの内側で接着剤が固まっていないことを確認してください

- ・ 混合カニューレの先端を接着剤窩に挿入します
- ・ 接着剤がガイドッド・スリーブまたは、ガイドッド・アンカーピン・スリーブの周りに完全に行き渡るまで、アプリケーターガンのトリガーをゆっくりと押し始め、トリガーに圧力をかけ続けます
(塗布中に目視で確認します)

- ・ 接着剤が硬化したら、マウントツール (ピン & ベース) を外します

はみ出たレジンセメントはすぐに取り除きます

接着剤窩洞

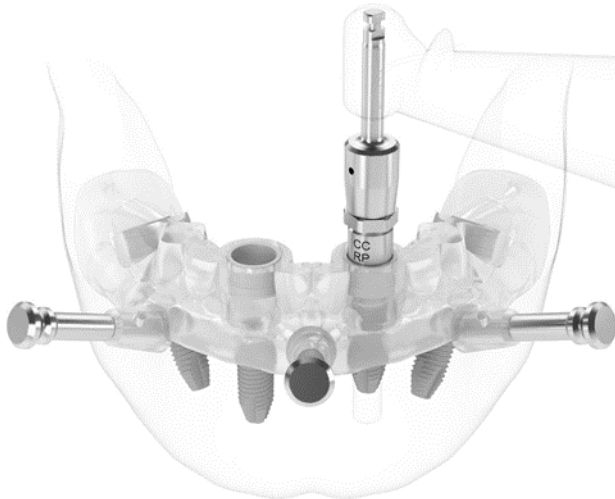


混合カニューレの先端を接着剤窩洞に挿入します



Local production

クイック・ガイド



Local production of surgical templates Quick guide

3D printing

1. Where to place support structures
 3D printed objects are built layer by layer. To do so, a weight-bearing surface to build upon is required. Depending on the specific 3D printing technology and the complexity of the object to print, this can mean that a 3D print requires support structures. Support structures should be on the occlusal surface of the surgical template because removal of them also removes a small part of the template.

2. Where not to place support structures

Support structures should not be placed in the sockets of the guided sleeves, pilot sleeves or anchor pin sleeves.

Support structures should not be placed in the glue channels.

The surgical template or additional objects should not have unsupported or too few support structures so that all the parts can be printed correctly. Follow the recommendation of the 3D printer's manufacturer on the amount of support structures.

1. Nobel Biocare is not the manufacturer of the template and cannot guarantee the template. Nobel Biocare provides the file to assist the 3D printer for the local production of surgical templates. The final production of surgical templates is the responsibility of the printer. Nobel Biocare does not accept any liability whatsoever for template errors.

Correct: **1. 3D print template in an 85° angle**

Correct: **2. 3D print template in a 45° angle**

Tools shown: Pilot Drill (pieces), Tool Pin Outlets (300A2), Pilot Sleeve Marking Tool, Sleeve, Pilot Drill (pieces), Tool Pin Outlets (300A2), Pilot Sleeve Marking Tool, Dental cement, Optional Guided Anchor Pin Sleeve (1.5 mm (pack of three article 30008)).

詳しくは、
サージカルテンプレートのインハウス
製作クイックガイドを参照ください

nobelbiocare.com

Nobel Biocare

©2017 Nobel Biocare Services AB. All rights reserved. Nobel Biocare, the Nobel Biocare logo and all other trademarks or trade dress are either an asset from the company or a certified trade trademark of Nobel Biocare. Please refer to the instructions for more information. Products may not be used for any purpose other than that intended. Some products may be subject to regulatory approval in some countries. Please contact your local Nobel Biocare representative for more information. Product information and literature may be subject to change without notice. Nobel Biocare Services AB. Nobel Biocare (Japan) Co., Ltd. is a subsidiary of Nobel Biocare Services AB. Nobel Biocare (Japan) Co., Ltd. is not a manufacturer of the products. Please refer to the instructions for more information. See instructions for use for full prescribing information, including indications, contraindications, warnings and cautions.

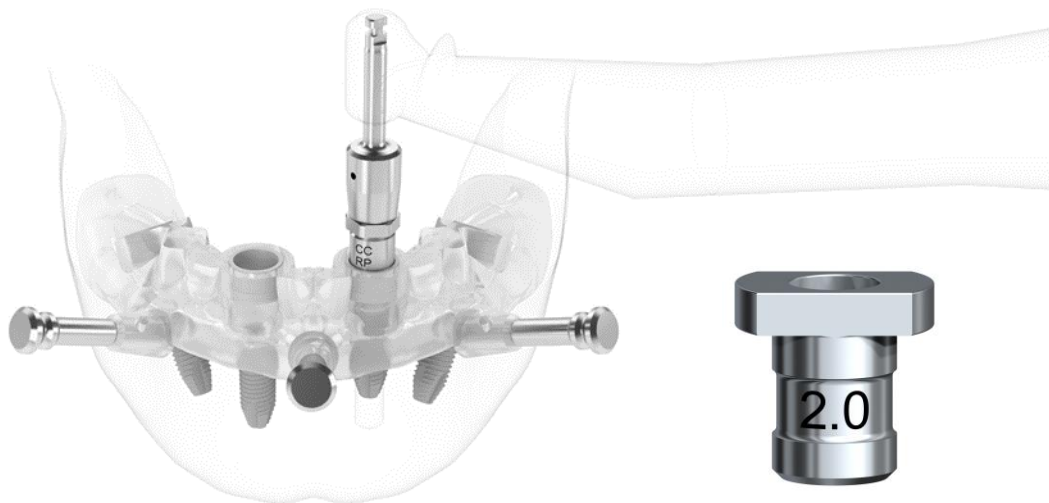
* 日本語対応版



Local production

関連製品・価格

パーツ計 7 種（新規追加パーツ 3 種）+ 新規追加サービス 1 種（エクスポートフィー）があります
詳細は下記一覧をご覧ください



ガイドッド・パイロットドリリング用

価格は、2021年11月現在

品番	製品名	価格
300438	ガイドッド・パイロット・スリーブ 1.5mm	3,000
300440	ガイドッド・パイロット・スリーブ 2.0mm	3,000
300442	ガイドッド・パイロット・スリーブ・マウント・スリット 1.5mm	3,000
300443	ガイドッド・パイロット・スリーブ・マウント・スリット 2.0mm	4,500
300444	ガイドッド・パイロット・スリーブ・マウント・スリット 1.5/2.0mm	4,500

フル・ガイドッド用

品番	製品名	価格
32754	Guided スリーブ NP	3,000
32765	Guided スリーブ RP	3,000
32766	Guided スリーブ 6.0/WP	3,000
37172	ガイドッド シリンド - w Pin NAct/CC NP 3.5	6,500
37173	ガイドッド シリンド - w Pin NAct/CC RP 4.3	6,500
37950	ガイドッド シリンド - w Pin CC WP 5.5	6,500
36697	NAct/CC インテグレーション リカ NP	3,500
36698	NAct/CC インテグレーション リカ RP	3,500
37879	NAct/CC インテグレーション リカ WP	3,500

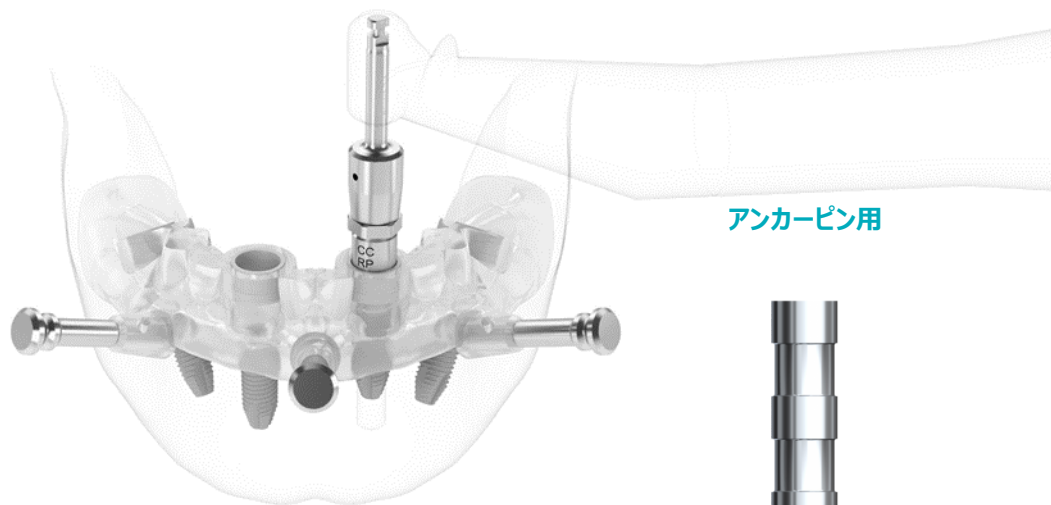
共用パーツ

品番	製品名	価格
104194	サージカルテンプレート エクスポートフィー	7,500
30908	Guided アンカーピン・スリーブφ1.5mm 3p	4,500



Local production

関連製品・価格



アンカーピン用



Guided アンカーピン・スリーブ



ガイドッドパイロットスリーブ

パイロットガイド・テンプレート用



ガイドッド・パイロット・スリーブ
マウントツールピン



ガイドッド・パイロットスリーブ
マウントベース

フルガイド・テンプレート用



Guidedスリーブ



ガイドッドシリンダー with ピン



インプラントレプリカ



その他 Other



Planning

その他 : DTX Studio Implant

計画を実施した患者データの【DTX Studio Implant】タブ項目は、設定項目が内容が追加され、データの保存や管理などの詳細な設定が行なえます



- | | | |
|---|--------------|----------------------|
| > | 保存 | 上書き保存 |
| > | 名前を付けて保存 | 別名で保存 |
| > | 開く | 複数のプランニングがある場合に使用します |
| > | プランを開じる | プランニングを閉じます |
| > | 新規 | 下記を参照 |
| > | 管理 | 次ページを参照 |
| > | ヘルプ | ヘルプファイルを開きます |
| > | 取扱説明書 | 取扱説明書 |
| > | バージョン情報 | ソフトウェアバージョン情報 |
| > | ゼネラル・プリファレンス | 詳細設定 |
| > | 患者を開じる | 患者データを閉じます |



Planning

その他 : DTX Studio Implant - 名前を付けて保存

DTX Studio Implant

3, Demo Patient - プランニングの概要

名前	作成者	変更日
上顎		
新しいプランニング	NobelBiocare	2021-08-20 12:30
新しいプランニング_1	NobelBiocare	2021-08-20 17:44
新しいプランニング_2 (前回開いた日)	NobelBiocare	2021-08-20 18:58

プランニング・シナリオを追加します...

新しい治療の追加...

シナリオを開く キャンセル

DTX Studio Implant

患者 補綴 診断 プラン

保存
名前を付けて保存
開く
プランを閉じる

新規
管理
ヘルプ
取扱説明書
バージョン情報
ゼネラル・プリファレンス
患者を閉じる

新しい計画または新しい治療として保存します。

新しいプランニング
新しい治療

新しいプランニング
編集前の計画データを残し、編集後の計画データを追加で保存します
*データを上書きしたくない場合
*ダブルサージカルテンプレートなど

DTX Studio Implant

新しい治療計画として保存
新しい治療計画の名前を入力してください。

治療名

プラン名

保存 キャンセル

DTX Studio Implant

3, Demo Patient - プランニングの概要

名前	作成者	変更日
上顎		
新しいプランニング	NobelBiocare	2021-08-20 12:30
新しいプランニング_1	NobelBiocare	2021-08-20 17:44
新しいプランニング_2	NobelBiocare	2021-08-20 19:07
新しいプランニング_3 (前回開いた日)	NobelBiocare	2021-08-20 19:20

プランニング・シナリオを追加します...

新しい治療の追加...

シナリオを開く キャンセル

DTX Studio Implant

患者 補綴 診断 プラン

保存
名前を付けて保存
開く
プランを閉じる

新規
管理
ヘルプ
取扱説明書
バージョン情報
ゼネラル・プリファレンス
患者を閉じる

新しい計画または新しい治療として保存します。

新しいプランニング
新しい治療

新しい治療
データのコピーを使用して反対側の顎の治療を作成するためなど、治療のコピーを保存します
*インプラントなど、計画済みのデータを移行可能です

DTX Studio Implant

新しい治療として保存
新しい治療と治療計画の名前を入力してください。

治療名

プラン名

治療対象の顎

新しい治療は計画済み項目(インプラントなど)も取り込み

保存 キャンセル

DTX Studio Implant

3, Demo Patient - プランニングの概要

名前	作成者	変更日
新しいプランニング	NobelBiocare	2021-08-20 12:30
新しいプランニング_1	NobelBiocare	2021-08-20 17:44
新しいプランニング_2	NobelBiocare	2021-08-20 19:29
新しいプランニング (前回開いた日)	NobelBiocare	2021-08-20 19:33

プランニング・シナリオを追加します...

新規治療

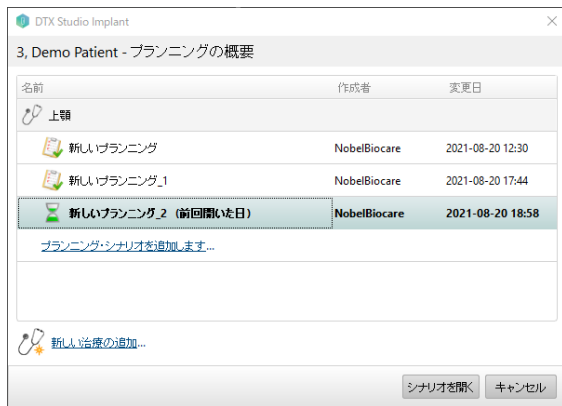
新しい治療の追加...

シナリオを開く キャンセル



Planning

その他 : DTX Studio Implant - 新規



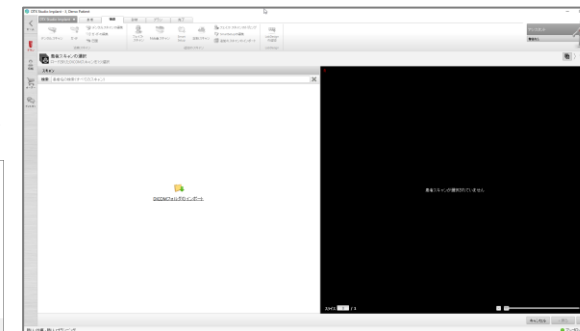
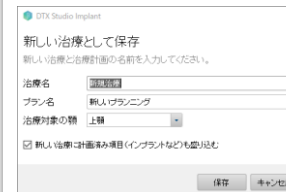
新しいプランニング

患者モデル、デンタルスキャン、追加のスキャンデータを残し、別の治療計画を作成します
* プランした、インプラントやアバットメントは移行されません



新しい治療

一人の患者で上下顎のプランニングを行なえます
* 上顎のプランニング終了後、保存します
新規をクリックし、新しい治療を選択すると、CTコンバート画面に移行します
下顎CTデータのコンバートを行いプランニングへ進みます





Planning

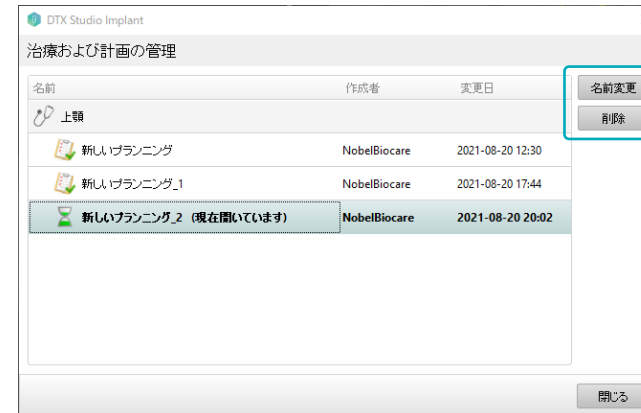
その他 : DTX Studio Implant

プランニングデータを開く



開きたいプランを選択後
【シナリオを開く】をクリックします

プランニング名の変更と削除



プラン名を変更する場合は
【名前の変更】をクリックし、
編集します

プランを削除する場合は
【削除】をクリックし、削除します

New Planning

計画の承認を行っていない
症例のみ変更が可能です

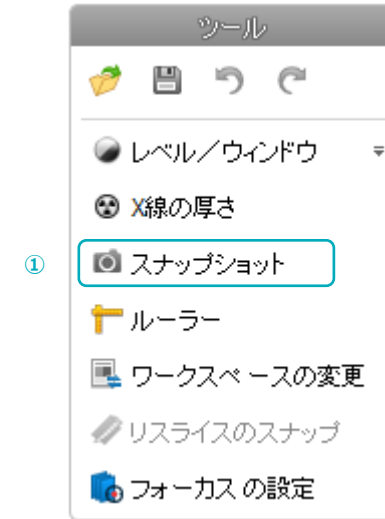
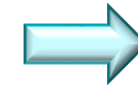
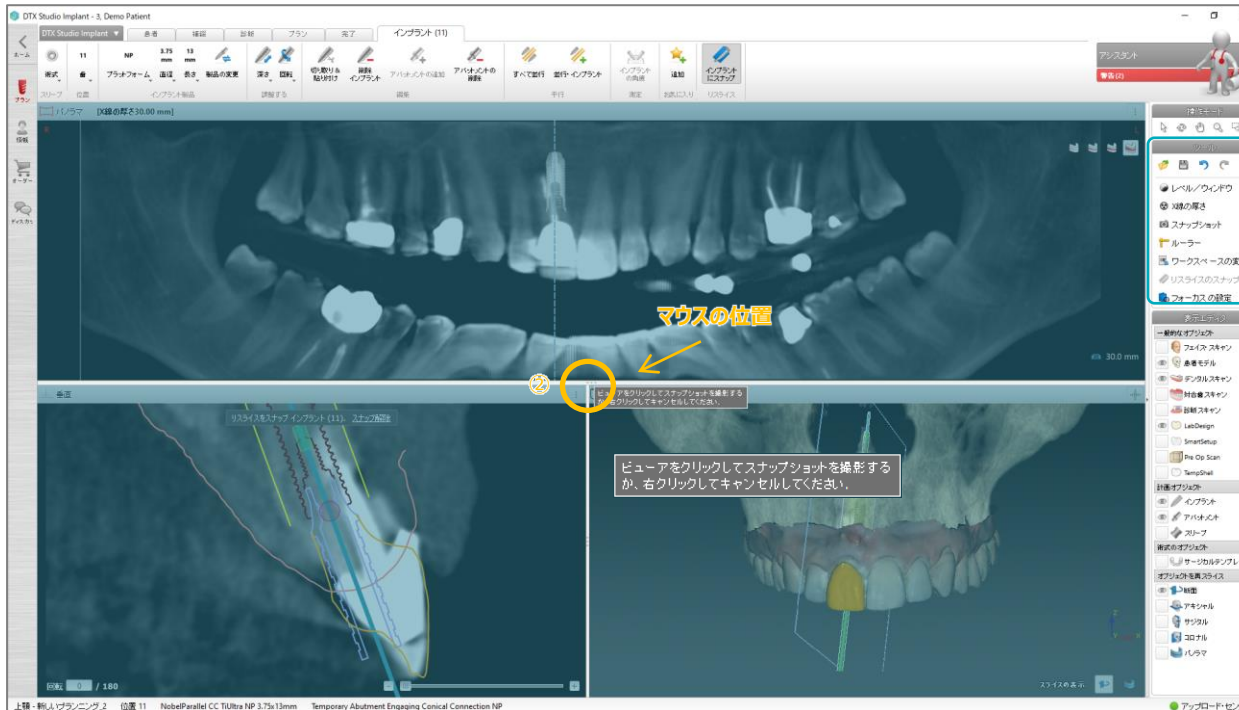
Planning

その他： スナップショット

プランニング内容を画像として保存します

手順 1

- ① 右端にある『ツール』内のスナップショットをクリックします
- ② マウスを保存したい画像上に移動します
選んだ画像が半透明なブルー色になります
左図では 3 画像の中心にマウスを移動して3画像全てを選択しています



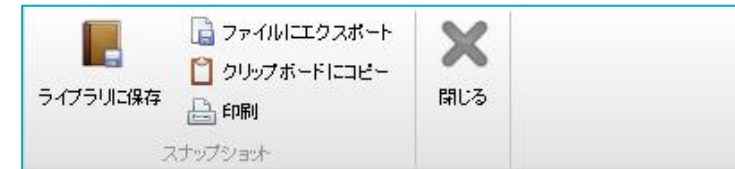
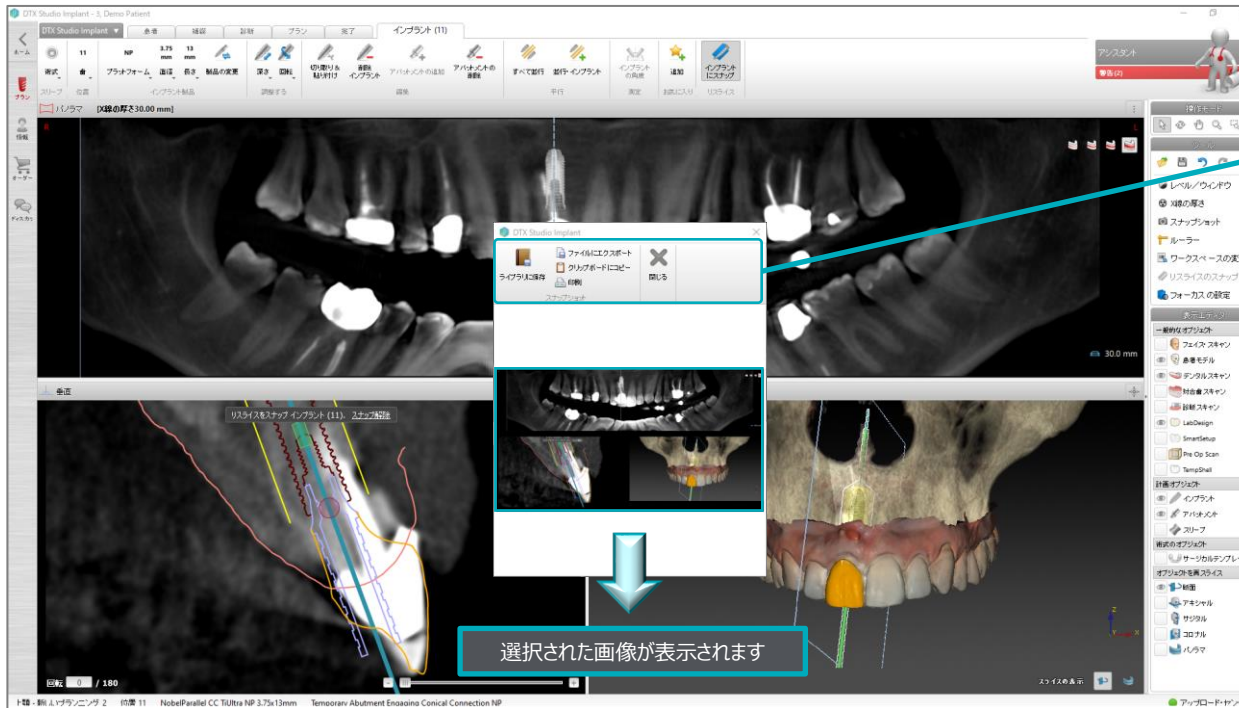
Planning

その他： スナップショット

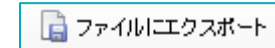
プランニング内容を画像として保存します

手順 2

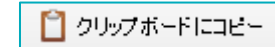
- ① 画像の範囲を決定したら、クリックします
(図の様な選択ウィンドウが開きます)
- ② それぞれの用途に応じたコマンドをクリックして終了です



ソフトウェア内（患者情報内）に取り込まれます



JPEGなどのファイルとして任意の場所に保存します



コピーされた状態になりますので、デスクトップやWindowsではペイントなどに貼付けます
プレゼンテーションなどを作成されている場合は、直接貼付け可能です



画像を印刷します
(プリンターが接続されている状態にのみ)



Planning

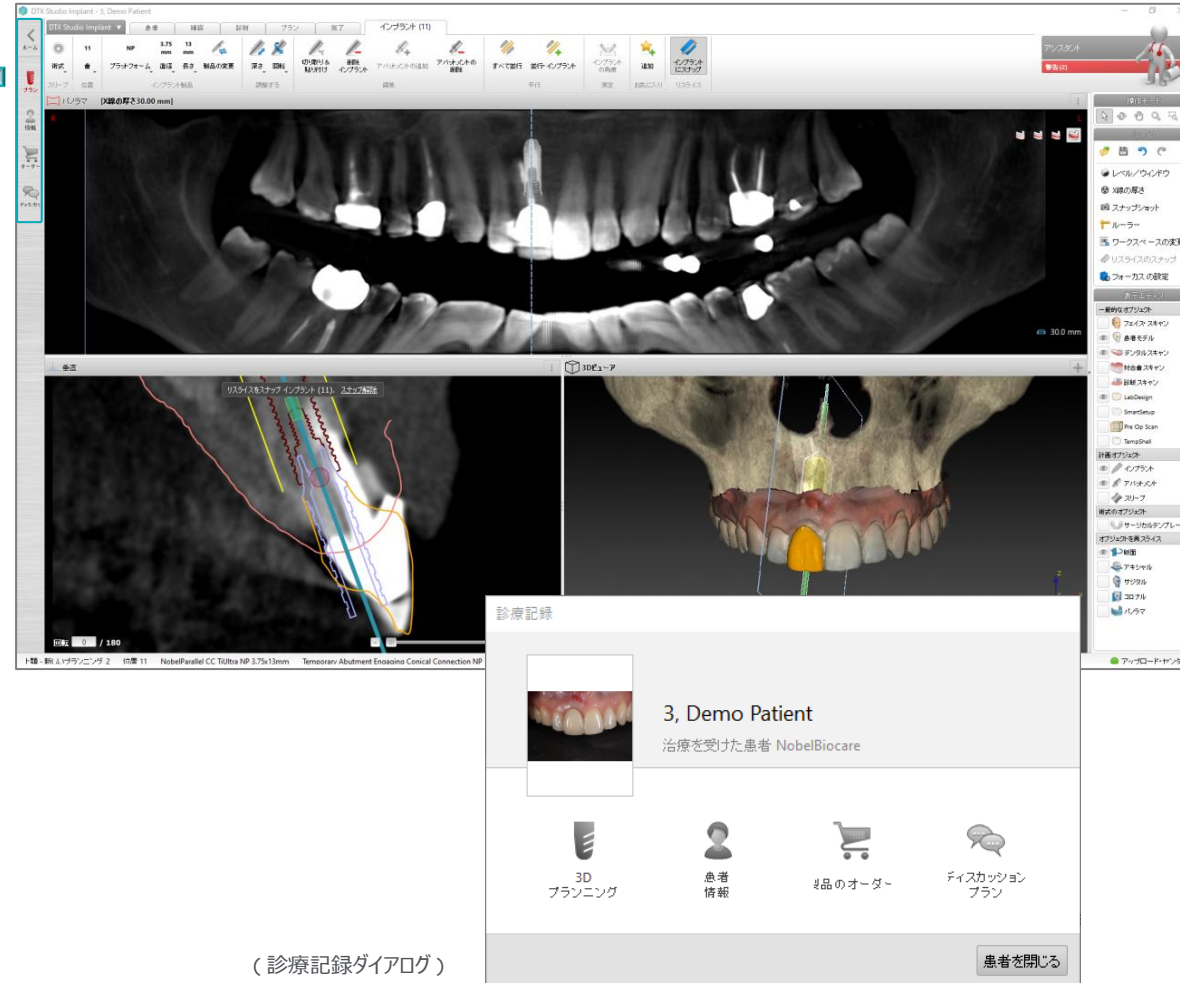
その他： プランニングの終了

プランニングを閉じる



プランニングが終了し、ソフトウェアを終了、または新しい患者のプランを開始する場合は、**【DTX Studio Implant】**をクリックし、**【患者を閉じる】**をクリックします

左端上部にあるアイコンの**【ホーム】**をクリックしても閉じることができます
セーブするかしないかのメッセージが表示されますので、選択して下さい
診療記録ダイアログが開きますので、**【患者を閉じる】**をクリックして終了します



(診療記録ダイアログ)



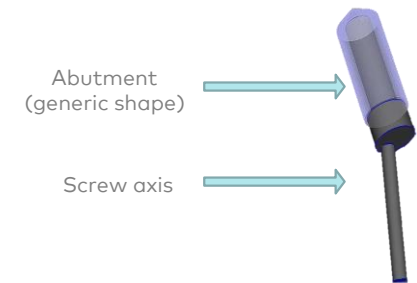
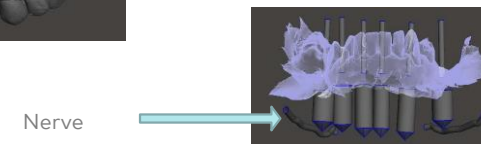
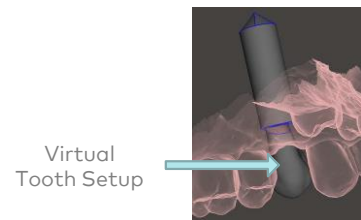
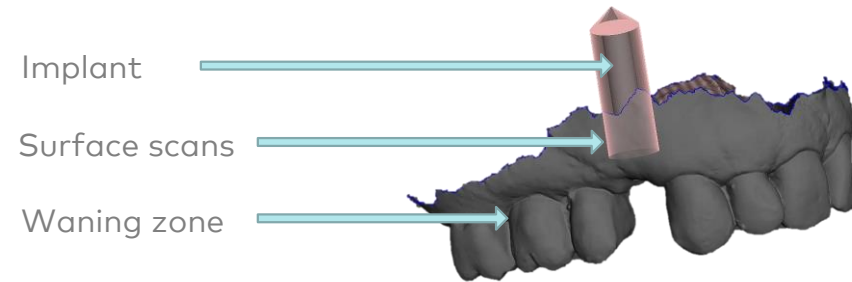
【完了】 タブ

その他： エクスポート

エクスポート機能は、サードパーティのソフトウェアで使用できる、オープンフォーマットのインプラント計画データのエクスポートが可能です

含まれているもの:

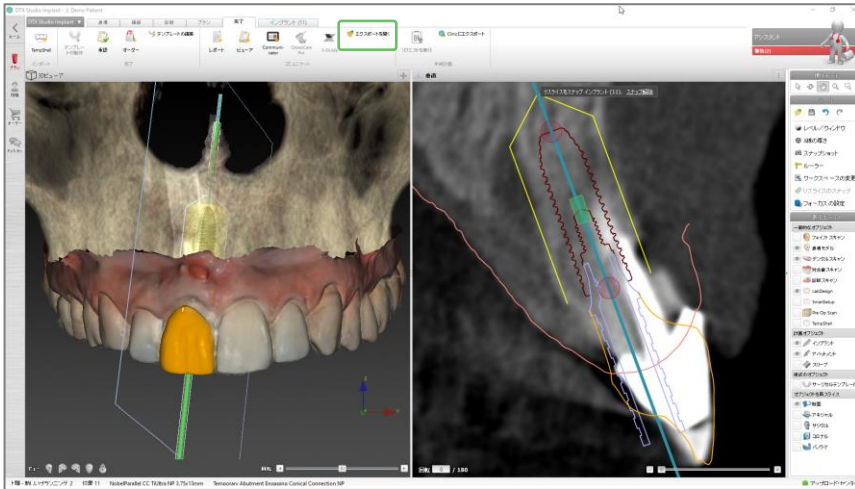
- PLY または STL形式のサーフェス（フェイススキャンを除く）
- 患者モデル、手術用テンプレート、TempShell & LabDesignはエクスポートされません
- DTX Studio Implantでは、すべてのオブジェクトに対応する歯の番号が付与されています
- プロジェクトの.xmlファイル
- 対応する（MTL / PNG）ファイルを使用したフェイススキャン（OBJ）ファイル
- すべての計画オブジェクトと治療オブジェクトは、DICOM画像座標系に従ってエクスポートされます
- すべてのオブジェクトは互いに整列され、CBCTファイルに関連付けられています



【完了】タブ

その他： エクスポート

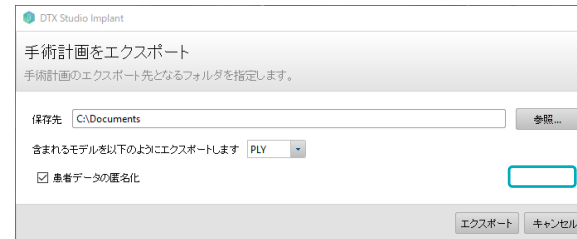
治療計画から、STLデータをエクスポートします
【完了】タブの【エクスポートを開く】をクリックします



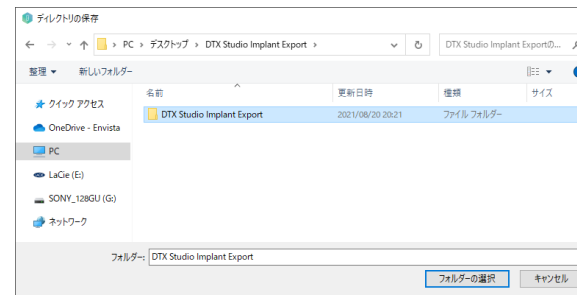
治療計画が保存されていない場合は、計画の保存を行います
【保存】をクリックします



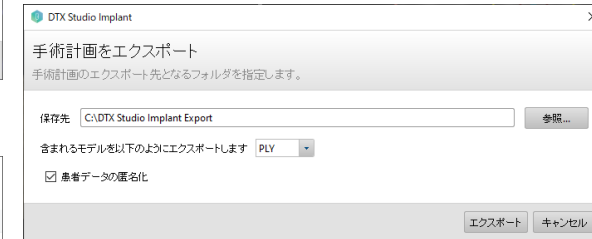
エクスポート先を設定します
保存先を指定する場合は【参照】をクリックします



保存先の指定後、【フォルダーの選択】をクリックします



保存先を確認し【エクスポート】をクリックします



エクスポート

【完了】 タブ

その他： エクスポート



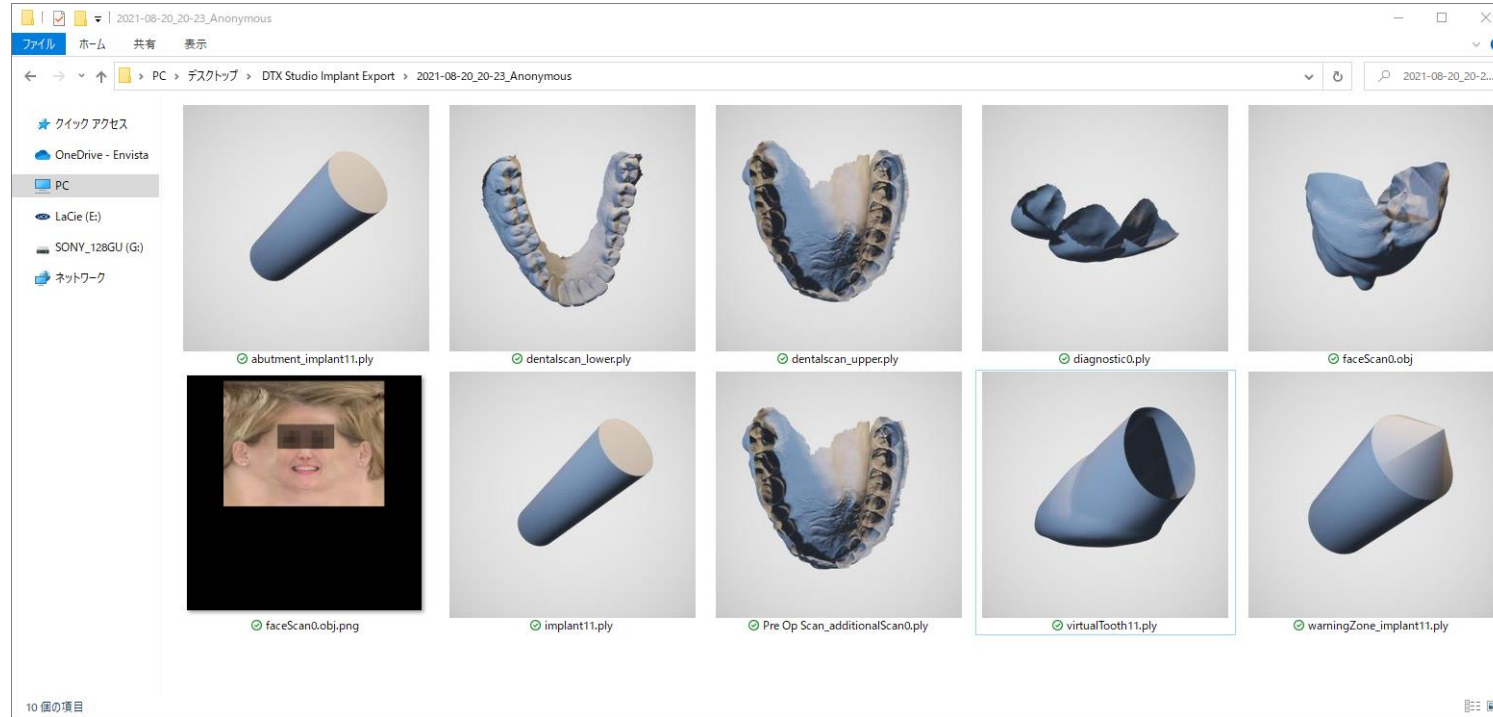
エクスポートが完了したら、【OK】をクリックします



保存先フォルダを開きます



保存されたオープンフォーマット・データ *計画の内容により、エクスポートされるデータは異なります





Contact Support

インストール方法やソフトウェア操作方法など
ご不明点などございましたら、以下までご連絡ください

ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社
プロセラ・テクニカルサポート
TEL : 0120-432-118
営業時間 : 月～金 9時～20時 (土・日・祝日は除く)



Nobel Biocare DTX Studio™ Implant Version 3.6 User Manual